

観光統計調査業務

報告書

令和3年2月

沖縄市

目次

第1章 業務概要	1
1-1. 業務の目的	1
1-2. 調査の概要	2
1-3. 各調査の実施方法	4
第2章 観光実態調査	11
2-1. 観光統計調査の整理	11
2-2. データ分析（携帯GPS調査）	27
2-3. スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析 （KDDIロケーションアナライザー）	99
2-4. データ分析（レンタカーGPS調査）	122
2-5. 令和2年夏季期間の観光動態分析 （KDDIロケーションアナライザー）	147
第3章 観光客満足度・消費動向調査	156
3-1. 旅行サイトの口コミ分析	156
3-2. WEBアンケートシステムを活用した来訪者調査の実施	168
第4章 マーケティング分析	186
4-1. 今年度調査結果の概要	186
4-2. 各施策の効果の検証	200
4-3. 沖縄市の来訪セグメントの分析及び今後のターゲットの検討	202
第5章 市内観光関係者との勉強会の開催	233
5-1. 実施概要	233
5-2. 実施結果	234
5-3. 勉強会の成果	244
第6章 今後の方向性	245

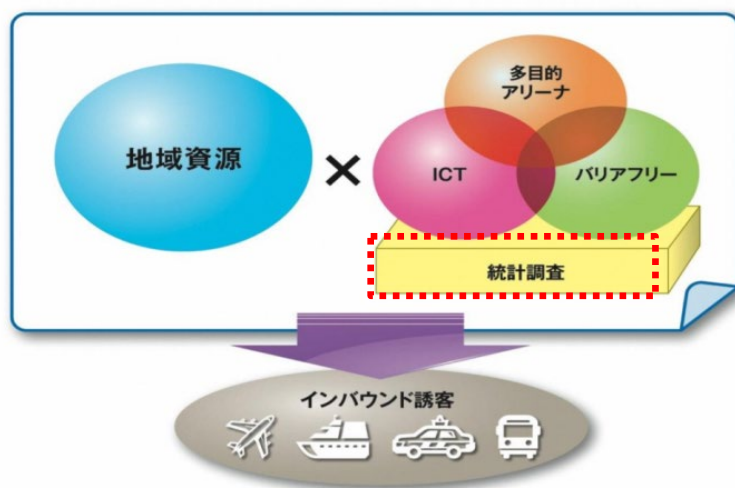
第1章 業務概要

1-1. 業務の目的

沖縄市では、観光分野及び沖縄観光を取り巻く環境が大きく変化するなか、平成29年度に策定された「沖縄市観光振興基本計画」の「第5章 施策の方向性（下図）」を踏まえた施策の具体化のための統計調査（マーケティングデータ）の整備が求められている。

本業務では、多様化する観光ニーズに対応し、より効果的な観光振興による地域活性化を目的として、沖縄市の観光客数、観光消費額、来訪者満足度等、観光の実態調査を行う。多角的に分析を行うことにより、沖縄市の観光施策展開のための基礎資料とする。

▼沖縄市観光振興のイメージ（出典：沖縄市観光振興基本計画より）



1-2. 調査の概要

(1) 各調査の概要

本業務にて実施した各調査の概要を以下に示す。

【各調査の概要】

調査		実施概要	日本人	外国人
(1) 観光実態調査	①観光統計調査の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市の観光統計について整理・分析 ・宿泊実績の整理・分析 	●	●
	②携帯 GPS 調査	<ul style="list-style-type: none"> ・国内県外客 (2,378 サンプル) について KDDI の位置情報ビッグデータを活用 ・1年分 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日) のデータを取得し、四半期ごとの 4 機関に区分して分析 ・市内全域と主要 10 地域の分析を実施 	●	—
	③スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析 (KDDI ロケーションアナライザー)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツキャンプ、合宿等の観戦者や競技者が多くなる 12 月～2 月を対象とし、KDDI ロケーションアナライザーを活用し動態分析を実施。直近 3 カ年の比較を実施。 	●	—
	④レンタカーGPS 調査	<ul style="list-style-type: none"> ・OTS レンタカーの GPS データを活用し主にインバウンド観光客の市内立ち寄り、滞在時間、周遊状況等の動態を分析 ・令和元年度のデータを対象に実施 (11,776 台) 	—	●
	⑤令和 2 年度夏季期間の観光動態分析 (KDDI ロケーションアナライザー)	<ul style="list-style-type: none"> ・with コロナの状況である令和 2 年度夏季期間の観光動態とコロナ禍以前の令和元年度を比較分析。 	●	—
(2) 観光客満足度・	①旅行サイト口コミ分析	<ul style="list-style-type: none"> ・トリップアドバイザー、じゃらんの口コミ (246 件) の内容より市内観光地の評価や観光ニーズ等を分析。 	●	●
	②アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB アンケートシステムにより観光客の満足度、ニーズ、消費行動等を取得・分析。(国内客 139 件、県外客 119 件) 	●	—

(3)マーケティング分析	<ul style="list-style-type: none"> ・各調査を踏まえ、沖縄市を訪れる観光客の動態や特徴等をまとめるとともに、沖縄市における観光施策の検証を行い、戦略的かつ効果的な観光地づくりの提案を実施。
(4)市内関係者との勉強会開催	<ul style="list-style-type: none"> ・過去 2 年分の成果および、今年度取得のデータ・分析結果等をもとに、実態および課題認識の共有と、データに基づく関係者の取組につなげるため、市内関係者との勉強会を開催。4 回開催。

(2) 各調査のデータ対象期間

本年度および過去2年分（平成30年度～令和元年度）の各調査のデータ対象期間を以下に示す。

【各調査のデータ取得対象期間一覧表（年度ごとに色分け）】

調査項目		平成29年度				平成30年度				平成31年度／令和元年度				令和2年度			
		4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
観光実態調査	①観光統計調査の整理	平成29年4月～平成30年3月				平成30年4月～平成31年3月				平成31年4月～令和2年12月							
	②携帯GPS調査	平成29年8月～平成30年2月				平成30年4月～平成31年3月				平成31年4月～令和2年3月							
	③スポーツ分析									ASEアナリティクスを使用 令和元年12月～令和2年2月							
										KDDIロケーションアナライザーを使用 3年分を比較分析							
						平成30年12月～平成31年2月				令和元年12月～令和2年2月				令和2年12月～令和3年2月			
	④レンタカーGPS調査	国内客及び訪日外国人を対象 平成29年4月～平成30年3月								訪日外国人を対象 平成31年4月～令和2年3月							
	⑤令和2年度夏季期間の観光動態分析 (KDDIロケーションアナライザー)									比較分析 平成31年4月～令和元年8月				令和2年4月～8月			
観光客満足度・消費動向調査	①旅行サイト口コミ分析	平成25年～平成30年5月				平成30年6月～令和元年10月				令和元年11月～令和2年12月							
	②アンケート調査	平成29年8～9月、平成29年11～12月								令和元年8月～令和2年1月				令和2年11月～令和3年1月			

1 - 3. 各調査の実施方法

(1) 観光実態調査

①観光統計調査の整理

国や県の観光統計を分析するとともに、沖縄市の動向と比較することで、沖縄市観光の置かれている状況の分析を行った。入込客数、観光客の属性、消費・満足度の視点から分析を行い、沖縄市観光の現状及びインバウンドを含む誘客に向けたポテンシャル等を整理した。

また、市内宿泊施設と連携し、沖縄市における宿泊実績等を収集・整理した。

【観光統計調査の実施項目】

観光統計の整理	◇全国観光入込客統計（観光庁） ◇宿泊旅行統計調査（観光庁） ◇旅行・観光消費動向調査（観光庁） ◇国籍／月別 訪日外客数（JNTO） ◇観光要覧（沖縄県） ◇観光統計実態調査（沖縄県） ◇外国人観光客実態調査（沖縄県） ◇主要観光施設入場者数（沖縄市） ◇宿泊実績調査（沖縄市） <div style="text-align: right;">※（ ）は調査実施主体</div>
宿泊実績等の 収集・整理	◇延べ宿泊客数（月別） ◇実人数（月別） ◇定員稼働率 ◇客室稼働率 ◇宿泊客の出身地（国内客は都道府県、海外客は国籍）

②データ分析（携帯 GPS 調査）

沖縄市に来訪する国内県外出身の観光客の発地場所、旅程、宿泊地、滞在時間、周遊ルート等を携帯位置情報データより把握し、マーケティングに資する分析を実施した。

具体的には、携帯端末の位置情報データから沖縄市内に 30 分以上滞在した来訪者のデータを抽出し、来訪者の属性や行動の特性を把握した。また、調査期間及び市内外の観光エリア（10 箇所）を設定することで、来訪時期や来訪場所による傾向の分析を行った。

【データ分析（携帯 GPS 調査）の実施項目】

調査対象	○沖縄市内に 30 分以上滞在した国内県外居住者 ⇒ 市内居住者・通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞在者、長期滞在者及び高頻度滞在者は除外
調査方法	OKDDI が au スマートフォンユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できないように加工した、位置情報データ及び属性情報等を利用して分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	○平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日 ※以下、4 つの期間を設定し、対象期間内の詳細な分析を実施 期間 1：平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 6 月 30 日 期間 2：令和元年 7 月 1 日～令和元年 9 月 30 日 期間 3：令和元年 10 月 1 日～令和元年 12 月 31 日 期間 4：令和 2 年 1 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
対象データ数	2,378 人（日帰り：25 人、宿泊：2,353 人）
分析項目	①属性分析：性別・年齢層ごとの来訪者数 ②発地分析：発地（都道府県、市区町村）ごとの来訪者数 ③立寄り分析：市区町村ごと、250m メッシュごとの立寄り比率 ④旅程分析：旅程別の来訪者数、宿泊場所区分別の宿泊人泊数 ⑤宿泊地分析：市区町村ごとの宿泊人泊数 ⑥昼間滞在時間分析：昼間の滞在時間 ※沖縄市内全体（250m メッシュ）、観光エリア（10m メッシュ）ごとに分析を実施
観光エリア	①県総合運動公園/②コザ運動公園/③沖縄こどもの国/④東南植物楽園/ ⑤プラザハウス/⑥一番街/⑦中の町/⑧グランメール/ ⑨北谷アメリカンビレッジ/⑩イオンモール沖縄ライカム

③スポーツキャンプ・合宿を対象としたデータ分析（KDDI ロケーションアナライザー）

市内で大型スポーツキャンプやスポーツ合宿等が実施される期間において、県外の人々がどのような動きをしているのかを確認することを目的に、携帯電話のGPS（KDDI ロケーションアナライザー）を活用した動態調査を実施した。

【スポーツキャンプ・合宿を対象としたデータ分析（KDDI ロケーションアナライザー）の実施項目】

調査対象	○沖縄市内外に設定した調査地点の県外立ち寄り者（県民は除外） ※KDDI ユーザー
調査方法	○au スマートフォン契約者のうち位置情報の利用許諾を得たユーザーのGPS 位置情報データを確認 ⇒分析にあたってはKDDI ロケーションアナライザーを活用
調査期間 (データ取得期間)	○沖縄市内における大型スポーツキャンプやスポーツ合宿の実施期間である12月から2月を対象期間とし、3カ年を比較した ①平成30年12月1日～平成31年2月28日 ②令和元年12月1日～令和2年2月29日 ③令和2年12月1日～令和3年2月20日
分析項目	①のべ滞在者数：月別、曜日別、時間別 ②滞在者の基礎情報：性別、年齢、出身地 ③滞在者の行動：地点間の周遊の状況
調査エリア	【Aグループ：プロ野球キャンプ中心】 8エリア ①コザ運動公園（しんきんスタジアム・グリーンフィールド） ②ホテルニューセンチュリー/サンライズホテル ③ホテルコザ ④中の町周辺 ⑤コザ・ミュージックタウン ⑥パークアベニュー・ゲート通り周辺 ⑦プラザハウス ⑧沖縄自動車道（沖縄南）出入口
	【Bグループ：スポーツ合宿中心】 8エリア ①コザ運動公園（陸上競技場） ②コザ運動公園（体育館） ③イオンモール沖縄ライカム ④美浜アメリカンビレッジ ⑤プラザハウス ⑥パークアベニュー・ゲート通り周辺 ⑦コザ・ミュージックタウン ⑧沖縄自動車道（沖縄南）出入口

④ レンタカーGPS 調査

OTS レンタカーの GPS データを活用し、インバウンド観光客の市内の立ち寄り箇所や平均滞在時間、周遊ルート等の分析を行った。具体的には、インバウンドの利用者が 8 割を占める OTS レンタカーの GPS データを活用し、分析を実施した。

【レンタカーGPS 調査の実施項目】

調査対象	○沖縄市に訪訪する訪日外国人旅行者のレンタカーGPS データを活用し動態調査を実施 ○60 分以上の滞在者
調査方法	○OTS レンタカー搭載の通信ナビから取得する GPS データより分析。 (1,000 台程度に機器を設置。)
調査期間 (データ取得期間)	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
対象データ数	11,776 台
分析項目	①来訪者分析 (国籍) ②平均滞在時間/時間帯別流入者数・滞在者数分析 ③前後立ち寄り市町村分析 ④来訪者駐車場所 (ヒートマップ) 分析 ⑤宿泊地分析 (宿泊地、泊数)
調査エリア	○沖縄市内全体および市内外主要エリア 10 箇所 ①県総合運動公園 ②コザ運動公園 ③沖縄こどもの国 ④東南植物楽園 ⑤プラザハウス ⑥一番街 ⑦中の町 ⑧グランメール ⑨北谷アメリカンビレッジ ⑩イオンモール沖縄ライカム

⑤令和2年度夏季期間の観光動態分析（KDDI ロケーションアナライザー）

令和2年度の with コロナの状況における観光動向の変化等を把握することを目的として、KDDI のロケーションアナライザーを用いた動態把握・分析を実施した。

市内主要エリアの滞在者の人口、性別、年齢、居住地の把握や、時間帯別等の推移を確認した。

【観光動態分析の実施項目】

調査対象	○KDDI の携帯 GPS データ
調査方法	○令和2年度の観光動向として以下の期間のデータを対象とした ①昨年度夏季：令和元年4月1日～令和元年8月31日 ②今年度夏季：令和2年4月1日～令和2年8月31日
対象データ数	○指定の範囲に一定時間以上滞在した来街者 ⇒指定した範囲内での居住者、勤務者は除く
分析項目	○市内主要エリアの来訪者数（市内・市外・県外／居住地市町村別） ○来訪者属性（性別・年代） ○時間帯別の来訪者数 ○前年同月との比較分析
調査エリア	○市内外主要エリア 10箇所 ①県総合運動公園 ②コザ運動公園 ③沖縄こどもの国 ④東南植物楽園 ⑤プラザハウス ⑥コザ商店街周辺 ⑦中の町周辺 ⑧グランメールリゾート ⑨イオンモール沖縄ライカム ⑩アメリカンビレッジ

(2) 観光客満足度・消費動向調査

①旅行サイト口コミ分析

旅行情報・投稿WEBサイトの「トリップアドバイザー」および「じゃらん」に掲載されている観光施設（20施設）、宿泊施設（6施設）、飲食施設（28施設）に対して投稿されている口コミ247件を分析対象として、投稿者属性、評価の集計、テキストマイニング（自然言語の統計処理）による感情分析、頻出単語の把握等を行った。



【旅行サイト口コミ分析の実施内容】

調査対象	○トリップアドバイザーおよびじゃらんに掲載されている沖縄市内の主要な観光施設、飲食施設、宿泊施設に対する評価・口コミ・投稿者の属性等 ⇒ 令和元年11月～令和3年1月に投稿された247件の口コミを対象
対象施設	①観光施設 1) じゃらん： 2施設 12投稿 2) トリップアドバイザー 7施設 55投稿（うち28投稿が海外客） ⇒文字数の総合計：9,823文字 ②宿泊施設 1) じゃらん： 6施設 130投稿 ⇒文字数の総合計：20,221文字 ③飲食施設 1) トリップアドバイザー： 21施設 50投稿（うち10投稿が海外客） ⇒文字数の総合計：7,278文字
分析項目	①投稿者の属性（性別・世代・居住地・言語） ②投稿者の旅行者タイプ ③観光地ごとの評価（点数及びコメントの傾向） ④感情分析（文章中の感情の傾向を可視化） ⑤ワードクラウド（出現率の高い単語を可視化） ⑥単語の頻出度の把握
分析ツール	○分析項目④～⑥は株式会社ユーザーローカルの「AIテキストマイニング」を活用し実施した。

②アンケート調査

観光客の満足度やニーズ、観光動向、消費金額を把握することを目的として、昨年度構築したWEBアンケートシステムを用いて、観光客へのアンケート調査を実施した。

市内の宿泊施設の協力のもと、アンケートページへのQRコードを掲載した名刺サイズのカードを観光客へ配布し調査を行った。なお、次年度以降の継続的なデータ取得を視野に沖縄市観光物産振興協会と連携し実施した。

調査対象	○調査期間中に沖縄市内宿泊施設に宿泊した観光客
調査期間	○令和2年11月中旬より宿泊施設にて配布開始
調査箇所	①オキナワグランメールリゾート ②ホテルニューセンチュリー ③クラウンホテル ④デイゴホテル ⑤ホテルシャララ ⑥ホテルコザ ⑦サンライズ観光ホテル ⑧ホテルタイムリッチ ⑨デイリーウィークリーマンズリーマンション（ぷらり） ⑩沖縄こどもの国 ⑪東南植物楽園 ⑫観光物産振興協会
回収結果	県内客 139票 県外客 119票
調査方法	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>宿泊客にQRコードを記載した名刺サイズのカードを配布</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>アンケートに回答</p> </div> </div>
質問項目	①来訪目的・観光行動：行程／目的／情報源／訪問箇所／移手段 ②消費行動：市内での消費額（ツアー・宿泊・交通・食事等） ③沖縄市の評価：満足度／再訪意向／推薦意向 ④基本属性：居住地（国籍）／性別・年齢・職業／来訪経路 ⑤その他

第2章 観光実態調査

2-1. 観光統計調査の整理

(1) 本調査の概要

国や沖縄県、沖縄市が公表している既存の統計データ等を用いて、沖縄市観光の現状やポテンシャル等を把握することを目的として、調査・分析を実施した。

(2) 調査の実施方針

国や県の観光統計を分析するとともに、沖縄市の動向と比較することで、沖縄市観光の置かれている状況の分析を行った。宿泊客数、観光客の属性の視点から分析を行い、月別・季節毎の沖縄市観光及びインバウンドの状況を整理した。

また、市内宿泊施設と連携し、沖縄市における宿泊実績等を収集・整理した。

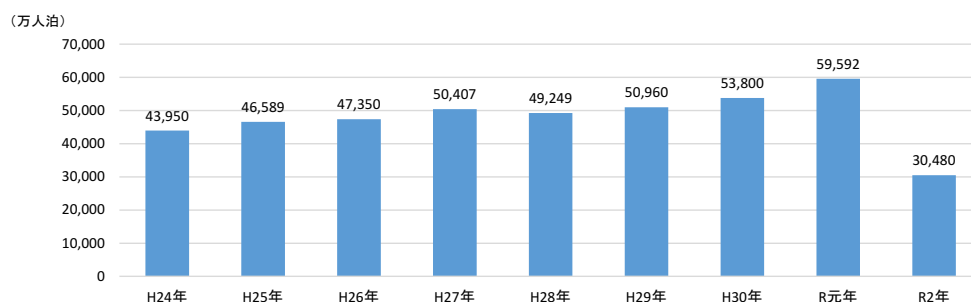
【観光統計調査の実施項目】

観光統計の整理	◇全国観光入込客統計（観光庁） ◇宿泊旅行統計調査（観光庁） ◇旅行・観光消費動向調査（観光庁）◇国籍／月別 訪日外客数（JNTO） ◇観光要覧（沖縄県） ◇観光統計実態調査（沖縄県） ◇外国人観光客実態調査（沖縄県）◇主要観光施設入場者数（沖縄市） ◇宿泊実績調査（沖縄市） <p style="text-align: right;">※（ ）は調査実施主体</p>
宿泊実績等の 収集・整理	◇延べ宿泊客数（月別） ◇実人数（月別） ◇定員稼働率 ◇客室稼働率 ◇宿泊客の出身地（国内客は都道府県、海外客は国籍）

(3) 調査・分析結果

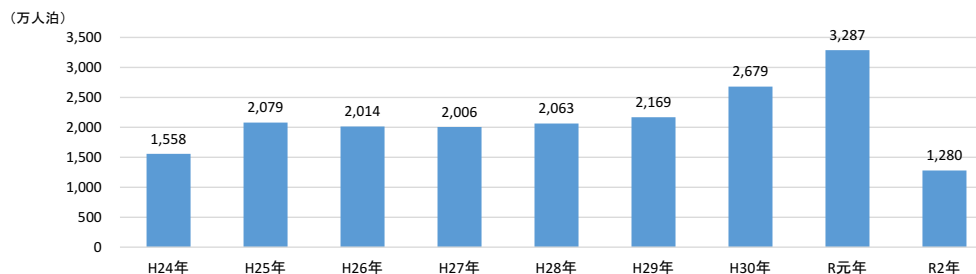
①延べ宿泊者数の年別推移（平成24年～令和2年（暦年））

- 令和2年（暦年）の宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国内・県・沖縄市のいずれにおいても前年と比較し大きく減少している。
- 国内の年間宿泊者数は、約3億人泊（令和2年）となっており、令和元年と比較すると半数近く減少している。
- 沖縄県の年間宿泊者数は、約1,280万人泊であり令和元年と比較すると約6割近く減少している。
- 沖縄市の継続的に取得している10施設を対象とした年間宿泊者数は、年間約10万人泊であり約6.5割減の状況である。



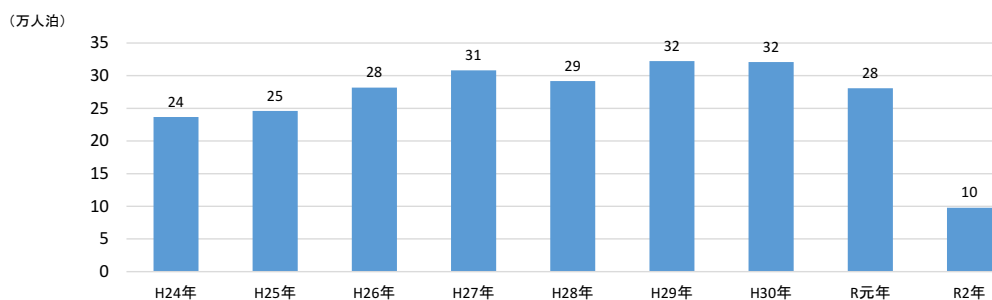
【日本国内における延べ宿泊数の推移（平成24年～令和2年）※暦年】

出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）



【沖縄県における延べ宿泊数の推移（平成24年～令和2年）※暦年】

出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）



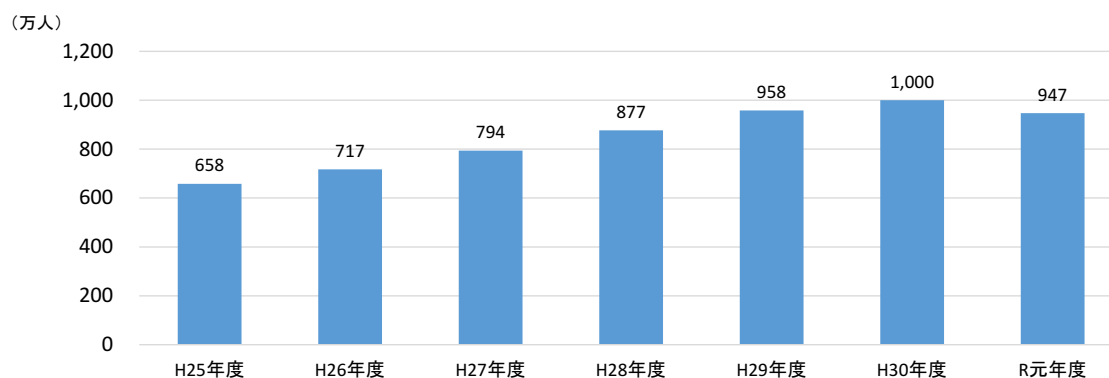
【沖縄市における延べ宿泊数の推移（平成24年～令和2年）※暦年】

出典：沖縄市観光振興課

②観光入込客数の年別推移（平成 25 年度～令和元年度）

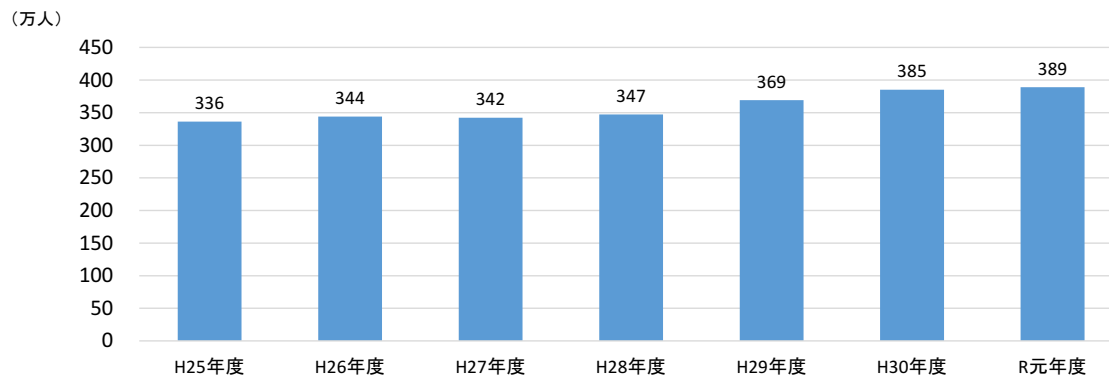
○沖縄県の観光入込客数は、平成 30 年度まで増加傾向にあった。（平成 25 年度と比較すると 1.52 倍の増加となっている。）令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、減少に転じている。

○沖縄市の市内主要観光施設（14 施設）の入込客総数は 389 万人となっており、前年度（平成 30 年度）より 4 万人増となっている。



【沖縄県における観光入込客数の推移（平成 25 年度～令和元年度）】

出典：観光要覧（沖縄県）

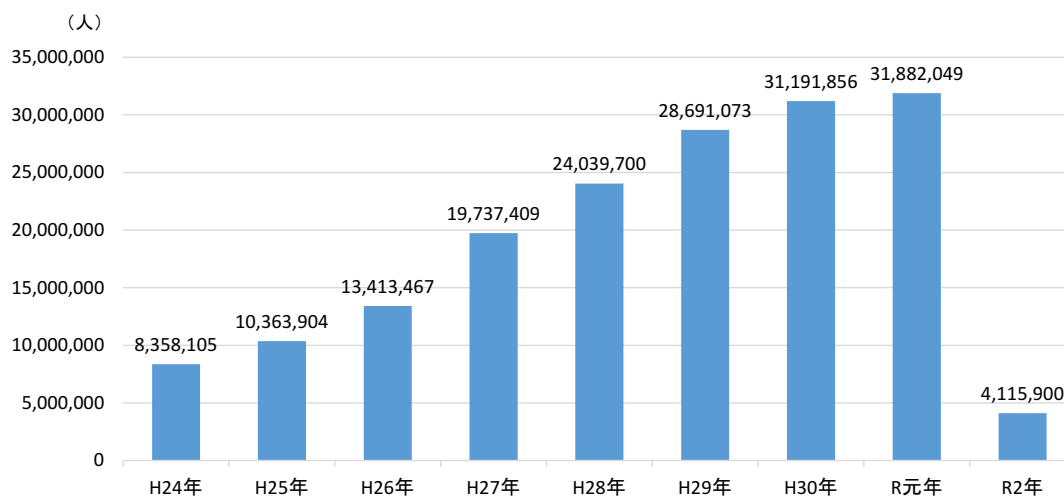


【沖縄市における主要観光施設入場者数の推移（平成 25 年度～令和元年度）】

出典：沖縄市観光振興課

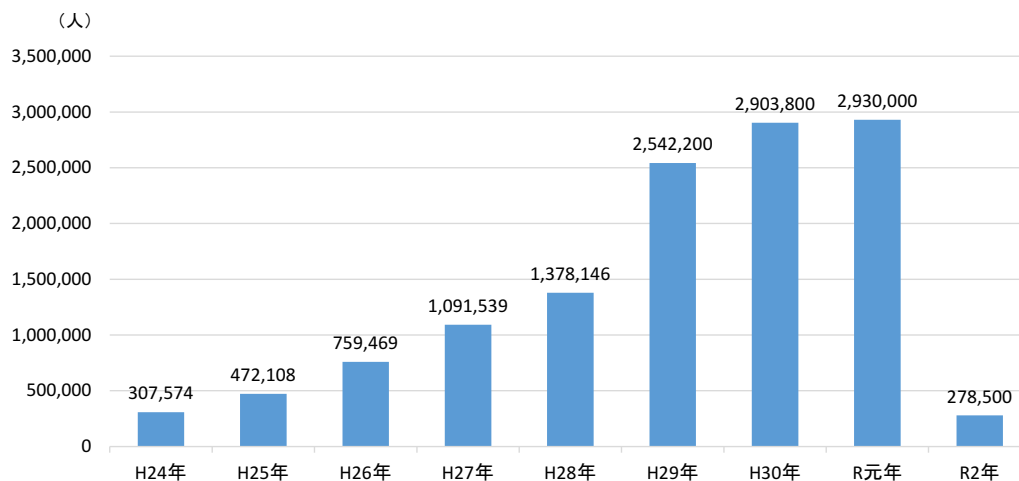
③外国人観光客数の年別推移（平成24年～令和2年（暦年））

○外国人観光客数は国、県のいずれにおいても増加基調にあったが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により急減となっている。



【日本国における訪日外国客数の年別推移（平成24年～令和2年）※暦年】

出典：国籍／月別 訪日外客数（JNTO）

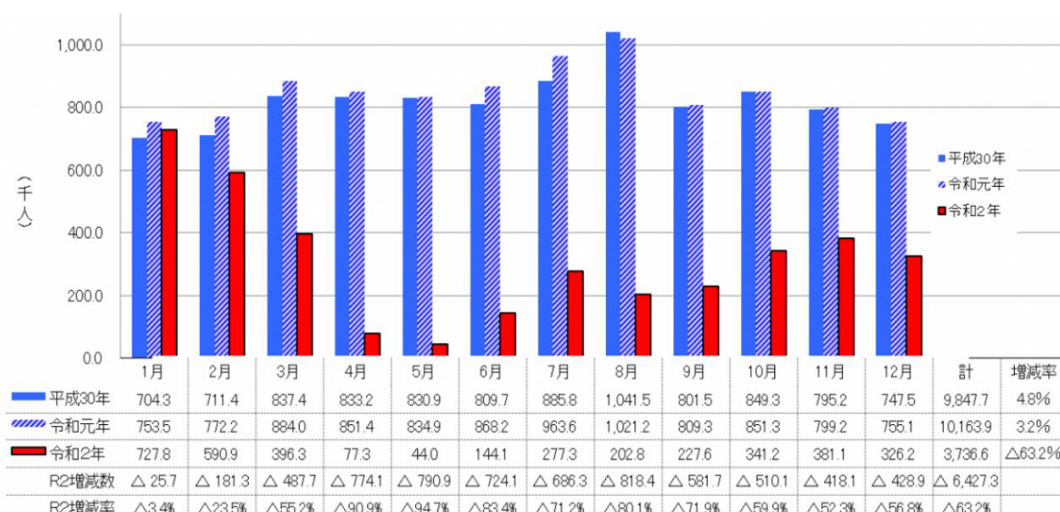


【沖縄県における訪日外国客数の年別推移（平成24年～令和2年）※暦年】

出典：観光要覧（沖縄県）

④沖縄県における観光入込客の月別推移比較（平成30年～令和2年比較）

- 沖縄県の月別の観光入込客数の推移をみると、令和2年3月以降、各月において対年同月比で過去最大の減少を記録。
- 緊急事態宣言の解除期間である7月及び10月から11月の期間はGOTOトラベル等の需要喚起策の影響により回復基調にあった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により台湾、香港、韓国を含む国・地域より日本を上陸拒否の対象とされたため皆減が続いている。

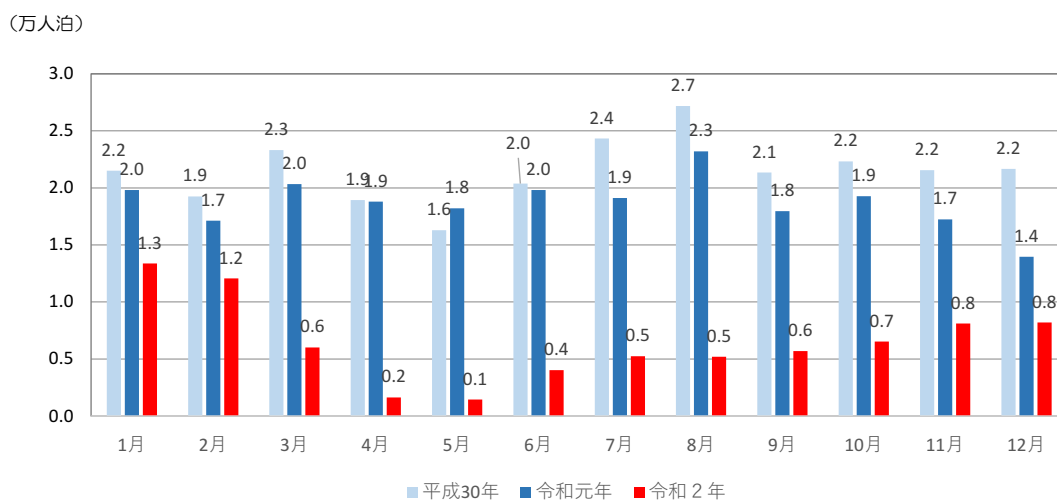


【沖縄県における観光客入込客数の月別推移】

出典：入域観光客統計概況（沖縄県）

⑤沖縄市における延べ宿泊者数の月別推移比較（平成30年～令和2年）

- 継続的に取得している市内宿泊施設（6施設）を対象にみると県全体の傾向と同様に前年2カ年（平成30年、令和元年）と比較すると大きく減少している。
- 7月以降は横ばい基調だが依然として厳しい状況が続いている。



【沖縄市における延べ宿泊者数の月別推移】

出典：宿泊統計調査（沖縄市）

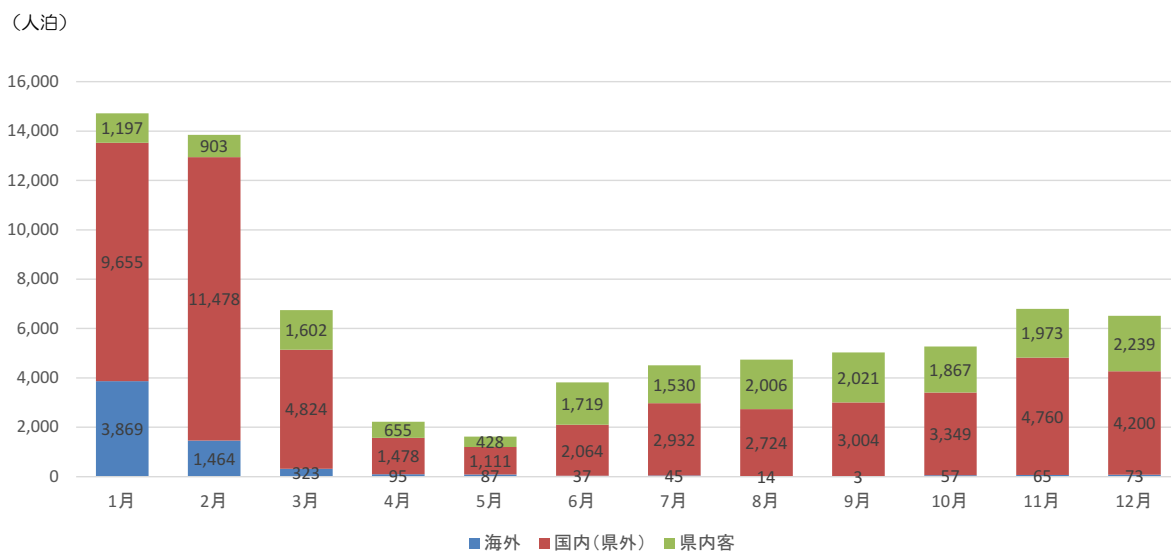
⑥沖縄市内における延べ宿泊者数の居住地別の月別推移

○昨年度より居住地を含めて取得している 4 施設を対象にみると、令和 2 年の沖縄市の県内・県外・海外の宿泊者の推移をみると、県内客は 4 月、5 月は減少するが 6 月以降は一定数（1,700～2,000 人泊）を推移している。

※④は居住地把握を実施していない宿泊施設も総計に含まれているため、⑤の結果と一致しない。

○県外客は沖縄県の動向と同様に 3 月以降大きく減少している。

○海外客については皆減の状態が続いている。



【沖縄市内における延べ宿泊者数の居住地別の月別推移】

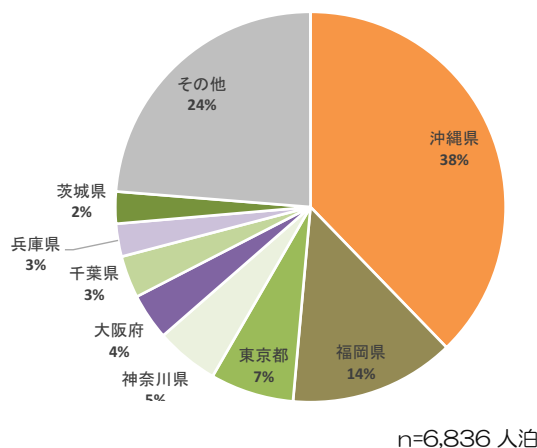
出典：宿泊統計調査（沖縄市）

⑦沖繩市内延べ宿泊者の居住地別の割合（4～6月／7～9月の2期間を令和元年と比較）

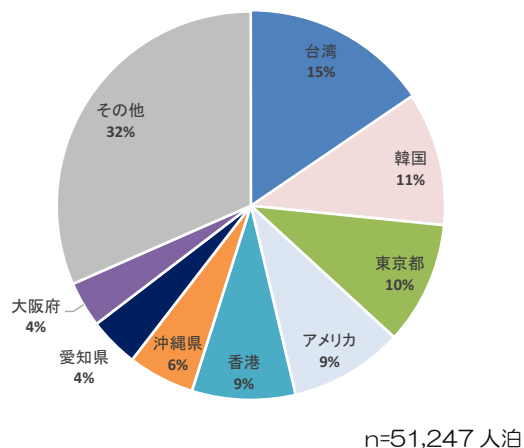
○第1回緊急事態宣言期間を含む4-6月とみると、令和元年では台湾、韓国等の海外客が主要であるのに対し、令和2年の海外客は大幅減（ほぼ皆減）となっている。県外も同様に大幅減となり、沖縄県の割合が増加している。（沖縄県はほぼ一定）

○東京は渡航自粛のため福岡が首位となっている。

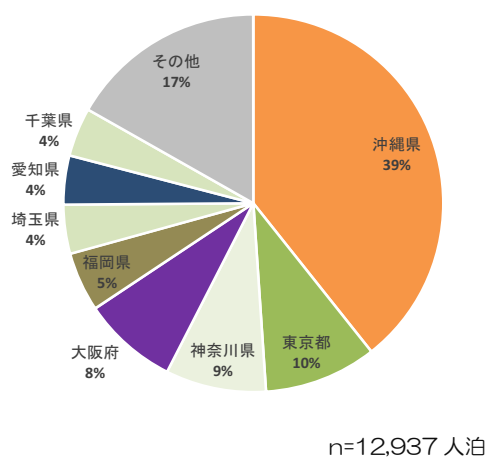
○7-9月でみると、令和2年の県外客は全体的に増加している。沖縄県は県内外の需要喚起策の影響のため増加している。



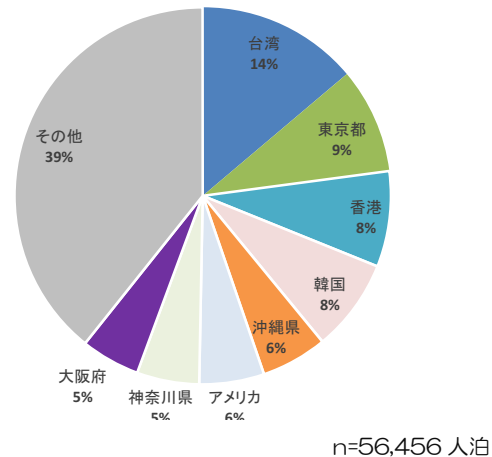
【市内宿泊者の居住地割合
（令和2年4-6月）】



【市内宿泊者の居住地割合
（令和元年4-6月）】



【市内宿泊者の居住地割合
（令和2年7-9月）】

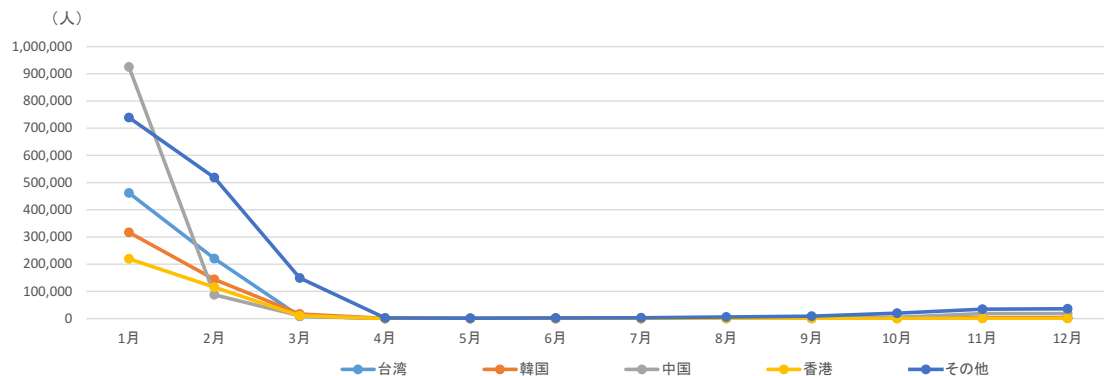


【市内宿泊者の居住地割合
（令和元年7-9月）】

出典：宿泊統計調査（沖縄市）

⑧外国人観光客数の国籍別の月別推移（令和2年）

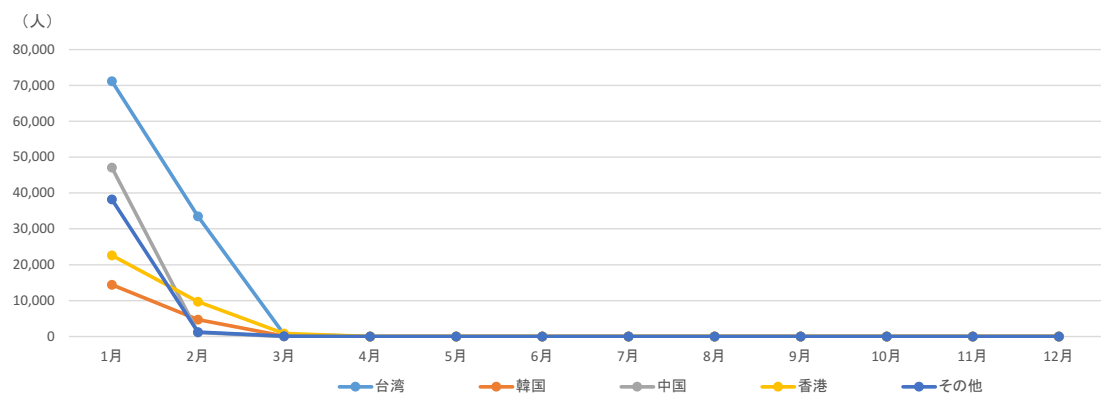
○新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年1月より各国にて渡航制限処置がとられたため、国、県、市のいずれにおいても3月以降は皆減となっている。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
台湾	461,239	220,420	7,700	337	8	45	102	448	767	1,258	1,177	1,000	694,500
韓国	316,812	143,896	16,669	299	18	122	294	749	1,426	2,021	2,825	2,800	487,900
中国	924,790	87,220	10,365	163	25	334	785	1,606	2,954	4,502	18,147	18,400	1,069,300
香港	219,358	115,613	9,917	14	1	7	19	41	89	221	453	300	346,000
その他	738,823	517,998	149,007	2,104	1,611	2,057	2,582	5,814	8,448	19,384	34,071	36,200	1,518,200
合計	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,700	4,115,900

【日本国全体における外国人観光客数（国籍別）の月別推移（令和2年）】

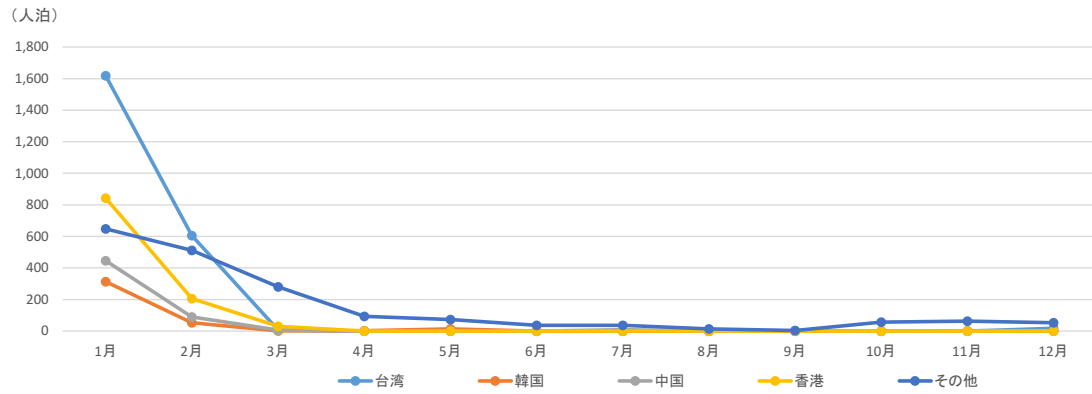
出典：国籍／月別 訪日外客数（JNTO）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
台湾	71,200	33,500	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105,300
韓国	14,400	4,700	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,200
中国	47,100	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48,200
香港	22,600	9,700	800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,100
その他	38,200	1,200	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39,490
合計	193,500	50,200	1,590	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245,290

【沖縄県における外国人観光客数（国籍別）の月別推移（令和2年）】

出典：観光要覧（沖縄県）



(単位:人泊)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
台湾	1,619	605	6	0	0	0	0	0	0	0	0	18	2,248
韓国	313	53	1	2	14	0	0	0	0	0	2	0	385
中国	446	89	6	0	0	0	9	0	0	0	0	2	552
香港	843	206	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,079
その他	648	511	280	93	73	37	36	14	3	57	63	53	1,868
合計	3,869	1,464	323	95	87	37	45	14	3	57	65	73	6,132

【沖縄市における市内延べ宿泊者数のうち外国籍の月別推移（令和2年）】

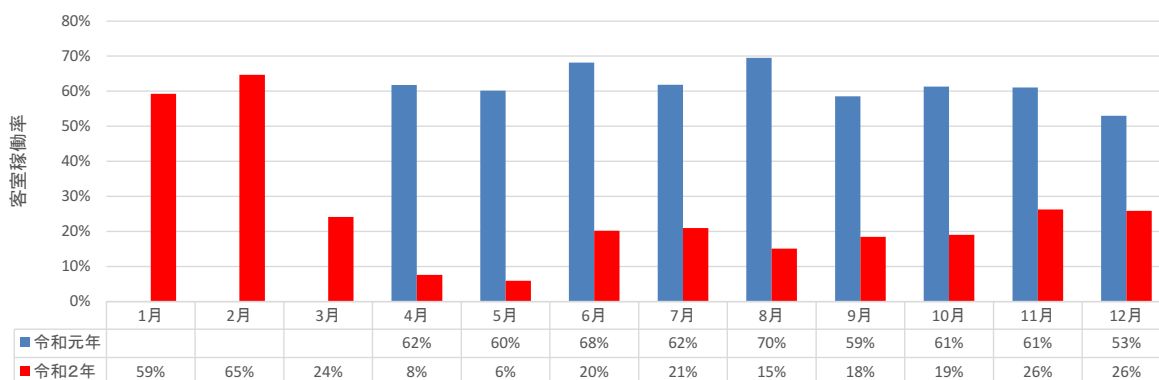
出典：宿泊統計調査（沖縄市）

⑨沖縄市の月別の客室稼働率および定員稼働率

○令和2年の沖縄市の月別の客室稼働率をみると2月が65%と最も高いが、3月以降30%台まで低下している。その後、一度目の緊急事態発令期間である4~5月の期間は10%を下回る状況であった。その後、6月以降は微増し、26%の稼働率となっている。

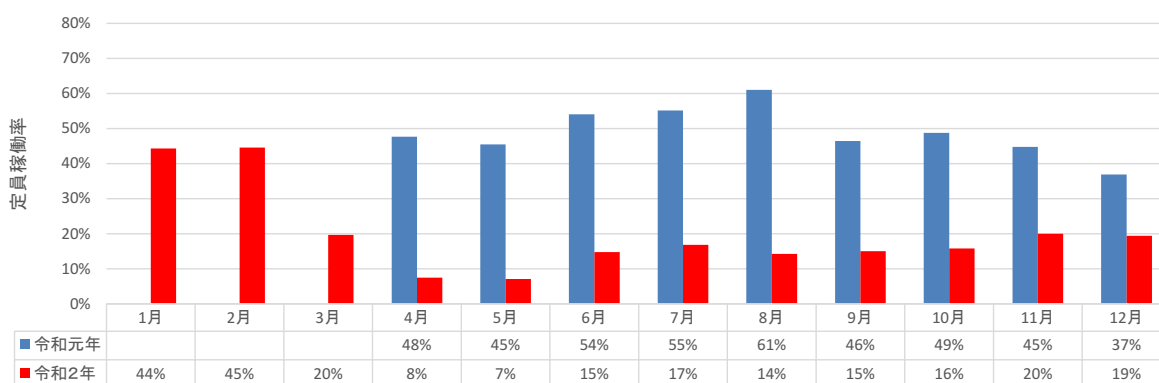
○定員稼働率についても3月以降大幅に減少しており、その後、微増し12月時点で19%となっている。

※月別の客室稼働率、定員稼働率は令和元年4月より取得しているため、令和元年1月から3月は未集計となっている。



【沖縄市における月別の客室稼働率の推移】

出典：宿泊統計調査（沖縄市）



【沖縄市における月別の定員稼働率の推移】

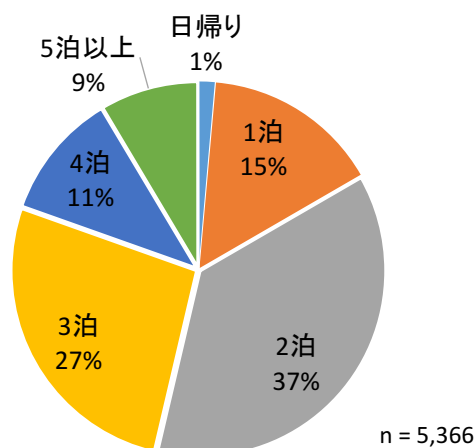
出典：宿泊統計調査（沖縄市）

⑩観光客の滞在日数

○令和元年の国内客の滞在日数をみると沖縄県では1泊が1.5割であり、2～3泊が約6割を占めている。

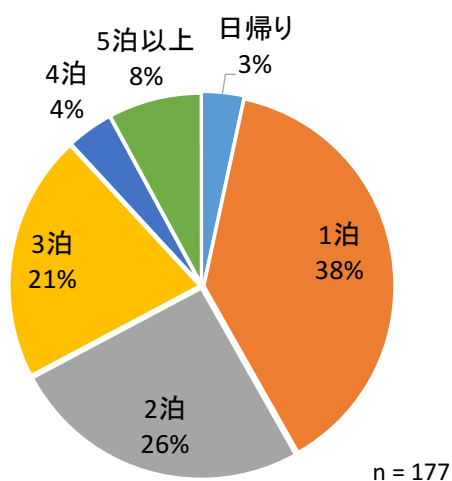
○令和元年度の沖縄市における国内客は1泊が最も多く、38%を占めている。令和2年度に沖縄市に訪れた国内客は日帰りが26%、1泊が27%となっている。

※なお、令和元年のWEBアンケート調査は宿泊者のみ令和2年は観光施設来訪者も含めていることに留意。そのため、令和2年度調査では日帰りの割合が増加している。



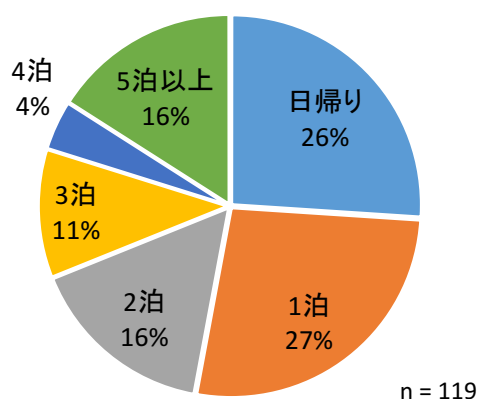
【沖縄県に訪れた国内客の滞在日数（令和元年度）】

出典：令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）



【沖縄市に訪れた国内客の滞在日数（令和元年度）】

出典：令和元年度WEBアンケート調査（沖縄市）



【沖縄市に訪れた国内客の滞在日数（令和2年度）】

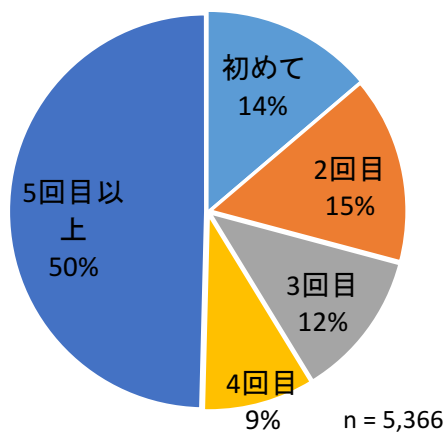
出典：令和2年度WEBアンケート調査（沖縄市）

⑪観光客の来訪回数

○令和元年度の沖縄県全体の国内客（県外客）は8割が2回目以上の来訪であり、約半数が5回以上の来訪経験がある。国外客については約7割が初回来訪者である。

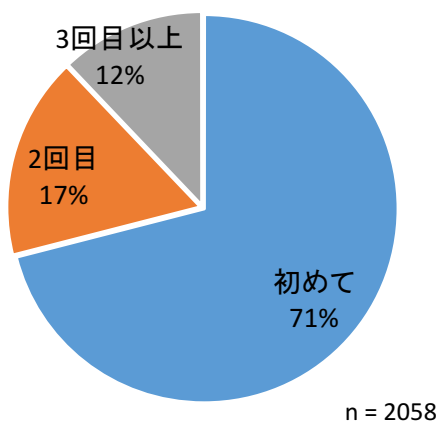
○令和元年度の沖縄市の初回来訪者数は約4割だが、令和2年度調査では13%に減少しており、2回目以上の来訪者の割合が増加している。

■沖縄県に訪れた観光客の来訪回数の内訳



【国内客（令和元年度）】

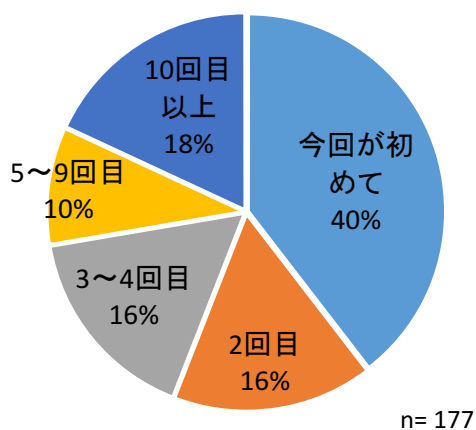
出典：令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）



【国外客（令和元年度）】

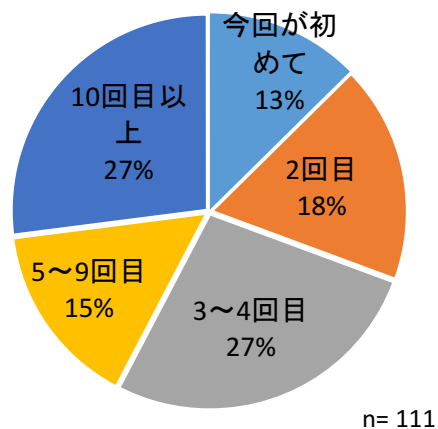
令和元年度外国人観光客実態調査（沖縄県）
※「国外客」は空路調査の結果をもとに整理

■沖縄市に訪れた観光客の来訪回数内訳



【国内客（令和元年度）】

出典：令和2年度WEBアンケート調査（沖縄市）

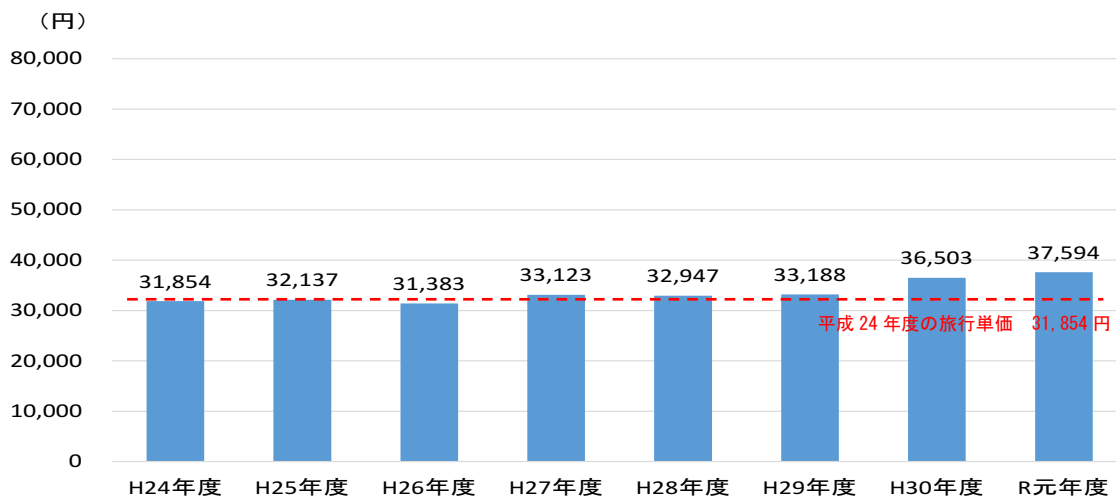


【国内客（令和2年度）】

出典：令和2年度WEBアンケート調査（沖縄市）

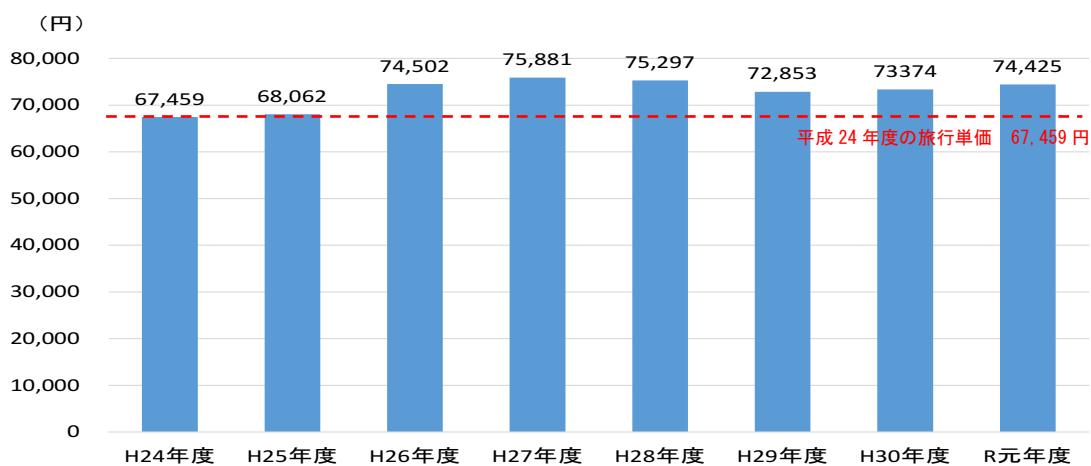
⑫観光消費額の推移

○国内全体（日本における旅行者全体）の一人あたりの旅行単価は平成24年度より約6千円程度の増加。沖縄県に訪れる旅行者の一人当たりの旅行単価は約7千円程度の増加。



【日本国内における観光客一人あたりの旅行単価（平成24年度～令和元年度）】

出典：旅行・観光消費動向調査（観光庁） ※月別データの結果をもとに整理



【沖縄県における観光客一人あたりの旅行単価（平成24年度～令和元年度）】

出典：観光統計実態調査（沖縄県）

○平成 30 年度、令和 2 年度の市内における県内・県外客別の購入者割合、平均消費額を以下に示す。各費目の平均消費金額は、各費目における 1 円以上の購入者のひとりあたりの平均値を示す。また、市内総消費単価とは、市内における 1 円以上の購入者のひとりあたりの消費金額合計の平均値を示す。そのため、各費目の平均消費金額の合計と市内総消費単価は一致しない。

○購入者割合は、市内にて 1 円以上の購入者（サンプル数）を母数として、各費目の購入者の割合を示す。（例：平成 30 年度の県内客の宿泊代は、市内にて 1 円以上購入した方（110サンプル）のうち 4%の方が購入）

○沖縄市の令和 2 年度は、平成 30 年度より県外客については約 1 万円程度の増加。
⇒GOTO トラベル等の活用、ビジネス層の割合が増加したためと推察

【平成30年度】（ハイシーズン）

費目	購入者割合		平均消費額	
	県内	県外	県内	県外
宿泊代	4%	49%	5,200円	17,665円
交通費	31%	60%	1,289円	8,284円
食事代	71%	89%	1,394円	7,145円
お酒・ナイトエンターテイメント	5%	44%	6,160円	7,627円
お土産・買い物代	35%	64%	3,742円	5,207円
施設入場料、レジャー・体験料、その他	42%	43%	1,108円	3,166円
市内総消費単価	—		3,646円	28,050円

【令和 2 年度】 ※GO TO 適用後

費目	購入者割合		平均消費額	
	県内	県外	県内	県外
宿泊代	35%	52%	6,364円	19,837円
交通費	11%	39%	2,073円	20,974円
食事代	64%	84%	2,809円	9,169円
お酒・ナイトエンターテイメント	28%	42%	4,623円	9,516円
お土産・買い物代	41%	65%	4,174円	8,278円
施設入場料、レジャー・体験料、その他	66%	47%	1,895円	5,248円
市内総消費単価	—		8,500円	38,093円

（平成 30 年度 県内：110 サンプル、県外：122 サンプル） （令和 2 年度 県内：115 サンプル、県外：103 サンプル）

【沖縄市における観光客一人あたりの旅行単価（平成 30 年度／令和 2 年度比較）】

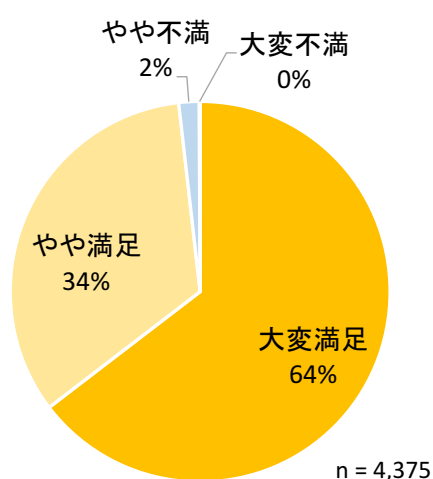
出典：平成 30 年度アンケート調査（沖縄市）、令和 2 年度 WEB アンケート調査（沖縄市）

⑬観光客の満足度

○令和元年度の沖縄県の国内客は「大変満足」もしくは「やや満足」は 98%。国外客については、「大変満足」もしくは「満足」は 90%であった。

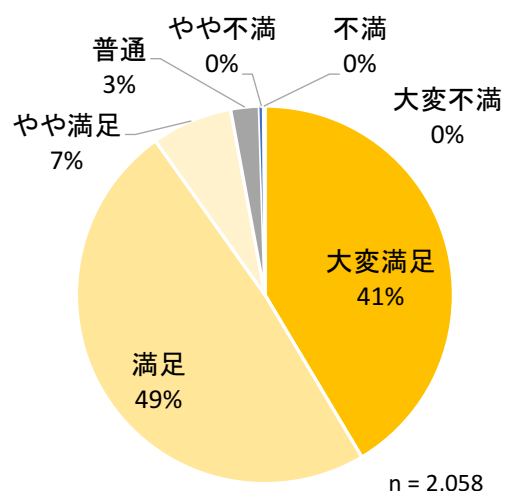
○令和元年度の沖縄市の国内客は「大変満足」が 49%であり、「やや不満」が 15%であった。令和 2 年度の沖縄市の国内客は「大変満足」が 40%と減少し、「やや不満」についても 1%に減少している。（「ほぼ満足」が 28%（令和元年度）から 50%（令和 2 年度）に増加している。）

■沖縄県における観光客の満足度の割合



【国内客（令和元年度）】

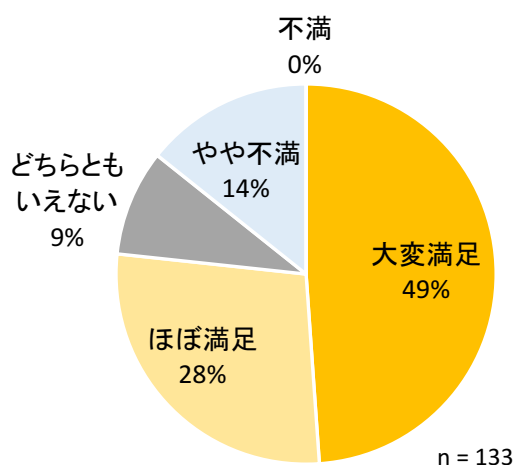
出典：令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）



【国外客（令和元年度）】

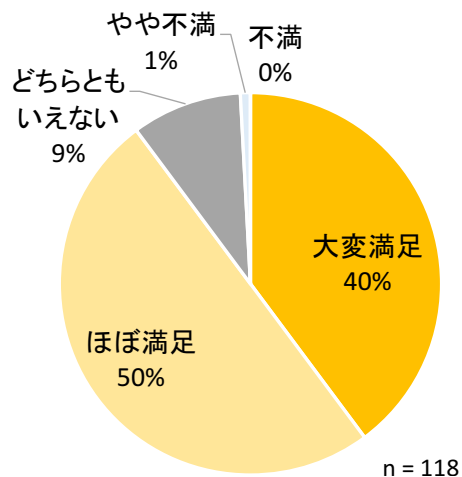
令和元年度外国人観光客実態調査（沖縄県）
※「国外客」は空路調査の結果をもとに整理

■沖縄市における観光客の満足度の割合



【国内客（令和元年度）】

出典：令和元年度 WEB アンケート調査（沖縄市）



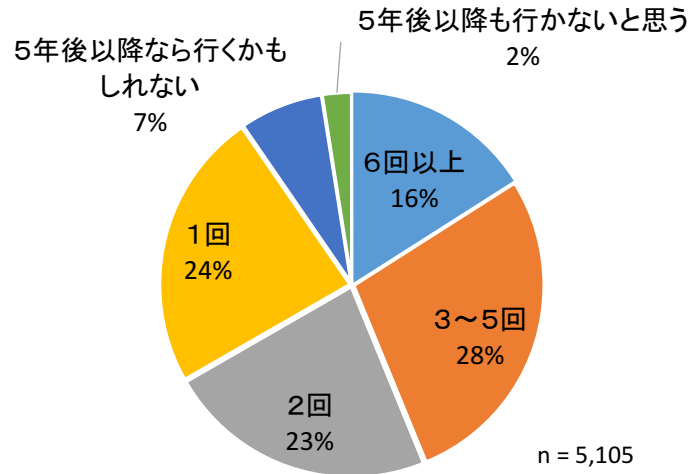
【国内客（令和 2 年度）】

出典：令和 2 年度 WEB アンケート調査（沖縄市）

⑭観光客の再訪意向

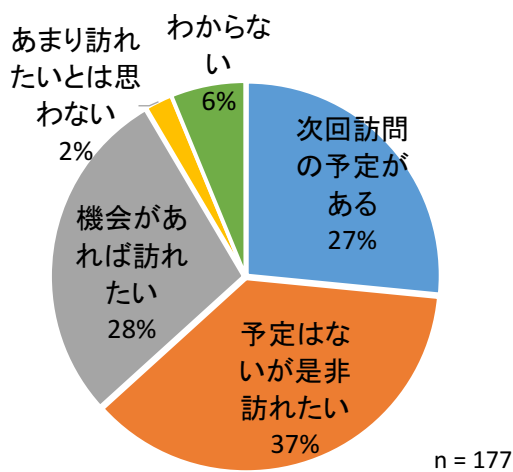
○沖縄県の国内客について、今後5年間に1回以上の再訪意向がある割合は91%。
○沖縄市の来訪客は、再訪意向がある割合は98%。

■沖縄県に訪れた観光客の今後5年間の再訪意向 ※国内客



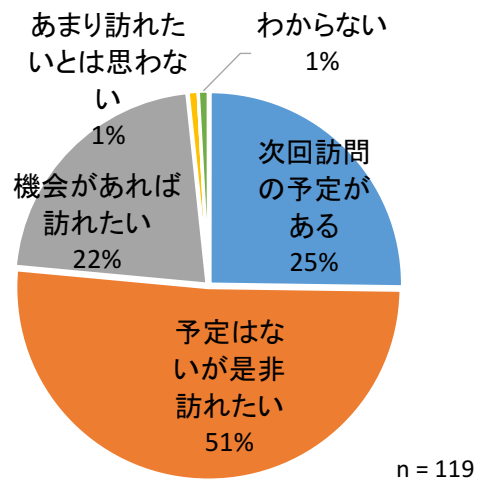
出典：令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）

■沖縄市に訪れた観光客の再訪意向



【国内客（令和元年度）】

出典：令和元年度 WEB アンケート調査（沖縄市）



【国内客（令和2年度）】

出典：令和2年度 WEB アンケート調査（沖縄市）

2-2. データ分析（携帯 GPS 調査）

沖縄市に来訪する国内県外出身の観光客の発地場所、旅程、宿泊地、滞在時間、周遊ルート等を携帯位置情報データより把握し、マーケティングに資する分析を実施した。

具体的には、携帯端末の位置情報データから沖縄市内に 30 分以上滞在した来訪者のデータを抽出し、来訪者の属性や行動の特性を把握した。また、調査期間及び市内の観光エリア（10 箇所）を設定することで、来訪時期や来訪場所による傾向の分析を行った。

【データ分析（携帯 GPS 調査）の実施項目】

調査対象	○沖縄市内に 30 分以上滞在した国内県外居住者 ⇒ 市内居住者・通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞行者、長期滞行者及び高頻度滞行者は除外
調査方法	OKDDI が au スマートフォンユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できないように加工した、位置情報データ及び属性情報等を利用して分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	○平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日 ※以下、4 つの期間を設定し、対象期間内の詳細な分析を実施 期間 1：平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 6 月 30 日 期間 2：令和元年 7 月 1 日～令和元年 9 月 30 日 期間 3：令和元年 10 月 1 日～令和元年 12 月 31 日 期間 4：令和 2 年 1 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
対象データ数	2,378 人（日帰り：25 人、宿泊：2,353 人）
分析項目	①属性分析：性別・年齢層ごとの来訪者数 ②発地分析：発地（都道府県、市区町村）ごとの来訪者数 ③立寄り分析：市区町村ごと、250m メッシュごとの立寄り比率 ④旅程分析：旅程別の来訪者数、宿泊場所区分別の宿泊人泊数 ⑤宿泊地分析：市区町村ごとの宿泊人泊数 ⑥昼間滞在時間分析：昼間の滞在時間 ※沖縄市内全体（250m メッシュ）、観光エリア（10m メッシュ）ごとに分析を実施
観光エリア	①県総合運動公園/②コザ運動公園/③沖縄こどもの国/④東南植物楽園/ ⑤プラザハウス/⑥一番街/⑦中の町/⑧グランメール/ ⑨北谷アメリカンビレッジ/⑩沖縄イオンモールライカム

◆データ分析（携帯 GPS 調査）の構成

次頁以降の携帯 GPS 調査の構成を以下に示す。

前提条件	29P
・前提条件	29P
・前提条件 -沖縄市内観光エリア-	32P
サマリー	42P
・沖縄市全体サマリー	43P
・市内各観光エリアサマリー	44P
沖縄市来訪者の基礎集計	54P
・沖縄市来訪者数	55P
・属性分析	56P
・発地分析	57P
・滞在メッシュヒートマップ	61P
・立ち寄り分析	63P
・旅程分析	65P
・宿泊地分析	66P
・発地都道府県別 域内泊数分解分析	71P
観光エリア分析	72P
・観光エリア別 来訪者数・来訪率	73P
・観光エリア別 属性分析	74P
・観光エリア別 発地分析	76P
・観光エリア別 周遊箇所数分析	82P
・観光エリア別 周遊分析	83P
・観光エリア別 旅程分析	86P
・観光エリア別 域内泊数分解分析	87P
・観光エリア別 昼間滞在時間分析	89P
Appendix(参考付録)	90P
・発地分析	91P
・発地都道府県別 域内泊数分解分析	95P
・観光エリア別 発地分析	96P

調査目的

【沖縄市】に來訪した人（日帰り・宿泊）の観光動態調査。
 沖縄市來訪者の全体傾向の把握（基礎集計）、および観光エリア単位の來訪者特徴の分析（観光エリア分析）

調査対象

沖縄市内に30分以上滞在した人。
 ただし、沖縄県居住者、沖縄市通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞在者、長期旅程者、および高頻度來訪者を除外。
 また、生活圏のデータは除外しております。

調査方法

KDDIがスマートフォンユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できないように加工した位置情報データおよび属性情報（性別・年齢層）等を利用

調査期間

2019年4月1日～2020年3月31日
 期間1：2019年4月1日～2019年6月30日
 期間2：2019年7月1日～2019年9月30日
 期間3：2019年10月1日～2019年12月31日
 期間4：2020年1月1日～2020年3月31日

※但し、期間内に出発し、期間終了後7日経過前に帰着したデータを含む

調査対象ユーザー数（ウエイトバック補正後）

2,378人(内 日帰り者 25人 宿泊者 2,353人)

ウエイトバック補正

KDDI許諾者数の変動及び、性年齢層の偏りのウエイトバック補正処理を各月で実施しております。

*KDDI許諾者数の変動は対象期間のKDDI許諾者数から、対象月の補正値を算出。

*性年齢層別の偏りは、最新の人口統計（平成27年国勢調査）を用いて補正値を算出。

※資料上の來訪者数は、小数点第一位以下を四捨五入した後の数値を表記しております。
 そのため、資料上の來訪者数を単純合計した値と資料上に表記されている合計來訪者数に微差が発生する場合があります。
 來訪者数に小数点以下の数値が出現することはウエイトバック補正処理に起因します。

分析定義

判定	
来訪平日判定	旅程に1日でも休日が含まれていたら休日来訪者、旅程の全ての日が平日なら平日来訪者とする。
宿泊地判定	22時～翌日8時の間に最も長く滞在した場所を宿泊市区町村とする。但し、滞在時間が1時間未満の場合は不明とする。
宿泊場所区分判定	沖縄市内での宿泊を域内泊、沖縄市外での宿泊を域外泊とする。
昼間判定	9時00分～20時59分の間に滞在した来訪者を対象とする。
立寄り市区町村判定	旅程内に30分以上滞在した市区町村を立寄り市区町村とする。
観光エリア来訪判定	沖縄市内の10つの観光エリアに対して、各観光エリアに15分以上滞在した人を来訪者とする。

集計数値

滞在時間	沖縄市来訪者及び観光エリア来訪者の平均滞在時間
平均周遊箇所数	沖縄市来訪者が観光エリアを周遊した平均箇所数
秘匿処理	来訪者数が少ない区分は、プライバシー保護の観点からブランクもしくは「****」と表示する

区分

	北海道
	北海道
	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
地域	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
属性	男性、女性
	年齢層
	15～29歳、30～39歳、40～49歳、50歳～
来訪旅程	日帰り、宿泊（1泊、2泊以上）
宿泊場所	域内泊、域外泊
観光エリア	P6～15を参照

分析内容

基礎集計

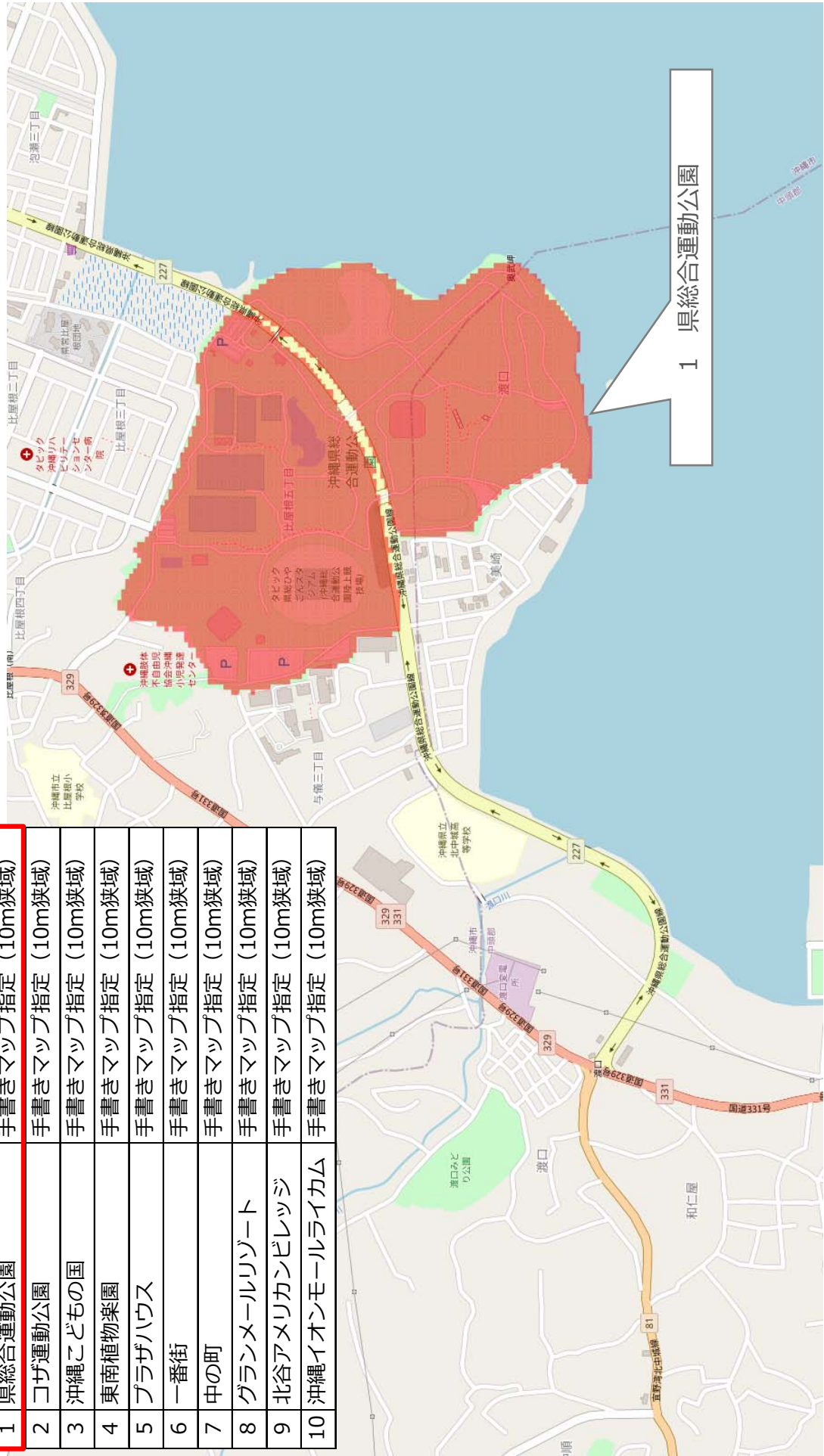
属性分析	性別・年齢層ごとの来訪者数を算出
発地分析	発地地域・都道府県・市区町村ごとの来訪者数を算出
立寄り分析	市区町村ごと・250mメッシュごとに立寄り比率を算出
旅程分析	旅程別の来訪者数 及び 宿泊場所区分別の宿泊人泊数を算出
宿泊地分析	市区町村ごとに宿泊人泊数を算出
昼間滞在時間分析	昼間の滞在時間を算出

観光エリア分析

観光エリア別	性別・年齢層ごとの来訪者数を算出
属性分析	性別・年齢層ごとの来訪者数を算出
発地分析	発地地域・都道府県・市区町村ごとの来訪者数を算出
周遊箇所数分析	平均周遊箇所数を算出
周遊分析	観光エリア間の周遊をルートごとに性別・年齢層ごとの周遊者数を算出
旅程分析	旅程別の来訪者数 及び 宿泊場所区分別の宿泊人泊数を算出
域内泊数分解分析	域内泊数を各指標により分解
昼間滞在時間分析	昼間の滞在時間を算出

前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

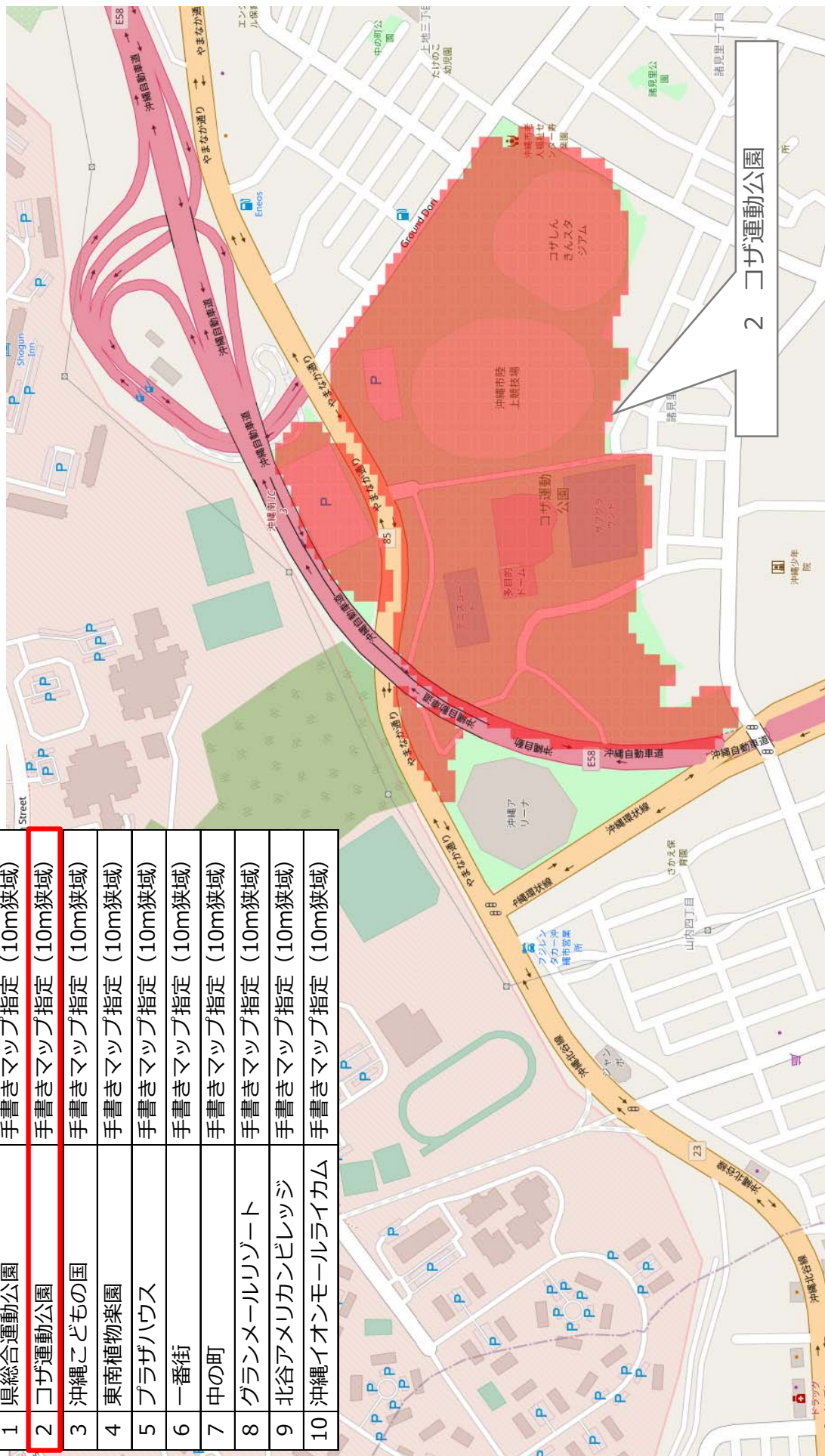
No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメルリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -



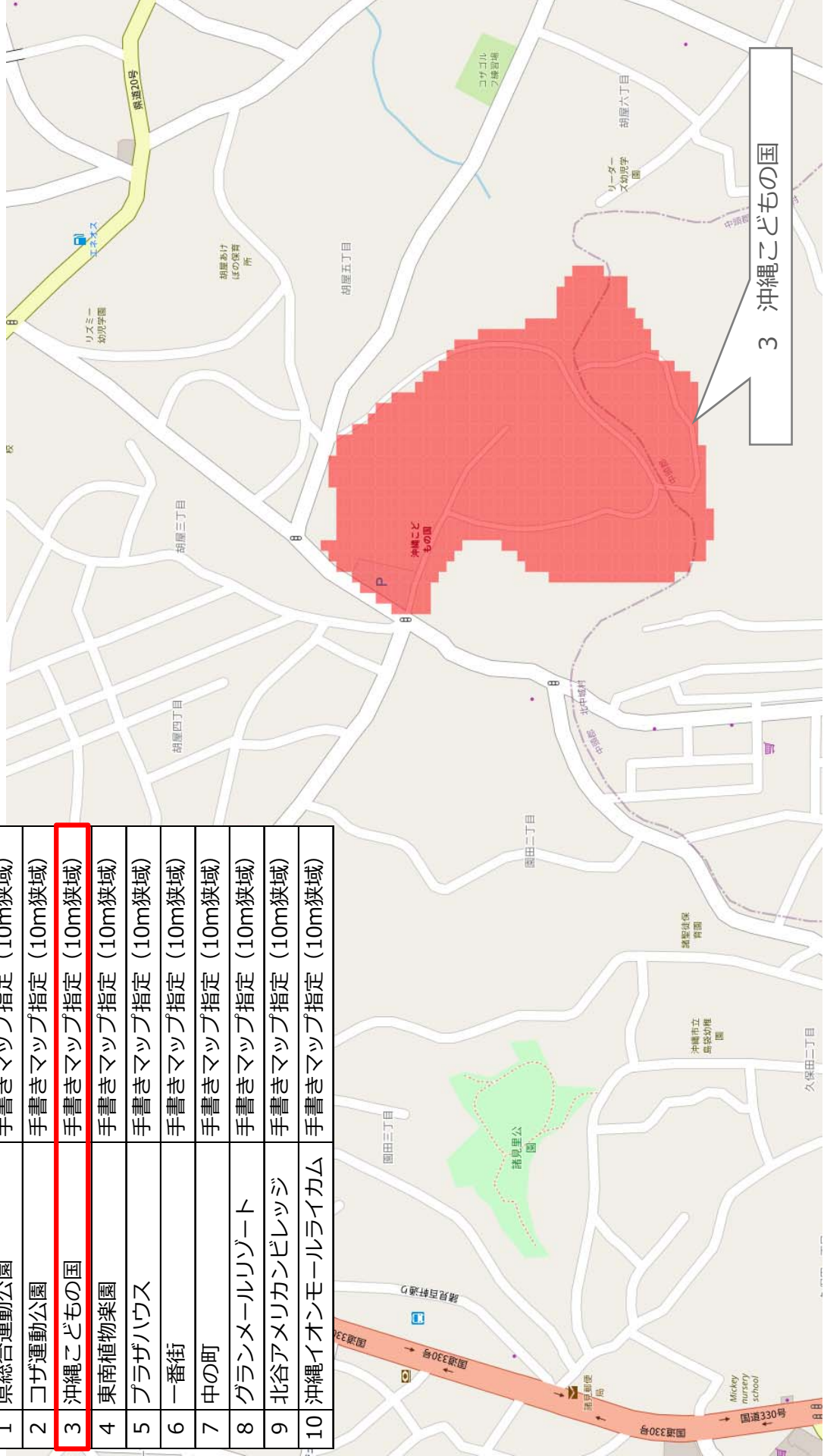
No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメルリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

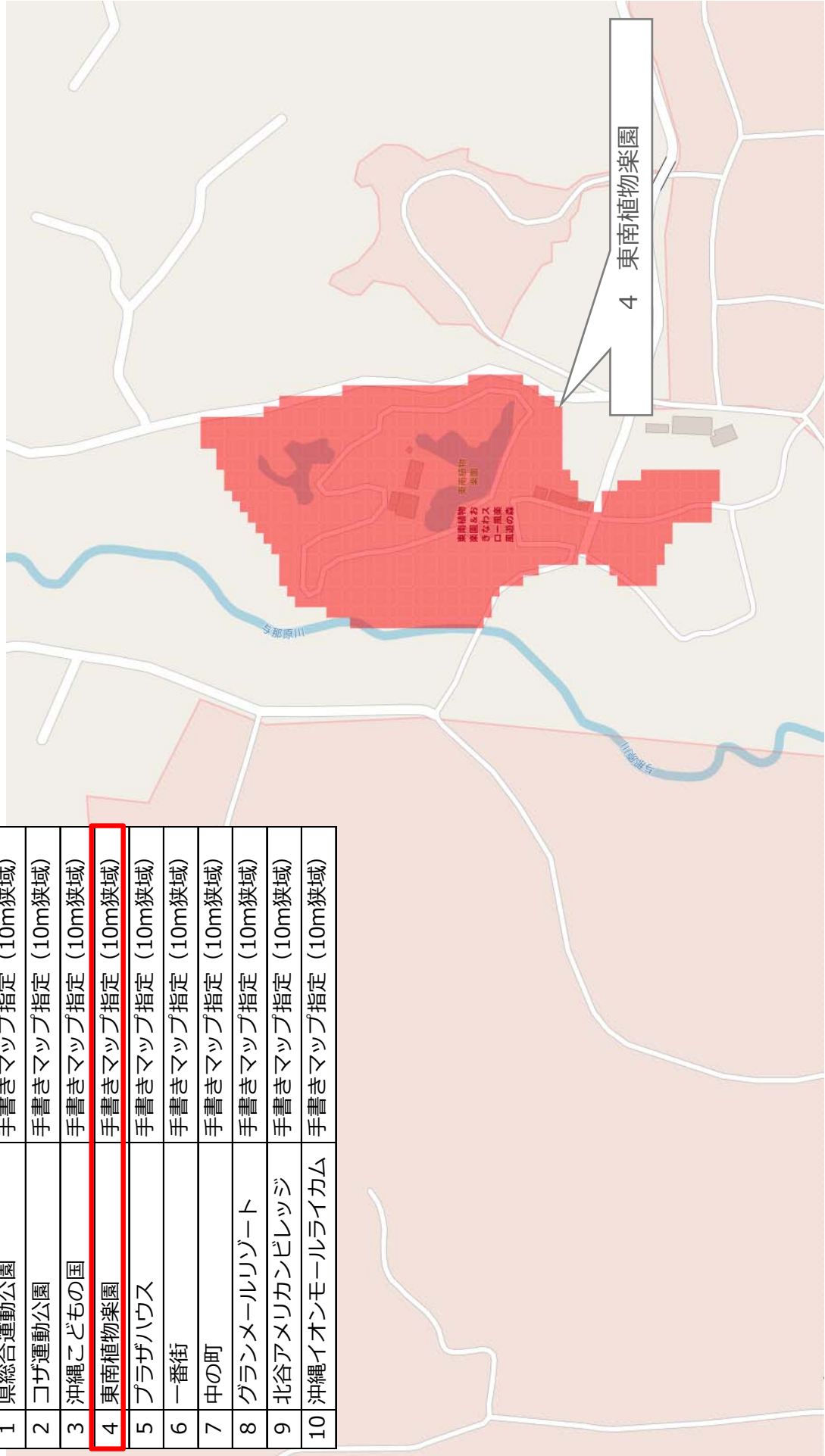


No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメルリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



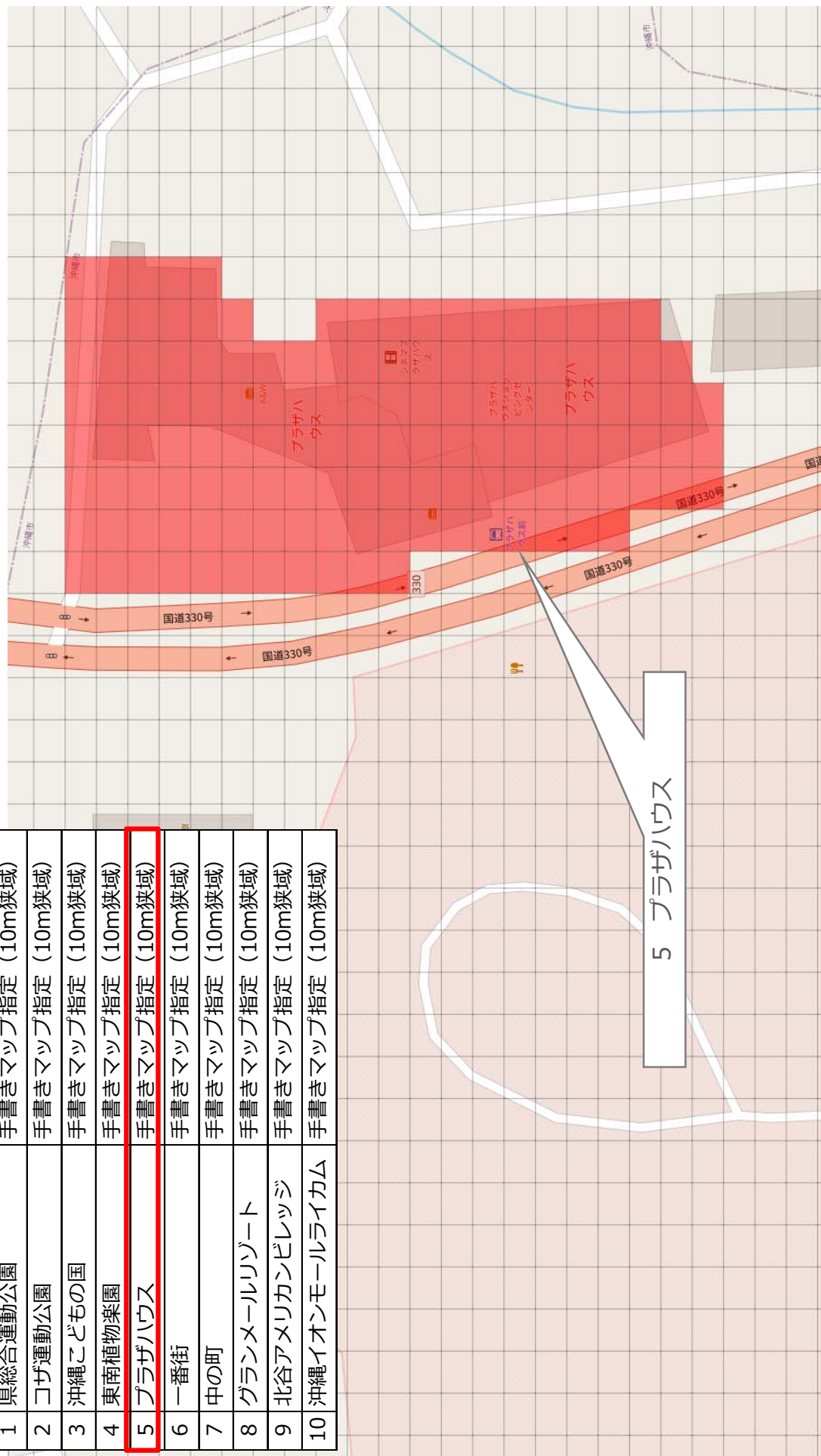
前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメーブルリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア-

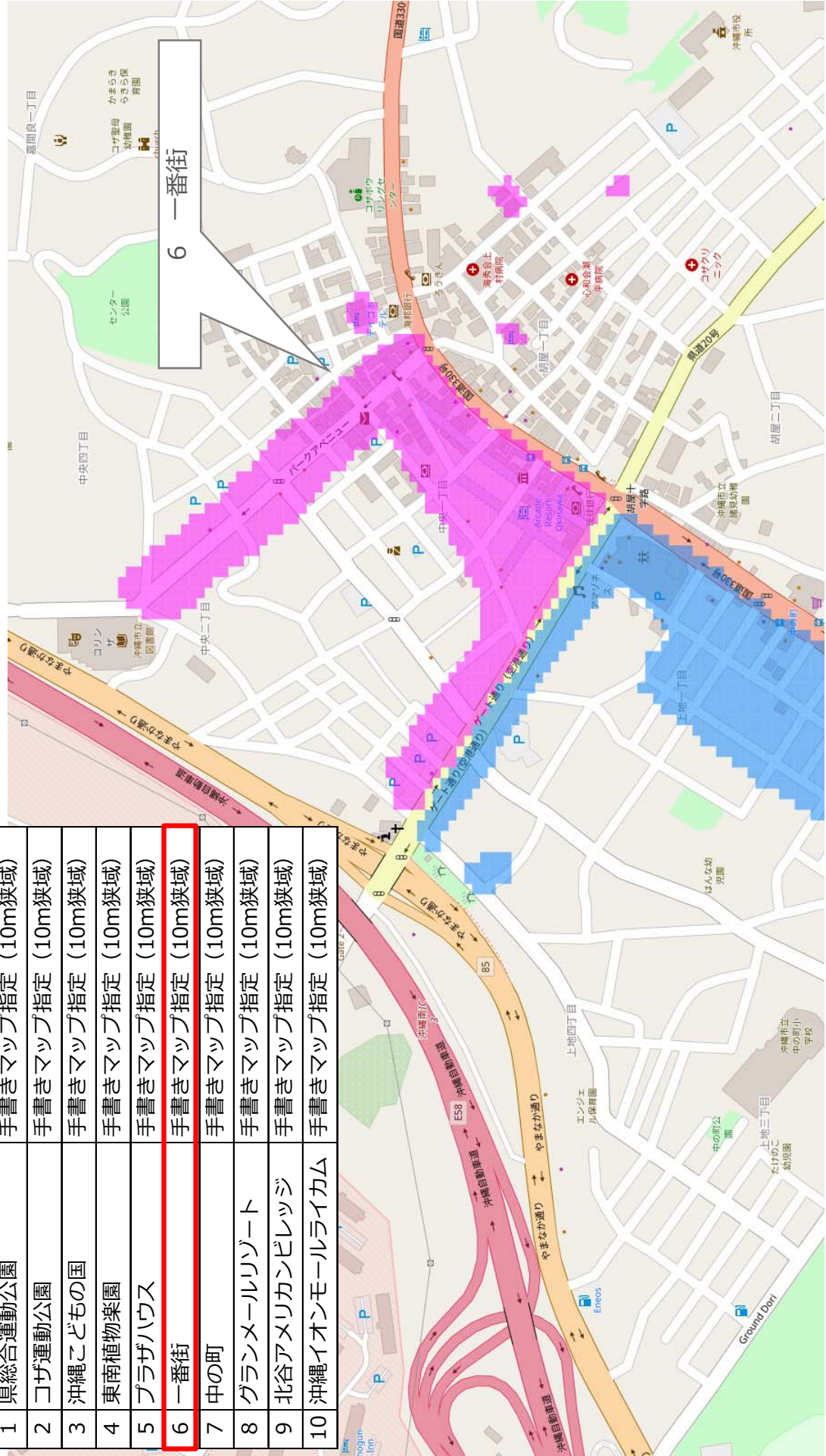
No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	ブラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメーブルリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -



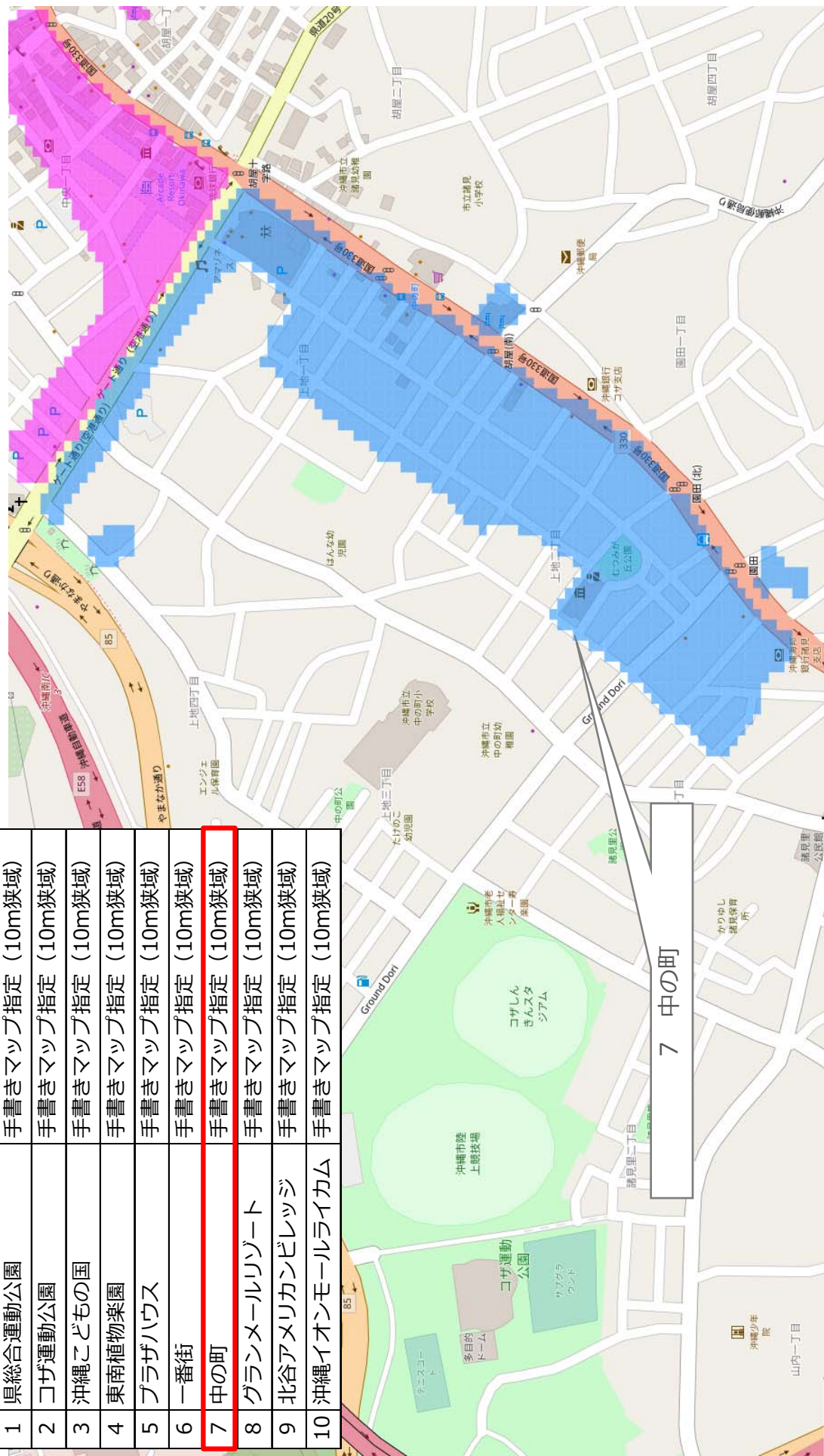
No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメルリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

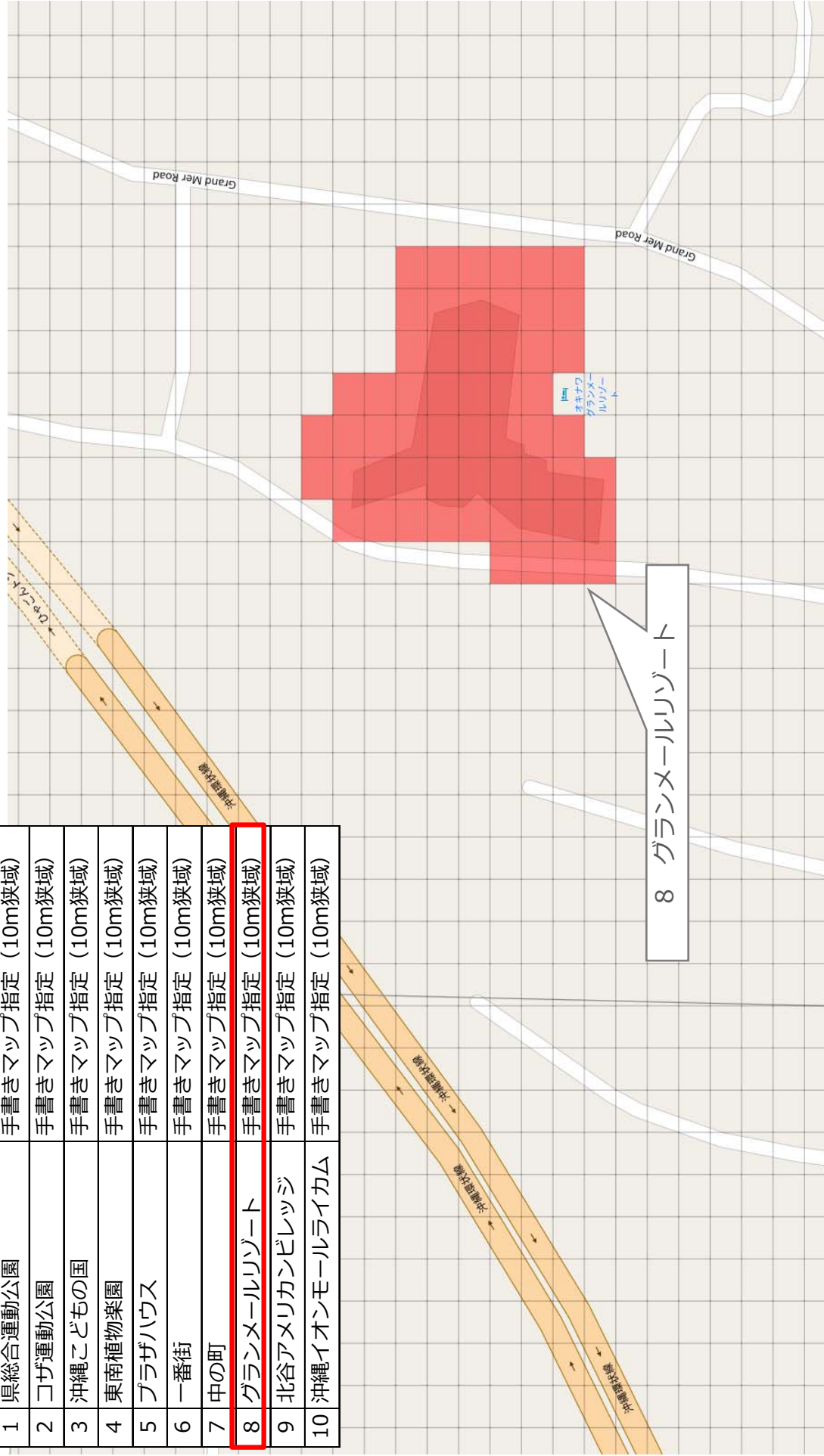


No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖繩市内観光エリア-

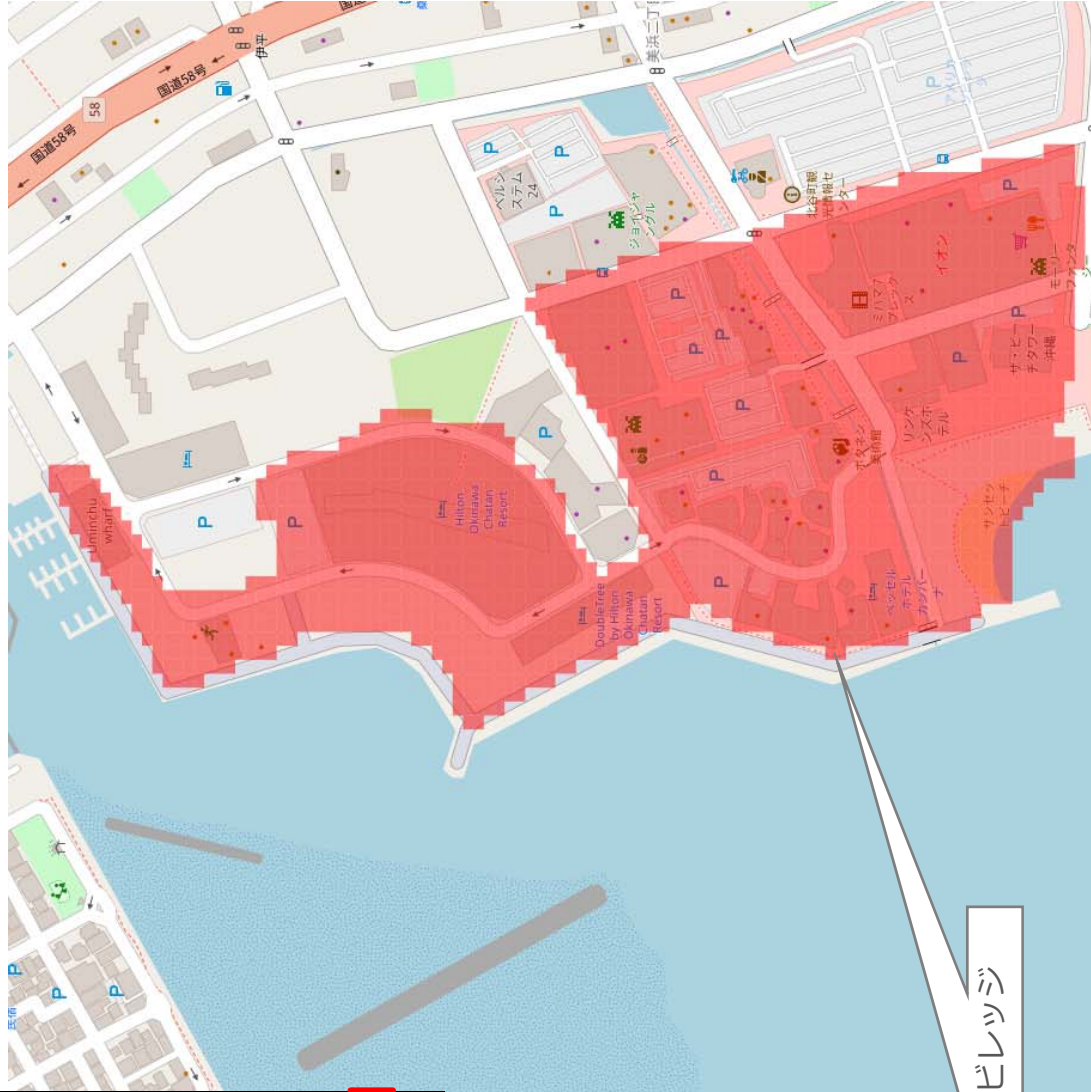
No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア-



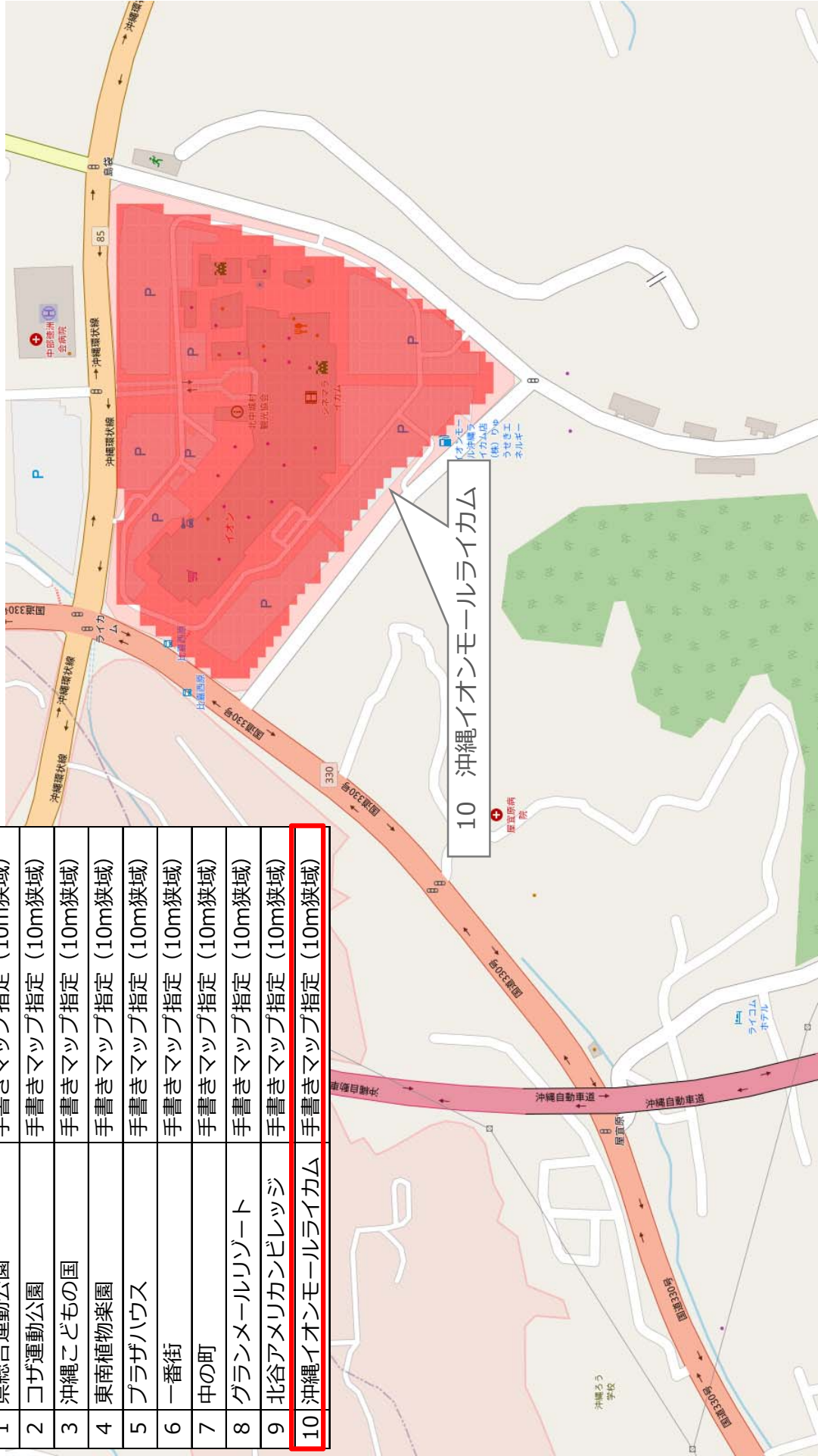
No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメーブルリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモラルライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



9 北谷アメリカンビレッジ

前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメーリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



サマリー

沖縄市の全体来訪者は2,378人。来訪者の属性は男性が52.8%、年齢層別では50歳以上が32.6%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が12.7%で最も多く、市区町村別では埼玉県川口市、福岡県福岡市博多区、東京都大田区が多い。沖縄市来訪者の約92%が2泊以上の旅行者。宿泊旅程のうち域内（＝沖縄市内）宿泊率は15.8%。8割以上が沖縄市外へ宿泊流出している。宿泊地は那覇市が最も多く、約30%。ついで沖縄市、国頭郡恩納村が多い。立寄り市区町村は那覇市について、国頭郡恩納村、国頭郡本部町への立ち寄りが多い。観光エリアは「北谷アメリカンビレッジ」「沖縄イオンモールライカム」「中の町」への来訪率が高い。2箇所以上の観光エリア来訪率は25.3%。周遊ルートは「一番街 ⇄ 中の町」が多い。

全体来訪者	
	2,378人

属性把握		誰が どこから来訪しているのか	
属性		属性	
男性	15～29歳	52.8%	
	30～39歳	11.3%	
	40～49歳	12.5%	
	50歳以上	11.8%	
女性	15～29歳	17.3%	
	30～39歳	47.2%	
	40～49歳	12.6%	
	50歳以上	11.2%	
発地		発地	
順位	都道府県名	構成比	
1	東京都	12.7%	
2	神奈川県	9.1%	
3	福岡県	8.9%	
4	大阪府	8.2%	
5	埼玉県	7.7%	
順位	市区町村名	構成比	
1	埼玉県川口市	2.2%	
2	福岡県福岡市博多区	1.7%	
3	東京都大田区	1.1%	
4	神奈川県横浜市鶴見区	1.0%	
5	東京都練馬区	1.0%	

宿泊傾向把握		どこに滞在し、どこに宿泊しているのか	
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）	
日帰り率	1.0%	域内宿泊	域外宿泊
1泊率	7.0%	域内宿泊率	域外宿泊率
2泊以上率	92.0%	市区町村名	市区町村名
平均泊数	3.00	順位	順位
		1 沖縄市	1 那覇市
		2 国頭郡恩納村	2 国頭郡恩納村
		3 国頭郡本部町	3 中頭郡北谷町
		4 大田区	4 うるま市
		5 名護市	5 名護市
			宿泊率
			84.2%
			29.7%
			11.1%
			5.3%
			5.3%
			5.0%

滞在・周遊傾向把握		どこに滞在し、どこを周遊しているのか	
立寄り		観光エリア	
順位	市区町村名	立寄り率	観光エリア名
1	那覇市	97.5%	いずれかの観光エリア来訪率
2	国頭郡恩納村	34.5%	64.8%
3	国頭郡本部町	34.1%	来訪率
4	大田区	33.8%	26.2%
5	名護市	33.6%	17.3%
			12.5%
			8.6%
			7.2%
			25.3%
			来訪率
			8.4%
			4.9%
			3.5%
			3.4%
			3.2%
			周遊ルート
			一番街 ⇄ 中の町
			一番街 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ
			グランメーラリゾート ⇄ 沖縄イオンモールライカム
			グランメーラリゾート ⇄ 北谷アメリカンビレッジ
			コガ運動公園 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ

※2箇所以上来訪者に占める来訪率

「県総合運動公園」 サマリー



「県総合運動公園」来訪者は164人。来訪者の属性は男性が59.8%、年齢層別では50歳以上が35.8%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が10.1%を占め、市区町村別では山梨県甲斐市、奈良県大和高田市、長崎県長崎市が多い。旅程は2泊以上が多くなり82.2%で、観光エリア内第10位。平均泊数は2.62日。域内（＝沖縄市内）泊率は13.1%で観光エリア内第7位。約87%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.73箇所、観光エリア内第9位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:29で観光エリア内第4位。

来訪者		164人	エリア順位	6位
属性把握				
誰が どこから来訪しているのか				
属性				
男性	59.8%			
	16.3%			
	10.4%			
	15.7%			
	17.3%			
	40.2%			
女性	****			

	9.7%			
	18.5%			
発地				
順位	都道府県名	構成比		
1	東京都	10.1%		
2	新潟県	8.9%		
3	千葉県	8.1%		
4	山梨県	7.5%		
5	埼玉県	7.1%		
順位	市区町村名	構成比		
1	山梨県甲斐市	6.6%		
2	奈良県大和高田市	****		
3	長崎県長崎市	****		
4	京都府京都市伏見区	****		
5	岐阜県羽島市	****		

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	****	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
		域内宿泊率	域外宿泊率	
1泊率	****	13.1%	86.9%	4位
2泊以上率	82.2%			
平均泊数	2.62			

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	2:29	平均周遊箇所数	1.73	エリア順位
エリア順位	4位	2箇所以上来訪率	43.5%	9位
日帰り	2:30	1箇所のみ来訪率	56.5%	10位
エリア順位	1位			1位
宿泊	2:29			
エリア順位	4位			

順位		周遊観光エリア	
1	北谷アメリカンビレッジ	来訪率	31.9%
2	沖縄イオンモールライカム		22.8%
3	クラムメールリゾート		6.9%
4	コザ運動公園		****
5	中の町		****

「コザ運動公園」 サマリー



「コザ運動公園」来訪者は104人。来訪者の属性は女性が55.2%、年齢層別では50歳以上が38.8%を占める。発地都道府県をみると、愛知県発地者が17%を占め、市区町村別では愛知県刈谷市、京都府京都市伏見区、奈良県大和高田市が多い。旅程は2泊以上が多くなり95.4%で、観光エリア内第6位。平均泊数は2.95日。域内（＝沖縄市内）泊率は14.9%で観光エリア内第5位。約85%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.89箇所、観光エリア内第4位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は3:07で観光エリア内第1位。

来訪者		104人	エリア順位	9位
属性把握				
誰が どこから来訪しているのか				
属性				
男性		44.8%		
	15～29歳	10.7%		
	30～39歳	****		
	40～49歳	****		
女性	50歳以上	15.9%		
		55.2%		
	15～29歳	13.9%		
	30～39歳	****		
発地	都道府県名	構成比		
	1 愛知県	17.0%		
	2 大阪府	11.7%		
	3 東京都	10.3%		
	4 広島県	****		
5 神奈川県	****			
市区町村名		構成比		
発地 市区町村	1 愛知県刈谷市	****		
	2 京都府京都市伏見区	****		
	3 奈良県大和高田市	****		
	4 東京都武蔵野市	****		
	5 東京都練馬区	****		

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	****	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	6位
1泊率	****	14.9%	85.1%	5位
	****	****	****	****
2泊以上率	95.4%	****	****	****
	****	****	****	****
平均泊数	2.95	****	****	****
	****	****	****	****
滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	3:07	****	****	****
エリア順位	1位	****	****	****
日帰り	****	****	****	****
エリア順位	****	****	****	****
宿泊	3:07	****	****	****
エリア順位	1位	****	****	****
周遊指標		観光エリア周遊		
平均周遊箇所数	1.89	****	****	****
2箇所以上来訪率	59.3%	****	****	****
1箇所のみ来訪率	40.7%	****	****	****
順位	****	****	****	****
周遊観光エリア		来訪率		
1 北谷アメリカンビレッジ	33.1%			
2 沖縄イオンモールライカム	25.7%			
3 中の町	10.5%			
4 県総合運動公園	****			
5 グランメールリゾート	****			

「沖繩こどもの国」 サマリー



「沖繩こどもの国」来訪者は127人。来訪者の属性は女性が57.8%、年齢層別では30～39歳が41.5%を占める。発地都道府県をみると、大阪府発地者が12.8%を占め、市区町村別では千葉県千葉市中央区、北海道札幌市東区、岐阜県関市が多い。旅程は2泊以上が多く99.1%で、観光エリア内第1位。平均泊数は3.22日。域内（＝沖縄市内）泊率は11.8%で観光エリア内第9位。約88%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.82箇所、観光エリア内第7位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:26で観光エリア内第8位。

来訪者		127人	エリア順位	8位
属性把握				
誰が どこから来訪しているのか				
属性		42.2%		
男性	15～29歳	****		
	30～39歳	16.1%		
	40～49歳	****		
	50歳以上	12.9%		
女性	15～29歳	57.8%		
	30～39歳	14.1%		
	40～49歳	25.4%		
	50歳以上	****		
発地				
順位	都道府県名	構成比		
1	大阪府	12.8%		
2	千葉県	11.6%		
3	東京都	****		
4	愛知県	****		
5	福岡県	****		
順位	市区町村名	構成比		
1	千葉県千葉市中央区	****		
2	北海道札幌市東区	****		
3	岐阜県関市	****		
4	千葉県茂原市	****		
5	大阪府堺市東区	****		

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	****	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
1泊率	****	域内宿泊率	域外宿泊率	エリア順位
2泊以上率	99.1%	11.8%	88.2%	2位
平均泊数	3.22	エリア順位		9位
		エリア順位		1位
		エリア順位		4位

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	1:26	周遊指標	1.82	エリア順位
エリア順位	8位	平均周遊箇所数		7位
日帰り	1:15	2箇所以上来訪率	57.3%	6位
エリア順位	3位	1箇所のみ来訪率	42.7%	5位
宿泊	1:27	順位	周遊観光エリア	来訪率
エリア順位	8位	1	北谷アメリカンビレッジ	33.1%
		2	沖縄イオンモールライカム	23.2%
		3	グランメーラリゾート	****
		4	中の町	****
		5	一番街	****

「東南植物楽園」 サマリー



「東南植物楽園」来訪者は204人。来訪者の属性は女性が63.2%、年齢層別では50歳以上が40.6%を占める。発地都道府県をみると、北海道発地者が13%を占め、市区町村別では福岡県福岡市南区、北海道札幌市東区、神奈川県愛川町が多い。旅程は2泊以上が多く93.8%で、観光エリア内第7位。平均泊数は3.28日。域内（＝沖縄市内）泊率は2.7%で観光エリア内第10位。約97%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.54箇所、観光エリア内第10位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:16で観光エリア内第9位。

来訪者		
204人	エリア順位	4位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性		36.8%
	15～29歳	****
	30～39歳	6.7%
	40～49歳	****
	50歳以上	20.0%
女性		63.2%
	15～29歳	15.9%
	30～39歳	14.7%
	40～49歳	12.1%
	50歳以上	20.6%

発地		
順位	都道府県名	構成比
1	北海道	13.0%
2	神奈川県	10.8%
3	福岡県	10.3%
4	愛知県	8.3%
5	東京都	6.8%
市区町村名	構成比	
1	福岡県福岡市南区	****
2	北海道札幌市東区	****
3	神奈川県愛川町	****
4	愛知県一宮市	****
5	北海道札幌市西区	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	****	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
		域内宿泊率	域外宿泊率	
1泊率	****	2.7%	97.3%	1位
2泊以上率	93.8%			
平均泊数	3.28			

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	1:16	周遊指標		エリア順位
エリア順位	9位	平均周遊箇所数	1.54	10位
日帰り	1:09	2箇所以上来訪率	45.7%	9位
エリア順位	4位	1箇所のみ来訪率	54.3%	2位
宿泊	1:16	順位	周遊観光エリア	来訪率
エリア順位	9位	1	北谷アメリカンビレッジ	32.2%
		2	沖縄イオンモールライカム	13.1%
		3	グランメーラリゾート	****
		4	中の町	****
		5	沖縄こどもの国	****

「プラザハウス」来訪者は45人。
 発地都道府県をみると、東京都発地者が最も多く、市区町村別では福岡県北九州市八幡西区、神奈川県横浜須賀野市、兵庫県加古川市が多い。
 旅程は2泊以上が多く98.3%で、観光エリア内第2位。平均泊数は3.55日。
 平均周遊箇所数は2.09箇所で、観光エリア内第1位。「沖縄イオンモールライカム」との周遊が最も多い。平均滞在時間は0:47で観光エリア内第10位。

来訪者		エリア順位	10位
45人			
属性把握		誰が どこから来訪しているのか	
属性		属性	
男性	15～29歳	****	****
	30～39歳	****	****
	40～49歳	****	****
	50歳以上	****	****
女性	15～29歳	****	****
	30～39歳	****	****
	40～49歳	****	****
	50歳以上	****	27.1%
発地		発地	
順位	都道府県名	構成比	構成比
1	東京都	****	****
2	神奈川県	****	****
3	埼玉県	****	****
4	福岡県	****	****
5	兵庫県	****	****
順位	市区町村名	構成比	構成比
1	福岡県北九州市八幡西区	****	****
2	神奈川県横浜須賀野市	****	****
3	兵庫県加古川市	****	****
4	長崎県長崎市	****	****
5	神奈川県相模原市中央区	****	****

宿泊傾向把握			
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか			
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）	
日帰り率	****	域外宿泊	域外宿泊
		エリア順位	エリア順位
		6位	
1泊率	****	域内宿泊率	域内宿泊率
		エリア順位	エリア順位
		9位	
2泊以上率	98.3%	エリア順位	エリア順位
		2位	
平均泊数	3.55	エリア順位	エリア順位
		1位	
		域内宿泊	域内宿泊
		13.2%	86.8%
		6位	5位

滞在・周遊傾向把握			
どこに滞在し、どこを周遊しているのか			
昼間滞在時間		観光エリア周遊	
全体	0:47	周遊指標	エリア順位
エリア順位	10位	平均周遊箇所数	1位
日帰り	****	2箇所以上来訪率	3位
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	8位
宿泊	0:47	周遊観光エリア	来訪率
エリア順位	10位	1 沖縄イオンモールライカム	37.6%
		2 北谷アメリカンビレッジ	36.4%
		3 中の町	****
		4 県総合運動公園	****
		5 東南植物楽園	****

「一番街」来訪者は172人。来訪者の属性は男性が65.9%、年齢層別では50歳以上が32.2%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が22.1%を占め、市区町村別では埼玉県川口市、神奈川県横浜市港北区、東京都足立区が多い。旅程は2泊以上が多く89.2%で、観光エリア内第9位。平均泊数は2.84日。域内（＝沖繩市内）泊率は40.2%で観光エリア内第3位。約60%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.92箇所、観光エリア内第3位。「中の町」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:31で観光エリア内第7位。

来訪者		
172人	エリア順位 5位	
属性把握 誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性	65.9%	
15～29歳	11.6%	
30～39歳	22.2%	
40～49歳	13.1%	
50歳以上	19.0%	
女性	34.1%	
15～29歳	8.8%	
30～39歳	****	
40～49歳	****	
50歳以上	13.2%	
発地		
順位	都道府県名	構成比
1	東京都	22.1%
2	埼玉県	12.2%
3	神奈川県	11.0%
4	福岡県	****
5	千葉県	****
順位	市区町村名	構成比
1	埼玉県川口市	6.6%
2	神奈川県横浜市港北区	****
3	東京都足立区	****
4	岐阜県美濃加茂市	****
5	東京都世田谷区	****

宿泊傾向把握			
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか			
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）	
日帰り率	****	域内宿泊 エリア順位 3位	域外宿泊 エリア順位
1泊率	****	域内宿泊率 40.2%	域外宿泊率 59.8%
2泊以上率	89.2%	エリア順位 2位	3位
平均泊数	2.84	エリア順位 9位	8位

滞在・周遊傾向把握			
どこに滞在し、どこを周遊しているのか			
昼間滞在時間		観光エリア周遊	
全体	1:31	周遊指標	エリア順位
エリア順位	7位	平均周遊箇所数	3位
日帰り	0:53	2箇所以上来訪率	1位
エリア順位	5位	1箇所のみ来訪率	10位
宿泊	1:32	周遊観光エリア	来訪率
エリア順位	7位	順位	40.7%
		1 中の町	29.9%
		2 北谷アメリカンビレッジ	12.6%
		3 沖繩イオンモールライカム	****
		4 コザ運動公園	****
		5 グランメールリゾート	****

「中の町」来訪者は298人。
 発地都道府県をみると、埼玉県発地者が最も多く、市区町村別では埼玉県川口市、熊本県熊本市中央区、東京都練馬区が多い。
 旅程は2泊以上が多く91.7%で、観光エリア内第9位。平均泊数は3.02日。
 域内（＝沖縄市内）泊率は49.3%で観光エリア内第2位。約51%が域外へ宿泊流出している。
 平均周遊箇所数は1.84箇所、観光エリア内第5位。「一番街」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:48で観光エリア内第2位。

来訪者		298人	エリア順位	3位
属性把握				
誰が どこから来訪しているのか				
属性		****		
男性	15～29歳	23.0%		
	30～39歳	11.7%		
	40～49歳	13.5%		
	50歳以上	14.0%		

女性	15～29歳	14.2%		
	30～39歳	7.5%		
	40～49歳	5.4%		
	50歳以上	10.6%		
発地				
順位	都道府県名	構成比		
1	埼玉県	17.8%		
2	東京都	11.5%		
3	神奈川県	9.4%		
4	大阪府	7.6%		
5	千葉県	7.4%		
順位	市区町村名	構成比		
1	埼玉県川口市	13.3%		
2	熊本県熊本市中央区	****		
3	東京都練馬区	****		
4	京都府木津川市	****		
5	神奈川県横浜市港北区	****		

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	****	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
1泊率	****	域内宿泊率	域外宿泊率	9位
2泊以上率	91.7%	49.3%	50.7%	2位
平均泊数	3.02	エリア順位		6位

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	2:48	周遊指標	1.84	エリア順位
エリア順位	2位	平均周遊箇所数		5位
日帰り	****	2箇所以上来訪率	55.0%	8位
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	45.0%	3位
宿泊	2:48	順位		来訪率
エリア順位	2位	1 一番街		23.5%
		2 北谷アメリカンビレッジ		20.9%
		3 沖縄イオンモールライカム		18.4%
		4 コザ運動公園		****
		5 県総合運動公園		****

「グランメールリゾート」 サマリー



「グランメールリゾート」来訪者は162人。来訪者の属性は男性が50.3%、年齢層別では15～29歳が37.1%を占める。発地都道府県をみると、愛知県発地者が12.8%を占め、市区町村別では静岡県浜松市浜北区、北海道札幌市東区、鹿児島県鹿児島市が多い。旅程は2泊以上が多く95.4%で、観光エリア内第5位。平均泊数は2.87日。域内（＝沖縄市内）泊率は50.1%で観光エリア内第1位。約50%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.79箇所、観光エリア内第8位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:01で観光エリア内第5位。

来訪者	
162人	エリア順位 7位
属性把握 誰が どこから来訪しているのか	
属性	
男性	50.3%
15～29歳	16.4%
30～39歳	9.8%
40～49歳	8.9%
50歳以上	15.2%
女性	49.7%
15～29歳	20.7%
30～39歳	****
40～49歳	****
50歳以上	19.8%
発地	
順位	都道府県名 構成比
1	愛知県 12.8%
2	大阪府 7.9%
3	静岡県 7.9%
4	東京都 7.0%
5	茨城県 6.6%
順位	市区町村名 構成比
1	静岡県浜松市浜北区 6.5%
2	北海道札幌市東区 ****
3	鹿児島県鹿児島市 ****
4	岐阜県羽島市 ****
5	茨城県日立市 ****

宿泊傾向把握			
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか			
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）	
日帰り率	****	域内宿泊	域外宿泊
1泊率	****	域内宿泊率	域外宿泊率
2泊以上率	95.4%	50.1%	49.9%
平均泊数	2.87	エリア順位	エリア順位
		6位	1位
		5位	10位
		5位	
		8位	
滞在・周遊傾向把握			
どこに滞在し、どこを周遊しているのか			
昼間滞在時間		観光エリア周遊	
全体	2:01	周遊指標	エリア順位
エリア順位	5位	平均周遊箇所数	8位
日帰り	****	2箇所以上来訪率	7位
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	4位
宿泊	2:01	周遊観光エリア	来訪率
エリア順位	5位	順位	順位
		1	北谷アメリカンビレッジ 28.2%
		2	沖縄イオンモールライカム 28.1%
		3	泉総合運動公園 7.0%
		4	コザ運動公園 ****
		5	沖縄こどもの国 ****

「北谷アメリカンビレッジ」 サマリー



「北谷アメリカンビレッジ」来訪者は622人。来訪者の属性は女性が55.9%、年齢層別では15～29歳が27.9%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が13%を占め、市区町村別では東京都大田区、東京都世田谷区、奈良県大和高田市が多い。旅程は2泊以上が多く96.1%で、観光エリア内第4位。平均泊数は3.18日。域内（＝沖縄イオンモールライカム）泊率は12.3%で観光エリア内第8位。約88%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.82箇所、観光エリア内第6位。「沖縄イオンモールライカム」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:37で観光エリア内第3位。

来訪者		622人	エリア順位	1位
属性把握 誰が どこから来訪しているのか				
属性				
男性		44.1%		
15～29歳		12.7%		
30～39歳		11.1%		
40～49歳		9.8%		
50歳以上		10.5%		
女性		55.9%		
15～29歳		15.2%		
30～39歳		15.5%		
40～49歳		9.9%		
50歳以上		15.3%		
発地				
順位	都道府県名	構成比		
1	東京都	13.0%		
2	大阪府	9.3%		
3	神奈川県	8.4%		
4	愛知県	7.8%		
5	千葉県	6.3%		
順位	市区町村名	構成比		
1	東京都大田区	1.7%		
2	東京都世田谷区	****		
3	奈良県大和高田市	****		
4	埼玉県川口市	****		
5	北海道札幌市東区	****		

宿泊傾向把握 宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	****	域内宿泊 エリア順位 4位	域外宿泊 エリア順位 8位	域外宿泊 エリア順位 3位
1泊率	****	域内宿泊率 12.3%	域外宿泊率 87.7%	
2泊以上率	96.1%	エリア順位 4位		
平均泊数	3.18	エリア順位 5位		

滞在・周遊傾向把握 どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間				
全体	2:37	エリア順位 3位	観光エリア周遊 周遊指標 1.82	エリア順位 6位
日帰り	1:53	エリア順位 2位	2箇所以上来訪率 61.7%	4位
宿泊	2:37	エリア順位 3位	1箇所のみ来訪率 38.3%	7位
順位	周遊観光エリア	来訪率		
1	沖縄イオンモールライカム	25.7%		
2	東南植物楽園	10.6%		
3	中の町	10.0%		
4	県総合運動公園	8.4%		
5	一番街	8.3%		

「イオンモール沖縄ライカム」 サマリー



「沖縄イオンモールライカム」来訪者は416人。来訪者の属性は女性が52.8%、年齢層別では50歳以上が27.6%を占める。発地都道府県をみると、愛知県発地者が9.6%を占め、市区町村別では福岡県福岡市博多区、静岡県浜松市浜北区、愛知県刈谷市が多い。旅程は2泊以上が多く97.7%で、観光エリア内第3位。平均泊数は3.45日。域内（＝沖縄市内）泊率は21.2%で観光エリア内第4位。約79%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.99箇所、観光エリア内第2位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:49で観光エリア内第6位。

来訪者		416人	エリア順位	2位
属性把握 誰が どこから来訪しているのか				
属性				
男性		47.2%		
	15～29歳	9.5%		
	30～39歳	12.0%		
	40～49歳	12.7%		
	50歳以上	13.0%		
女性		52.8%		
	15～29歳	15.5%		
	30～39歳	13.2%		
	40～49歳	9.6%		
	50歳以上	14.6%		
発地				
順位	都道府県名	構成比		
1	愛知県	9.6%		
2	東京都	9.5%		
3	大阪府	9.2%		
4	神奈川県	8.9%		
5	福岡県	8.6%		
市区町村名				
順位	市区町村名	構成比		
1	福岡県福岡市博多区	3.1%		
2	静岡県浜松市浜北区	2.5%		
3	愛知県刈谷市	****		
4	奈良県大和郡高田市	****		
5	北海道札幌市豊平区	****		

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	****	エリア順位 6位	域内宿泊 域内宿泊率 21.2%	域外宿泊 域外宿泊率 78.8%
1泊率	****	エリア順位 8位	エリア順位 4位	エリア順位 7位
2泊以上率	97.7%	エリア順位 3位		
平均泊数	3.45	エリア順位 2位		

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間				
全体	1:49	エリア順位 6位	観光エリア周遊 周遊指標 1.99	エリア順位 2位
日帰り	****	****	2箇所以上来訪率 68.2%	2位
宿泊	1:49	****	1箇所のみ来訪率 31.8%	9位
順位				
順位	観光エリア	来訪率		
1	北谷アメリカンビレッジ	38.5%		
2	中の町	13.2%		
3	グランメーラリゾート	11.0%		
4	県総合運動公園	9.0%		
5	沖縄こどもの国	7.1%		

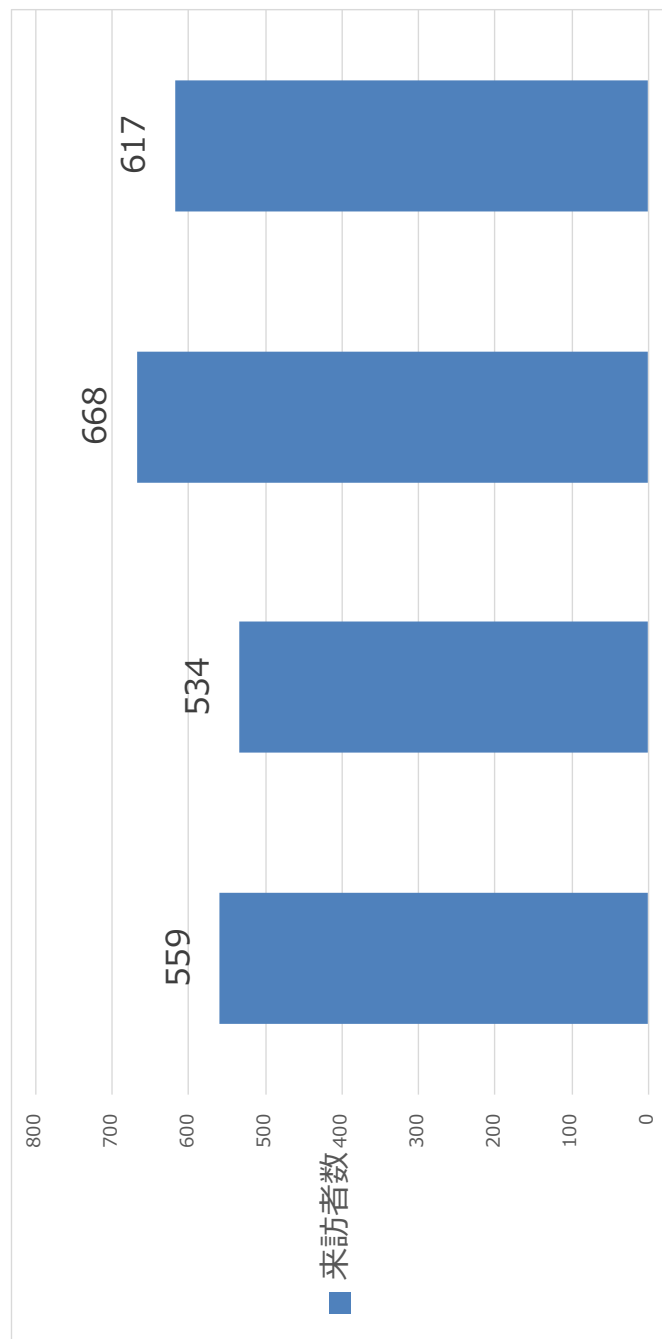
沖縄市来訪者の基礎集計

沖繩市来訪者数

通年

期間別

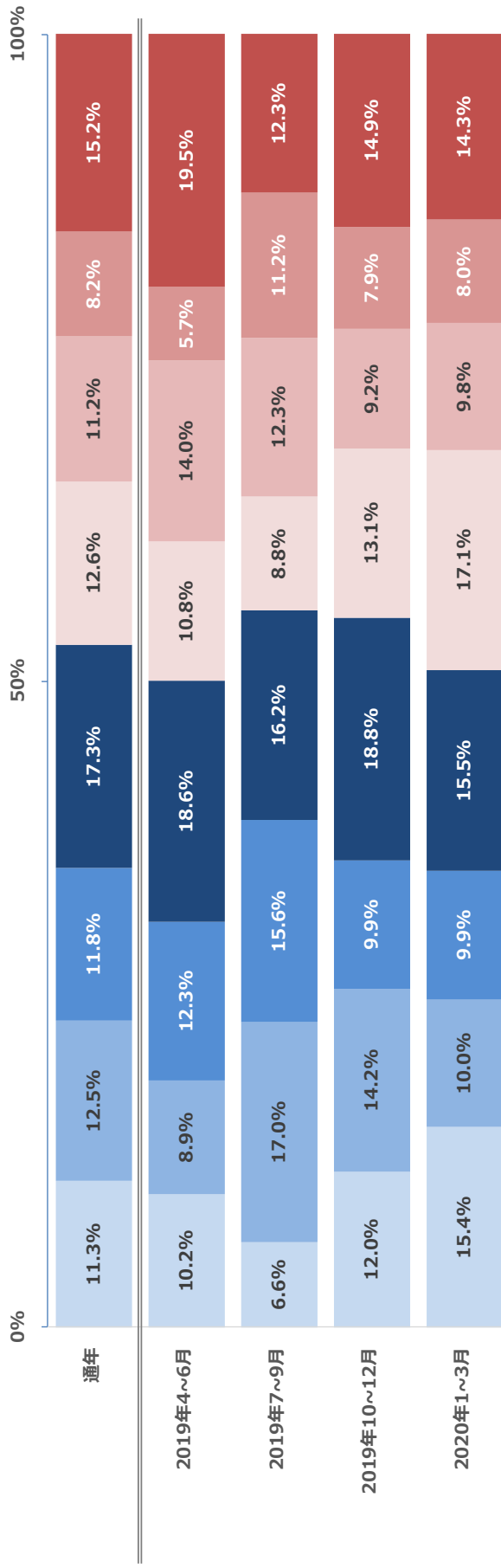
沖繩市来訪者数



通年	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
来訪者数	559	534	668	617
構成比	23.5%	22.4%	28.1%	26.0%

性別・年齢層別 来訪者数・構成比

期間	来訪者数	男性			女性				
		15~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上	15~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上
通年	2,378	268	296	280	412	300	266	194	362
2019年4~6月	559	57	50	69	104	60	78	32	109
2019年7~9月	534	35	91	83	86	47	66	60	65
2019年10~12月	668	80	95	66	126	87	62	53	99
2020年1~3月	617	95	61	61	96	105	60	50	89



沖縄市来訪者の属性は、通年では男性がやや多く、52.8%。男女とも50歳以上の割合が高い。

期間別では、「2019年4~6月」は男女50歳以上と女性30~39歳が多く、「2019年7~9月」は男女30~49歳が多い傾向。「2019年10~12月」は男性30~39歳と50歳以上が多く、「2020年1~3月」は男女29歳以下が多い傾向。

発地地域別 来訪者数・構成比

順位	発地地域	通年		2019年4~6月		2019年7~9月		2019年10~12月		2020年1~3月		
		来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比
1	関東	930	39.1%	1	237	42.5%	1	188	35.1%	1	251	40.6%
2	近畿	431	18.1%	2	94	16.7%	2	106	19.9%	2	109	17.7%
3	中部	379	15.9%	3	90	16.1%	4	71	13.2%	3	105	17.0%
4	九州	361	15.2%	4	82	14.6%	3	91	17.1%	4	89	14.5%
5	中国	109	4.6%	6	18	3.3%	5	32	6.0%	5	31	4.9%
-	その他	169	7.1%	-	38	6.8%	-	46	8.7%	-	52	7.8%
-	計	2,378	-	-	559	-	-	534	-	-	668	-

発地都道府県別 来訪者数・構成比

順位	発地都道府県	通年		2019年4~6月		2019年7~9月		2019年10~12月		2020年1~3月		
		来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比
1	東京都	302	12.7%	3	57	10.1%	1	85	15.9%	1	89	14.3%
2	神奈川県	216	9.1%	2	58	10.4%	6	30	5.7%	5	73	11.8%
3	福岡県	212	8.9%	5	39	7.0%	2	53	10.0%	2	62	10.0%
4	大阪府	194	8.2%	4	40	7.2%	3	49	9.2%	3	58	8.6%
5	埼玉県	183	7.7%	1	74	13.3%	7	24	4.6%	4	55	8.2%
6	愛知県	162	6.8%	8	24	4.3%	4	37	6.9%	6	45	6.8%
7	千葉県	144	6.1%	7	31	5.5%	5	35	6.6%	7	39	5.9%
8	兵庫県	112	4.7%	6	35	6.2%	9	22	4.1%	8	29	4.4%
9	北海道	74	3.1%	9	19	3.4%	8	24	4.5%	12	15	2.2%
10	京都市	54	2.3%	17	****	****	17	****	****	9	26	3.8%
-	その他	725	30.5%	-	****	****	-	****	****	-	216	32.4%
-	計	2,378	-	-	559	-	-	534	-	-	668	-

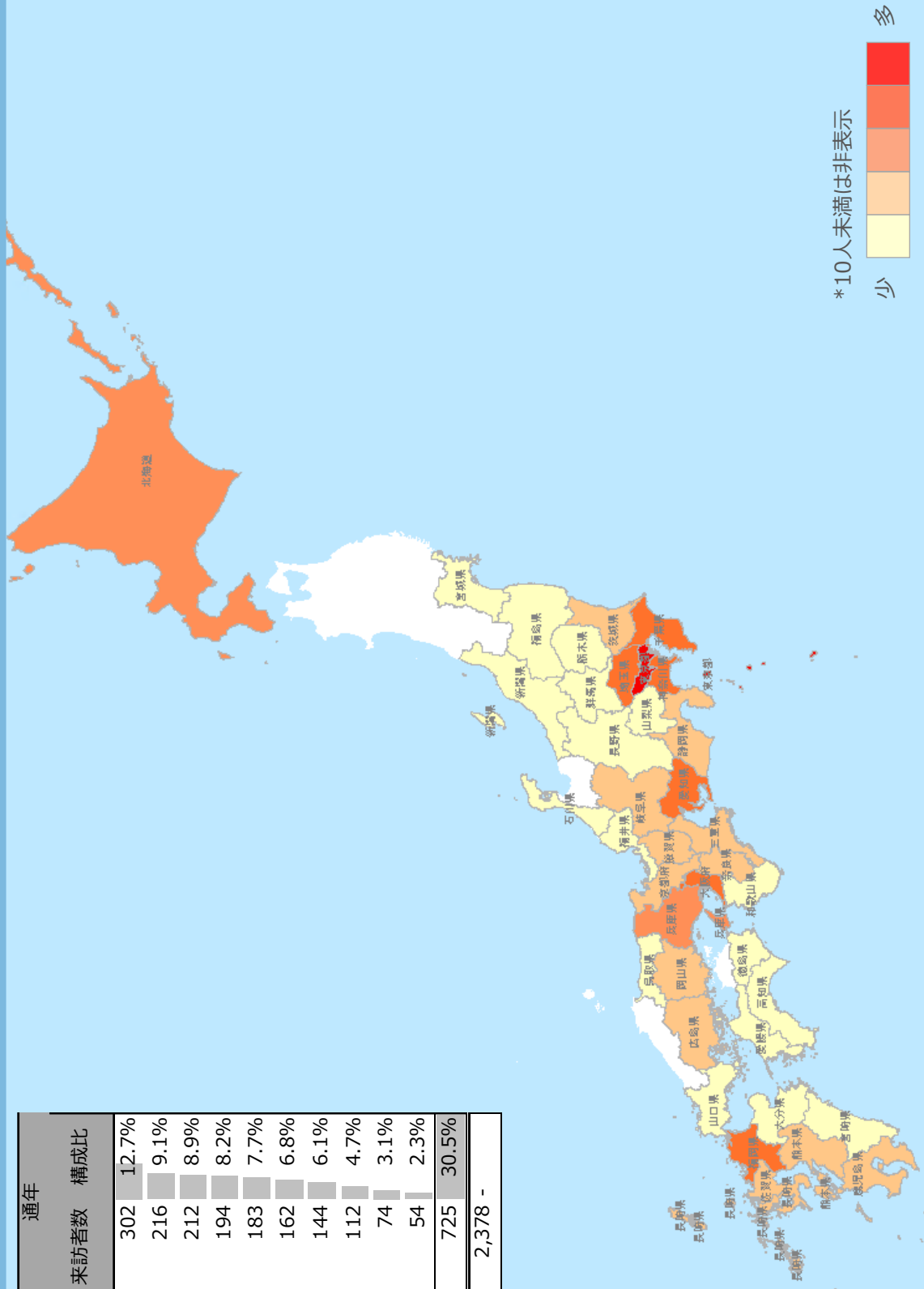
通年構成比 +1%

沖縄市来訪者の発地地域は関東が約4割、ついで近畿、中部発地者が多い。期間別で見ると「2019年4~6月」「2020年1~3月」の関東発地者が増加傾向。

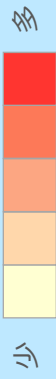
都道府県別では東京都、神奈川県、福岡県が多い。期間別では「2019年4~6月」「2020年1~3月」の関東発地者が増加傾向。

発地都道府県別 来訪者数ヒートマップ

順位	発地 都道府県	通年	
		来訪者数	構成比
1	東京都	302	12.7%
2	神奈川県	216	9.1%
3	福岡県	212	8.9%
4	大阪府	194	8.2%
5	埼玉県	183	7.7%
6	愛知県	162	6.8%
7	千葉県	144	6.1%
8	兵庫県	112	4.7%
9	北海道	74	3.1%
10	京都府	54	2.3%
-	その他	725	30.5%
-	計	2,378	-



*10人未満は非表示



発地市区町村別 来訪者数・構成比

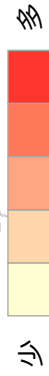
順位	発地 市区町村	都道府県	通年											
			来訪者数	構成比	2019年4~6月		2019年7~9月		2019年10~12月		2020年1~3月			
1	川口市	埼玉県	53	2.2%	1	44	7.8%	25	****	288	****	18	****	
2	福岡市博多区	福岡県	42	1.7%	132	****	1	13	2.5%	1	14	2.1%	1	****
3	大田区	東京都	27	1.1%	6	10	1.9%	6	****	53	****	9	****	
4	横浜市鶴見区	神奈川県	24	1.0%	2	17	3.0%	130	****	102	****	19	****	
5	練馬区	東京都	23	1.0%	65	****	16	****	****	26	****	2	11	1.7%
6	福岡市東区	福岡県	22	0.9%	22	****	10	****	****	4	****	28	****	
7	世田谷区	東京都	21	0.9%	91	****	4	****	****	28	****	6	****	
8	足立区	東京都	19	0.8%	68	****	17	****	****	9	****	10	****	
9	板橋区	東京都	19	0.8%	77	****	26	****	****	2	****	74	****	
10	船橋市	千葉県	19	0.8%	-	-	-	103	****	5	****	3	****	
11	相模原市南区	神奈川県	17	0.7%	8	****	-	-	-	55	****	17	****	
12	鳥栖市	佐賀県	17	0.7%	3	13	2.4%	157	****	250	****	133	****	
13	松戸市	千葉県	17	0.7%	11	****	44	****	****	10	****	146	****	
14	長崎市	長崎県	17	0.7%	41	****	8	****	****	24	****	114	****	
15	福岡市西区	福岡県	16	0.7%	20	****	58	****	****	50	****	7	****	
16	札幌市東区	北海道	16	0.7%	213	****	2	13	2.4%	151	****	243	****	
17	福岡市南区	福岡県	16	0.7%	40	****	23	****	****	39	****	21	****	
18	横浜市港北区	神奈川県	14	0.6%	43	****	-	-	-	3	****	150	****	
19	宝塚市	兵庫県	14	0.6%	7	10	1.8%	-	-	71	****	191	****	
20	江戸川区	東京都	14	0.6%	84	****	51	****	****	36	****	14	****	
-	その他		1,954	82.2%	-	417	74.6%	-	443	83.1%	-	568	85.1%	
-	計		2,378	-	-	559	-	-	534	-	-	668	-	

通年構成比+1%

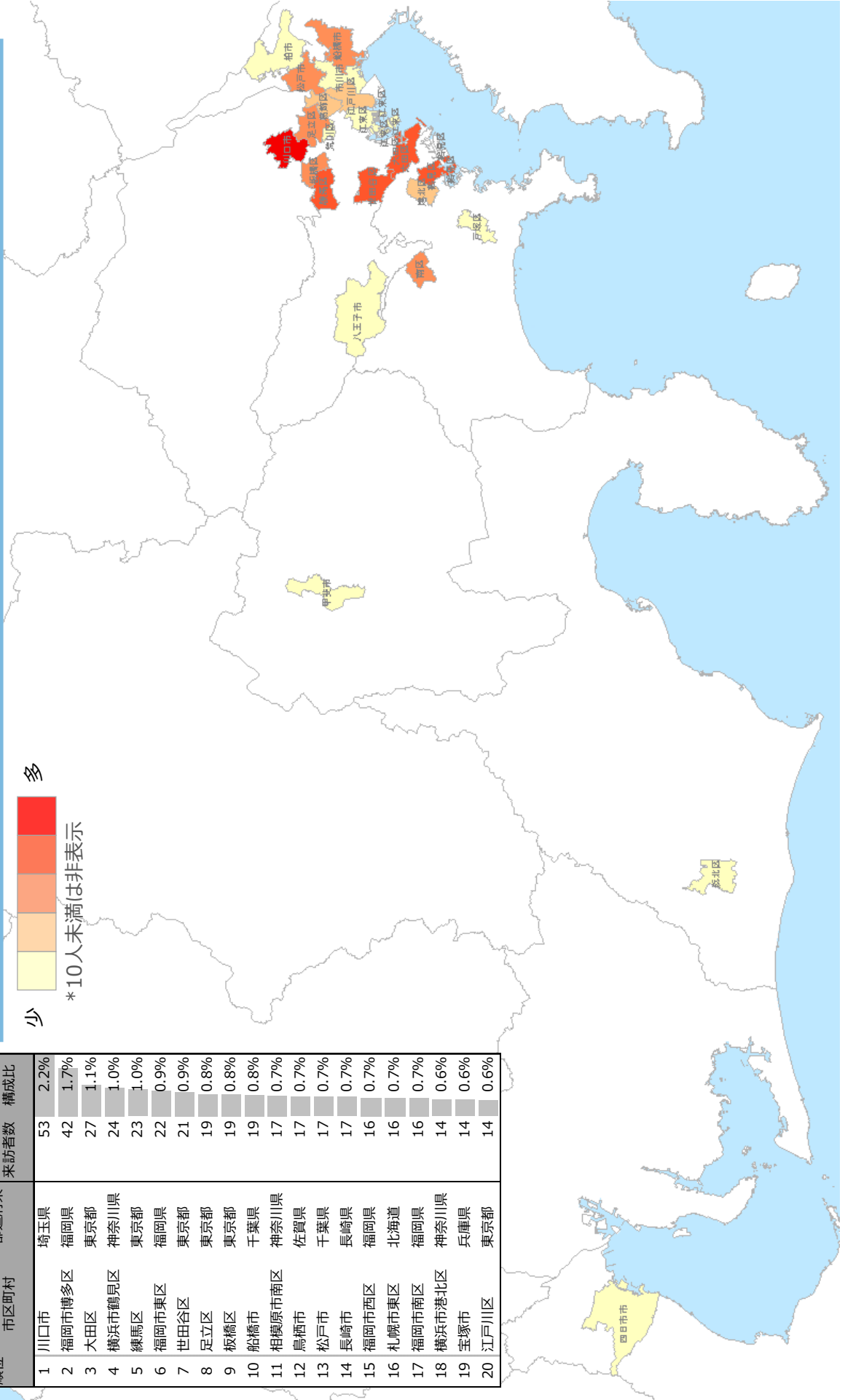
沖縄市来訪者の発地市区町村は埼玉県川口市、福岡県福岡市博多区、東京都大田区が多い傾向。

発地市区町村別 来訪者数ヒートマップ

順位	発地 市区町村	都道府県	通年	
			来訪者数	構成比
1	川口市	埼玉県	53	2.2%
2	福岡市博多区	福岡県	42	1.7%
3	大田区	東京都	27	1.1%
4	横浜市鶴見区	神奈川県	24	1.0%
5	練馬区	東京都	23	1.0%
6	福岡市東区	福岡県	22	0.9%
7	世田谷区	東京都	21	0.9%
8	足立区	東京都	19	0.8%
9	板橋区	東京都	19	0.8%
10	船橋市	千葉県	19	0.8%
11	相模原市南区	神奈川県	17	0.7%
12	鳥栖市	佐賀県	17	0.7%
13	松戸市	千葉県	17	0.7%
14	長崎市	長崎県	17	0.7%
15	福岡市西区	福岡県	16	0.7%
16	札幌市東区	北海道	16	0.7%
17	福岡市南区	福岡県	16	0.7%
18	横浜市港北区	神奈川県	14	0.6%
19	宝塚市	兵庫県	14	0.6%
20	江戸川区	東京都	14	0.6%



*10人未満は非表示

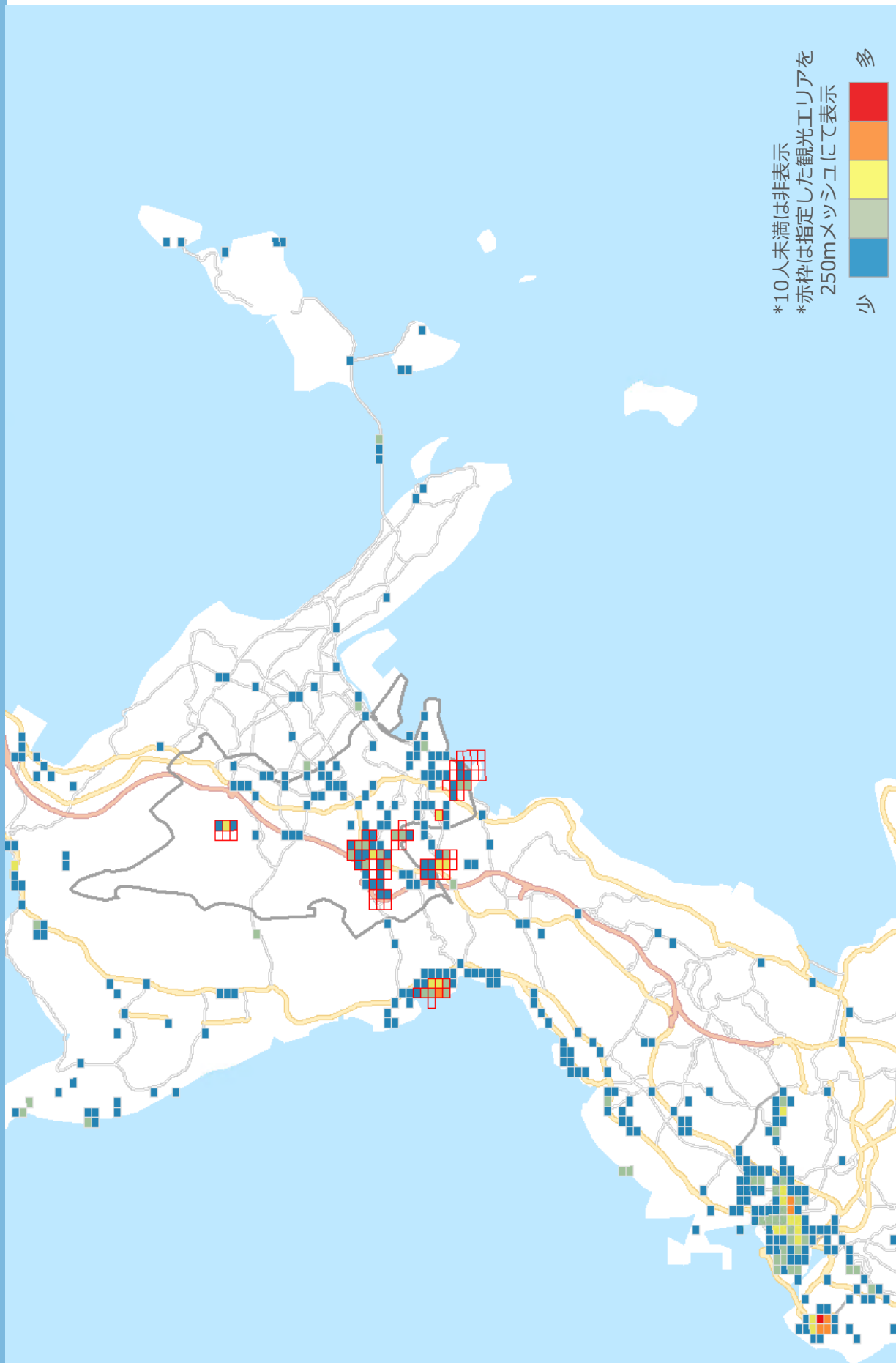


滞在メッシュヒートマップ

通年

期間別

Location
Trends



滞在メッシュヒートマップ - 広域 -

通年

期間別

Location Trends



市区町村別 立寄り者数・立寄り率

順位	立寄り市区町村名	都道府県名	通年				2019年4~6月		2019年7~9月		2019年10~12月		2020年1~3月			
			立寄り者数	立寄り率	順位	立寄り者数	立寄り率	順位	立寄り者数	立寄り率	順位	立寄り者数	立寄り率			
1	那覇市	沖縄県	2,318	97.5%	1	543	97.1%	1	529	99.2%	1	647	96.9%	1	598	96.9%
2	国頭郡恩納村	沖縄県	819	34.5%	3	211	37.7%	3	196	36.7%	4	218	32.7%	4	194	31.5%
3	国頭郡本部町	沖縄県	810	34.1%	4	187	33.4%	5	189	35.3%	2	255	38.2%	6	180	29.1%
4	大田区	東京都	803	33.8%	2	247	44.2%	7	156	29.2%	5	206	30.9%	5	194	31.4%
5	名護市	沖縄県	799	33.6%	5	182	32.5%	4	194	36.3%	3	229	34.3%	3	194	31.5%
6	中頭郡北谷町	沖縄県	707	29.7%	7	119	21.2%	2	202	37.8%	7	176	26.4%	2	210	34.0%
7	うるま市	沖縄県	659	27.7%	6	133	23.8%	6	166	31.1%	6	188	28.2%	7	172	27.8%
8	南城市	沖縄県	431	18.1%	11	82	14.7%	10	92	17.2%	8	136	20.3%	8	121	19.6%
9	中頭郡北中城村	沖縄県	412	17.3%	10	91	16.2%	8	100	18.8%	11	106	15.9%	9	115	18.6%
10	豊見城市	沖縄県	407	17.1%	8	116	20.8%	11	87	16.4%	10	108	16.2%	12	95	15.3%
11	糸満市	沖縄県	384	16.1%	9	101	18.0%	9	95	17.8%	12	104	15.6%	14	84	13.6%
12	宜野湾市	沖縄県	350	14.7%	12	82	14.6%	12	81	15.2%	16	79	11.8%	10	109	17.6%
13	中頭郡読谷村	沖縄県	337	14.2%	14	60	10.8%	14	66	12.3%	9	113	16.9%	11	98	15.9%
14	浦添市	沖縄県	317	13.3%	15	55	9.9%	13	69	12.9%	13	99	14.8%	13	94	15.3%
15	福岡市博多区	福岡県	272	11.4%	13	63	11.3%	15	63	11.7%	14	80	12.0%	16	66	10.6%
16	国頭郡今帰仁村	沖縄県	240	10.1%	16	55	9.8%	16	57	10.6%	15	79	11.9%	17	49	8.0%
17	常滑市	愛知県	232	9.7%	17	51	9.1%	17	42	7.8%	17	70	10.4%	15	69	11.2%
18	豊中市	大阪府	135	5.7%	20	31	5.6%	18	32	6.1%	18	47	7.0%	24	25	4.1%
19	泉南郡尻尻町	大阪府	121	5.1%	22	27	4.8%	22	24	4.4%	20	33	5.0%	18	37	6.1%
20	神戸市中央区	兵庫県	118	4.9%	19	33	5.9%	23	23	4.3%	19	41	6.1%	27	21	3.4%
-	-	来訪者数計	2,378	-	-	559	-	-	534	-	-	668	-	-	617	-
※	参考値：那覇空港を除く那覇市		1,777	74.7%	-	392	70.0%	-	412	77.2%	-	509	76.2%	-	465	75.2%

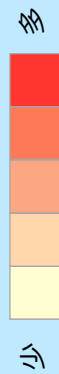
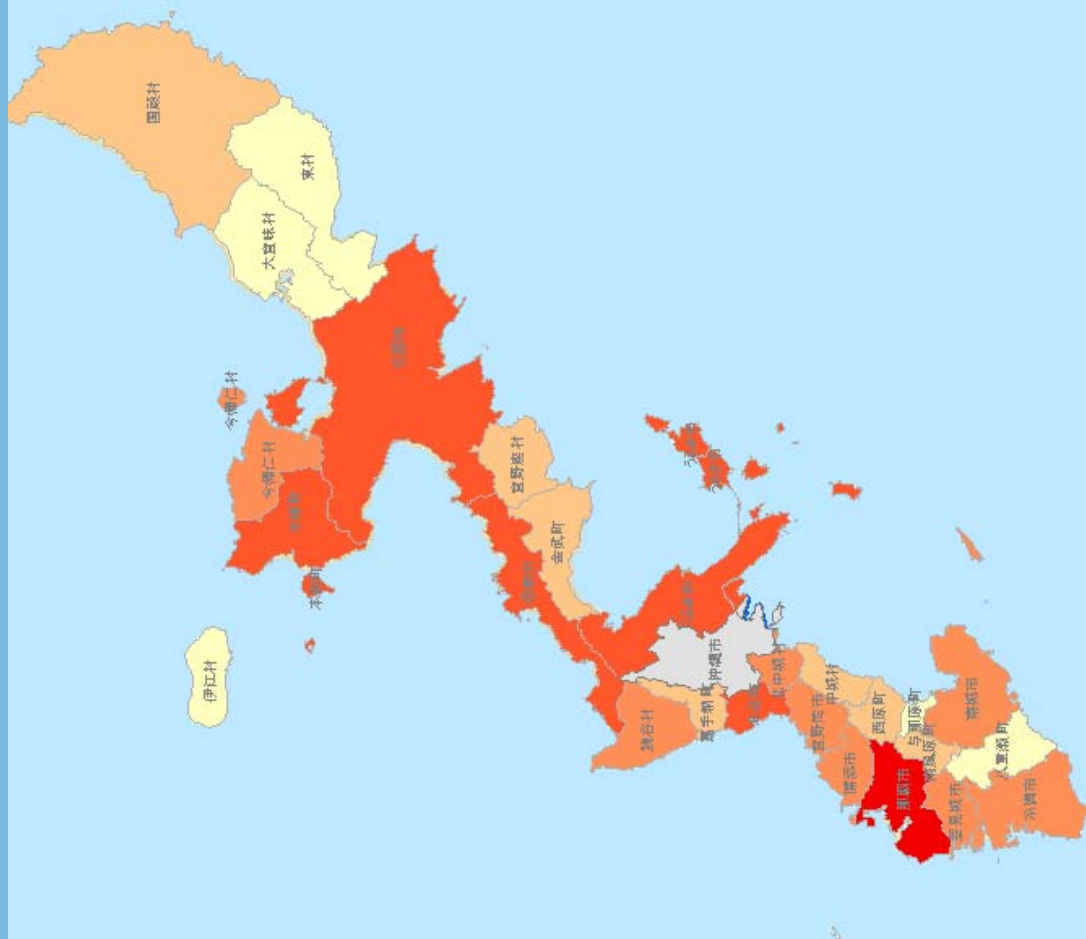
通年構成比 + 1%

沖縄市来訪者の立寄り市区町村は、那覇市について国頭郡恩納村、国頭郡本部町、東京都大田区が多い。
上位7市区町村の立寄り率が20%を超えており、沖縄市来訪前後で様々立寄る人が多い傾向。

期間別で見ると、「2019年4~6月」は国頭郡恩納村、東京都大田区への立寄り、「2019年7~9月」は那覇市、国頭郡恩納村、名護市や中頭郡北谷町への立寄りが増加。「2019年10~12月」は国頭郡本部町、南城市への立寄り、「2020年1~3月」は中頭郡北谷町、南城市、中頭郡北中城村への立寄りが増加傾向。

市区町村別 立寄り数・立寄り率

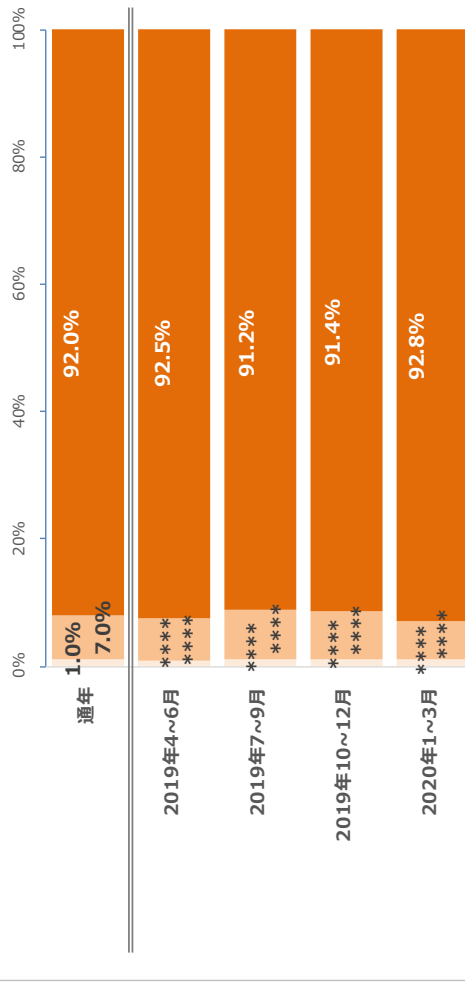
順位	立寄市区町村名	都道府県名	通年	
			立寄者数	立寄り率
1	那覇市	沖縄県	2,318	97.5%
2	国頭郡恩納村	沖縄県	819	34.5%
3	国頭郡本部町	沖縄県	810	34.1%
4	大田区	東京都	803	33.8%
5	名護市	沖縄県	799	33.6%
6	中頭郡北谷町	沖縄県	707	29.7%
7	うるま市	沖縄県	659	27.7%
8	南城市	沖縄県	431	18.1%
9	中頭郡北中城村	沖縄県	412	17.3%
10	豊見城市	沖縄県	407	17.1%
11	糸満市	沖縄県	384	16.1%
12	宜野湾市	沖縄県	350	14.7%
13	中頭郡読谷村	沖縄県	337	14.2%
14	浦添市	沖縄県	317	13.3%
15	福岡市博多区	福岡県	272	11.4%
16	国頭郡今帰仁村	沖縄県	240	10.1%
17	常滑市	愛知県	232	9.7%
18	豊中市	大阪府	135	5.7%
19	泉南郡田尻町	大阪府	121	5.1%
20	神戸市中央区	兵庫県	118	4.9%



*10人未満は非表示

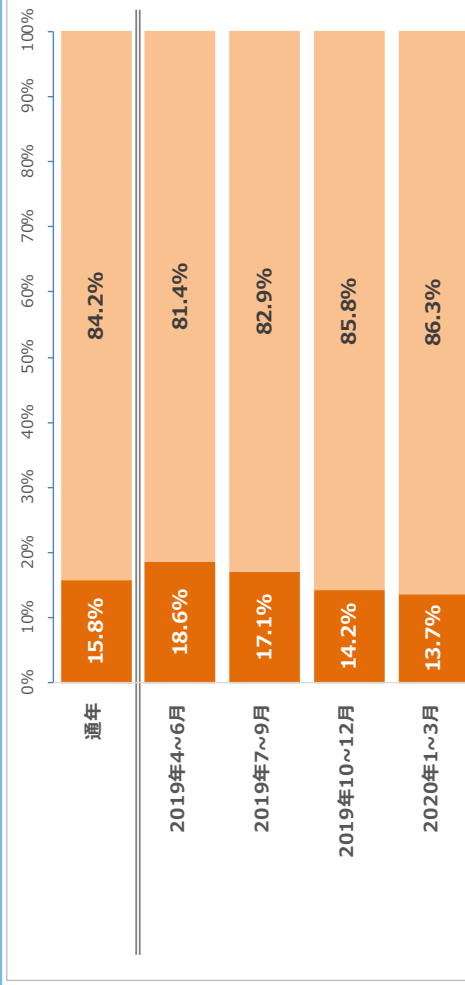
旅程別 来訪者数・構成比

期間	来訪者数	日帰り	1泊	2泊以上
通年	2,378	25	166	2,188
2019年4~6月	559	****	****	518
2019年7~9月	534	****	****	487
2019年10~12月	668	****	****	611
2020年1~3月	617	****	****	573



宿泊場所区分別 宿泊人泊数・構成比

期間	人泊数	域内宿泊	域外宿泊
通年	7,063	1,115	5,948
2019年4~6月	1,660	309	1,351
2019年7~9月	1,651	282	1,368
2019年10~12月	1,928	274	1,653
2020年1~3月	1,824	249	1,574



沖縄市来訪者の9割以上が2泊以上の旅程で来訪している。宿泊場所は8割以上が域外（＝沖縄市外）へ流出している。「2019年4～6月」（は域内（＝沖縄市内）の宿泊が多くなるが、「2020年1～3月」では域外流出が増加している。

市区町村別 宿泊人泊数・構成比

順位	市区町村名	都道府県名	通年				2019年4~6月				2019年7~9月				2019年10~12月				2020年1~3月			
			宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比			
1	那覇市	沖縄県	2,099	29.7%	1	459	27.7%	1	479	29.0%	1	594	30.8%	1	566	31.0%						
2	沖縄市	沖縄県	1,115	15.8%	2	309	18.6%	2	282	17.1%	2	274	14.2%	2	249	13.7%						
3	国頭郡恩納村	沖縄県	787	11.1%	3	221	13.3%	3	121	7.4%	3	229	11.9%	3	216	11.9%						
4	中頭郡北谷町	沖縄県	372	5.3%	6	58	3.5%	4	119	7.2%	4	74	3.8%	4	120	6.6%						
5	うるま市	沖縄県	371	5.3%	8	50	3.0%	5	99	6.0%	4	132	6.9%	5	90	4.9%						
6	名護市	沖縄県	356	5.0%	4	93	5.6%	6	93	5.6%	6	99	5.2%	8	71	3.9%						
7	中頭郡読谷村	沖縄県	287	4.1%	9	46	2.8%	9	54	3.3%	5	112	5.8%	6	75	4.1%						
8	国頭郡本部町	沖縄県	230	3.3%	10	44	2.6%	7	60	3.6%	7	75	3.9%	9	51	2.8%						
9	宜野湾市	沖縄県	223	3.2%	5	70	4.2%	10	47	2.9%	10	33	1.7%	7	73	4.0%						
10	中頭郡北中城村	沖縄県	161	2.3%	12	30	1.8%	8	58	3.5%	9	35	1.8%	11	37	2.1%						
11	浦添市	沖縄県	113	1.6%	7	53	3.2%	22	****	****	24	****	****	10	****	****						
12	大田区	東京都	102	1.4%	11	43	2.6%	17	10	0.6%	12	****	****	12	25	1.4%						
13	糸満市	沖縄県	83	1.2%	13	28	1.7%	12	31	1.9%	17	****	****	14	15	0.8%						
14	中頭郡中城村	沖縄県	60	0.8%	27	****	****	11	32	2.0%	15	15	0.8%	17	****	****						
15	豊見城市	沖縄県	56	0.8%	21	****	****	19	****	****	11	25	1.3%	13	15	0.8%						
16	国頭郡今帰仁村	沖縄県	44	0.6%	20	****	****	16	11	0.7%	****	14	17	0.9%	18	****	****					
17	南城市	沖縄県	40	0.6%	16	13	0.8%	18	****	****	23	****	****	16	****	****						
18	中頭郡西原町	沖縄県	34	0.5%	31	****	****	23	****	****	13	22	1.1%	29	****	****						
19	石垣市	沖縄県	34	0.5%	26	****	****	41	****	****	16	15	0.8%	15	14	0.8%						
20	常滑市	愛知県	34	0.5%	15	16	0.9%	20	****	****	28	****	****	21	****	****						
-	その他		463	6.5%	-	102	6.2%	-	112	6.8%	-	129	6.7%	-	119	6.5%						
-	宿泊人泊計		7,063	-	-	1,660	-	-	1,651	-	-	1,928	-	-	1,824	-						

通年構成比 +1%

沖縄市来訪者の宿泊地是那覇市、沖縄市、国頭郡恩納村の順に多い。
 期間別で見ると「2019年4~6月」は沖縄市と国頭郡恩納村、「2019年7~9月」は沖縄市と中頭郡北谷町、「2019年10~12月」是那覇市と中頭郡読谷村、「2020年1~3月」是那覇市と中頭郡北谷町への宿泊が増加傾向。

宿泊地分析

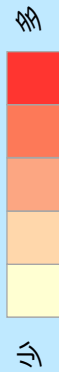
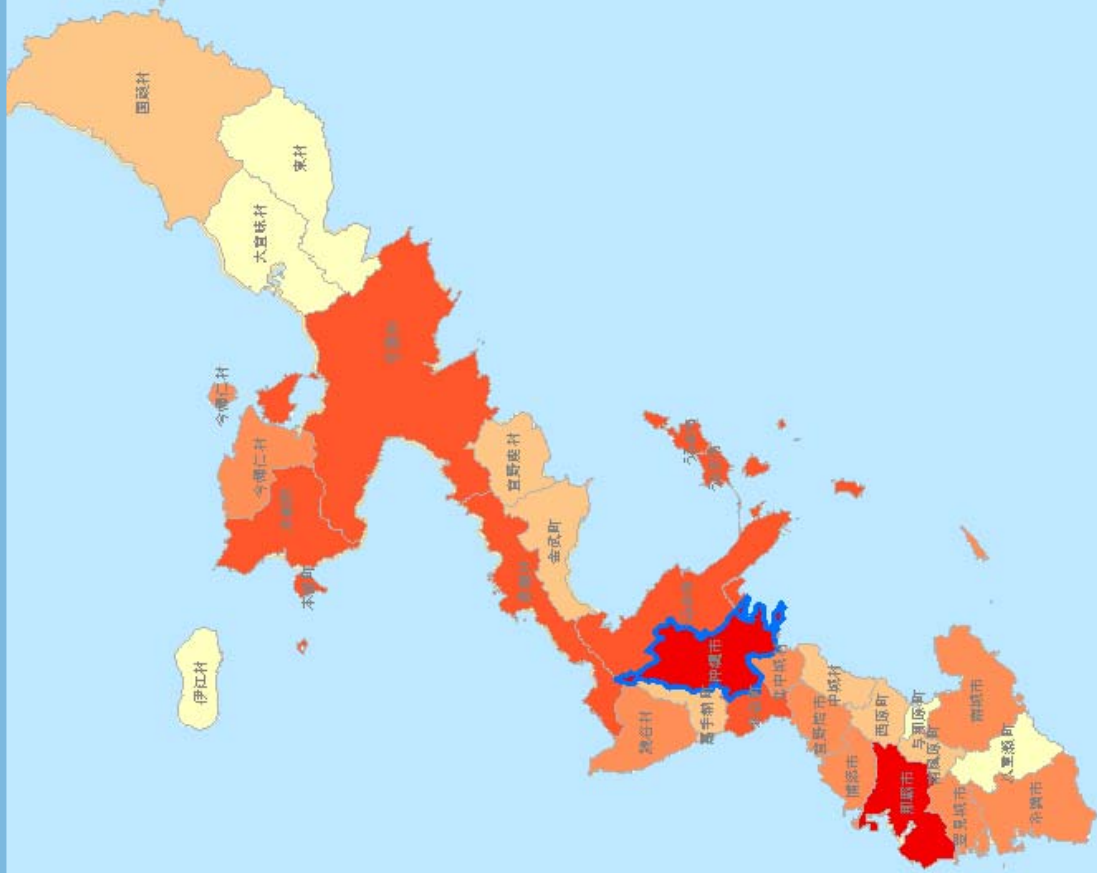
通年

期間別



市区町村別 宿泊人泊数・構成比

順位	市区町村名	都道府県名	通年	
			宿泊人泊数	構成比
1	那覇市	沖縄県	2,099	29.7%
2	沖縄市	沖縄県	1,115	15.8%
3	国頭郡恩納村	沖縄県	787	11.1%
4	中頭郡北谷町	沖縄県	372	5.3%
5	うるま市	沖縄県	371	5.3%
6	名護市	沖縄県	356	5.0%
7	中頭郡読谷村	沖縄県	287	4.1%
8	国頭郡本部町	沖縄県	230	3.3%
9	宜野湾市	沖縄県	223	3.2%
10	中頭郡北中城村	沖縄県	161	2.3%
11	浦添市	沖縄県	113	1.6%
12	大田区	東京都	102	1.4%
13	糸満市	沖縄県	83	1.2%
14	中頭郡中城村	沖縄県	60	0.8%
15	豊見城市	沖縄県	56	0.8%
16	国頭郡今帰仁村	沖縄県	44	0.6%
17	南城市	沖縄県	40	0.6%
18	中頭郡西原町	沖縄県	34	0.5%
19	石垣市	沖縄県	34	0.5%
20	常滑市	愛知県	34	0.5%



*10人未満は非表示

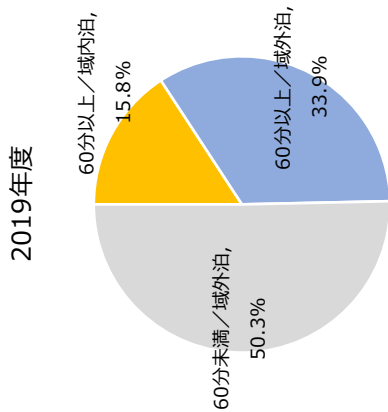
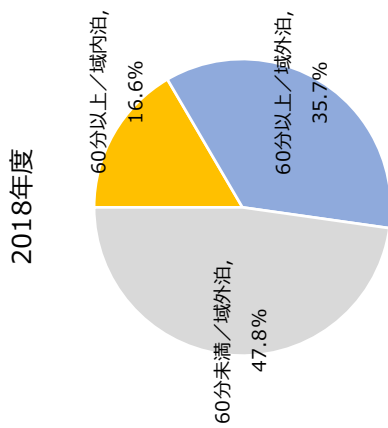
(参考) 滞在時間別 宿泊人泊構成比

通年

期間別

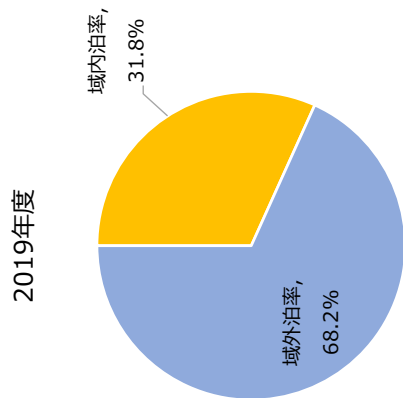
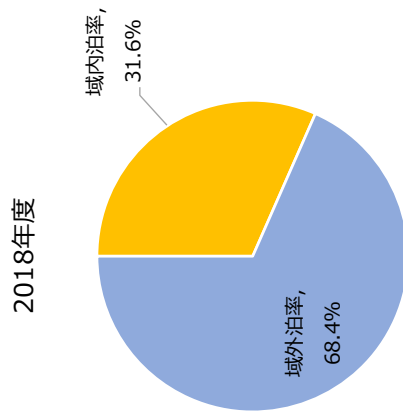


(1) 沖縄市内滞在時間別 宿泊場所区分別 宿泊人泊構成比



沖縄市来訪者の宿泊人泊数を、宿泊場所区分別 かつ 沖縄市内滞在時間別 (60分未満 または 60分以上) に算出。2018年度調査時と比較すると 60分未満滞在 / 域外泊の割合が約3%増加となり、ほぼ横ばい。

(2) 沖縄市60分以上滞在中 宿泊場所区分別 宿泊人泊構成比



上記から60分未満滞在を除外し 沖縄市内60分以上滞在のみに限定して 宿泊場所区分構成比を算出すると、2018年度調査時と比較して、ほぼ横ばい。

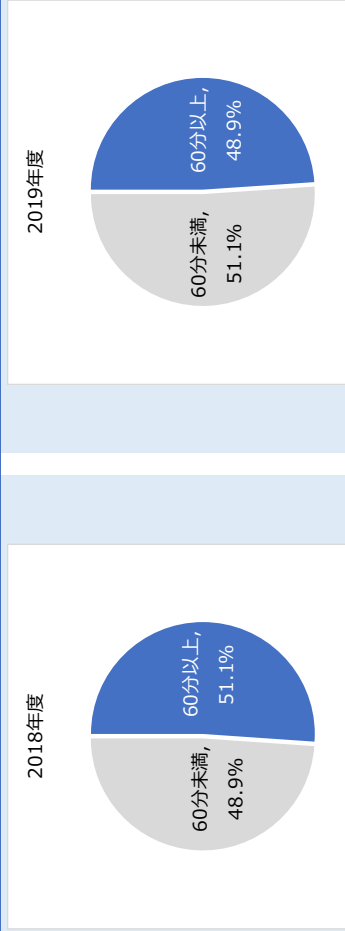
(参考) 滞在時間別 来訪者構成比

通年

期間別

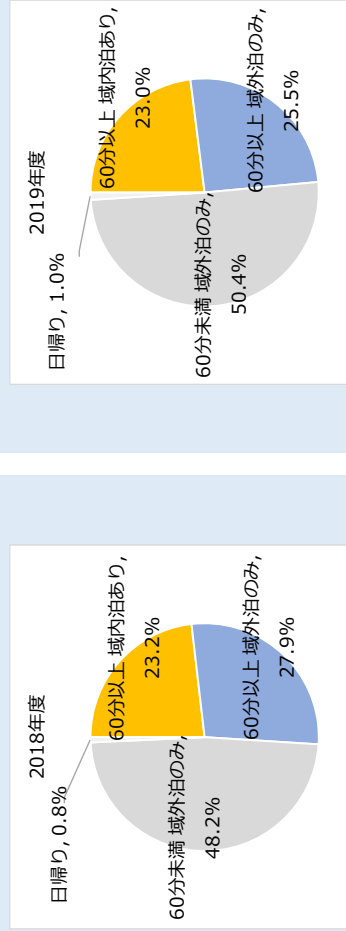


(1) 沖縄市内滞在時間別 来訪者構成比



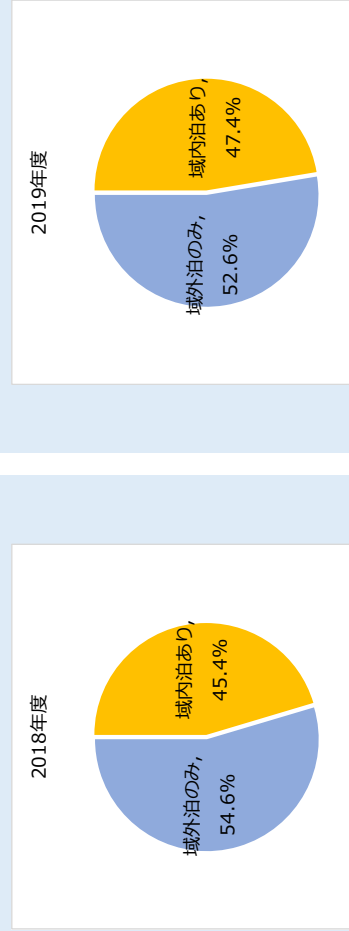
沖縄市来訪者を沖縄市内滞在時間別（60分未満 または 60分以上）に算出。2018年度調査時と比較すると60分以上滞在者の割合が約2%現象となり、ほぼ横ばい。

(2) 沖縄市内滞在時間別 旅程別 来訪者構成比



沖縄市の滞在時間別来訪者を旅程別に算出。（宿泊者のうち、旅程内で1泊でも沖縄市内に宿泊した人は域内泊あり、沖縄市内に1泊もしていない人を域外泊のみ、とする。日帰りはサンプル僅少のため滞在時間の区分はなし）

(3) 沖縄市内60分以上滞在者 旅程別 来訪者構成比



60分以上滞在者のみで比較すると、域内泊あり来訪者は2018年度より約2%増加している。

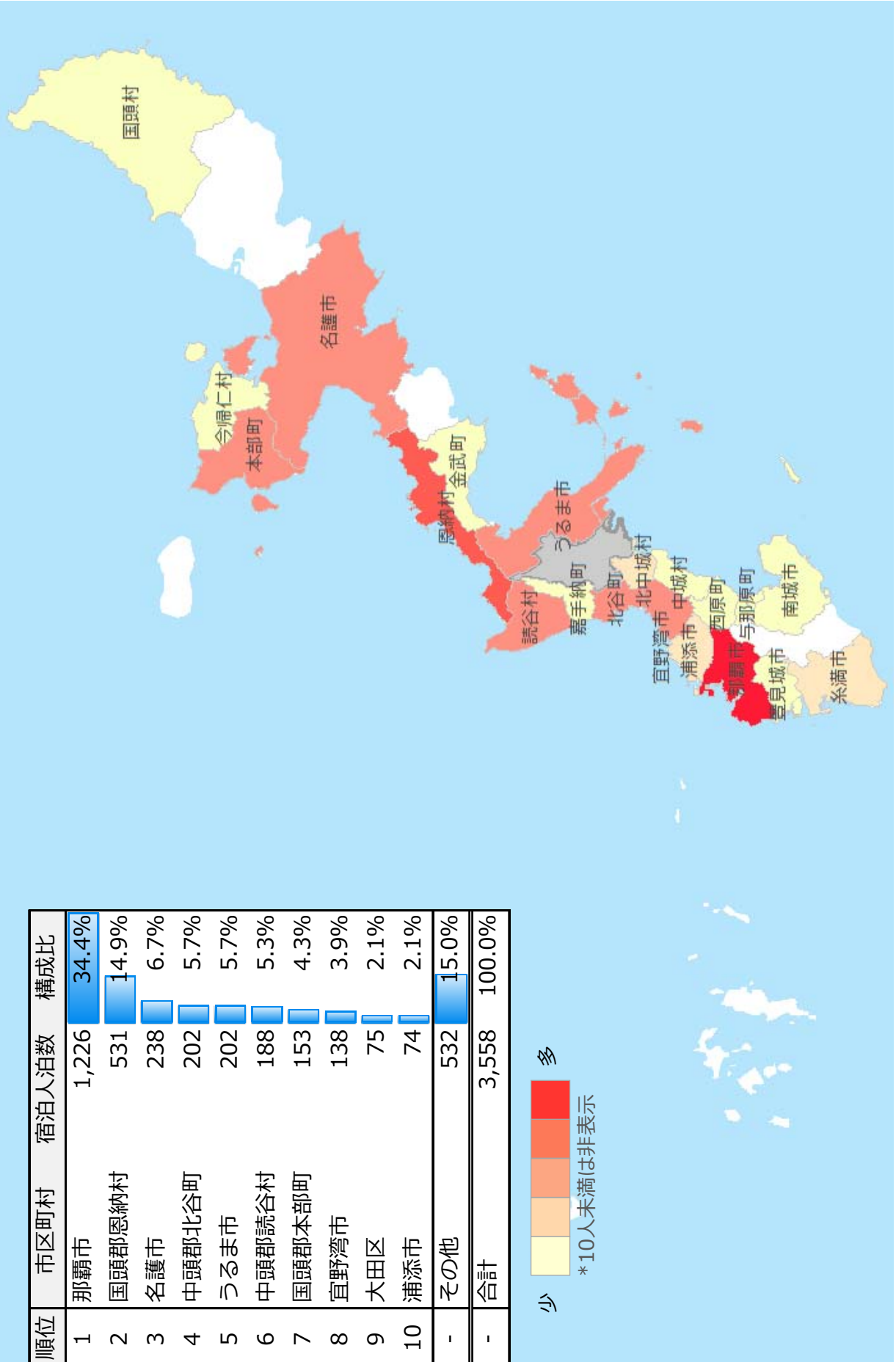
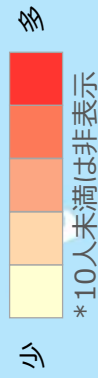
(参考) 沖縄市内60分未満滞在者 宿泊地分析

通年

期間別

Location Trends

順位	市区町村	宿泊人泊数	構成比
1	那覇市	1,226	34.4%
2	国頭郡恩納村	531	14.9%
3	名護市	238	6.7%
4	中頭郡北谷町	202	5.7%
5	うるま市	202	5.7%
6	中頭郡読谷村	188	5.3%
7	国頭郡本部町	153	4.3%
8	宜野湾市	138	3.9%
9	大田区	75	2.1%
10	浦添市	74	2.1%
-	その他	532	15.0%
-	合計	3,558	100.0%



発地都道府県別 域内泊数分解分析

通年

期間別



発地都道府県別 域内泊数分解分析

順位	発地 都道府県	期間	来訪者数	宿泊者数	宿泊率	宿泊人泊数	平均泊数	域内泊数	域内宿泊率
		通年	302 ****	****	****	943 ****	****	141	15.0%
		2019年4~6月	57 ****	****	****	173 ****	****	22	12.8%
1	東京都	2019年7~9月	85 ****	****	****	302 ****	****	51	16.9%
		2019年10~12月	73 ****	****	****	211 ****	****	29	13.8%
		2020年1~3月	89 ****	****	****	257 ****	****	39	15.1%
		通年	216 ****	****	****	632 ****	****	83	13.1%
		2019年4~6月	58 ****	****	****	158 ****	****	****	****
2	神奈川県	2019年7~9月	30 ****	****	****	97 ****	****	23	24.0%
		2019年10~12月	54 ****	****	****	157 ****	****	****	****
		2020年1~3月	73 ****	****	****	220 ****	****	31	14.0%
		通年	212 ****	****	****	509 ****	****	97	19.0%
		2019年4~6月	39 ****	****	****	92 ****	****	20	21.5%
3	福岡県	2019年7~9月	53 ****	****	****	133 ****	****	42	31.8%
		2019年10~12月	58 ****	****	****	138 ****	****	12	9.0%
		2020年1~3月	62 ****	****	****	146 ****	****	22	15.3%
		通年	194 ****	****	****	546 ****	****	68	12.4%
		2019年4~6月	40 ****	****	****	102 ****	****	****	****
4	大阪府	2019年7~9月	49 ****	****	****	148 ****	****	18	12.3%
		2019年10~12月	58 ****	****	****	170 ****	****	27	16.0%
		2020年1~3月	48 ****	****	****	126 ****	****	****	****
		通年	183 ****	****	****	554 ****	****	151	27.2%
		2019年4~6月	74 ****	****	****	226 ****	****	106	47.1%
5	埼玉県	2019年7~9月	24 ****	****	****	75 ****	****	****	****
		2019年10~12月	55 ****	****	****	163 ****	****	31	18.7%
		2020年1~3月	30 ****	****	****	89 ****	****	****	****

来訪者数

東京都、神奈川県、福岡県からの来訪者が多い。
 期間別で見ると、
 埼玉県発地者は「2019年4~6月」
 大阪府発地者は「2019年10~12月」
 東京都、神奈川県、福岡県発地者は
 「2020年1~3月」の来訪者数が多い。

宿泊率

※日帰りのサンプルが僅少の為、宿泊者数・
 宿泊率は秘匿表示となります。
 表示しているデータバーは参考値としてご確
 認ください。

域内宿泊率

埼玉県発地者の域内泊率が最も多く27.2%、
 ついで福岡県発地者が19.0%と多い。

期間別で見ると、
 埼玉県発地者は「2019年4~6月」、
 東京都、神奈川県、福岡県発地者は
 「2019年7~9月」、
 大阪府発地者は「2019年10~12月」に域内泊
 率が多くなる傾向。

観光工リア分析

観光エリア別 来訪者数・来訪率

通年

期間別



観光エリア別来訪者数・来訪率

順位	観光エリア名	来訪者数	来訪率
1	北谷アメリカンビレッジ	622	26.2%
2	沖縄イオンモールライカム	416	17.5%
3	中の町	298	12.5%
4	東南植物楽園	204	8.6%
5	一番街	172	7.2%
6	県総合運動公園	164	6.9%
7	グランメールリゾート	162	6.8%
8	沖縄こどもの国	127	5.3%
9	コザ運動公園	104	4.4%
10	プラザハウス	45	1.9%
-	沖縄市来訪者 (通年)	2,378	-

「北谷アメリカンビレッジ」の来訪者が最も多く、ついで「沖縄イオンモールライカム」、「中の町」の来訪者が多い。

観光エリア別 属性分析

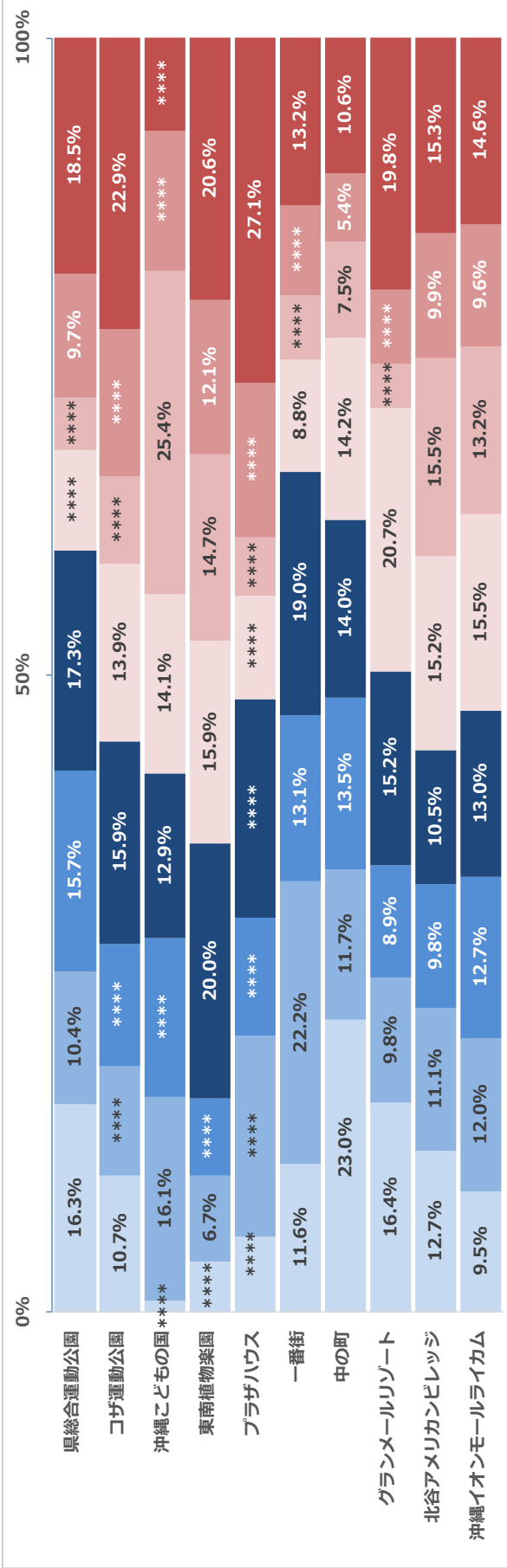
通年

期間別



観光エリア別 性別・年齢層別 来訪者数・構成比

No	観光エリア名	来訪者数	性別		男性				女性			
			男性	女性	15~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上	15~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上
1	県総合運動公園	164	98	66	27	17	26	28	****	****	16	30
2	コザ運動公園	104	47	58	11	****	****	17	****	****	****	24
3	沖縄こどもの国	127	53	73	****	20	****	16	****	****	****	****
4	東南植物楽園	204	75	129	****	14	****	41	****	30	25	42
5	ブラザハウス	45	22	23	****	****	****	****	****	****	****	12
6	一番街	172	114	59	20	38	23	33	****	****	****	23
7	中の町	298	186	113	69	35	40	42	42	23	16	32
8	グランメーラルリゾート	162	82	81	27	16	14	25	34	****	****	32
9	北谷アメリカンビレッジ	622	274	348	79	69	61	65	95	97	61	95
10	沖縄イオンモールライカム	416	196	220	40	50	53	54	64	55	40	61



観光エリア別 属性分析

通年

期間別



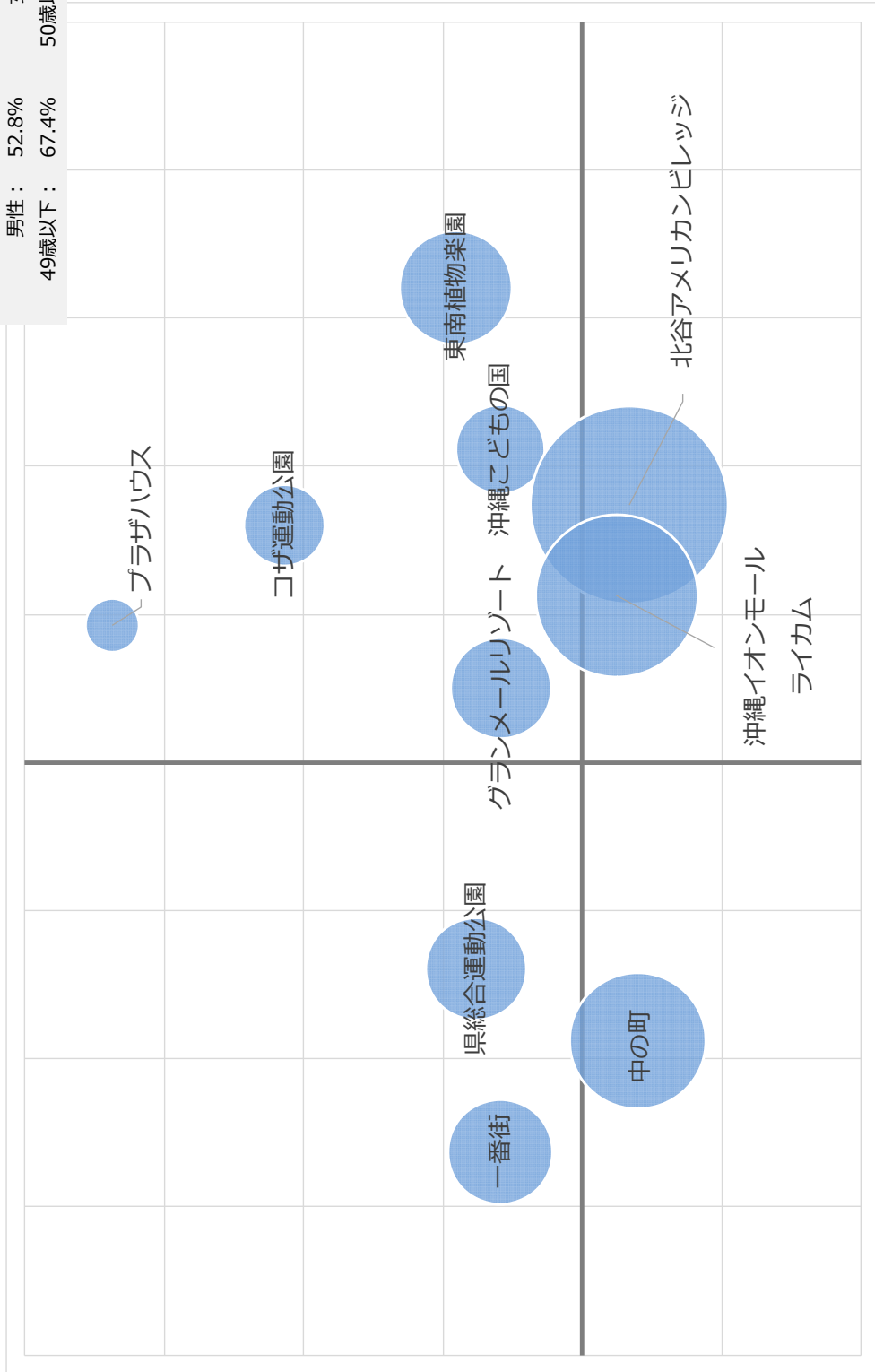
観光エリア別 属性分布

※円の大きさは来訪者数を表す

※中央値は以下の沖縄市来訪者（通年）の値とする

男性： 52.8% 女性： 47.2%

49歳以下： 67.4% 50歳以上： 32.6%



50歳以上傾向

49歳以下傾向

男性傾向

女性傾向

観光エリア別 発地地域別 来訪者数・構成比

■県総合運動公園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	60	36.3%
2	中部	42	25.9%
3	近畿	24	14.8%
4	九州	19	11.3%
5	中国	****	****
-	その他	****	****
-	合計	164	100.0%

■コザ運動公園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	27	26.3%
2	近畿	27	26.0%
3	中部	23	21.7%
4	中国	14	13.1%
5	九州	****	****
-	その他	****	****
-	合計	104	100.0%

■沖縄こどもの国

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	37	29.3%
2	近畿	35	27.7%
3	中部	22	17.6%
4	九州	14	11.2%
5	北海道	****	****
-	その他	****	****
-	合計	127	100.0%

■東南植物楽園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	65	31.8%
2	九州	33	16.2%
3	中部	28	13.7%
4	北海道	27	13.0%
5	近畿	25	12.3%
-	その他	27	13.1%
-	合計	204	100.0%

■ブラザハウス

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	20	44.4%
2	近畿	****	****
3	九州	****	****
4	中国	****	****
5	中部	****	****
-	その他	****	****
-	合計	45	100.0%

■一番街

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	95	55.2%
2	九州	24	13.9%
3	中部	24	13.7%
4	近畿	18	10.4%
5	北海道	****	****
-	その他	****	****
-	合計	172	100.0%

観光スポットに対して関東発地者が最も多く、特に「一番街」は関東発地者が5割以上を占める。

観光エリア別 発地地域別 来訪者数・構成比

■中の町

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	149	50.0%
2	近畿	51	17.1%
3	九州	41	13.9%
4	中部	34	11.4%
5	四国	****	****
-	その他	****	****
-	合計	298	100.0%

■グランメールリゾート

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	中部	53	32.5%
2	関東	48	29.4%
3	近畿	29	17.7%
4	九州	16	10.0%
5	北海道	****	****
-	その他	****	****
-	合計	162	100.0%

■北谷アメリカンビレッジ

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	230	37.0%
2	近畿	136	21.9%
3	中部	114	18.3%
4	九州	57	9.2%
5	中国	30	4.8%
-	その他	55	8.8%
-	合計	622	100.0%

■沖縄イオンモールライカム

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	137	33.0%
2	近畿	84	20.1%
3	中部	79	19.1%
4	九州	61	14.7%
5	北海道	26	6.3%
-	その他	29	6.9%
-	合計	416	100.0%

「中の町」「北谷アメリカンビレッジ」「沖縄イオンモールライカム」「グランメールリゾート」は関東発地者が多い。
「グランメールリゾート」は中部発地者が最も多く、ついで関東発地者が多い。

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■ 県総合運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	17	10.1%
2	新潟県	15	8.9%
3	千葉県	13	8.1%
4	山梨県	12	7.5%
5	埼玉県	12	7.1%
-	その他	96	58.3%
-	合計	164	100.0%

■ コザ運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	愛知県	18	17.0%
2	大阪府	12	11.7%
3	東京都	11	10.3%
4	広島県	****	****
5	神奈川県	****	****
-	その他	47	45.0%
-	合計	104	100.0%

■ 沖縄こどもの国

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	大阪府	16	12.8%
2	千葉県	15	11.6%
3	東京都	****	****
4	愛知県	****	****
5	福岡県	****	****
-	その他	70	55.5%
-	合計	127	100.0%

■ 東南植物楽園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	北海道	27	13.0%
2	神奈川県	22	10.8%
3	福岡県	21	10.3%
4	愛知県	17	8.3%
5	東京都	14	6.8%
-	その他	104	50.7%
-	合計	204	100.0%

■ ブラザハウス

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	****	****
2	神奈川県	****	****
3	埼玉県	****	****
4	福岡県	****	****
5	兵庫県	****	****
-	その他	22	48.9%
-	合計	45	100.0%

■ 一番街

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	38	22.1%
2	埼玉県	21	12.2%
3	神奈川県	19	11.0%
4	福岡県	****	****
5	千葉県	****	****
-	その他	71	41.3%
-	合計	172	100.0%

「県総合運動公園」「ブラザハウス」「一番街」は東京都発地者が最も多い。
 「コザ運動公園」は愛知県、「沖縄こどもの国」は大阪府、「東南植物楽園」は北海道発地者が最も多い。

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■中の町

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	埼玉県	53	17.8%
2	東京都	34	11.5%
3	神奈川県	28	9.4%
4	大阪府	23	7.6%
5	千葉県	22	7.4%
-	その他	138	46.3%
-	合計	298	100.0%

■グランメールリゾート

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	愛知県	21	12.8%
2	大阪府	13	7.9%
3	静岡県	13	7.9%
4	東京都	11	7.0%
5	茨城県	11	6.6%
-	その他	94	57.8%
-	合計	162	100.0%

■北谷アメリカンビレッジ

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	81	13.0%
2	大阪府	58	9.3%
3	神奈川県	52	8.4%
4	愛知県	48	7.8%
5	千葉県	39	6.3%
-	その他	345	55.4%
-	合計	622	100.0%

■沖縄イオンモールライカム

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	愛知県	40	9.6%
2	東京都	40	9.5%
3	大阪府	38	9.2%
4	神奈川県	37	8.9%
5	福岡県	36	8.6%
-	その他	226	54.2%
-	合計	416	100.0%

「グランメールリゾート」「沖縄イオンモールライカム」は愛知県発地者が最も多い。
 「中の町」「埼玉県」「北谷アメリカンビレッジ」は東京都発地者が最も多い。

観光エリア別 発地市区町村別 来訪者数・構成比

■ 県総合運動公園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	甲斐市	山梨県	11	6.6%	1	刈谷市	愛知県	78	74.5%
2	大和高田市	奈良県	****	****	2	京都市伏見区	京都府	****	****
3	長崎市	長崎県	****	****	3	大和高田市	奈良県	****	****
4	京都市伏見区	京都府	****	****	4	武蔵野市	東京都	****	****
5	羽島市	岐阜県	****	****	5	練馬区	東京都	****	****
6	新潟市秋葉区	新潟県	****	****	6	藤井寺市	大阪府	****	****
7	狭山市	埼玉県	****	****	7	松山市	愛媛県	****	****
8	川崎市宮前区	神奈川県	****	****	8	一宮市	愛知県	****	****
9	町田市	東京都	****	****	9	福岡市城南区	福岡県	****	****
10	新潟市東区	新潟県	****	****	10	世田谷区	東京都	****	****
-	その他		117	71.3%	-	その他		104	100.0%
-	合計		164	100.0%	-	合計		104	100.0%

■ コザ運動公園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	千葉市中央区	千葉県	****	****	1	川口市	埼玉県	11	6.6%
2	札幌市東区	北海道	****	****	2	横浜市港北区	神奈川県	****	****
3	関市	岐阜県	****	****	3	足立区	東京都	****	****
4	茂原市	千葉県	****	****	4	美濃加茂市	岐阜県	****	****
5	堺市東区	大阪府	****	****	5	世田谷区	東京都	****	****
6	奈良市	奈良県	****	****	6	川越市	埼玉県	****	****
7	尼崎市	兵庫県	****	****	7	大田区	東京都	****	****
8	池田市	大阪府	****	****	8	北区	東京都	****	****
9	福岡市西区	福岡県	****	****	9	練馬区	東京都	****	****
10	生駒市	奈良県	****	****	10	江戸川区	東京都	****	****
-	その他		89	70.5%	-	その他		123	71.4%
-	合計		127	100.0%	-	合計		172	100.0%

■ 沖縄こどもの国

■ 東南植物楽園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡市南区	福岡県	****	****	1	北九州市八幡西区	福岡県	****	****
2	札幌市東区	北海道	****	****	2	横須賀市	神奈川県	****	****
3	愛川町	神奈川県	****	****	3	加古川市	兵庫県	****	****
4	一宮市	愛知県	****	****	4	長崎市	長崎県	****	****
5	札幌市西区	北海道	****	****	5	相模原市中央区	神奈川県	****	****
6	春日井市	愛知県	****	****	6	武蔵村山市	東京都	****	****
7	柏市	千葉県	****	****	7	つくば市	茨城県	****	****
8	呉市	広島県	****	****	8	八潮市	埼玉県	****	****
9	八王子市	東京都	****	****	9	直方市	福岡県	****	****
10	高崎市	群馬県	****	****	10	山口市	山口県	****	****
-	その他		156	76.5%	-	その他		28	62.5%
-	合計		204	100.0%	-	合計		45	100.0%

■ プラザハウス

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡市南区	福岡県	****	****	1	川口市	埼玉県	11	6.6%
2	札幌市東区	北海道	****	****	2	横浜市港北区	神奈川県	****	****
3	愛川町	神奈川県	****	****	3	足立区	東京都	****	****
4	一宮市	愛知県	****	****	4	美濃加茂市	岐阜県	****	****
5	札幌市西区	北海道	****	****	5	世田谷区	東京都	****	****
6	春日井市	愛知県	****	****	6	川越市	埼玉県	****	****
7	柏市	千葉県	****	****	7	大田区	東京都	****	****
8	呉市	広島県	****	****	8	北区	東京都	****	****
9	八王子市	東京都	****	****	9	練馬区	東京都	****	****
10	高崎市	群馬県	****	****	10	江戸川区	東京都	****	****
-	その他		156	76.5%	-	その他		123	71.4%
-	合計		204	100.0%	-	合計		172	100.0%

「県総合運動公園」は山梨県甲斐市、「コザ運動公園」は愛知県刈谷市、「沖縄こどもの国」は千葉県中央区発地者が最も多い。
 「東南植物楽園」は福岡県福岡市南区、「プラザハウス」は福岡県北九州市八幡西区、「一番街」は埼玉県川口市発地者が最も多い。

観光エリア別 発地市区町村別 来訪者数・構成比

■中の町

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	川口市	埼玉県	40	13.3%	1	浜松市浜北区	静岡県	10	6.5%	1	大田区	東京都	11	1.7%
2	熊本市中央区	熊本県	****	****	2	札幌市東区	北海道	****	****	2	世田谷区	東京都	****	****
3	練馬区	東京都	****	****	3	鹿児島市	鹿児島県	****	****	3	大和高田市	奈良県	****	****
4	木津川市	京都府	****	****	4	羽島市	岐阜県	****	****	4	川口市	埼玉県	****	****
5	横浜市港北区	神奈川県	****	****	5	日立市	茨城県	****	****	5	札幌市東区	北海道	****	****
6	草加市	埼玉県	****	****	6	那珂市	茨城県	****	****	6	奈良市	奈良県	****	****
7	市川市	千葉県	****	****	7	箕面市	大阪府	****	****	7	市川市	千葉県	****	****
8	足利市	栃木県	****	****	8	京都市伏見区	京都府	****	****	8	木津川市	京都府	****	****
9	横浜市港南区	神奈川県	****	****	9	白山市	石川県	****	****	9	江東区	東京都	****	****
10	名古屋市長区	愛知県	****	****	10	山県市	岐阜県	****	****	10	一宮市	愛知県	****	****
-	その他		208	69.7%	-	その他		116	71.3%	-	その他		542	87.0%
-	合計		298	100.0%	-	合計		162	100.0%	-	合計		622	100.0%

■グランメーブルリゾート

■北谷アメリカンビレッジ

■沖縄イオンモールライカム

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡市博多区	福岡県	13	3.1%
2	浜松市浜北区	静岡県	10	2.5%
3	刈谷市	愛知県	****	****
4	大和高田市	奈良県	****	****
5	札幌市豊平区	北海道	****	****
6	札幌市西区	北海道	****	****
7	足利市	栃木県	****	****
8	板橋区	東京都	****	****
9	世田谷区	東京都	****	****
10	名古屋市長区	愛知県	****	****
-	その他		349	83.8%
-	合計		416	100.0%

「中の町」は埼玉県川口市、「グランメーブルリゾート」は静岡県浜松市浜北区、「北谷アメリカンビレッジ」は東京都大田区、「沖縄イオンモールライカム」は福岡県福岡市博多区発地者が最も多い。

観光エリア別 周遊箇所数分析

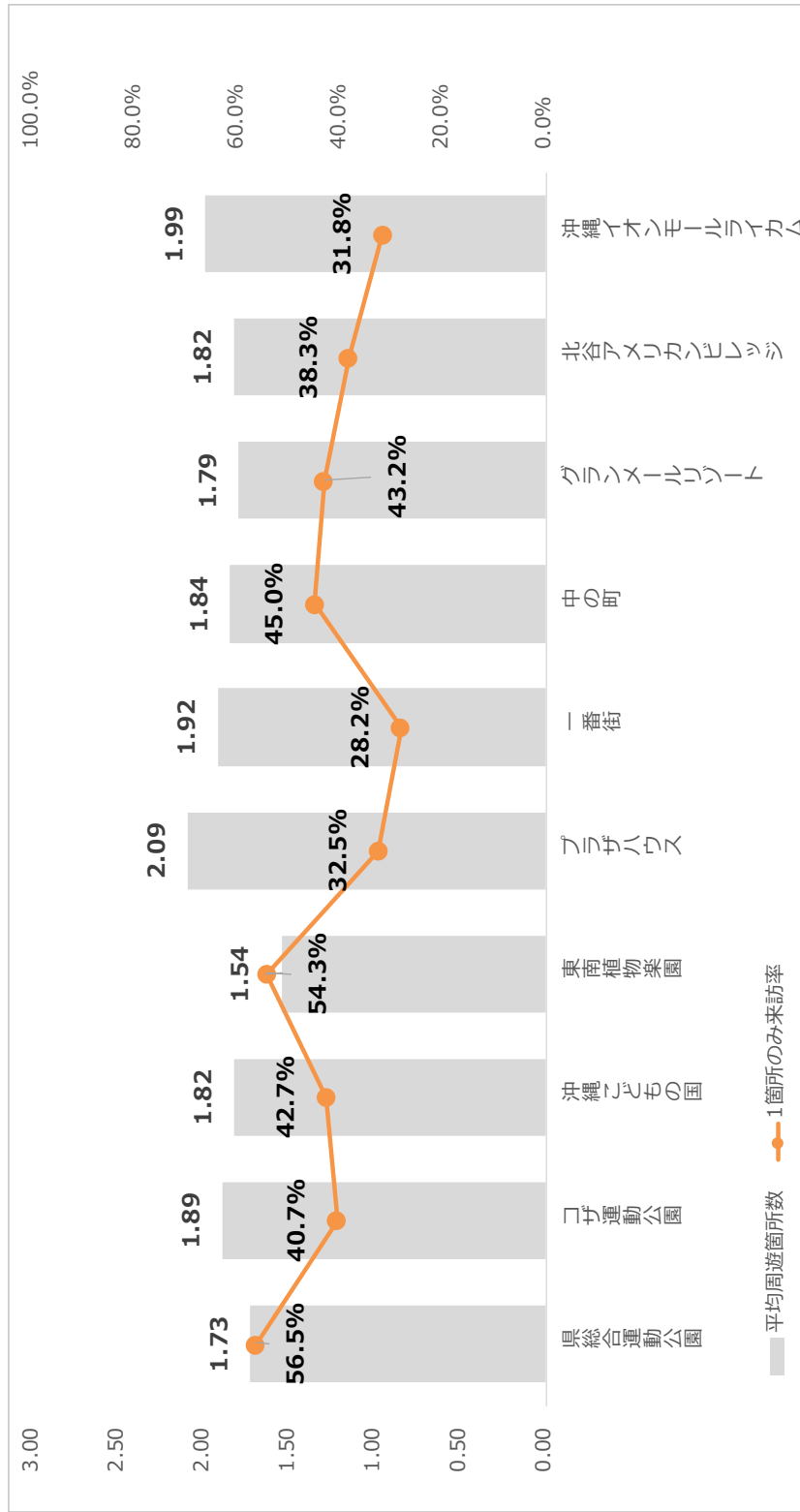
通年

期間別



Location Trends

観光エリア別 平均周遊箇所数・1箇所のみ来訪率



「県総合運動公園」「東南植物楽園」の順に1箇所のみ来訪率が多い。

「プラザハウス」(他観光エリアと比較して平均周遊箇所数が最も多い)。

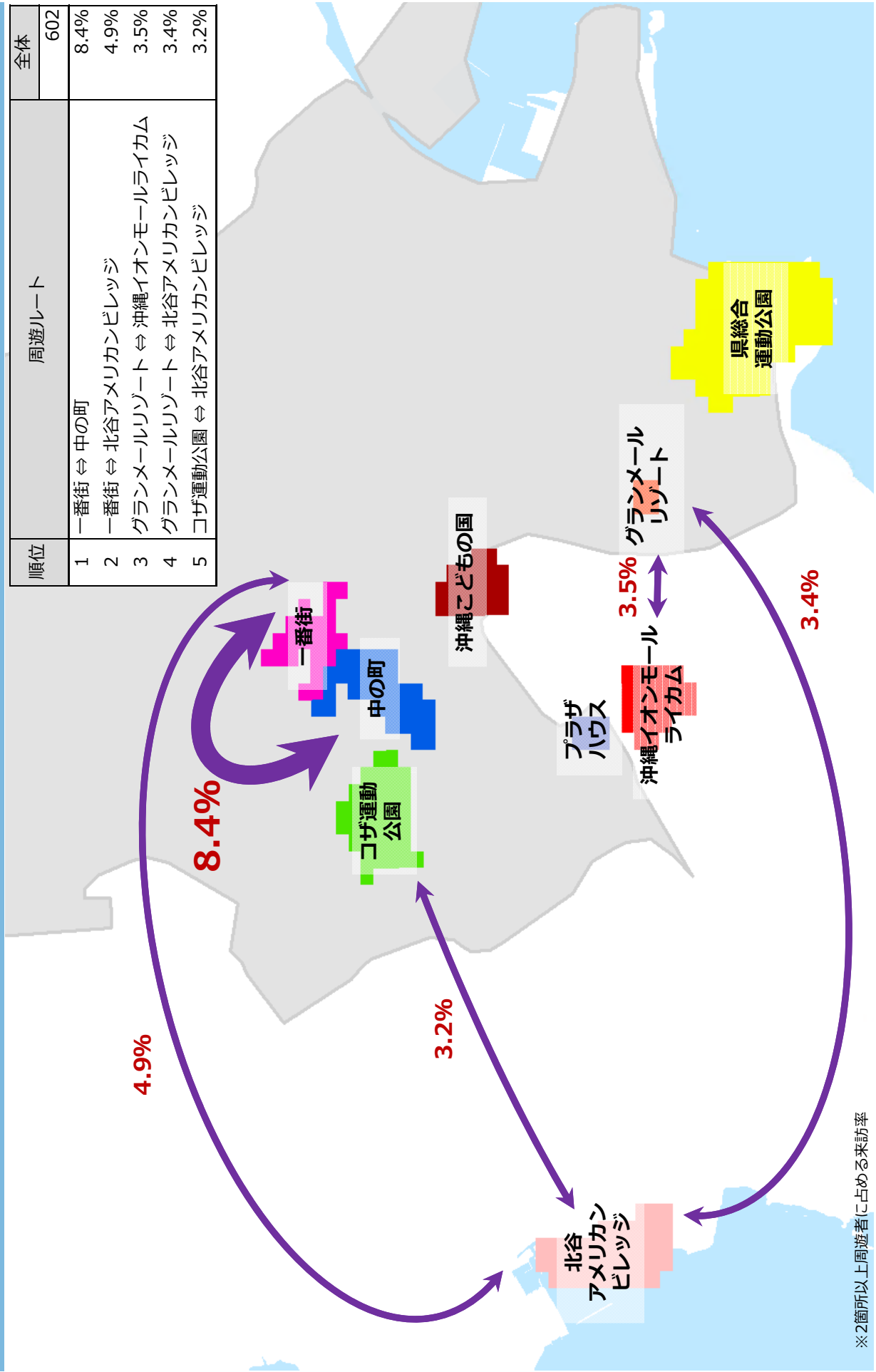
観光エリア 周遊分析

通年

期間別

Location Trends

順位	周遊ルート	全体
1	一番街 ⇄ 中の町	602
2	一番街 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	8.4%
3	グランメールリゾート ⇄ 沖縄イオンモールライカム	4.9%
4	グランメールリゾート ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	3.5%
5	コザ運動公園 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	3.4%



※2箇所以上周遊者に占める来訪率

性別・年齢層別 周遊ルートランキング

順位	周遊ルート	全体		男性		女性		49歳以下		50歳以上	
		割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
1	一番街 ⇨ 中の町	8.4%	602	12.2%	287	5.1%	316	8.5%	433	8.4%	170
2	一番街 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ	4.9%		4.8%		5.0%		****		****	
3	グランメーラリゾート ⇨ 沖縄イオンモールライカム	3.5%		****		****		****		****	
4	グランメーラリゾート ⇨ 北谷アメリカンビレッジ	3.4%		****		****		****		****	
5	コザ運動公園 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ	3.2%		****		****		****		****	
6	グランメーラリゾート ⇨ 北谷アメリカンビレッジ ⇨ 沖縄イオンモールライカム	2.0%		****		****		****		****	
7	コザ運動公園 ⇨ 沖縄イオンモールライカム	1.9%		****		****		****		****	
8	一番街 ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
9	プラザハウス ⇨ 北谷アメリカンビレッジ	****		****		****		****		****	
10	一番街 ⇨ 中の町 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ	****		****		****		****		****	
11	プラザハウス ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
12	一番街 ⇨ 中の町 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
13	一番街 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
14	コザ運動公園 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
15	コザ運動公園 ⇨ 中の町	****		****		****		****		****	
16	プラザハウス ⇨ 北谷アメリカンビレッジ ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
17	コザ運動公園 ⇨ グランメーラリゾート ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
18	コザ運動公園 ⇨ 中の町 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ	****		****		****		****		****	
19	プラザハウス ⇨ 中の町 ⇨ 北谷アメリカンビレッジ ⇨ 沖縄イオンモールライカム	****		****		****		****		****	
20	コザ運動公園 ⇨ 一番街 ⇨ 中の町	****		****		****		****		****	
その他		62.7%		65.8%		59.9%		64.5%		58.3%	

「一番街 ⇨ 中の町」の周遊が最も多い。

観光エリア 周遊分析

通年

期間別



観光エリア間 周遊率

NO	観光エリア名	来訪者数	2箇所以上 来訪率	平均周遊 箇所数	周遊先観光エリア名										
					県総合運動 公園	コザ運動公 園	沖縄こども の国	東南植物楽 園	ブラザハウ ス	一番街	中の町	グランメー ルリゾート	北谷アメリカ ンビレッジ	沖縄イオンモ ールライカム	
1	県総合運動公園	164	43.5%	1.73	****	****	****	****	****	****	****	****	6.9%	31.9%	22.8%
2	コザ運動公園	104	59.3%	1.89	****	****	****	****	****	****	****	10.5%	****	33.1%	25.7%
3	沖縄こどもの国	127	57.3%	1.82	****	****	****	****	****	****	****	****	****	33.1%	23.2%
4	東南植物楽園	204	45.7%	1.54	****	****	****	****	****	****	****	****	****	32.2%	13.1%
5	ブラザハウス	45	67.5%	2.09	****	****	****	****	****	****	****	****	****	36.4%	37.6%
6	一番街	172	71.8%	1.92	****	****	****	****	****	****	40.7%	****	****	29.9%	12.6%
7	中の町	298	55.0%	1.84	****	3.7%	****	****	****	****	23.5%	****	****	20.9%	18.4%
8	グランメールリゾート	162	56.8%	1.79	7.0%	****	****	****	****	****	****	****	****	28.2%	28.1%
9	北谷アメリカンビレッジ	622	61.7%	1.82	8.4%	5.6%	6.7%	10.6%	2.6%	8.3%	10.0%	7.4%	****	****	25.7%
10	沖縄イオンモールライカム	416	68.2%	1.99	9.0%	6.5%	7.1%	6.4%	4.1%	5.2%	13.2%	11.0%	38.5%	****	****

周遊率が最も高い

周遊率が2番目に高い

「県総合運動公園」「コザ運動公園」「沖縄こどもの国」「東南植物楽園」「グランメールリゾート」「沖縄イオンモールライカム」来訪者は、「北谷アメリカンビレッジ」との周遊率が最も多い。
 「ブラザハウス」「北谷アメリカンビレッジ」来訪者は、「一番街」来訪者は、「中の町」との周遊率が最も多い。
 「一番街」来訪者は、「中の町」との周遊率が最も多い。
 「中の町」来訪者は、「一番街」との周遊率が最も多い。

観光エリア別 旅程分析

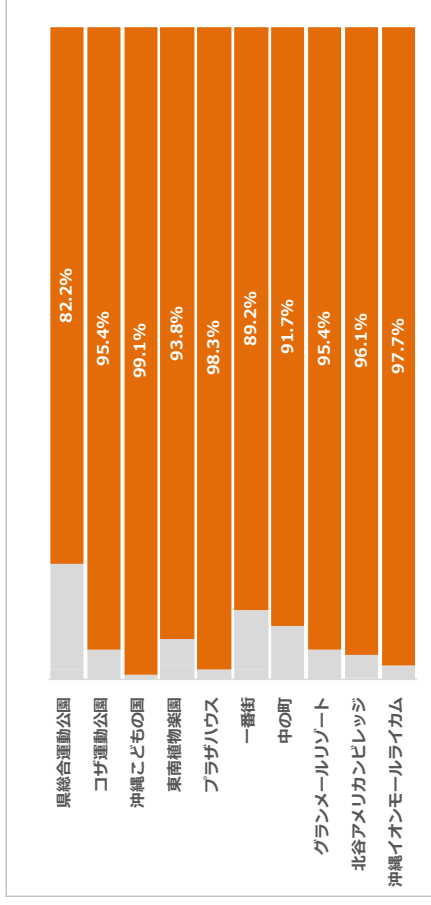
通年

期間別



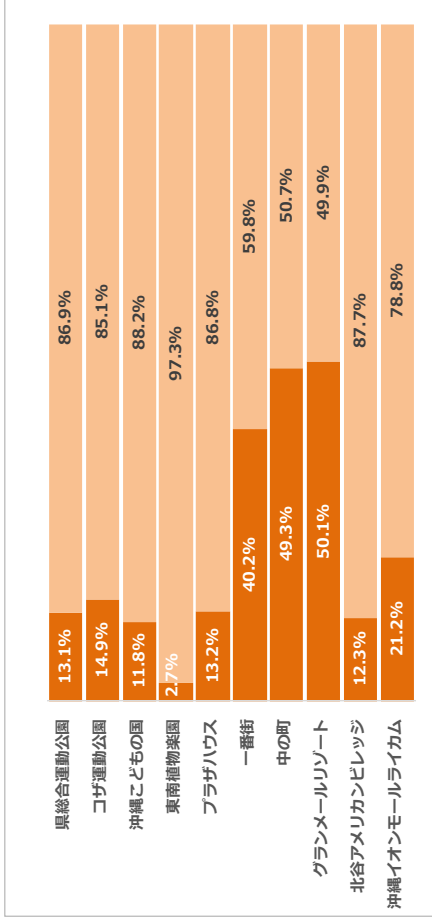
観光エリア別 旅程別 来訪者数・構成比

No	観光エリア名	来訪者数	日帰り	1泊	2泊以上
1	県総合運動公園	164	****	****	135
2	コザ運動公園	104	****	****	100
3	沖縄こどもの国	127	****	****	126
4	東南植物楽園	204	****	****	191
5	ブラザハウス	45	****	****	44
6	一番街	172	****	****	154
7	中の町	298	****	****	274
8	グランメールリゾート	162	****	****	155
9	北谷アメリカンビレッジ	622	****	****	598
10	沖縄イオンモールライカム	416	****	****	407



観光エリア別 宿泊場所区分別 宿泊人泊数・構成比

No	観光エリア名	人泊数	域内宿泊	域外宿泊
1	県総合運動公園	423	55	368
2	コザ運動公園	308	46	262
3	沖縄こどもの国	407	48	359
4	東南植物楽園	654	18	636
5	ブラザハウス	161	21	139
6	一番街	481	194	288
7	中の町	902	445	457
8	グランメールリゾート	466	233	232
9	北谷アメリカンビレッジ	1,974	243	1,730
10	沖縄イオンモールライカム	1,435	305	1,131



- いずれの観光エリアも2泊以上の傾向が強い
- 域内泊傾向が強い…「グランメールリゾート」
- 域外泊傾向が強い…「県総合運動公園」「コザ運動公園」「沖縄こどもの国」「東南植物楽園」「ブラザハウス」「一番街」「中の町」「北谷アメリカンビレッジ」「沖縄イオンモールライカム」

観光エリア別 域内泊数分解分析

通年

期間別



観光エリア別 域内泊数分解分析

No	観光エリア名	来訪者数	宿泊者数	宿泊率	宿泊人数	平均泊数	域内泊数	域内宿泊率
1	県総合運動公園	164	****	****	423	****	55	13.1%
2	コザ運動公園	104	****	****	308	****	46	14.9%
3	沖縄こどもの国	127	****	****	407	****	48	11.8%
4	東南植物楽園	204	****	****	654	****	18	2.7%
5	プラザハウス	45	****	****	161	****	21	13.2%
7	中の町	298	****	****	902	****	445	49.3%
8	グランメールリゾート	162	****	****	466	****	233	50.1%
9	北谷アメリカンビレッジ	622	****	****	1,974	****	243	12.3%
10	沖縄イオンモールライカム	416	****	****	1,435	****	305	21.2%

来訪者数

「北谷アメリカンビレッジ」の来訪者が最も多く、ついで「沖縄イオンモールライカム」、「中の町」の来訪者が多い。

宿泊率

※日帰り者のサンプルが僅少の為、宿泊者数・宿泊率は秘匿表示となります。
表示しているデータバーは参考値としてご確認ください。

域内宿泊率

「グランメールリゾート」の域内泊率が最も多く、ついで「中の町」の域内宿泊率が多い。
「東南植物楽園」は特に域内宿泊率が低く、宿泊者の9割以上が沖縄市外へ宿泊流出している。

観光エリア別 域内泊数分解分析

通年

期間別



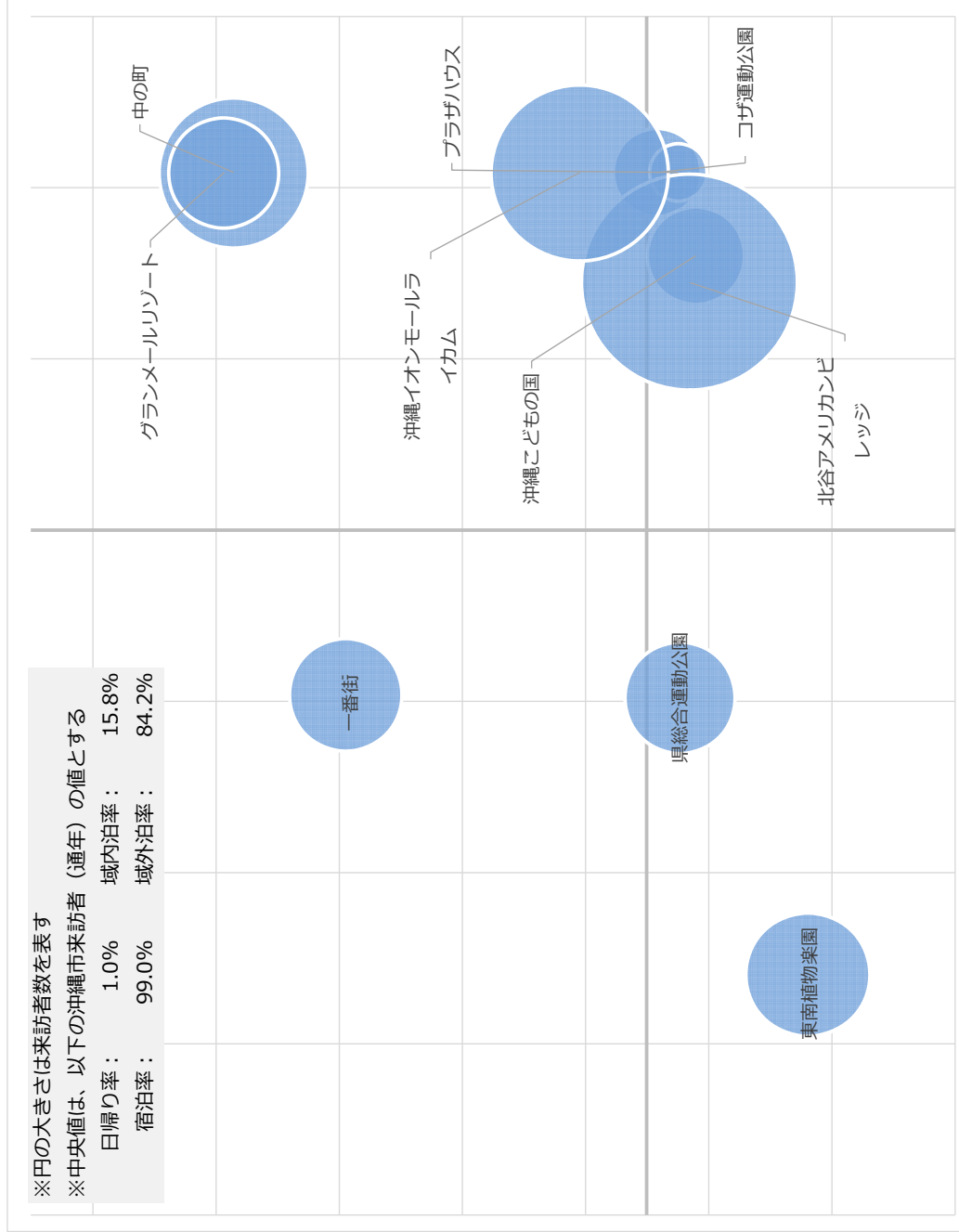
観光エリア別 域内泊数分解分析

※円の大きさは来訪者数を表す

※中央値は、以下の沖縄市来訪者（通年）の値とする

日帰り率： 1.0% 域内泊率： 15.8%

宿泊率： 99.0% 域外泊率： 84.2%



域内宿泊傾向

域外宿泊傾向

日帰り傾向

宿泊傾向

観光エリア別 昼間滞在時間分析

通年

期間別



観光エリア別 旅程別 昼間滞在時間分析

観光エリア名	来訪者数	全体	日帰り	宿泊
全体来訪者	2,378	2:00	1:23	1:60
いずれかの観光エリア来訪者	1,541	2:09	1:27	2:09
県総合運動公園	164	2:29	2:30	2:29
コザ運動公園	104	3:07	***	3:07
沖縄こどもの国	127	1:26	1:15	1:27
東南植物楽園	204	1:16	1:09	1:16
プラザハウス	45	0:47	***	0:47
一番街	172	1:31	0:53	1:32
中の町	298	2:48	***	2:48
グランメーブルリゾート	162	2:01	***	2:01
北谷アメリカンビレッジ	622	2:37	1:53	2:37
沖縄イオンモールライカム	416	1:49	***	1:49

沖縄市来訪者（通年）の昼間滞在時間は2時間。
 観光エリア別では、「コザ運動公園」の滞在時間が最も長く3時間7分。
 ついで「中の町」、「北谷アメリカンビレッジ」の滞在時間が長い。

Appendix



発地都道府県別 来訪者数・構成比

■2019年4~6月

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計	2,378	100.0%
1	東京都	302	12.7%
2	神奈川県	216	9.1%
3	福岡県	212	8.9%
4	大阪府	194	8.2%
5	埼玉県	183	7.7%
6	愛知県	162	6.8%
7	千葉県	144	6.1%
8	兵庫県	112	4.7%
9	北海道	74	3.1%
10	京都府	54	2.3%
11	静岡県	45	1.9%
12	岐阜県	44	1.9%
13	茨城県	39	1.6%
14	三重県	38	1.6%
15	広島県	37	1.5%
16	茨城県	35	1.5%
17	静岡県	33	1.4%
18	群馬県	33	1.4%
19	岡山県	32	1.3%
20	佐賀県	29	1.2%
21	滋賀県	27	1.1%
22	鹿児島県	26	1.1%
23	栃木県	25	1.0%
24	新潟県	22	0.9%
25	山梨県	22	0.9%
26	山口県	22	0.9%
27	群馬県	21	0.9%
28	長野県	20	0.9%
29	愛媛県	18	0.7%
30	宮城県	15	0.6%
31	山口県	14	0.6%
32	徳島県	13	0.5%
33	鳥取県	12	0.5%
34	石川県	12	0.5%
35	青森県	11	0.5%
36	宮城県	11	0.5%
37	福島県	11	0.4%
38	和歌山県	11	0.4%
39	福井県	10	0.4%
40	香川県	****	****
41	鳥根県	****	****
42	岩手県	****	****
43	山形県	****	****
44	青森県	****	****
45	富山県	****	****

■2019年7~9月

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計	559	100.0%
1	埼玉県	74	13.3%
2	神奈川県	58	10.4%
3	東京都	57	10.1%
4	大阪府	40	7.2%
5	福岡県	39	7.0%
6	兵庫県	35	6.2%
7	千葉県	31	5.5%
8	愛知県	24	4.3%
9	北海道	19	3.4%
10	山梨県	16	2.9%
11	熊本県	16	2.9%
12	静岡県	15	2.7%
13	新潟県	14	2.6%
14	佐賀県	13	2.4%
15	三重県	11	1.9%
16	茨城県	****	****
17	静岡県	****	****
18	群馬県	****	****
19	滋賀県	****	****
20	岡山県	****	****
21	鹿児島県	****	****
22	長崎県	****	****
23	和歌山県	****	****
24	岩手県	****	****
25	鳥取県	****	****
26	岐阜県	****	****
27	長野県	****	****
28	高知県	****	****
29	大分県	****	****
30	鳥根県	****	****
31	山口県	****	****
32	宮城県	****	****
33	栃木県	****	****
34	山形県	****	****
35	青森県	****	****
36	広島県	****	****
37	福島県	****	****
38	香川県	****	****
39	福井県	****	****
40	石川県	****	****
41	-	-	-
42	-	-	-
43	-	-	-
44	-	-	-
45	-	-	-

■2019年10~12月

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計	534	100.0%
1	東京都	85	15.9%
2	福岡県	53	10.0%
3	大阪府	49	9.2%
4	愛知県	37	6.9%
5	千葉県	35	6.6%
6	神奈川県	30	5.7%
7	埼玉県	24	4.6%
8	北海道	24	4.5%
9	兵庫県	22	4.1%
10	山梨県	17	3.2%
11	奈良県	14	2.6%
12	岡山県	14	2.6%
13	岐阜県	12	2.2%
14	滋賀県	11	2.1%
15	広島県	****	****
16	静岡県	****	****
17	京都府	****	****
18	熊本県	****	****
19	高知県	****	****
20	鹿児島県	****	****
21	山口県	****	****
22	茨城県	****	****
23	群馬県	****	****
24	長野県	****	****
25	佐賀県	****	****
26	宮崎県	****	****
27	宮城県	****	****
28	三重県	****	****
29	栃木県	****	****
30	福島県	****	****
31	鳥取県	****	****
32	香川県	****	****
33	和歌山県	****	****
34	徳島県	****	****
35	福井県	****	****
36	愛媛県	****	****
37	富山県	****	****
38	新潟県	****	****
39	青森県	****	****
40	大分県	****	****
41	鳥根県	****	****
42	秋田県	****	****
43	-	-	-
44	-	-	-
45	-	-	-

■2020年1~3月

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計	668	100.0%
1	東京都	73	10.9%
2	福岡県	58	8.7%
3	大阪府	58	8.6%
4	埼玉県	55	8.2%
5	神奈川県	54	8.1%
6	愛知県	45	6.8%
7	千葉県	39	5.9%
8	兵庫県	29	4.4%
9	京都府	26	3.8%
10	岐阜県	21	3.1%
11	茨城県	17	2.5%
12	北海道	15	2.2%
13	奈良県	11	1.7%
14	長崎県	11	1.6%
15	栃木県	11	1.6%
16	三重県	10	1.5%
17	静岡県	10	1.5%
18	石川県	****	****
19	鹿児島県	****	****
20	山口県	****	****
21	徳島県	****	****
22	長野県	****	****
23	大分県	****	****
24	広島県	****	****
25	岡山県	****	****
26	群馬県	****	****
27	奈良県	****	****
28	宮城県	****	****
29	佐賀県	****	****
30	鳥取県	****	****
31	福島県	****	****
32	宮城県	****	****
33	熊本県	****	****
34	福井県	****	****
35	滋賀県	****	****
36	新潟県	****	****
37	山梨県	****	****
38	山形県	****	****
39	岩手県	****	****
40	秋田県	****	****
41	香川県	****	****
42	富山県	****	****
43	鳥根県	****	****
44	高知県	****	****
45	-	-	-

■2020年1~3月

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計	617	100.0%
1	東京都	89	14.3%
2	神奈川県	73	11.8%
3	福岡県	62	10.0%
4	愛知県	55	8.9%
5	大阪府	48	7.7%
6	千葉県	39	6.3%
7	埼玉県	30	4.8%
8	兵庫県	26	4.1%
9	広島県	18	2.9%
10	北海道	16	2.6%
11	三重県	14	2.3%
12	京都府	13	2.1%
13	奈良県	12	2.0%
14	静岡県	11	1.7%
15	茨城県	****	****
16	岐阜県	****	****
17	栃木県	****	****
18	熊本県	****	****
19	滋賀県	****	****
20	佐賀県	****	****
21	鹿児島県	****	****
22	岡山県	****	****
23	山口県	****	****
24	愛媛県	****	****
25	長野県	****	****
26	群馬県	****	****
27	群馬県	****	****
28	新潟県	****	****
29	和歌山県	****	****
30	宮崎県	****	****
31	香川県	****	****
32	山梨県	****	****
33	福島県	****	****
34	長崎県	****	****
35	徳島県	****	****
36	宮城県	****	****
37	大分県	****	****
38	鳥根県	****	****
39	石川県	****	****
40	山形県	****	****
41	鳥取県	****	****
42	富山県	****	****
43	高知県	****	****
44	青森県	****	****
45	-	-	-



発地市区町村別 来訪者数・構成比

■通年

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	-	来訪者計	2,378	100.0%
1	川口市	埼玉県	53	2.2%
2	福岡市博多区	福岡県	42	1.7%
3	大田区	東京都	27	1.1%
4	横浜市内見区	神奈川県	24	1.0%
5	練馬区	東京都	23	1.0%
6	福岡市東区	福岡県	22	0.9%
7	世田谷区	東京都	21	0.9%
8	足立区	東京都	19	0.8%
9	板橋区	東京都	19	0.8%
10	船橋市	千葉県	19	0.8%
11	相模原市南区	神奈川県	17	0.7%
12	鳥栖市	佐賀県	17	0.7%
13	松戸市	千葉県	17	0.7%
14	長崎市	長崎県	17	0.7%
15	福岡市西区	福岡県	16	0.7%
16	札幌市東区	北海道	16	0.7%
17	福岡市南区	福岡県	16	0.7%
18	横浜市内北区	神奈川県	14	0.6%
19	宝塚市	兵庫県	14	0.6%
20	江戸川区	東京都	14	0.6%
21	葛飾区	東京都	13	0.5%
22	市川市	千葉県	12	0.5%
23	江東区	東京都	12	0.5%
24	奈良市	奈良県	12	0.5%
25	福岡市中央区	福岡県	12	0.5%
26	四日市市	三重県	12	0.5%
27	柏市	千葉県	11	0.5%
28	荒川区	東京都	11	0.5%
29	八王子市	東京都	11	0.5%
30	松山市	愛媛県	11	0.5%
31	甲斐市	山梨県	11	0.5%
32	浜松市浜北区	静岡県	11	0.5%
33	草津市	滋賀県	11	0.4%
34	尼崎市	兵庫県	11	0.4%
35	札幌市豊平区	北海道	10	0.4%
36	倉敷市	岡山県	10	0.4%
37	横浜市内区	神奈川県	10	0.4%
38	豊中市	大阪府	10	0.4%
39	刈谷市	愛知県	10	0.4%
40	千葉市中央区	千葉県	10	0.4%

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	-	来訪者計	2,378	100.0%
41	岡崎市	愛知県	10	0.4%
42	草加市	埼玉県	10	0.4%
43	高槻市	大阪府	10	0.4%
44	多摩市	東京都	10	0.4%
45	姫路市	兵庫県	10	0.4%
46	一宮市	愛知県	10	0.4%
47	横須賀市	神奈川県	10	0.4%
48	品川区	東京都	10	0.4%
49	大和高田市	奈良県	10	0.4%
50	熊本市中央区	熊本県	10	0.4%
51	豊橋市	愛知県	10	0.4%
52	和歌山市	和歌山県	10	0.4%
53	横浜市保土ヶ谷区	神奈川県	10	0.4%
54	北区	東京都	10	0.4%
55	宇都宮市	栃木県	10	0.4%
56	熊本市北区	熊本県	10	0.4%
57	京都市左京区	京都府	10	0.4%
58	高知市	高知県	10	0.4%
59	春日井市	愛知県	10	0.4%
60	川崎市川崎区	神奈川県	10	0.4%
61	筑紫野市	福岡県	10	0.4%
62	さいたま市桜区	埼玉県	10	0.4%
63	川越市	埼玉県	10	0.4%
64	横浜市新谷区	神奈川県	10	0.4%
65	豊田市	愛知県	10	0.4%
66	札幌市西区	北海道	10	0.4%
67	大阪市淀川区	大阪府	10	0.4%
68	武蔵野市	東京都	10	0.4%
69	枚方市	大阪府	10	0.4%
70	町田市	東京都	10	0.4%
71	習志野市	千葉県	10	0.4%
72	墨田区	東京都	10	0.4%
73	宇部市	山口県	10	0.4%
74	川西市	兵庫県	10	0.4%
75	鹿児島市	鹿児島県	10	0.4%
76	西尾市	愛知県	10	0.4%
77	相模原市中央区	神奈川県	10	0.4%
78	川崎市宮前区	神奈川県	10	0.4%
79	守口市	大阪府	10	0.4%
80	港区	東京都	10	0.4%

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	-	来訪者計	2,378	100.0%
81	徳島市	徳島県	10	0.4%
82	名古屋市中区	愛知県	10	0.4%
83	前橋市	群馬県	10	0.4%
84	関市	岐阜県	10	0.4%
85	大分市	大分県	10	0.4%
86	日立市	茨城県	10	0.4%
87	大阪市東淀川区	大阪府	10	0.4%
88	さいたま市浦和区	埼玉県	10	0.4%
89	印西市	千葉県	10	0.4%
90	木津川市	京都府	10	0.4%
91	つくば市	茨城県	10	0.4%
92	吹田市	大阪府	10	0.4%
93	鳥取市	鳥取県	10	0.4%
94	川崎市高津区	神奈川県	10	0.4%
95	箕面市	大阪府	10	0.4%
96	神戸市西区	兵庫県	10	0.4%
97	川崎市中区	神奈川県	10	0.4%
98	久留米市	福岡県	10	0.4%
99	岸和田市	大阪府	10	0.4%
100	京都市伏見区	京都府	10	0.4%
101	名古屋市緑区	愛知県	10	0.4%
102	茂原市	千葉県	10	0.4%
103	流山市	千葉県	10	0.4%
104	福山市	広島県	10	0.4%
105	八潮市	埼玉県	10	0.4%
106	松阪市	三重県	10	0.4%
107	日野市	東京都	10	0.4%
108	北九州市八幡西区	福岡県	10	0.4%
109	狭山市	埼玉県	10	0.4%
110	伊丹市	兵庫県	10	0.4%
111	相模原市精華町	京都府	10	0.4%
112	高崎市	群馬県	10	0.4%
113	吉川市	埼玉県	10	0.4%
114	中野区	東京都	10	0.4%
115	西東京市	東京都	10	0.4%
116	横浜市内港南区	神奈川県	10	0.4%
117	豊仙市	長崎県	10	0.4%
118	横浜市内区	神奈川県	10	0.4%
119	大阪市住吉区	大阪府	10	0.4%
120	大阪市都島区	大阪府	10	0.4%



発地市区町村別 来訪者数・構成比

■ 2019年4~6月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		559	100.0%
1	川口市	埼玉県	44	7.8%
2	横浜市鶴見区	神奈川県	17	3.0%
3	鳥取市	佐賀県	13	2.4%
4	甲斐市	山梨県	11	1.9%
5	浜松市浜北区	静岡県	10	1.9%
6	大田区	東京都	10	1.9%
7	宝塚市	兵庫県	10	1.8%
8	相模原市南区	神奈川県	****	****
9	熊本市中央区	熊本県	****	****
10	荒川区	東京都	****	****
11	松戸市	千葉県	****	****
12	葛飾区	東京都	****	****
13	岸和田市	大阪府	****	****
14	さいたま市桜区	埼玉県	****	****
15	さいたま市浦和区	埼玉県	****	****
16	川崎市高津区	神奈川県	****	****
17	横浜市戸塚区	神奈川県	****	****
18	市川市	千葉県	****	****
19	中央区	山梨県	****	****
20	福岡市西区	福岡県	****	****
21	新潟市秋葉区	新潟県	****	****
22	福岡市東区	福岡県	****	****
23	福岡市中央区	福岡県	****	****
24	鳥取市	鳥取県	****	****
25	柏市	千葉県	****	****
26	遠賀郡遠賀町	福岡県	****	****
27	四日市市	三重県	****	****
28	北区	東京都	****	****
29	大阪市生野区	大阪府	****	****
30	大阪市旭区	大阪府	****	****
31	戸田市	埼玉県	****	****
32	熊本市北区	熊本県	****	****
33	加古川市	兵庫県	****	****
34	札幌市豊平区	北海道	****	****
35	水戸市	茨城県	****	****
36	茂原市	千葉県	****	****
37	千葉市中央区	千葉県	****	****
38	筑紫野市	福岡県	****	****
39	伊丹市	兵庫県	****	****
40	福岡市南区	福岡県	****	****

■ 2019年7~9月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		559	100.0%
41	長崎市	長崎県	****	****
42	高崎市	群馬県	****	****
43	横浜市港北区	神奈川県	****	****
44	川崎市宮前区	神奈川県	****	****
45	春日井市	愛知県	****	****
46	前橋市	群馬県	****	****
47	堺市東区	大阪府	****	****
48	神戸市西区	兵庫県	****	****
49	盛岡市	岩手県	****	****
50	和歌山市	和歌山県	****	****
51	神戸市灘区	兵庫県	****	****
52	豊岡市	兵庫県	****	****
53	池田市	大阪府	****	****
54	一宮市	愛知県	****	****
55	守口市	滋賀県	****	****
56	札幌市白石区	北海道	****	****
57	草加市	埼玉県	****	****
58	宇都宮市	栃木県	****	****
59	京都市左京区	京都府	****	****
60	東松山市	埼玉県	****	****
61	大阪市西成区	大阪府	****	****
62	横浜市港南区	神奈川県	****	****
63	町田市	東京都	****	****
64	加賀郡吉備中央町	岡山県	****	****
65	練馬区	東京都	****	****
66	三芳町	埼玉県	****	****
67	毛呂山町	埼玉県	****	****
68	足立区	東京都	****	****
69	釧路市	北海道	****	****
70	土浦市	茨城県	****	****
71	名古屋市長区	愛知県	****	****
72	新潟市東区	新潟県	****	****
73	新潟市江南区	新潟県	****	****
74	五泉市	新潟県	****	****
75	豊橋市	愛知県	****	****
76	津市	三重県	****	****
77	板橋区	東京都	****	****
78	流山市	千葉県	****	****
79	大阪市福島区	大阪府	****	****
80	横浜市保土ヶ谷区	神奈川県	****	****

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		534	100.0%
1	福岡市博多区	福岡県	13	2.5%
2	札幌市東区	北海道	13	2.4%
3	大和高田市	奈良県	****	****
4	世田谷区	東京都	****	****
5	倉敷市	岡山県	****	****
6	大田区	東京都	****	****
7	多摩市	東京都	****	****
8	長崎市	長崎県	****	****
9	刈谷市	愛知県	****	****
10	福岡市東区	福岡県	****	****
11	豊仙市	長崎県	****	****
12	関市	岐阜県	****	****
13	大阪市東淀川区	大阪府	****	****
14	名古屋市中区	愛知県	****	****
15	高知市	高知県	****	****
16	練馬区	東京都	****	****
17	足立区	東京都	****	****
18	草津市	滋賀県	****	****
19	札幌市西区	北海道	****	****
20	墨田区	東京都	****	****
21	千葉市中央区	千葉県	****	****
22	広島市安芸区	広島県	****	****
23	福岡市南区	福岡県	****	****
24	鹿児島市	鹿児島県	****	****
25	川口市	埼玉県	****	****
26	板橋区	東京都	****	****
27	日野市	東京都	****	****
28	福岡市中央区	福岡県	****	****
29	豊中市	大阪府	****	****
30	熊本市北区	熊本県	****	****
31	各務原市	岐阜県	****	****
32	堺市	大阪府	****	****
33	大阪市都島区	大阪府	****	****
34	市川市	千葉県	****	****
35	相模原市中央区	神奈川県	****	****
36	枚方市	大阪府	****	****
37	町田市	東京都	****	****
38	豊島区	東京都	****	****
39	大阪市鶴見区	大阪府	****	****
40	市原市	千葉県	****	****

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		534	100.0%
41	厄崎市	兵庫県	****	****
42	八王子市	東京都	****	****
43	宇都宮市	栃木県	****	****
44	松戸市	千葉県	****	****
45	江東区	東京都	****	****
46	荒川区	東京都	****	****
47	京都市左京区	京都府	****	****
48	印西市	千葉県	****	****
49	大村市	長崎県	****	****
50	鎌ヶ谷市	千葉県	****	****
51	江戸川区	東京都	****	****
52	和泉市	大阪府	****	****
53	和歌山市	和歌山県	****	****
54	たつの市	兵庫県	****	****
55	港区	東京都	****	****
56	筑紫野市	福岡県	****	****
57	四日市市	三重県	****	****
58	福岡市西区	福岡県	****	****
59	さいたま市南区	埼玉県	****	****
60	茂原市	千葉県	****	****
61	生駒市	奈良県	****	****
62	小金井市	東京都	****	****
63	西尾市	愛知県	****	****
64	下松市	山口県	****	****
65	葛飾区	東京都	****	****
66	館林市	群馬県	****	****
67	大津市	滋賀県	****	****
68	豊川市	愛知県	****	****
69	姫路市	兵庫県	****	****
70	北九州市八幡西区	福岡県	****	****
71	田川郡香春町	福岡県	****	****
72	高槻市	大阪府	****	****
73	大阪市福島区	大阪府	****	****
74	守口市	大阪府	****	****
75	大阪市住吉区	大阪府	****	****
76	川西市	兵庫県	****	****
77	佐賀市	佐賀県	****	****
78	座間市	神奈川県	****	****
79	合志市	熊本県	****	****
80	春日部市	埼玉県	****	****



発地市区町村別 来訪者数・構成比

■2019年10~12月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		668	100.0%
1	福岡市博多区	福岡県	14	2.1%
2	板橋区	東京都	****	****
3	横浜市中区	神奈川県	****	****
4	福岡市東区	福岡県	****	****
5	船橋市	千葉県	****	****
6	横浜市瀬谷区	神奈川県	****	****
7	松山市	愛媛県	****	****
8	豊田市	愛知県	****	****
9	足立区	東京都	****	****
10	松戸市	千葉県	****	****
11	江東区	東京都	****	****
12	京都市伏見区	京都府	****	****
13	八潮市	埼玉県	****	****
14	相模原市緑区	東京都	****	****
15	葛飾区	東京都	****	****
16	川越市	埼玉県	****	****
17	徳島市	徳島県	****	****
18	愛川町	神奈川県	****	****
19	岩川市	埼玉県	****	****
20	美濃加茂市	岐阜県	****	****
21	大板市淀川区	大阪府	****	****
22	羽島市	岐阜県	****	****
23	日立市	茨城県	****	****
24	長崎市	長崎県	****	****
25	足利市	福井県	****	****
26	練馬区	東京都	****	****
27	狭山市	埼玉県	****	****
28	世田谷区	東京都	****	****
29	木津川市	京都府	****	****
30	豊中市	大阪府	****	****
31	宇部市	山口県	****	****
32	小野市	兵庫県	****	****
33	高槻市	大阪府	****	****
34	小山市	栃木県	****	****
35	大分市	大分県	****	****
36	江戸川区	東京都	****	****
37	岡崎市	愛知県	****	****
38	那阿市	茨城県	****	****
39	福岡市南区	福岡県	****	****
40	奈良市	奈良県	****	****

■2020年1~3月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		617	100.0%
1	福岡市博多区	福岡県	13	2.1%
2	船橋区	千葉県	11	1.7%
3	船橋市	千葉県	****	****
4	横浜市中区	神奈川県	****	****
5	奈良市	奈良県	****	****
6	世田谷区	東京都	****	****
7	福岡市西区	福岡県	****	****
8	武蔵野市	東京都	****	****
9	大田区	東京都	****	****
10	足立区	東京都	****	****
11	品川区	東京都	****	****
12	草加市	埼玉県	****	****
13	横浜市保土ヶ谷区	神奈川県	****	****
14	江戸川区	東京都	****	****
15	一宮市	愛知県	****	****
16	尼崎市	兵庫県	****	****
17	相模原市南区	神奈川県	****	****
18	川口市	埼玉県	****	****
19	横浜市鶴見区	神奈川県	****	****
20	いぬべ市	三重県	****	****
21	福岡市南区	福岡県	****	****
22	北区	東京都	****	****
23	春日井市	愛知県	****	****
24	柏市	千葉県	****	****
25	松山市	愛媛県	****	****
26	吹田市	大阪府	****	****
27	相模原市中央区	神奈川県	****	****
28	福岡市東区	福岡県	****	****
29	八王子市	東京都	****	****
30	松阪市	三重県	****	****
31	川西市	兵庫県	****	****
32	江東区	東京都	****	****
33	札幌市豊平区	北海道	****	****
34	草津市	滋賀県	****	****
35	横浜市長子区	神奈川県	****	****
36	岡崎市	愛知県	****	****
37	刈谷市	愛知県	****	****
38	甲府市	山梨県	****	****
39	市川市	千葉県	****	****
40	名古屋市中区	愛知県	****	****

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		617	100.0%
41	習志野市	千葉県	****	****
42	久留米市	福岡県	****	****
43	福岡市城南区	福岡県	****	****
44	桐川市	埼玉県	****	****
45	和歌山市	和歌山県	****	****
46	横浜市港南区	神奈川県	****	****
47	姫路市	兵庫県	****	****
48	福岡市中央区	福岡県	****	****
49	横浜市中区	神奈川県	****	****
50	福山市	広島県	****	****
51	西東京市	東京都	****	****
52	北九州市小倉北区	福岡県	****	****
53	倉敷市	岡山県	****	****
54	北九州市八幡東区	福岡県	****	****
55	海老名市	神奈川県	****	****
56	つくば市	茨城県	****	****
57	成田市	千葉県	****	****
58	千葉市若葉区	千葉県	****	****
59	高槻市	大阪府	****	****
60	横浜市戸塚区	神奈川県	****	****
61	大阪市東住吉区	大阪府	****	****
62	川崎市川崎区	神奈川県	****	****
63	川崎市中区	神奈川県	****	****
64	大阪市平野区	大阪府	****	****
65	中野区	東京都	****	****
66	多摩市	東京都	****	****
67	藤沢市	神奈川県	****	****
68	小郡市	福岡県	****	****
69	府中市	東京都	****	****
70	印西市	千葉県	****	****
71	高石市	大阪府	****	****
72	京都市中京区	京都府	****	****
73	四日市市	三重県	****	****
74	板橋区	東京都	****	****
75	坂井市	福井県	****	****
76	守口市	大阪府	****	****
77	桑名市	三重県	****	****
78	鎌倉市	神奈川県	****	****
79	横浜市西区	神奈川県	****	****
80	長泉町	静岡県	****	****

発地都道府県別 域内泊数分解分析

通年

期間別



発地都道府県別 域内泊数分解分析

順位	都道府県名	来訪者数		宿泊者数		宿泊率		宿泊人泊数		平均泊数		域内泊数		域内泊率	
		来訪者数	宿泊者数	宿泊率	宿泊率	平均泊数	域内泊数	平均泊数	域内泊数	平均泊数	域内泊率	平均泊数	域内泊率		
1	東京都	302	****	****	****	943	****	141	15.0%						
2	神奈川県	216	****	****	****	632	****	83	13.1%						
3	福岡県	212	****	****	****	509	****	97	19.0%						
4	大阪府	194	****	****	****	546	****	68	12.4%						
5	埼玉県	183	****	****	****	554	****	151	27.2%						
6	愛知県	162	****	****	****	474	****	64	13.6%						
8	兵庫県	112	****	****	****	307	****	35	11.4%						
9	北海道	74	****	****	****	303	****	14	4.7%						
10	京都府	54	****	****	****	154	****	32	20.9%						
11	静岡県	45	****	****	****	143	****	31	21.5%						
12	岐阜県	44	****	****	****	135	****	23	16.8%						
13	茨城県	39	****	****	****	136	****	37	26.8%						
15	広島県	37	****	****	****	98	****	17	17.5%						
16	長崎県	35	****	****	****	80	****	17	21.6%						
17	熊本県	33	****	****	****	125	****	67	53.7%						
18	奈良県	33	****	****	****	95	****	16	16.6%						
19	岡山県	32	****	****	****	80	****	****	****						
20	佐賀県	29	****	****	****	81	****	****	****						
22	鹿児島県	26	****	****	****	74	****	15	19.9%						
23	栃木県	25	****	****	****	79	****	****	****						
24	新潟県	22	****	****	****	52	****	****	****						
25	山梨県	22	****	****	****	86	****	****	****						
26	山口県	22	****	****	****	57	****	****	****						
27	群馬県	21	****	****	****	82	****	13	15.6%						
29	愛媛県	18	****	****	****	61	****	****	****						
30	宮城県	15	****	****	****	43	****	****	****						
31	大分県	14	****	****	****	34	****	****	****						
32	徳島県	13	****	****	****	47	****	****	****						

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■ 県総合運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	164	100.0%
1	東京都	17	10.1%
2	新潟県	15	8.9%
3	千葉県	13	8.1%
4	山梨県	12	7.5%
5	埼玉県	12	7.1%
6	神奈川県	11	6.8%
7	長崎県	****	****
8	奈良県	****	****
9	京都府	****	****
10	大阪府	****	****
11	福岡県	****	****
12	愛知県	****	****
13	岐阜県	****	****
14	岡山県	****	****
15	茨城県	****	****
16	兵庫県	****	****
17	北海道	****	****
18	香川県	****	****
19	徳島県	****	****
20	栃木県	****	****
21	鳥取県	****	****
22	長野県	****	****
23	静岡県	****	****
24	宮崎県	****	****
25	群馬県	****	****
26	福島県	****	****
27	青森県	****	****
28	広島県	****	****
29	大分県	****	****
30	石川県	****	****

■ 二ヶ丘運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	104	100.0%
1	愛知県	18	17.0%
2	大阪府	12	11.7%
3	東京都	11	10.3%
4	広島県	10	9.8%
5	神奈川県	****	****
6	福岡県	****	****
7	兵庫県	****	****
8	京都府	****	****
9	千葉県	****	****
10	奈良県	****	****
11	埼玉県	****	****
12	岐阜県	****	****
13	愛媛県	****	****
14	北海道	****	****
15	山口県	****	****
16	滋賀県	****	****
17	茨城県	****	****
18	三重県	****	****
19	福島県	****	****
20	佐賀県	****	****
21	山形県	****	****
22	栃木県	****	****
23	鳥取県	****	****
24	鹿児島県	****	****
25	岡山県	****	****
26	群馬県	****	****
27	長野県	****	****
28	福井県	****	****
29	-	-	-
30	-	-	-

■ 沖繩こどもの国

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	127	100.0%
1	大阪府	16	12.8%
2	千葉県	15	11.6%
3	東京都	****	****
4	愛知県	****	****
5	福岡県	****	****
6	北海道	****	****
7	神奈川県	****	****
8	兵庫県	****	****
9	岐阜県	****	****
10	奈良県	****	****
11	京都府	****	****
12	埼玉県	****	****
13	三重県	****	****
14	熊本県	****	****
15	山梨県	****	****
16	岡山県	****	****
17	鹿児島県	****	****
18	宮城県	****	****
19	秋田県	****	****
20	滋賀県	****	****
21	栃木県	****	****
22	静岡県	****	****
23	茨城県	****	****
24	青森県	****	****
25	福島県	****	****
26	佐賀県	****	****
27	香川県	****	****
28	宮崎県	****	****
29	鳥取県	****	****
30	群馬県	****	****

■ 東南植物楽園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	204	100.0%
1	北海道	27	13.0%
2	神奈川県	22	10.8%
3	福岡県	21	10.3%
4	愛知県	17	8.3%
5	東京都	14	6.8%
6	千葉県	13	6.3%
7	大阪府	****	****
8	広島県	****	****
9	埼玉県	****	****
10	岡山県	****	****
11	茨城県	****	****
12	群馬県	****	****
13	兵庫県	****	****
14	愛媛県	****	****
15	静岡県	****	****
16	京都府	****	****
17	滋賀県	****	****
18	熊本県	****	****
19	奈良県	****	****
20	和歌山県	****	****
21	福井県	****	****
22	佐賀県	****	****
23	山口県	****	****
24	長崎県	****	****
25	鹿児島県	****	****
26	宮崎県	****	****
27	栃木県	****	****
28	岩手県	****	****
29	三重県	****	****
30	徳島県	****	****

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■ブラザハウス

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	45	100.0%
1	東京都	****	****
2	神奈川県	****	****
3	埼玉県	****	****
4	福岡県	****	****
5	兵庫県	****	****
6	千葉県	****	****
7	長崎県	****	****
8	愛知県	****	****
9	京都府	****	****
10	大阪府	****	****
11	広島県	****	****
12	茨城県	****	****
13	山口県	****	****
14	山形県	****	****
15	岐阜県	****	****
16	福島県	****	****
17	滋賀県	****	****
18	北海道	****	****
19	香川県	****	****
20	島根県	****	****
21	宮城県	****	****
22	佐賀県	****	****
23	愛媛県	****	****
24	石川県	****	****
25	-	-	-
26	-	-	-
27	-	-	-
28	-	-	-
29	-	-	-
30	-	-	-

■一番街

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	172	100.0%
1	東京都	38	22.1%
2	埼玉県	21	12.2%
3	神奈川県	19	11.0%
4	福岡県	14	8.3%
5	千葉県	****	****
6	大阪府	****	****
7	岐阜県	****	****
8	愛知県	****	****
9	兵庫県	****	****
10	茨城県	****	****
11	熊本県	****	****
12	北海道	****	****
13	山梨県	****	****
14	京都府	****	****
15	大分県	****	****
16	高知県	****	****
17	長野県	****	****
18	広島県	****	****
19	三重県	****	****
20	栃木県	****	****
21	長崎県	****	****
22	群馬県	****	****
23	宮崎県	****	****
24	岡山県	****	****
25	山形県	****	****
26	愛媛県	****	****
27	石川県	****	****
28	鹿児島県	****	****
29	静岡県	****	****
30	岩手県	****	****

■中の町

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	298	100.0%
1	埼玉県	53	17.8%
2	東京都	34	11.5%
3	神奈川県	28	9.4%
4	大阪府	23	7.6%
5	千葉県	22	7.4%
6	福岡県	20	6.7%
7	兵庫県	14	4.8%
8	愛知県	13	4.4%
9	熊本県	11	3.7%
10	京都府	****	****
11	北海道	****	****
12	愛媛県	****	****
13	栃木県	****	****
14	三重県	****	****
15	長野県	****	****
16	茨城県	****	****
17	大分県	****	****
18	長崎県	****	****
19	滋賀県	****	****
20	岐阜県	****	****
21	静岡県	****	****
22	岡山県	****	****
23	新潟県	****	****
24	広島県	****	****
25	群馬県	****	****
26	奈良県	****	****
27	高知県	****	****
28	山梨県	****	****
29	宮崎県	****	****
30	鹿児島県	****	****

■グランメーブルリゾート

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	162	100.0%
1	愛知県	21	12.8%
2	大阪府	13	7.9%
3	静岡県	13	7.9%
4	東京都	11	7.0%
5	茨城県	11	6.6%
6	岐阜県	****	****
7	神奈川県	****	****
8	埼玉県	****	****
9	兵庫県	****	****
10	北海道	****	****
11	京都府	****	****
12	石川県	****	****
13	鹿児島県	****	****
14	栃木県	****	****
15	大分県	****	****
16	千葉県	****	****
17	山形県	****	****
18	宮崎県	****	****
19	三重県	****	****
20	長崎県	****	****
21	広島県	****	****
22	山口県	****	****
23	熊本県	****	****
24	福岡県	****	****
25	福島県	****	****
26	和歌山県	****	****
27	徳島県	****	****
28	愛媛県	****	****
29	新潟県	****	****
30	福井県	****	****

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■北谷アメリカンビレッジ

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	622	100.0%
1	東京都	81	13.0%
2	大阪府	58	9.3%
3	神奈川県	52	8.4%
4	愛知県	48	7.8%
5	千葉県	39	6.3%
6	埼玉県	35	5.6%
7	兵庫県	30	4.8%
8	北海道	29	4.6%
9	福岡県	28	4.4%
10	岐阜県	24	3.8%
11	京都府	23	3.7%
12	奈良県	20	3.3%
13	長野県	11	1.8%
14	茨城県	11	1.7%
15	広島県	****	****
16	静岡県	****	****
17	愛媛県	****	****
18	熊本県	****	****
19	鳥取県	****	****
20	三重県	****	****
21	群馬県	****	****
22	山口県	****	****
23	長崎県	****	****
24	滋賀県	****	****
25	栃木県	****	****
26	大分県	****	****
27	鹿児島県	****	****
28	山梨県	****	****
29	岡山県	****	****
30	香川県	****	****

■沖縄イオンモールライカム

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	416	100.0%
1	愛知県	40	9.6%
2	東京都	40	9.5%
3	大阪府	38	9.2%
4	神奈川県	37	8.9%
5	福岡県	36	8.6%
6	北海道	26	6.3%
7	千葉県	24	5.8%
8	静岡県	19	4.5%
9	埼玉県	17	4.1%
10	兵庫県	16	3.8%
11	奈良県	13	3.0%
12	京都府	10	2.5%
13	三重県	****	****
14	鹿児島県	****	****
15	群馬県	****	****
16	滋賀県	****	****
17	栃木県	****	****
18	長野県	****	****
19	広島県	****	****
20	熊本県	****	****
21	長崎県	****	****
22	岐阜県	****	****
23	茨城県	****	****
24	山口県	****	****
25	香川県	****	****
26	佐賀県	****	****
27	岡山県	****	****
28	大分県	****	****
29	福島県	****	****
30	山形県	****	****

2-3. スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析 (KDDI ロケーションアナライザー)

(1) 調査目的

市内で大型スポーツキャンプやスポーツ合宿等が実施される期間において、県外の人々がどのような動きをしているのかを確認することを目的に、携帯電話のGPS（KDDI ロケーションアナライザー）を活用した動態調査を実施した。

【スポーツキャンプ・合宿を対象としたデータ分析（KDDI ロケーションアナライザー）の実施項目】

調査対象	○沖縄市内外に設定した調査地点の立ち寄り者 ※KDDI ユーザーを対象
調査方法	○au スマートフォン契約者のうち位置情報の利用許諾を得たユーザーのGPS 位置情報データを取得分析。
調査期間 (データ取得期間)	○沖縄市内における大型スポーツキャンプやスポーツ合宿の実施期間である12月から2月を対象期間とし、3カ年を比較した ①平成30年度（平成30年12月1日～令和元年2月28日） ②令和元年度（令和元年12月1日～令和2年2月29日） ③令和2年度（令和2年12月1日～令和3年2月20日）
分析項目	①のべ滞在者数：月別、曜日別、時間別 ②滞在者の基礎情報：性別、年齢、出身地 ③滞在者の行動：地点間の周遊の状況
調査エリア	【Aグループ：プロ野球キャンプ中心】 8エリア ①コザ運動公園（しんきんスタジアム・グリーンフィールド） ②ホテルニューセンチュリー/サンライズホテル ③ホテルコザ ④中の町周辺 ⑤コザ・ミュージックタウン ⑥パークアベニュー・ゲート通り周辺 ⑦プラザハウスショッピングセンター ⑧沖縄自動車道（沖縄南）出入口
	【Bグループ：スポーツ合宿中心】 8エリア ①コザ運動公園（陸上競技場） ②コザ運動公園（体育館） ③イオンモール沖縄ライカム ④美浜アメリカンビレッジ ⑤プラザハウスショッピングセンター ⑥パークアベニュー・ゲート通り周辺 ⑦コザ・ミュージックタウン ⑧沖縄自動車道（沖縄南）出入口

(2) 調査エリア

本調査では、昨年度同様、プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ見学者を対象としたAグループ、スポーツ合宿の競技者や観戦者を対象としたBグループに分け分析を行った。

なお、一部の調査エリア（中の町周辺、パークアベニュー）については、範囲の見直しを行った。

■Aグループ（プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ客を対象）

沖縄市にてキャンプを行う広島東洋カープの見学に訪れた同球団のファンの宿泊傾向、市内立ち寄り先を確認することを目的として調査エリアを設定した。なお、今年度の広島東洋カープ期間は、令和3年2月1日～3月1日までである。

Aグループについては、キャンプ利用施設であるコザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）を中心に分析を行った。

【Aグループ調査エリア】

No.	エリア名	立ち寄り目的の想定
①	コザ運動公園（しんきんスタジアム・グリーンフィールド）	キャンプ利用施設
②	ホテルニューセンチュリー/サンライズホテル	市内での宿泊の有無を確認
③	ホテルコザ	//
④	中の町周辺	//
⑤	コザ・ミュージックタウン	ランチ・観光、夕食・飲み
⑥	パークアベニュー・ゲート通り周辺	夕食・飲み
⑦	プラザハウスショッピングセンター	ランチ
⑧	沖縄自動車道（沖縄南）出入口	市外の宿泊・観光、空港への移動

■Bグループ（スポーツ合宿参加者を対象）



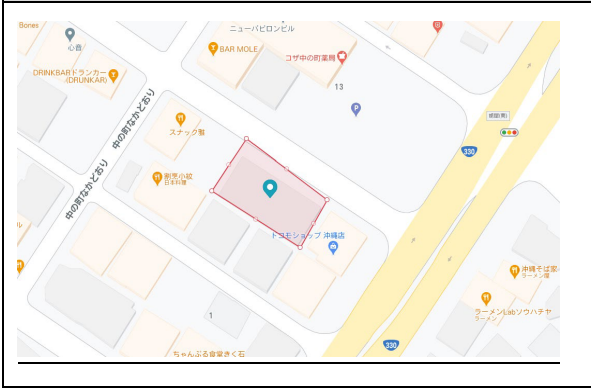


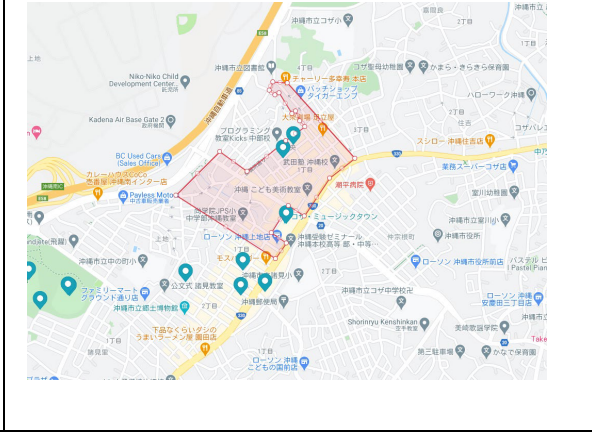

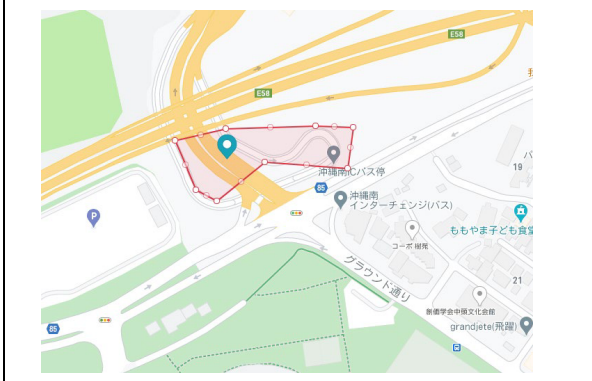
沖縄市にてスポーツ合宿に参加する競技者や観戦者の、合宿や観戦前後における市内外の立ち寄り傾向を確認することを目的として調査エリアを設定した。

Bグループについては、合宿利用施設であるコザ運動公園（陸上競技場）、大会利用施設であるコザ運動公園（体育館）を中心に分析を行った。




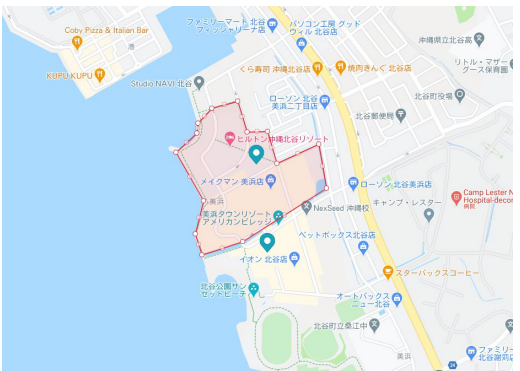



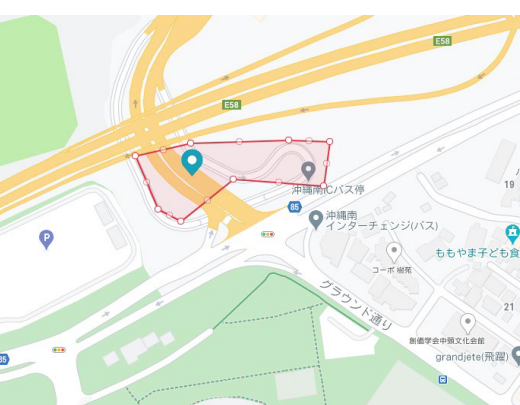
【Bグループ調査エリア】

No.	エリア名	立ち寄り目的の想定
①	コザ運動公園（陸上競技場）	合宿利用施設
②	コザ運動公園（体育館）	大会利用施設
③	イオンモール沖縄ライカム	市外競合施設
④	美浜アメリカンビレッジ	市外競合施設
⑤	プラザハウスショッピングセンター	ランチ
⑥	パークアベニュー・ゲート通り周辺	観光、夕食・飲み
⑦	コザ・ミュージックタウン	ランチ・観光、夕食・飲み
⑧	沖縄自動車道（沖縄南）出入口	自宅等からの直行直帰

【Aグループ（プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ客を対象）調査エリア位置図】

<p>コザ運動公園（しんきんスタジアム・グリーンフィールド）</p> 	<p>ホテルニューセンチュリー/サンライズホテル</p> 
<p>ホテルコザ</p>	<p>中の町周辺</p>
	
<p>コザ・ミュージックタウン</p>	<p>パークアベニュー・ゲート通り周辺</p>
	
<p>プラザハウスショッピングセンター</p>	<p>沖縄自動車道（沖縄南）出入口</p>
	

【Bグループ（スポーツ合宿参加者を対象）調査エリア位置図】

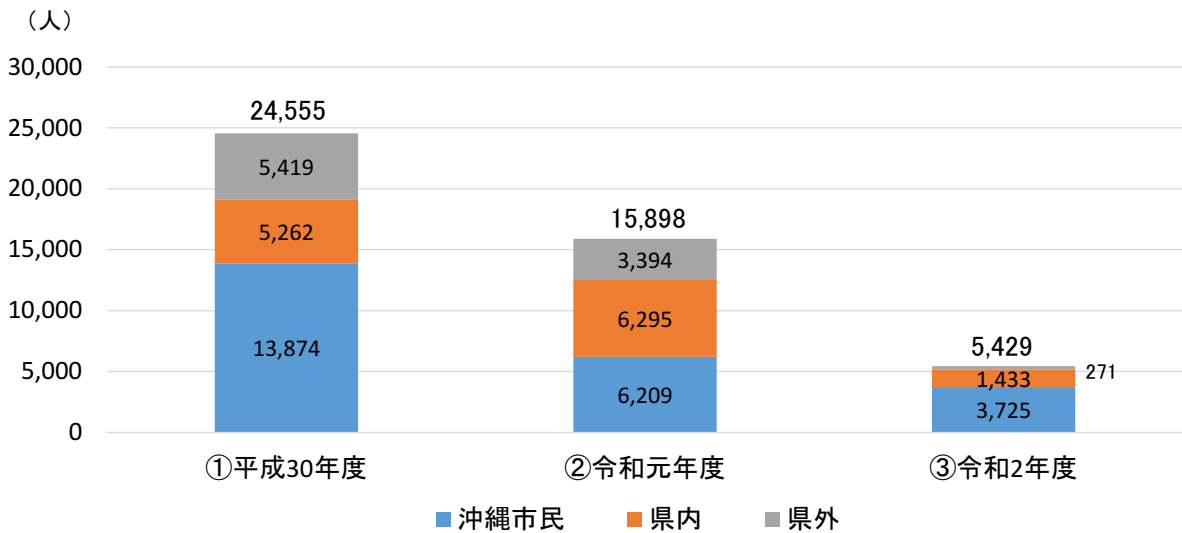
<p style="text-align: center;">コザ運動公園（陸上競技場）</p> 	<p style="text-align: center;">コザ運動公園（体育館）</p> 
<p style="text-align: center;">イオンモール沖縄ライカム</p> 	<p style="text-align: center;">美浜アメリカンビレッジ</p> 
<p style="text-align: center;">プラザハウスショッピングセンター</p> 	<p style="text-align: center;">パークアベニュー・ゲート通り周辺</p> 
<p style="text-align: center;">コザ・ミュージックタウン</p> 	<p style="text-align: center;">沖縄自動車道（沖縄南）出入口</p> 

(3) 調査結果

①A グループ（プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ客を対象）の動向

1) キャンプ会場における滞在者数の年度比較

○広島東洋カープがキャンプを行っているコザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）における過去3年分の12月から翌2月末までの滞在者数を以下に示す。
○広島東洋カープが優勝した平成30年度が最も多く、次いで令和元年度が多い。
○令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見学なしの処置がとられたため、大きく減少している。特に県外の滞在者数については271人と前年度の1割以下と大きく減少している。

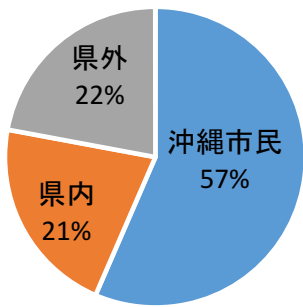


【キャンプ会場における滞在者数の推移（直近3カ年）】

2) キャンプ会場における滞在者の居住地別の割合

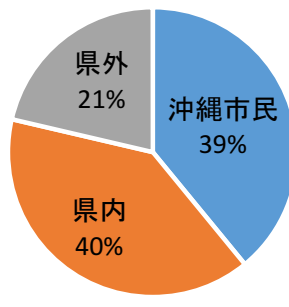
○キャンプ会場（コザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド））の滞在者の居住地別の割合をみるとコロナ禍前は県外が約 20%であるのに対し、コロナ禍（今年度）は 5%程度である。

○今年度は沖縄市民の割合が過去3年において最も高く約 7 割であった。



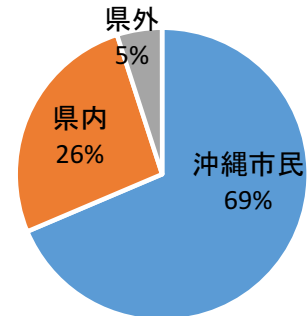
N=24,555

【平成 30 年度の居住地割合】



N =15,898

【令和元年度の居住地割合】



N =5,429

【令和 2 年度の居住地割合】

3) キャンプ会場における滞在者のうち県外居住者の詳細

○コロナ禍前（平成 30 年度、令和元年度）においては、キャンプ会場における滞在者の県外居住者の割合は広島県が最も多く約 3 割程度であった。

○今年度、広島県は県外全体のうち 7%程度である。最も多いのは秋田県の 82%。

1	広島県	1,662	31%
2	宮崎県	710	13%
3	山口県	384	7%
4	兵庫県	366	7%
5	大阪府	365	7%
6	神奈川県	300	6%
7	東京都	275	5%
8	その他	1,357	25%
	県外全体	5,419	100%

【平成 30 年度の
県外居住地割合】

1	広島県	1,231	36%
2	大阪府	361	11%
3	愛知県	214	6%
4	秋田県	177	5%
5	兵庫県	165	5%
6	山口県	159	5%
7	神奈川県	154	5%
8	その他	933	27%
	県外全体	3,394	100%

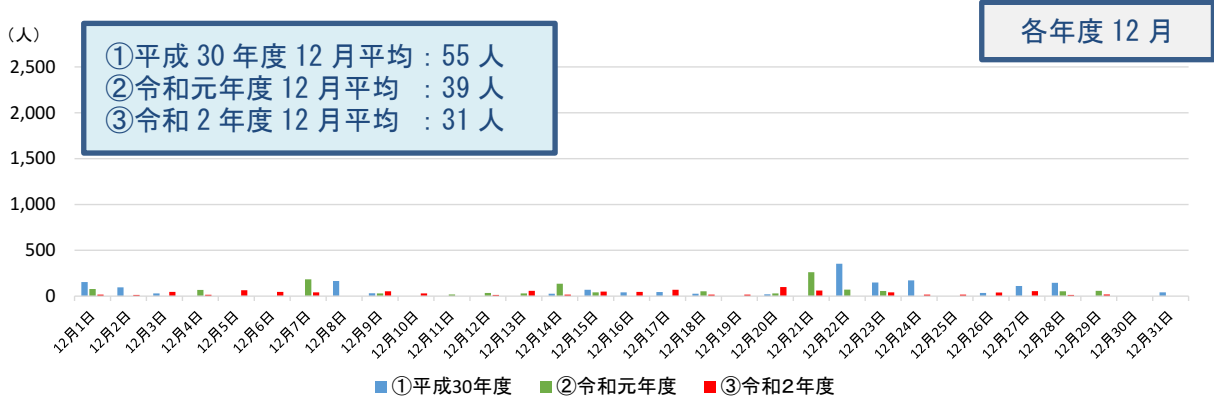
【令和元年度の
県外居住地割合】

1	秋田県	222	82%
2	愛知県	31	11%
3	広島県	18	7%
	県外全体	271	100%

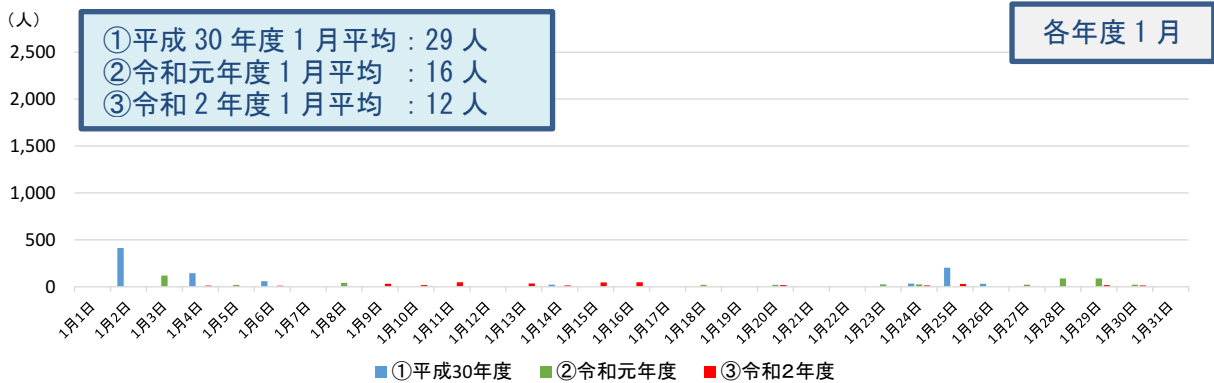
【令和 2 年度の
県外居住地割合】

4) キャンプ会場における滞在者の日別推移

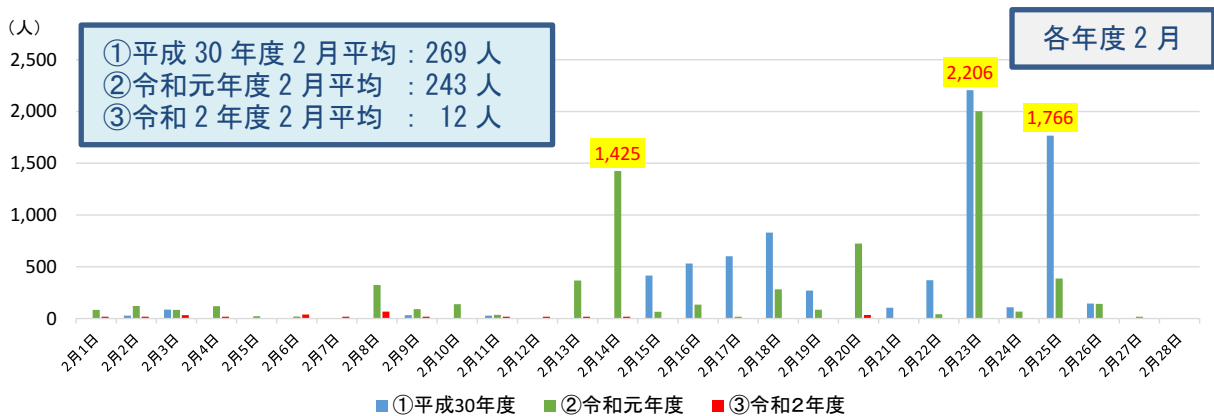
○キャンプ会場における各年度の12月、1月、2月毎の滞在者の日別推移を以下に示す。
 ○コロナ禍前の過去2年（棒グラフ青色・オレンジ色）の広島東洋カープのキャンプ開催期間中
 では、オープン戦やイベントが実施される日は、1日2,000人前後の滞在が確認できた。
 ○今年度（棒グラフ赤色）は、全期間通じて10~30人程度の滞在のみとなっている。



【キャンプ会場における滞在者数の日別推移（直近3カ年のうち12月）】



【キャンプ会場における滞在者数の日別推移（直近3カ年のうち1月分）】

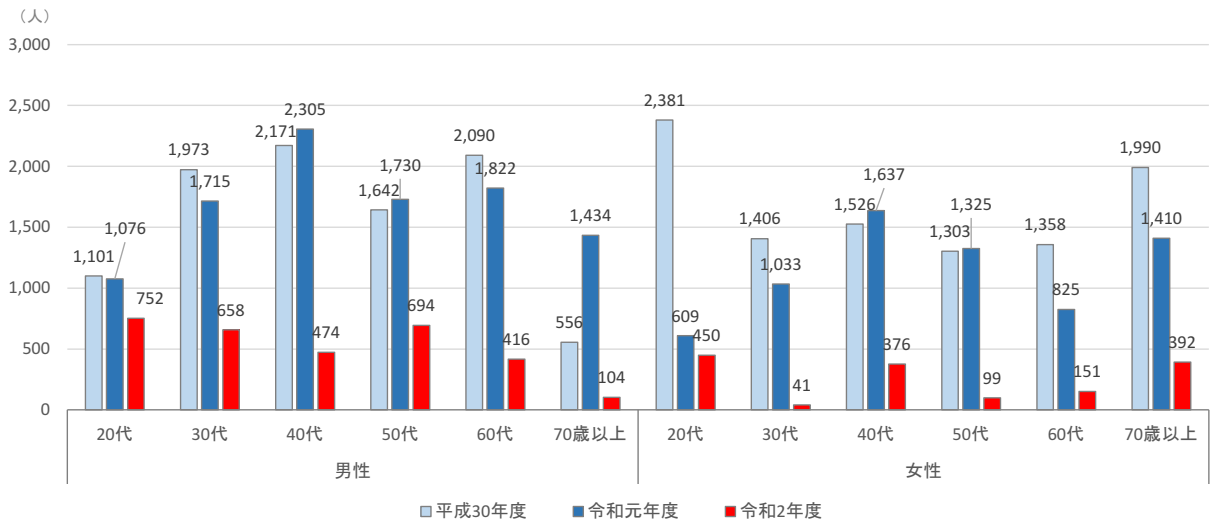


【キャンプ会場における滞在者数の日別推移（直近3カ年のうち2月分）】

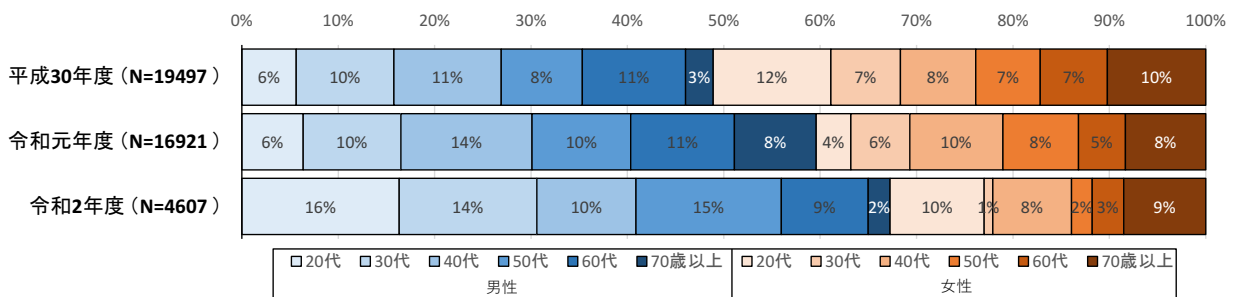
5) キャンプ会場における性別×年代別の滞在者数

○キャンプ会場における性別・年代別の滞在者数をみると、令和2年度は20代男性の滞在が最も多い(752名)。平成30年度、令和元年度は20代男性以外の性別・年代が多く訪れている。

○特に平成30年度については女性の20代が2,381名と多く訪れている。
⇒キャンプやイベント等によりコロナ禍前は幅広い性別・年代の層が訪れていたと考えられる。



【性別×年代別の滞在者数】

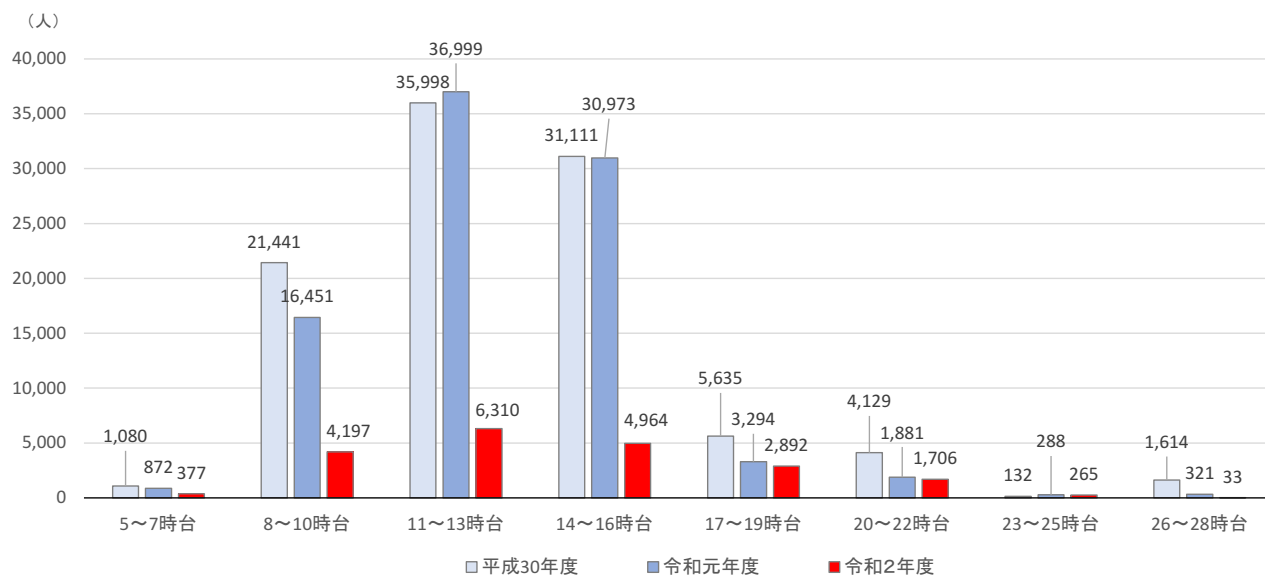


【性別×年代別の滞在者数の割合】

6) キャンプ会場における滞在者数の時間帯別推移

○キャンプ会場における各年度の時間帯別の滞在者数を以下に示す。コロナ禍前の平成30年度、令和元年度はピークの時間帯である11～13時は約3.5～3.7万人の滞在者数であるが、令和2年度は五分の一程度の約6千人の滞在者数に留まる。

○17時以降の滞在者数はいずれの年度も1万人以下の滞在者数となっている。



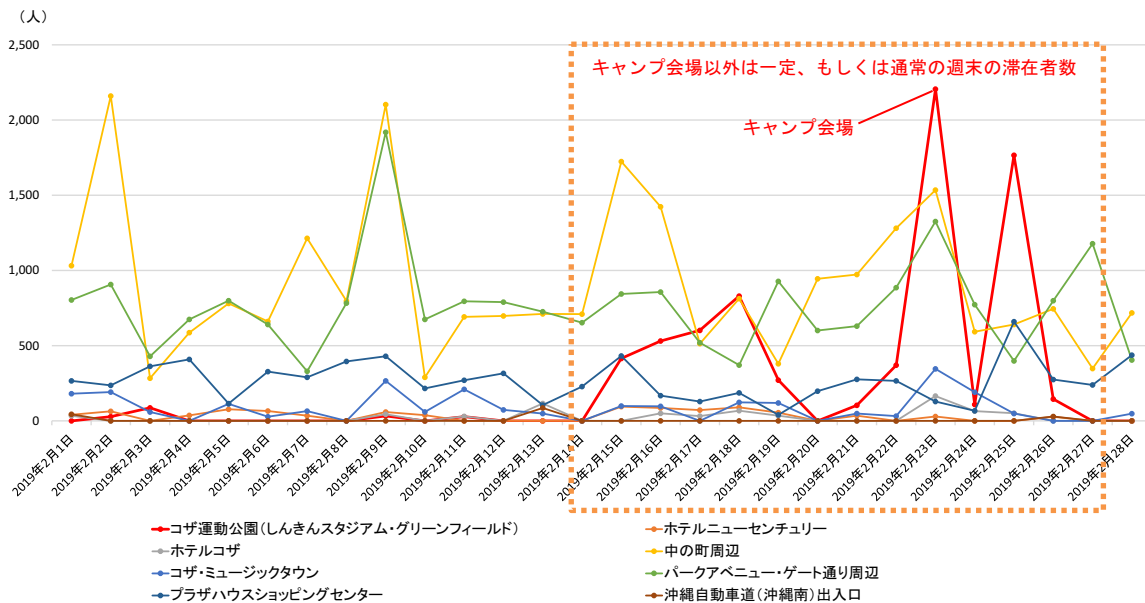
【時間帯別の滞在者数】

7) 周辺施設の滞在者数の日別推移

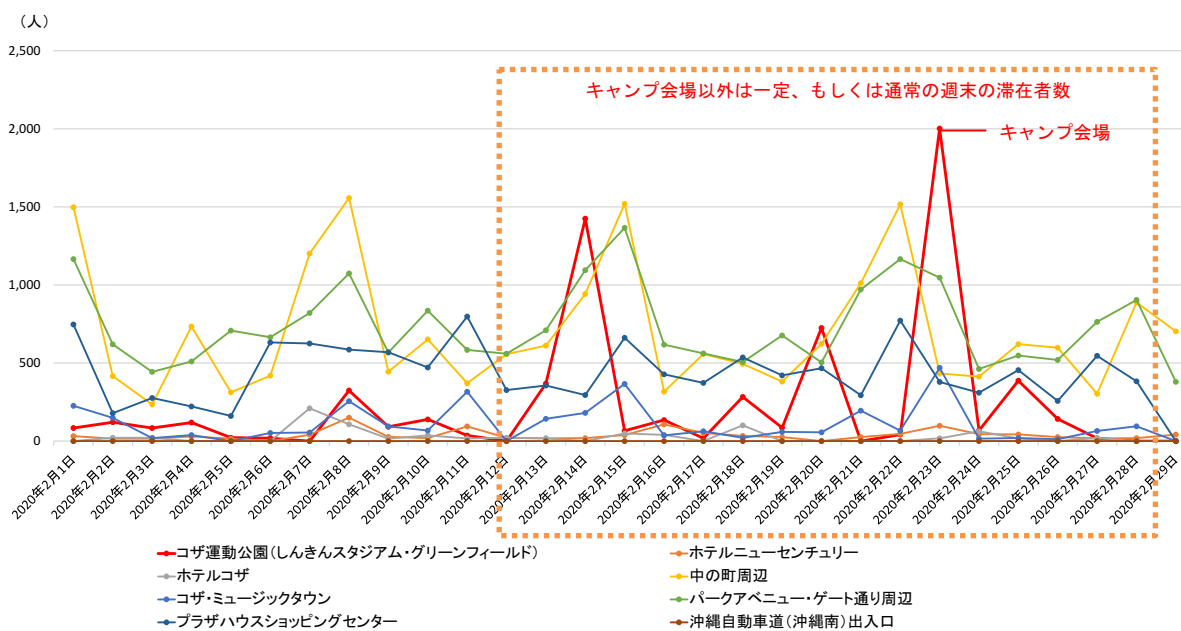
○各年度の2月のみを対象として、キャンプ会場（コザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド））を含む、市内外7施設・エリアの滞在者数の日別推移を以下に示す。

○過去2年のキャンプ会場の滞在者数が顕著に増加する日の前後では、各施設・エリアの滞在者数は一定（もしくは通常の週末の滞在者数）であることが確認された。

⇒キャンプ会場の滞在者に対する市内来訪が課題である

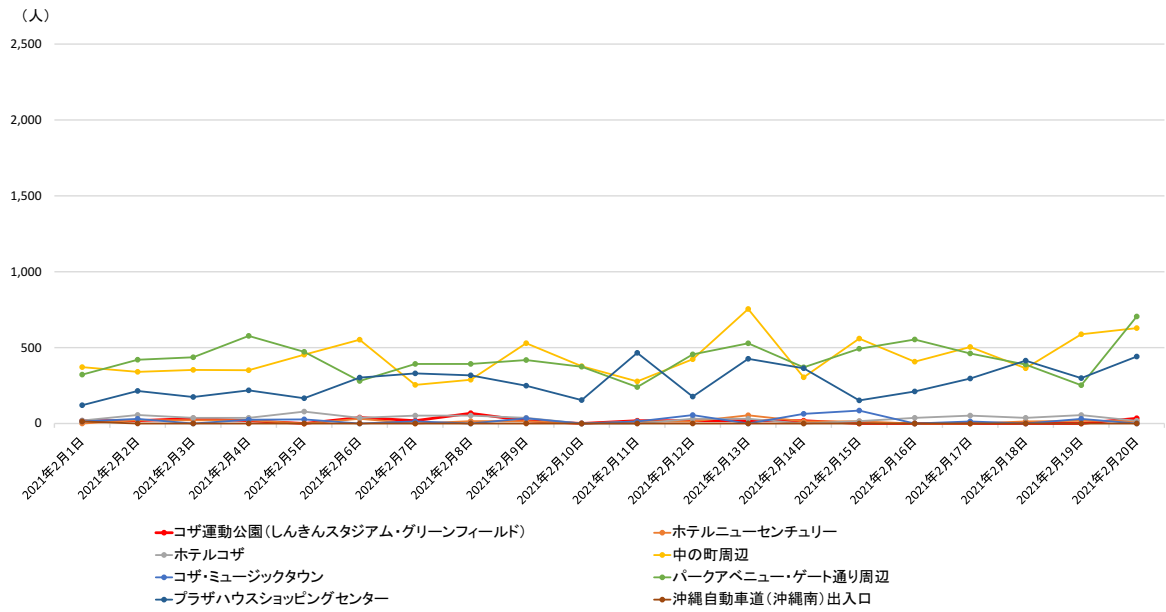


【平成30年度（平成31年2月）の周辺施設を含む日別滞在者数推移】



【令和元年度（令和2年2月）の周辺施設を含む日別滞在者数推移】

○コロナ禍である今年度は調査対象の全施設・エリアの滞在者数は減少している。



【令和2年度(令和3年2月)の周辺施設を含む日別滞在者数推移】

8) キャンプ会場における周辺施設への周遊状況（県外客のみ）

○各エリアの滞在者数（県外客のみ）に対する周遊者の割合について以下に示す。
 ※例：平成 30 年（12 月～2 月）のコザ運動公園の滞在者（5,005 人）のうちホテルニューセンチュリーに周遊した方（周遊者）の割合は 0.5%。なお、キャンプ会場であるコザ運動公園は赤字にて表示。
 ○コロナ禍前のキャンプ会場（コザ運動公園）における各施設への周遊状況をみると中の町周辺、ホテルコザ、パークアベニュー・ゲート通り周辺への周遊割合が高いことが確認できた。
 ○令和 2 年度はホテルコザ、中の町周辺、プラザハウスにおいて周遊割合が高くなっている。
 ※ただし、令和 2 年度のコザ運動公園の滞在者数は大幅に減少（前年比 97%減）していることに留意。

	延べ滞在者数	コザ運動公園(しんきんスタジアム・グリーンフィールド)	ホテルニューセンチュリー	ホテルコザ	中の町周辺	コザ・ミュージックタウン	パークアベニュー・ゲート通り周辺	プラザハウスショッピングセンター	沖縄自動車道(沖縄南)出入口
コザ運動公園(しんきんスタジアム・グリーンフィールド)	5,005		0.5%	1.7%	5.0%	1.3%	6.8%	0.6%	0.0%
ホテルニューセンチュリー	1,579	1.5%		19.4%	47.8%	12.1%	26.5%	4.2%	0.0%
ホテルコザ	1,458	5.7%	21.0%		93.5%	27.4%	37.7%	0.0%	0.0%
中の町周辺	6,885	3.6%	11.0%	19.8%		10.8%	29.7%	1.7%	0.0%
コザ・ミュージックタウン	1,816	3.6%	10.5%	22.0%	41.0%		62.6%	0.0%	0.0%
パークアベニュー・ゲート通り周辺	7,700	4.4%	5.4%	7.1%	26.6%	14.8%		4.4%	0.0%
プラザハウスショッピングセンター	3,228	0.9%	2.0%	0.0%	3.6%	0.0%	10.6%		0.0%
沖縄自動車道(沖縄南)出入口	284	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【平成 30 年度（12 月～2 月）における県外滞在者の周遊分析】

	延べ滞在者数	コザ運動公園(しんきんスタジアム・グリーンフィールド)	ホテルニューセンチュリー	ホテルコザ	中の町周辺	コザ・ミュージックタウン	パークアベニュー・ゲート通り周辺	プラザハウスショッピングセンター	沖縄自動車道(沖縄南)出入口
コザ運動公園(しんきんスタジアム・グリーンフィールド)	4,283		2.0%	6.1%	9.9%	2.8%	9.8%	2.6%	0.0%
ホテルニューセンチュリー	1,611	5.3%		0.0%	47.9%	1.1%	31.1%	1.7%	0.0%
ホテルコザ	873	29.9%	0.0%		95.3%	7.7%	24.6%	4.4%	0.0%
中の町周辺	6,648	6.3%	11.6%	12.5%		7.3%	20.6%	4.3%	0.0%
コザ・ミュージックタウン	1,926	6.3%	0.9%	3.5%	25.3%		53.2%	1.6%	0.0%
パークアベニュー・ゲート通り周辺	7,752	5.4%	6.5%	2.8%	17.7%	13.2%		5.3%	0.0%
プラザハウスショッピングセンター	3,142	3.5%	0.9%	1.2%	9.1%	1.0%	13.1%		0.0%
沖縄自動車道(沖縄南)出入口	94	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【令和元年度（12 月～2 月）における県外滞在者の周遊分析】

	延べ滞在者数	コザ運動公園(しんきんスタジアム・グリーンフィールド)	ホテルニューセンチュリー	ホテルコザ	中の町周辺	コザ・ミュージックタウン	パークアベニュー・ゲート通り周辺	プラザハウスショッピングセンター	沖縄自動車道(沖縄南)出入口
コザ運動公園(しんきんスタジアム・グリーンフィールド)	126		0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
ホテルニューセンチュリー	596	0.0%		19.8%	36.7%	0.0%	15.8%	2.3%	0.0%
ホテルコザ	568	3.2%	20.8%		79.2%	0.0%	39.6%	8.3%	0.0%
中の町周辺	2,547	0.7%	8.6%	17.7%		1.4%	26.5%	3.8%	1.6%
コザ・ミュージックタウン	102	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%		35.3%	0.0%	0.0%
パークアベニュー・ゲート通り周辺	2,896	0.0%	3.2%	7.8%	23.3%	1.2%		2.1%	1.5%
プラザハウスショッピングセンター	1,318	1.4%	1.1%	3.6%	7.4%	0.0%	4.7%		0.0%
沖縄自動車道(沖縄南)出入口	54	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	77.8%	0.0%	

【令和 2 年度（12 月～2 月）における県外滞在者の周遊分析】

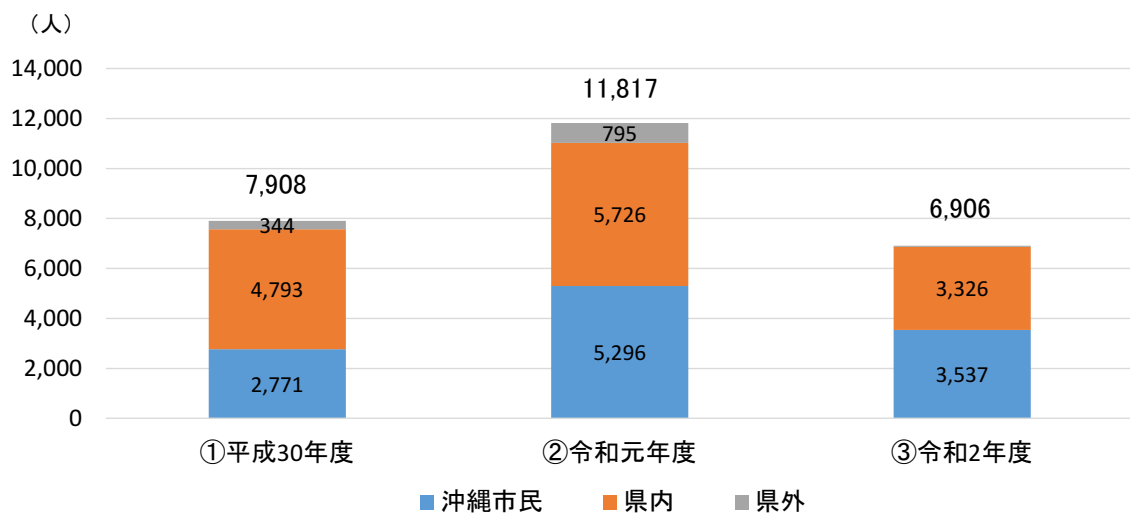
②B グループ（スポーツ合宿参加者を対象）の動向

1) 合宿利用施設・大会利用施設における滞在者数の年度比較

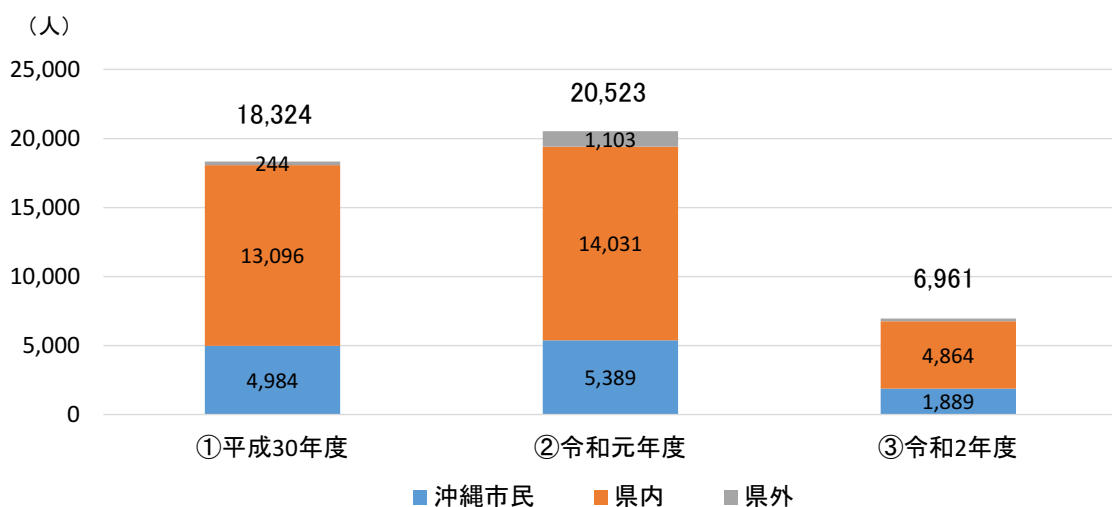
○例年、合宿利用施設であるコザ運動公園（陸上競技場）、大会利用施設であるコザ運動公園（体育館）の直近3年分の12月から翌2月末までの滞在者数の推移を以下に示す。

○過去3年では、令和元年度が陸上競技場（合宿利用施設）、体育館（大会利用施設）の滞在者数が最も多かった。

○今年度は、両施設とも過去2年のいずれの年度よりも低く、特に体育館の減少が顕著であった。



【合宿利用施設：コザ運動公園（陸上競技場）の滞在者数の推移（直近3カ年）】



【大会利用施設：コザ運動公園（体育館）の滞在者数の推移（直近3カ年）】

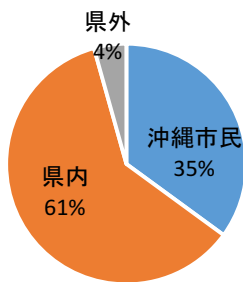
2) 合宿利用施設・大会利用施設における滞在者の居住地別の割合

○両施設の滞在者数の居住地別の割合をみると、県外居住者の割合は、両施設ともに10%未満であった。

○沖縄市民の割合は、陸上競技場が体育館より高く、特に今年度については約5割が沖縄市民であった。

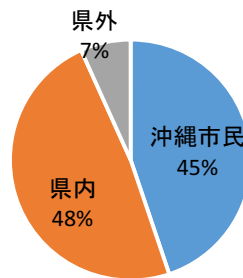
○体育館は、各年度のいずれも沖縄市民が約3割であり、約7割が沖縄市民以外の県民であった。

■合宿利用施設：コザ運動公園（陸上競技場）



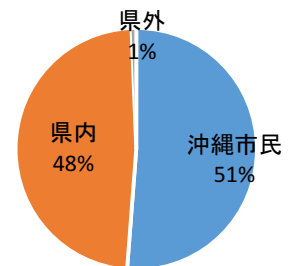
N=7,908

【平成30年度の居住地割合】



N=11,817

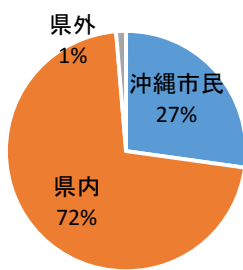
【令和元年度の居住地割合】



N=6,906

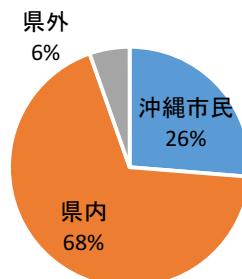
【令和2年度の居住地割合】

■大会利用施設：コザ運動公園（体育館）



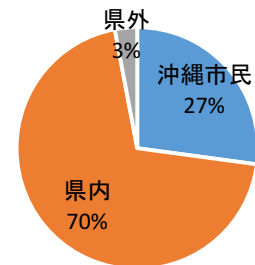
N=18,324

【平成30年度の居住地割合】



N=20,523

【令和元年度の居住地割合】



N=6,961

【令和2年度の居住地割合】

3) 合宿利用施設・大会利用施設の滞在者のうち県外居住者の詳細

○陸上競技場の滞在者のうち県外居住者の詳細をみると、平成30年度では福岡県、令和元年度は岩手県、令和2年度は長野県と各年度の首位は異なる状況であった。首位以下についても3年間のなかで傾向はみられなかった。

○体育館については、東京都が3年いずれも3位以内に入っており例年2割前後程度を占めていることが確認できた。

■合宿利用施設：コザ運動公園（陸上競技場）

1	福岡県	114	33%
2	東京都	81	24%
3	埼玉県	66	19%
4	兵庫県	59	17%
5	宮城県	24	7%
	県外全体	344	100%

【平成30年度の
県外居住地割合】

1	岩手県	277	35%
2	岐阜県	147	18%
3	愛知県	94	12%
4	神奈川県	87	11%
5	東京都	77	10%
6	埼玉県	76	10%
7	千葉県	37	5%
	県外全体	795	100%

【令和元年度の
県外居住地割合】

1	長野県	28	65%
2	東京都	15	35%
	県外全体	43	100%

【令和2年度の
県外居住地割合】

■大会利用施設：コザ運動公園（体育館）

1	大阪府	84	34%
2	千葉県	73	30%
3	東京都	40	16%
4	愛知県	24	10%
5	京都府	23	9%
	県外全体	244	100%

【平成30年度の
県外居住地割合】

1	愛知県	290	26%
2	東京都	214	19%
3	福岡県	161	15%
4	神奈川県	151	14%
5	千葉県	117	11%
6	大阪府	43	4%
7	埼玉県	37	3%
8	その他	90	8%
	県外全体	1,103	100%

【令和元年度の
県外居住地割合】

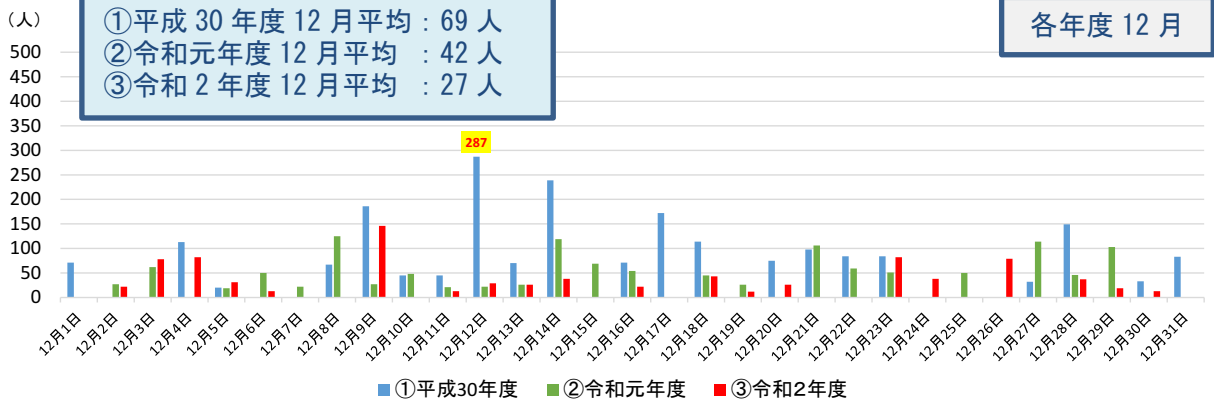
1	埼玉県	83	40%
2	東京都	55	26%
3	長野県	28	13%
4	大阪府	16	8%
5	広島県	15	7%
6	北海道	11	5%
7	青森県	0	0%
8	その他	0	0%
	県外全体	208	100%

【令和2年度の
県外居住地割合】

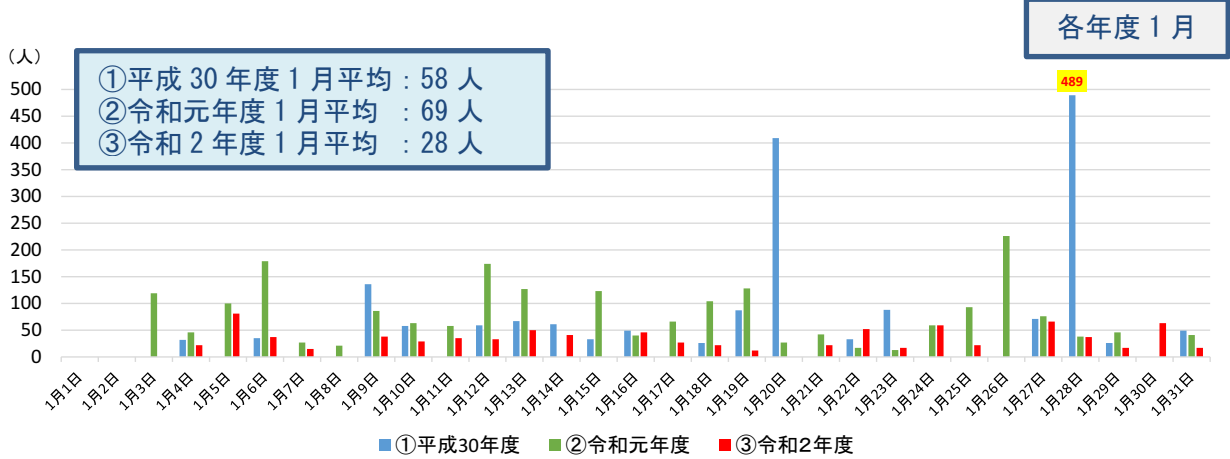
4) 合宿利用施設・大会利用施設における滞在者の日別推移

○陸上競技場（合宿利用施設）における各年度、各月の日別推移を以下に示す。
 ○平成30年度、令和元年度は週末等に滞在者が増加する傾向にあったが、今年度はほぼ一定となっている。

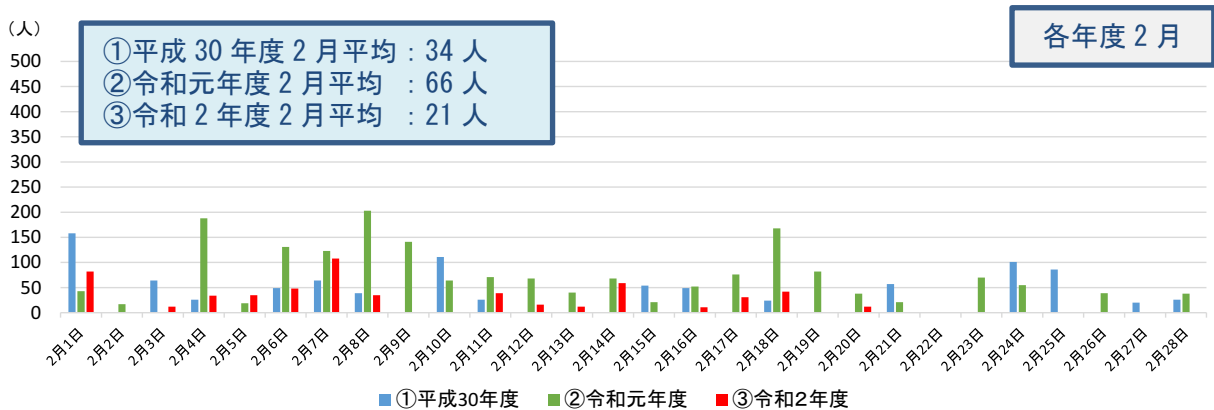
■合宿利用施設：コザ運動公園（陸上競技場）



【滞在者数の日別推移（直近3カ年のうち12月）】



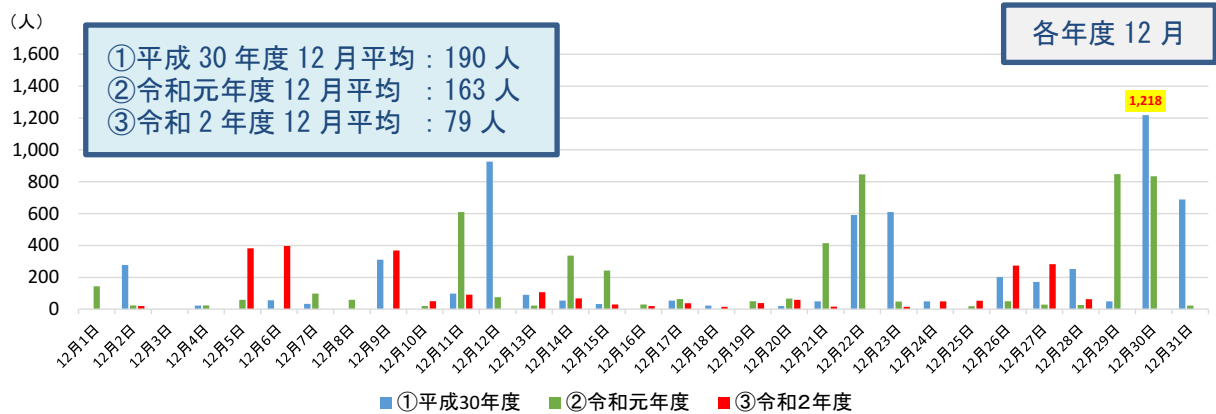
【滞在者数の日別推移（直近3カ年のうち1月分）】



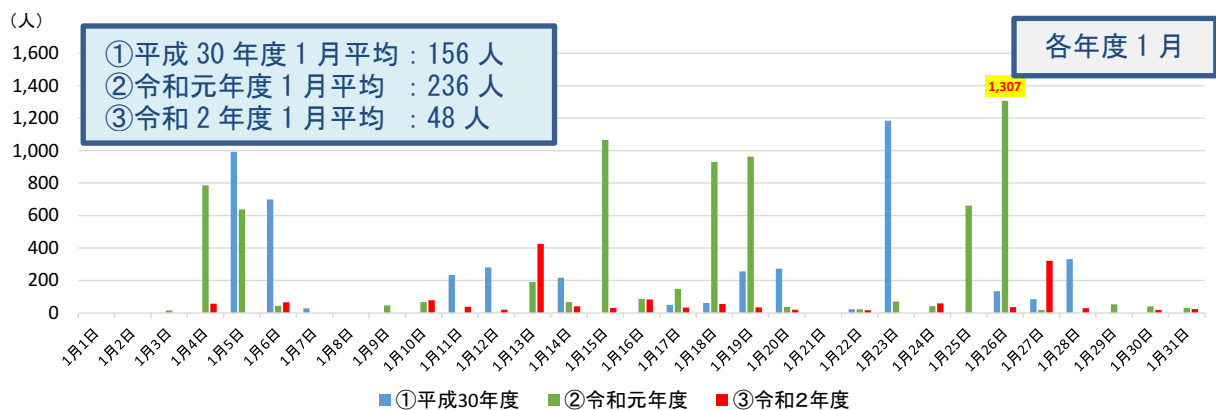
【滞在者数の日別推移（直近3カ年のうち2月分）】

○体育館（大会利用施設）における各年度、各月の日別推移を以下に示す。
 ○平成 30 年度、令和元年度は週末等に滞在者が 1,000 人前後、増加する傾向にあったが、今年度は 400 人前後となっている。

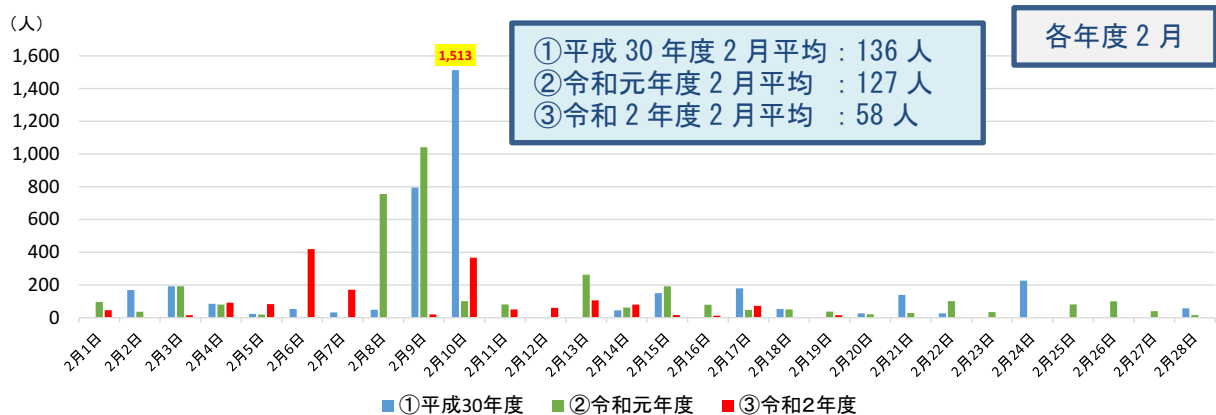
■大会利用施設：コザ運動公園（体育館）



【滞在者数の日別推移（直近 3 カ年のうち 12 月）】



【滞在者数の日別推移（直近 3 カ年のうち 1 月分）】

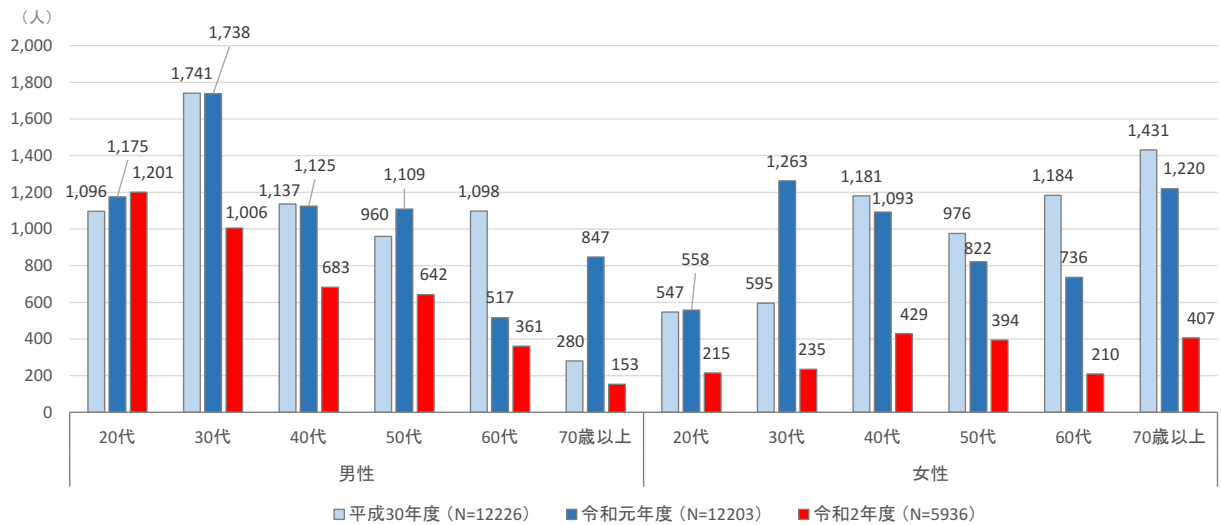


【滞在者数の日別推移（直近 3 カ年のうち 2 月分）】

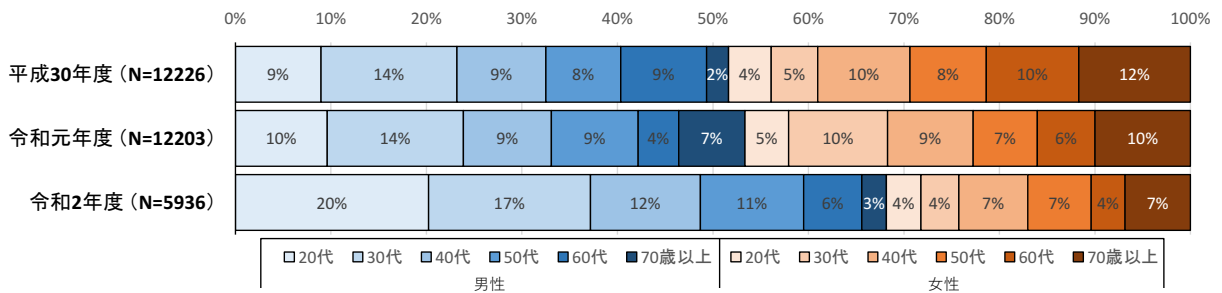
5) 合宿利用施設・大会利用施設における性別×年代別の滞在者数

○各年度の陸上競技場（合宿利用施設）の性別・年代別の滞在者数を以下に示す。
 ○20代男性は各年度いずれも 1,000～1,200 人程度の滞在者となっている。令和2年度は20代男性の利用が最も多い。
 ○平成30年度、令和元年度は、30代男性や女性の滞在者数が令和2年度より多く訪れている。イベント等により令和元年度以前は幅広い年代・性別が訪れていたと推察される。

■合宿利用施設：コザ運動公園（陸上競技場）



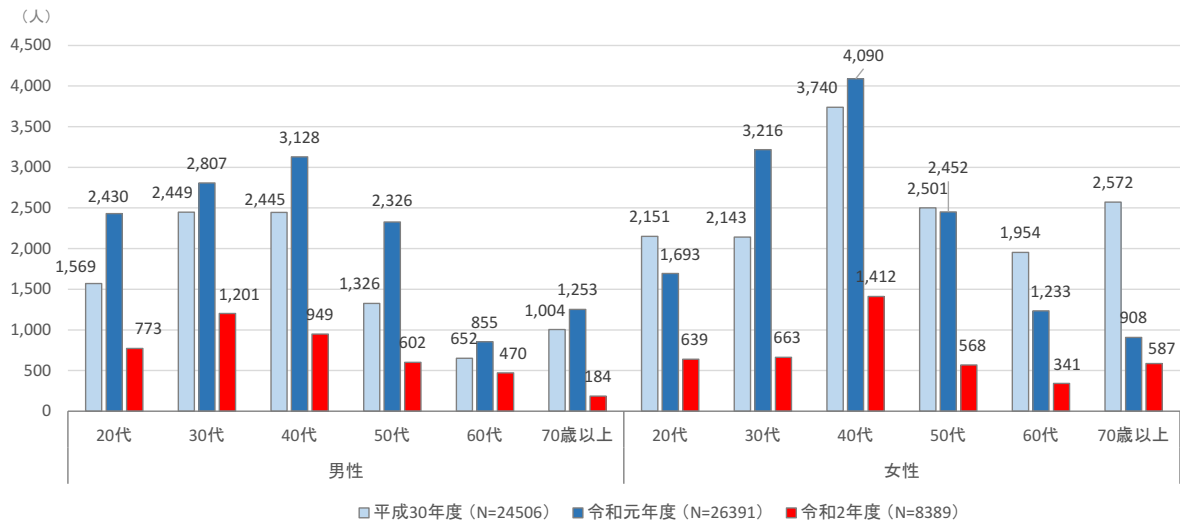
【性別×年代別の滞在者数】



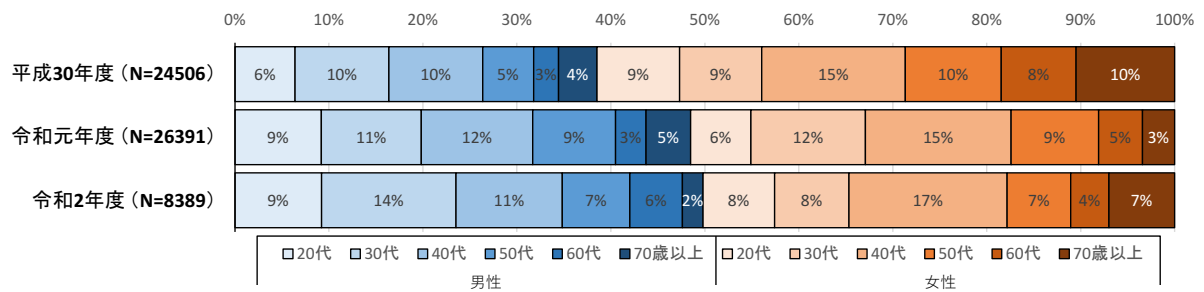
【性別×年代別の滞在者数の割合】

○体育館（大会利用施設）の性別・年代別の滞在者数を以下に示す。
 ○令和2年度は平成30年度・令和元年度と比較するといずれの性別・年代においても減少していることが確認できる。

■大会利用施設：コザ運動公園（体育館）



【性別×年代別の滞在者数】

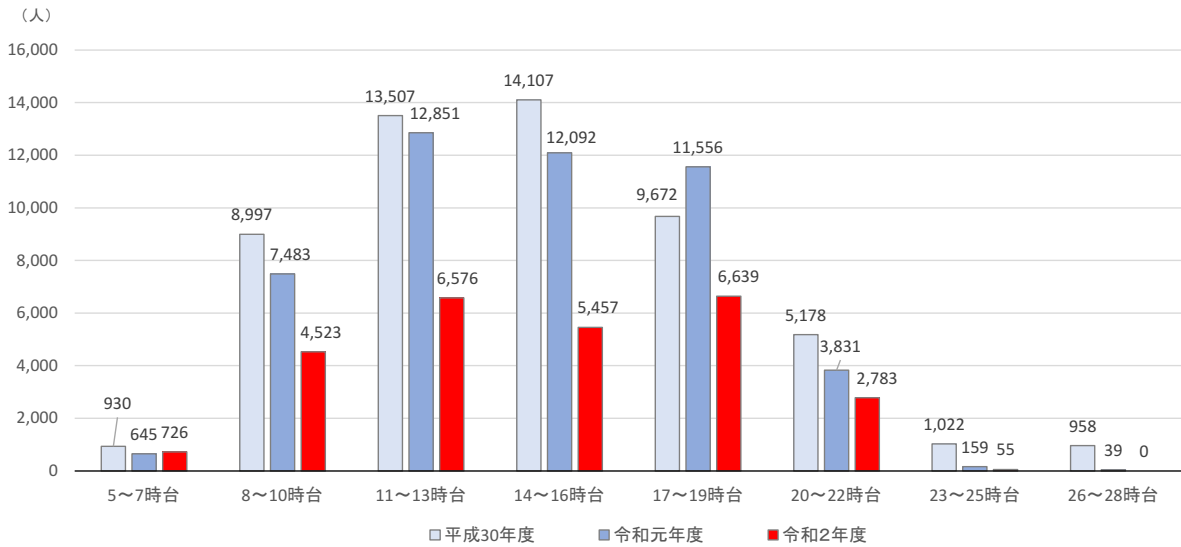


【性別×年代別の滞在者数の割合】

6) 合宿利用施設・大会利用施設における滞在者数の時間帯別推移

■合宿利用施設：コザ運動公園（陸上競技場）

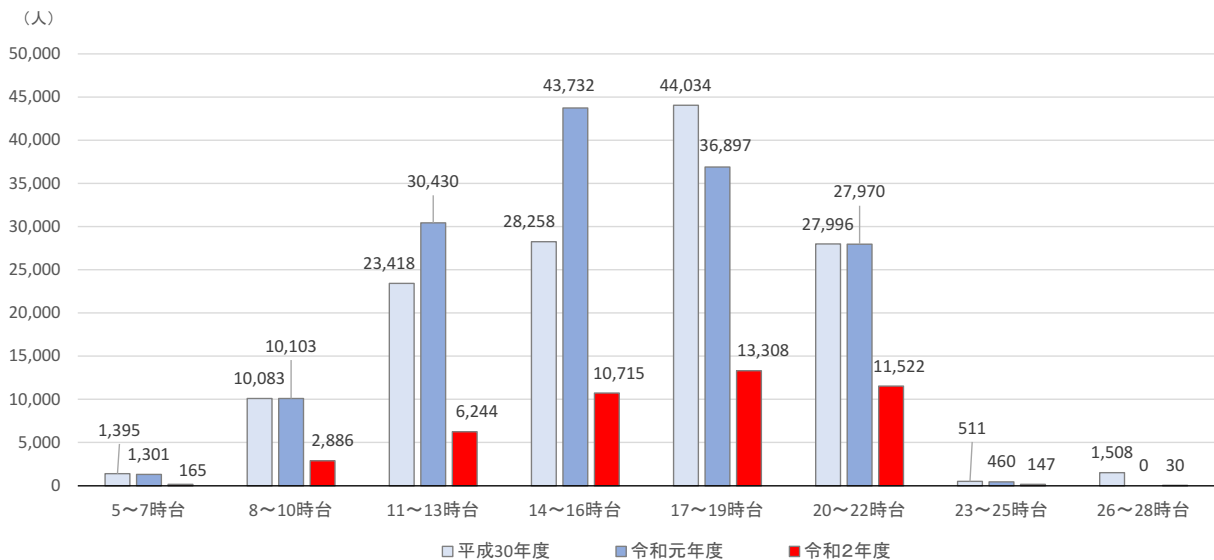
○陸上競技場における滞在者の時間帯別推移を以下に示す。
 ○多くの滞在が確認できる 14 時～16 時をみると平成 30 年度、令和元年度は 1.2 万人～1.4 万人であるが、令和 2 年度は半数以下の約 5 千人に留まっている。



【時間帯別の滞在者数】

■大会利用施設：コザ運動公園（体育館）

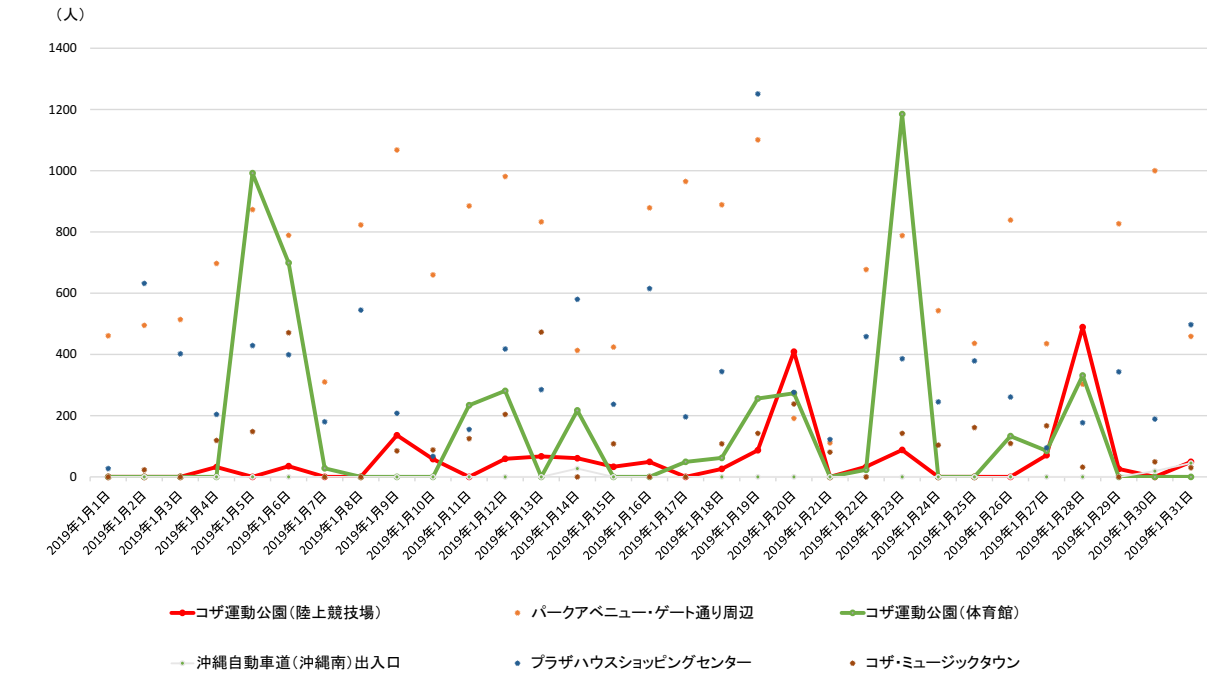
○体育館における滞在者の時間帯別推移を以下に示す。14 時～19 時にかけて多くの滞在者が確認できる。平成 30 年度・令和元年度の 17～19 時は約 3.6 万～4.4 万人の滞在となっているが、令和 2 年度は約 1.3 万人程度の滞在者となっている。



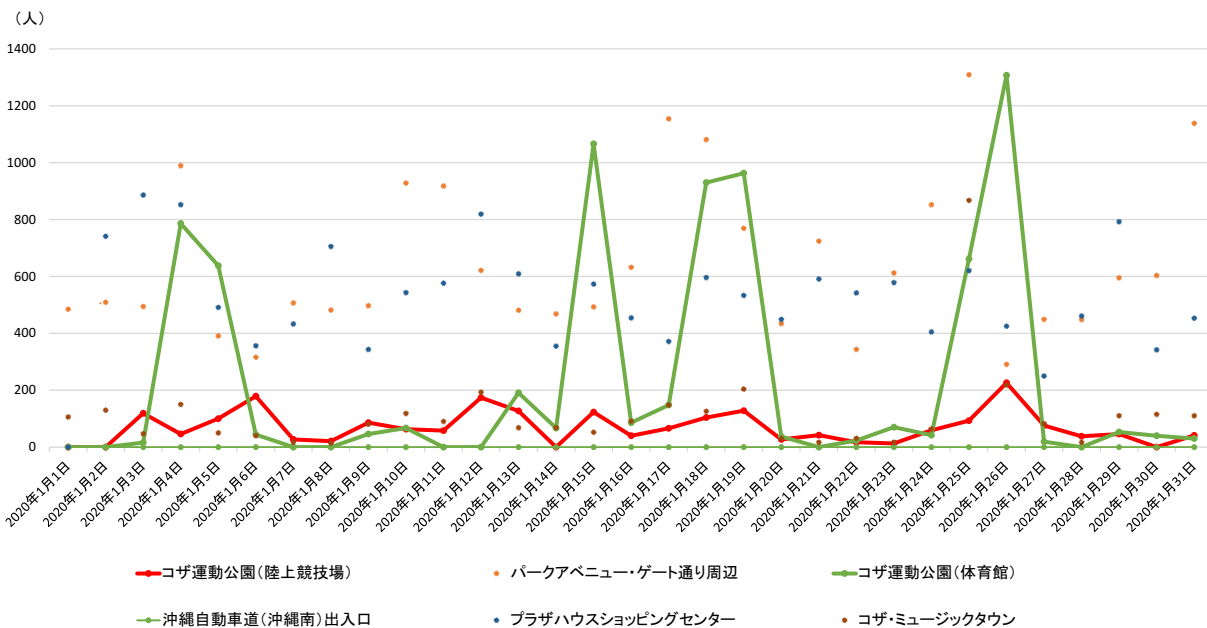
【時間帯別の滞在者数】

7) 合宿利用施設・大会利用施設における時間帯別の滞在者数について

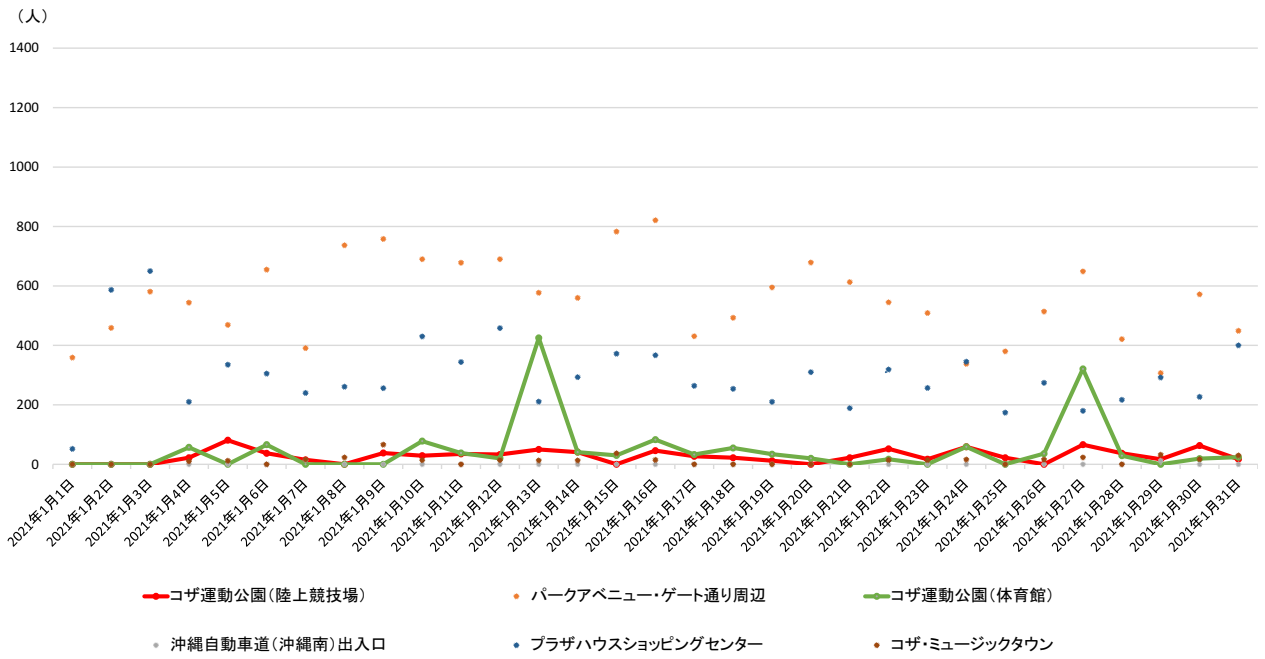
○滞在者が顕著に増加する日の多い各年度1月を対象とした周辺施設を含めた日別推移を以下に示す。平成30年度、令和元年度については、陸上競技場がピークとなる日の前日にパークアベニュー・ゲート通り周辺の滞在者が増加する傾向にあった。



【平成30年度（平成31年1月）の周辺施設を含む日別滞在者数推移】



【令和元年度（令和2年1月）の周辺施設を含む日別滞在者数推移】



【令和2年度(令和3年1月)の周辺施設を含む日別滞在者数推移】

8) 周辺施設への周遊状況について（県外客のみ）

○各エリアの滞在者数（県外客のみ）に対する周遊者の割合について以下に示す。

※例：平成 30 年度（12 月～2 月）のコザ運動公園（陸上競技場）の滞在者（927 人）のうち美浜アメリカンビレッジに周遊した方（周遊者）の割合は 4.5%。なお、キャンプ会場であるコザ運動公園は赤字にて表示。

○各年度のいずれも陸上競技場、体育館はライカム、アメリカンビレッジへの周遊が多い。

	延べ滞在者数	コザ運動公園(陸上競技場)	コザ運動公園(体育館)	美浜アメリカンビレッジ	イオンモール沖縄ライカム	パークアベニュー・ゲート通り周辺	沖縄自動車道(沖縄南)出入口	プラザハウスショッピングセンター	コザ・ミュージックタウン
コザ運動公園(陸上競技場)	927		4.3%	4.5%	26.2%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%
コザ運動公園(体育館)	291	13.7%		14.4%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
美浜アメリカンビレッジ	88,220	0.0%	0.0%		12.7%	1.6%	0.0%	0.8%	0.4%
イオンモール沖縄ライカム	47,721	0.5%	0.1%	23.5%		3.0%	0.0%	2.1%	0.5%
パークアベニュー・ゲート通り周辺	7,700	0.8%	0.0%	18.8%	18.7%		0.0%	4.4%	14.8%
沖縄自動車道(沖縄南)出入口	284	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
プラザハウスショッピングセンター	3,228	0.0%	0.0%	22.1%	31.2%	10.6%	0.0%		0.0%
コザ・ミュージックタウン	1,816	0.0%	0.0%	18.3%	13.4%	62.6%	0.0%	0.0%	

【平成 30 年度（12 月～2 月）における県外滞在者の周遊分析】

	延べ滞在者数	コザ運動公園(陸上競技場)	コザ運動公園(体育館)	美浜アメリカンビレッジ	イオンモール沖縄ライカム	パークアベニュー・ゲート通り周辺	沖縄自動車道(沖縄南)出入口	プラザハウスショッピングセンター	コザ・ミュージックタウン
コザ運動公園(陸上競技場)	711		27.4%	41.4%	21.2%	38.1%	0.0%	7.6%	10.8%
コザ運動公園(体育館)	1,333	14.6%		13.7%	25.5%	15.8%	1.8%	4.1%	5.8%
美浜アメリカンビレッジ	100,580	0.3%	0.2%		10.8%	1.5%	0.0%	0.6%	0.4%
イオンモール沖縄ライカム	39,791	0.4%	0.9%	27.3%		3.7%	0.0%	2.8%	1.2%
パークアベニュー・ゲート通り周辺	7,752	3.5%	2.7%	19.6%	18.8%		0.0%	5.3%	13.2%
沖縄自動車道(沖縄南)出入口	94	0.0%	25.5%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
プラザハウスショッピングセンター	3,142	1.7%	1.7%	19.2%	35.1%	13.1%	0.0%		1.0%
コザ・ミュージックタウン	1,926	4.0%	4.0%	18.8%	25.2%	53.2%	0.0%	1.6%	

【令和元年度（12 月～2 月）における県外滞在者の周遊分析】

	延べ滞在者数	コザ運動公園(陸上競技場)	コザ運動公園(体育館)	美浜アメリカンビレッジ	イオンモール沖縄ライカム	パークアベニュー・ゲート通り周辺	沖縄自動車道(沖縄南)出入口	プラザハウスショッピングセンター	コザ・ミュージックタウン
コザ運動公園(陸上競技場)	84		65.5%	33.3%	0.0%	32.1%	0.0%	16.7%	0.0%
コザ運動公園(体育館)	225	24.4%		19.1%	16.9%	30.7%	18.7%	0.0%	0.0%
美浜アメリカンビレッジ	38,593	0.1%	0.1%		15.8%	1.8%	0.0%	0.9%	0.1%
イオンモール沖縄ライカム	16,798	0.0%	0.2%	36.4%		4.1%	0.2%	3.7%	0.0%
パークアベニュー・ゲート通り周辺	2,896	0.9%	2.4%	24.0%	23.7%		1.5%	2.1%	1.2%
沖縄自動車道(沖縄南)出入口	54	0.0%	77.8%	0.0%	70.4%	77.8%		0.0%	0.0%
プラザハウスショッピングセンター	1,318	1.1%	0.0%	25.3%	46.6%	4.7%	0.0%		0.0%
コザ・ミュージックタウン	102	0.0%	0.0%	35.3%	0.0%	35.3%	0.0%	0.0%	

【令和 2 年度（12 月～2 月）における県外滞在者の周遊分析】

2-4. データ分析（レンタカーGPS 調査）

OTS レンタカーの GPS データを活用し、インバウンド観光客の市内の立ち寄り箇所や平均滞在時間、周遊ルート等の分析を行った。具体的には、インバウンドの利用者が 8 割を占める OTS レンタカーの GPS データを活用し、分析を実施した。

【レンタカーGPS 調査の実施項目】

調査対象	○沖縄市に來訪する訪日外国人旅行者のレンタカーGPS データを活用し動態調査を実施 ○60 分以上の滞在者
調査方法	○OTS レンタカー搭載の通信ナビから取得する GPS データより分析。 (1,000 台程度に機器を設置。)
調査期間 (データ取得期間)	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
対象データ数	11,776 台
分析項目	①來訪者分析 (国籍) ②平均滞在時間/時間帯別流入流出者数・滞在者数分析 ③前後立ち寄り市町村分析 ④來訪者駐車場所 (ヒートマップ) 分析 ⑤宿泊地分析 (宿泊地、泊数)
調査エリア	○沖縄市内全体および市内外主要エリア 10 箇所 ①県総合運動公園 ②コザ運動公園 ③沖縄こどもの国 ④東南植物楽園 ⑤プラザハウス ⑥一番街 ⑦中の町 ⑧グランメール ⑨北谷アメリカンリゾート ⑩沖縄イオンモールライカム

◆レンタカーGPS 調査の構成

次頁以降の携帯 GPS 調査の構成を以下に示す。

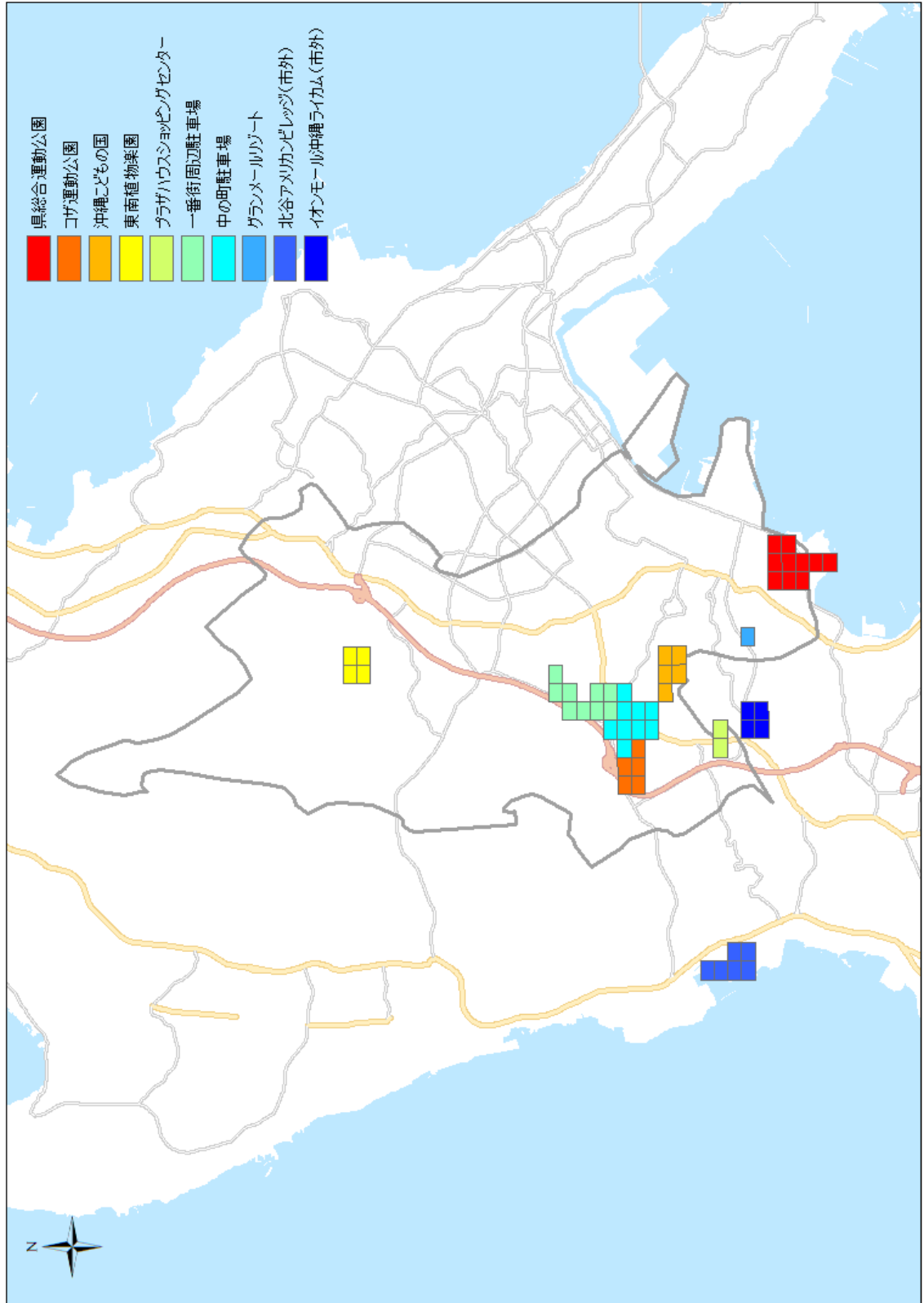
調査概要・定義	124P
サマリー	128P
・沖縄市来訪者	129P
・沖縄市内観光エリア来訪者	130P
調査結果：沖縄市来訪者	131P
・来訪者分析(国籍)・平均滞在時間	132P
・時間帯別流入出者数・滞在者数分析	133P
・前後立寄り市町村分析	134P
・直前直後立ち寄り市町村分析	136P
・来訪者駐車場(ヒートマップ)分析_昼間滞在	138P
・来訪者駐車場(ヒートマップ)分析_夜間滞在	139P
・宿泊地分析(宿泊地、泊数)	140P
調査結果：沖縄市内観光エリア来訪者	141P
・時間帯別流入出者数・滞在者数分析	142P
・宿泊地分析(宿泊地、泊数)	145P

調査概要・定義

1. 調査概要・定義

調査目的	OTSレンタカーを利用して、沖縄市を訪れた訪日外国人の動態調査。 県内観光動態の把握、及び沖縄市の来訪傾向の把握
調査対象	OTSレンタカーを利用して、沖縄市を訪れた訪日外国人
調査期間	2019年4月～2020年3月（12ヶ月） ※但し、レンタカー貸渡し日が上記期間に含まれる場合、調査期間外の車両も集計対象とする
調査方法	OTSレンタカーの移動軌跡（GPS）データを活用 ※レンタカー貸渡約款にて統計データ作成に同意頂き、個人が特定できないように加工したデータを利用
国籍判別	レンタカー貸渡し時に同意の上、運転免許証で確認
調査対象台数	11,776台

1. 調査概要・定義_観光エリア



1. 調査概要・定義

判定	
貸出返却判定	レンタカーを返却した時点で同じ車両でも別台数として集計する。
滞在判定	エンジンを切って停車した場合、そのエリアへの滞在とする。
各市町村来訪判定	60分以上同一市町村内への停車があった場合、来訪及び立ち寄りとして定義する
旅程	レンタカー貸渡し時から返却時までを総旅程とする
宿泊地	1日（5:00～翌4:59）の間で最後の停車場所を宿泊地とする ※但し60分未満の停車は不明とする
昼間/夜間	昼間：7時～21時 夜間：22時～翌6時

集計数値	
滞在時間	エンジンを停止してからつけるまでの時間を滞在時間とする。
秘匿処理	来訪者数が少ない区分は、プライバシー保護の観点からブランクもしくは「****」と表示する

来訪分析項目	沖繩市来訪者		沖繩市内 観光エリア来訪者	
	①来訪者分析（国籍）	○	-	○
②平均滞在時間/時間帯別流入出者数・滞在者数分析	○	○	○	○
③前後立ち寄り市町村分析	○	○	○	-
④来訪者駐車場所（ヒートマップ）分析	○	○	○	-
⑤宿泊地分析（宿泊地、泊数）	○	○	○	○



サマリー

サマリー_沖繩市来訪者

沖繩市の全体来訪者は11,776人。国籍としては、台湾が最も多い。平均滞在時間は来訪者全体で平均13時間36分。国籍では、韓国が最も長く滞在しておりシンガポールと続く。延べ立ち寄り数を見ると、那覇市が多く、次いで中頭郡北谷町、豊見城市の順と続く。沖繩市直前立ち寄りには中頭郡北谷町が22.8%と最も多く、直後立ち寄りは中頭郡北中城村が20.6%と最も多い。沖繩市時間帯別流入者数として、流入者：22時、流出者：10時、滞在者：0時がそれぞれのピーク時間となっている。宿泊地では沖繩市が最も多く、次いで那覇市、中頭郡北谷町の順と続く。

全体来訪者	
	11,776

来訪台数、平均滞在時間			
順位	国籍	来訪台数	平均滞在時間
1	台湾	8,004	12:55
2	香港	2,320	13:48
3	韓国	486	16:30
4	シンガポール	296	14:58
5	タイ	224	10:28
	全体	11,776	13:36

立ち寄り前後				
順位	市町村名	延べ立ち寄り	立ち寄り前	立ち寄り後
1	那覇市	11,460	39.6%	60.4%
2	中頭郡北谷町	10,712	50.5%	49.5%
3	豊見城市	8,498	35.0%	65.0%
4	国頭郡本部町	8,334	63.2%	36.8%
5	中頭郡北中城村	8,162	46.3%	53.7%

時間帯流入出		
沖繩市時間帯別流入者数_ピーク時間		
流入者	流出者	滞在者
22	10	0

沖繩市直前直後立ち寄り			
順位	市町村名	【沖繩市】直前立ち寄り	【沖繩市】直後立ち寄り
1	中頭郡北谷町	2,680	22.8%
2	中頭郡北中城村	1,700	14.4%
3	那覇市	1,165	9.9%
4	国頭郡恩納村	1,138	9.7%
5	名護市	703	6.0%
	合計台数	11,776	-

宿泊地			
順位	市町村名	【沖繩市】直後立ち寄り	人泊数
1	中頭郡北中城村	2,426	20.6%
2	中頭郡北谷町	1,979	16.8%
3	那覇市	1,146	9.7%
4	国頭郡恩納村	782	6.6%
5	うるま市	692	5.9%
	合計台数	11,776	-

宿泊地			
順位	市町村名	人泊数	
1	沖繩市	10,380	17.2%
2	那覇市	9,539	15.8%
3	中頭郡北谷町	7,228	12.0%
4	国頭郡恩納村	5,755	9.5%
5	名護市	4,265	7.1%
	総人泊数	60,460	-

サマリー_沖繩市内観光エリア来訪者

時間帯別滞在者のピーク時間は、13~15時頃（県総合運動公園、沖縄こどもの国、プラザハウスショッピングセンター、中の町駐車場）と19~20時頃（コザ運動公園、一番街周辺駐車場、グインメールリゾート、北谷アメリカンビレッジ（市外）、イオンモール沖縄ライカム（市外）に集中している。宿泊地では那覇市、沖縄市、中頭郡北谷町、中頭郡恩納村に集中して多い。

時間帯流入

観光エリア	流入者	流出者	滞在者
県総合運動公園	10	17	15
コザ運動公園	18	21	19
沖縄こどもの国	10	16	13
東南植物楽園	17	15	17
プラザハウスショッピングセンター	10	16	13
一番街周辺駐車場	18	21	19
中の町駐車場	10	17	14
グランメールリゾート	19	22	20
北谷アメリカンビレッジ（市外）	18	21	20
イオンモール沖縄ライカム（市外）	19	22	19

宿泊地

観光エリア	1位	2位	3位
県総合運動公園	沖縄市	那覇市	中頭郡北谷町
コザ運動公園	那覇市	沖縄市	中頭郡北谷町
沖縄こどもの国	那覇市	中頭郡北谷町	国頭郡恩納村
東南植物楽園	那覇市	中頭郡北谷町	国頭郡恩納村
プラザハウスショッピングセンター	那覇市	中頭郡北谷町	沖縄市
一番街周辺駐車場	那覇市	沖縄市	中頭郡北谷町
中の町駐車場	那覇市	沖縄市	中頭郡北谷町
グランメールリゾート	沖縄市	那覇市	中頭郡北谷町
北谷アメリカンビレッジ（市外）	那覇市	沖縄市	中頭郡北谷町
イオンモール沖縄ライカム（市外）	沖縄市	那覇市	中頭郡北谷町

調査結果：沖縄市来訪者

来訪者分析（国籍）・平均滞在時間

沖縄市内に滞在（停車）した平均時間

- ・沖縄市宿泊無：旅程の中で沖縄市内に宿泊がない方
- ・沖縄市宿泊有：旅程の中で沖縄市内に宿泊がある方

沖縄市平均滞在時間

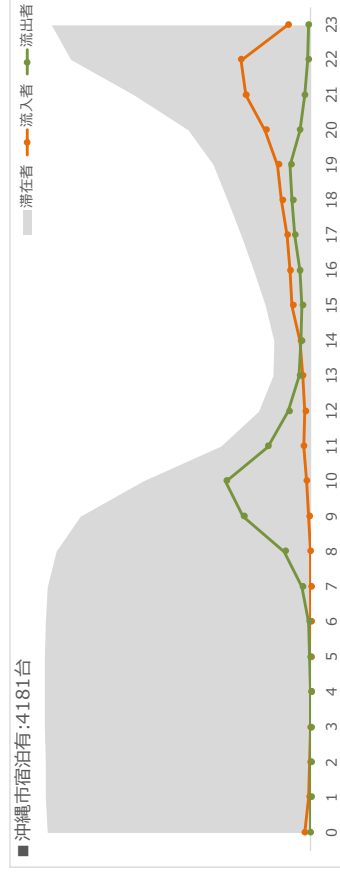
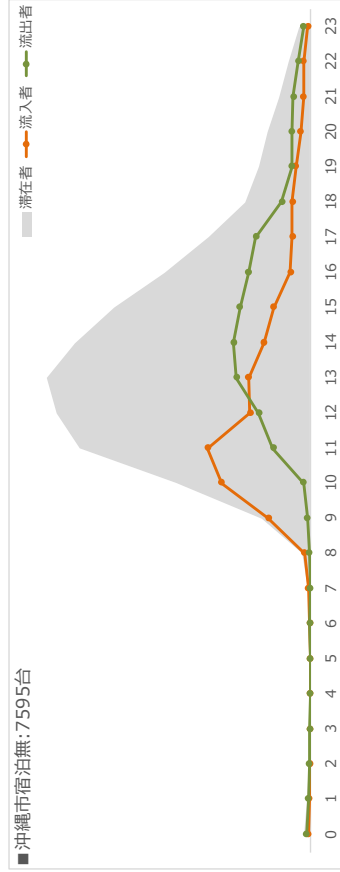
国籍	来訪台数			平均滞在時間		
	合計	沖縄市宿泊無	沖縄市宿泊有	合計	沖縄市宿泊無	沖縄市宿泊有
台湾	8,004	64.2%	35.8%	12:55	2:29	31:39
香港	2,320	70.6%	29.4%	13:48	2:38	40:36
韓国	486	45.5%	54.5%	16:30	2:01	28:35
シンガポール	296	60.1%	39.9%	14:58	2:16	34:08
タイ	224	62.5%	37.5%	10:28	2:20	23:59
マカオ	163	75.5%	24.5%	10:45	2:47	35:14
アメリカ合衆国	97	55.7%	44.3%	38:09	7:02	77:15
マレーシア	85	42.4%	57.6%	32:56	1:55	55:44
オーストラリア	24	****	****	9:59	2:06	49:19
カナダ	21	52.4%	47.6%	18:34	2:28	36:17
その他	56	****	****	18:05	2:08	44:39
合計	11,776	64.5%	35.5%	13:36	2:31	33:43

時間帯別流入出者数・滞在者数分析

沖縄市内に停車した際の流入時間帯と流出時間。※沖縄市内で停車しなかった場合は集計対象外

- ・沖縄市宿泊無：旅程の中で沖縄市内に宿泊がない方
- ・沖縄市宿泊有：旅程の中で沖縄市内に宿泊がある方

沖縄市時間帯別流入出者数



前後立ち寄り市町村分析

来訪前立ち寄り：沖縄市に来訪した時点に基づいて、沖縄市に来訪する前に立ち寄った市町村
 来訪後立ち寄り：沖縄市に来訪した時点に基づいて、沖縄市に来訪する後に立ち寄った市町村
 ※60分以上の停車で立ち寄り定義。複数回沖縄市に停車した場合は最も停車時間が長かった停車を基準とする

沖縄市立ち寄り前後市町村

順位	市町村名	都道府県名	延べ 立ち寄り数	来訪前 立ち寄り数	前後傾向	来訪後 立ち寄り数
—	全体		89,840	44,325		45,515
1	那覇市	沖縄県	11,460	4,533		6,927
2	中頭郡北谷町	沖縄県	10,712	5,413		5,299
3	豊見城市	沖縄県	8,498	2,978		5,520
4	国頭郡本部町	沖縄県	8,334	5,267		3,067
5	中頭郡北中城村	沖縄県	8,162	3,783		4,379
6	名護市	沖縄県	7,463	4,671		2,792
7	国頭郡恩納村	沖縄県	5,790	3,330		2,460
8	南城市	沖縄県	4,222	1,598		2,624
9	浦添市	沖縄県	4,208	1,723		2,485
10	沖縄市	沖縄県	4,051	2,179		1,872
11	国頭郡今帰仁村	沖縄県	3,787	2,410		1,377
12	うるま市	沖縄県	3,057	1,550		1,507
13	糸満市	沖縄県	2,461	1,067		1,394
14	宜野湾市	沖縄県	2,451	1,105		1,346
15	中頭郡読谷村	沖縄県	1,892	1,007		885

前後立ち寄り市町村分析

来訪前立ち寄り：沖縄市に来訪した時点に基づきとして、沖縄市に来訪する前に立ち寄った市町村
 来訪後立ち寄り：沖縄市に来訪した時点に基づきとして、沖縄市に来訪する後に立ち寄った市町村
 ※60分以上の停車で立ち寄り定義。複数回沖縄市に停車した場合は最も停車時間が長かった停車を基準とする

沖縄市立ち寄り前後市町村

順位	市町村名	都道府県名	延べ 立ち寄り数	来訪前 立ち寄り数	前後傾向	来訪後 立ち寄り数
—	全体		89,840	44,325		45,515
16	中頭郡中城村	沖縄県	858	398		460
17	国頭郡宜野座村	沖縄県	574	349		225
18	国頭郡金武町	沖縄県	449	268		181
19	島尻郡八重瀬町	沖縄県	367	151		216
20	島尻郡南風原町	沖縄県	312	129		183
21	国頭郡国頭村	沖縄県	307	201		106
22	中頭郡嘉手納町	沖縄県	159	78		81
23	中頭郡西原町	沖縄県	107	49		58
24	島尻郡与那原町	沖縄県	82	37		45
25	国頭郡大宜味村	沖縄県	45	30		15
26	国頭郡東村	沖縄県	26	****		****
27	国頭郡伊江村	沖縄県	****	****		****
28	島尻郡渡嘉敷村	沖縄県	****	****		****
28	島尻郡伊是名村	沖縄県	****	****		****

直前直後立ち寄り市町村分析

直前立ち寄り：沖縄市に來訪した時点を基準として、沖縄市に來訪する直前に立ち寄った市町村
 ※60分以上の停車で立ち寄りと定義。複数回沖縄市に停車した場合は最も停車時間が長かった停車を基準とする

沖縄市最初立ち寄り：旅程の中で最初に60分以上停車した市町村が沖縄市であった方

沖縄市來訪 直前立ち寄り市町村

市町村名	都道府県	【沖縄市】直前立ち寄り	市町村名	都道府県	【沖縄市】直前立ち寄り
那覇市	沖縄県	1,165	中頭郡中城村	沖縄県	72
中頭郡北谷町	沖縄県	2,680	国頭郡宜野座村	沖縄県	34
豊見城市	沖縄県	219	国頭郡金武町	沖縄県	103
国頭郡本部町	沖縄県	378	島尻郡八重瀬町	沖縄県	****
中頭郡北中城村	沖縄県	1,700	島尻郡南風原町	沖縄県	10
名護市	沖縄県	703	国頭郡国頭村	沖縄県	10
国頭郡恩納村	沖縄県	1,138	中頭郡嘉手納町	沖縄県	21
南城市	沖縄県	137	中頭郡西原町	沖縄県	17
浦添市	沖縄県	227	島尻郡与那原町	沖縄県	****
沖縄市	沖縄県		国頭郡大宜味村	沖縄県	****
国頭郡今帰仁村	沖縄県	139	国頭郡東村	沖縄県	****
うるま市	沖縄県	613	国頭郡伊江村	沖縄県	****
糸満市	沖縄県	87	島尻郡渡嘉敷村	沖縄県	****
宜野湾市	沖縄県	369	島尻郡伊是名村	沖縄県	****
中頭郡読谷村	沖縄県	250			
合計台数		11,776	沖縄市最初立ち寄り		1,691
					14.4%

直前直後立ち寄り市町村分析

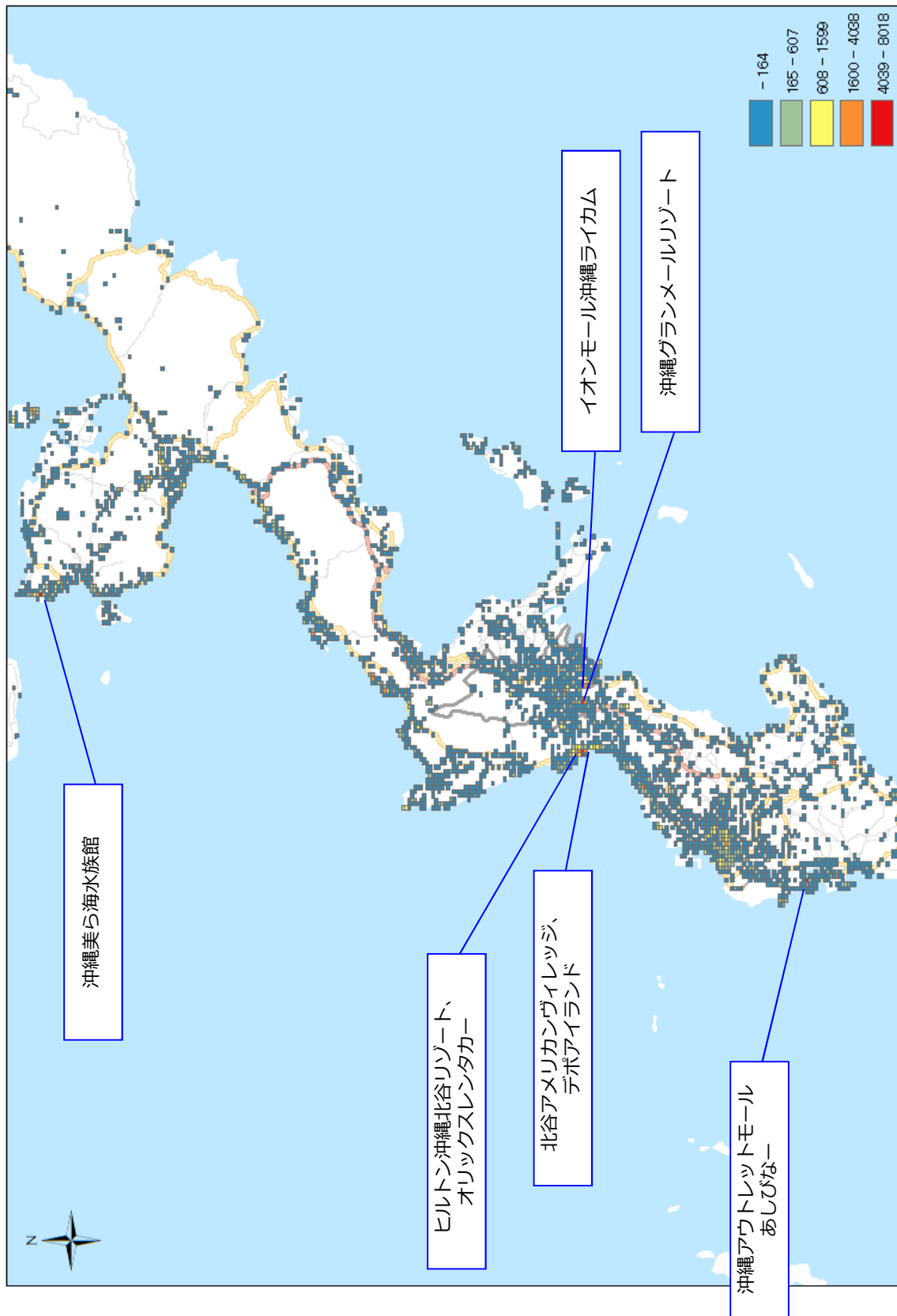
直後立ち寄り：沖縄市に來訪した時点を基準として、沖縄市に來訪する直後に立ち寄った市町村
 ※60分以上の停車で立ち寄りと定義。複数回沖縄市に停車した場合は最も停車時間が長かった停車を基準とする

沖縄市最後立ち寄り：旅程の中で最後に60分以上停車した市町村が沖縄市であった方

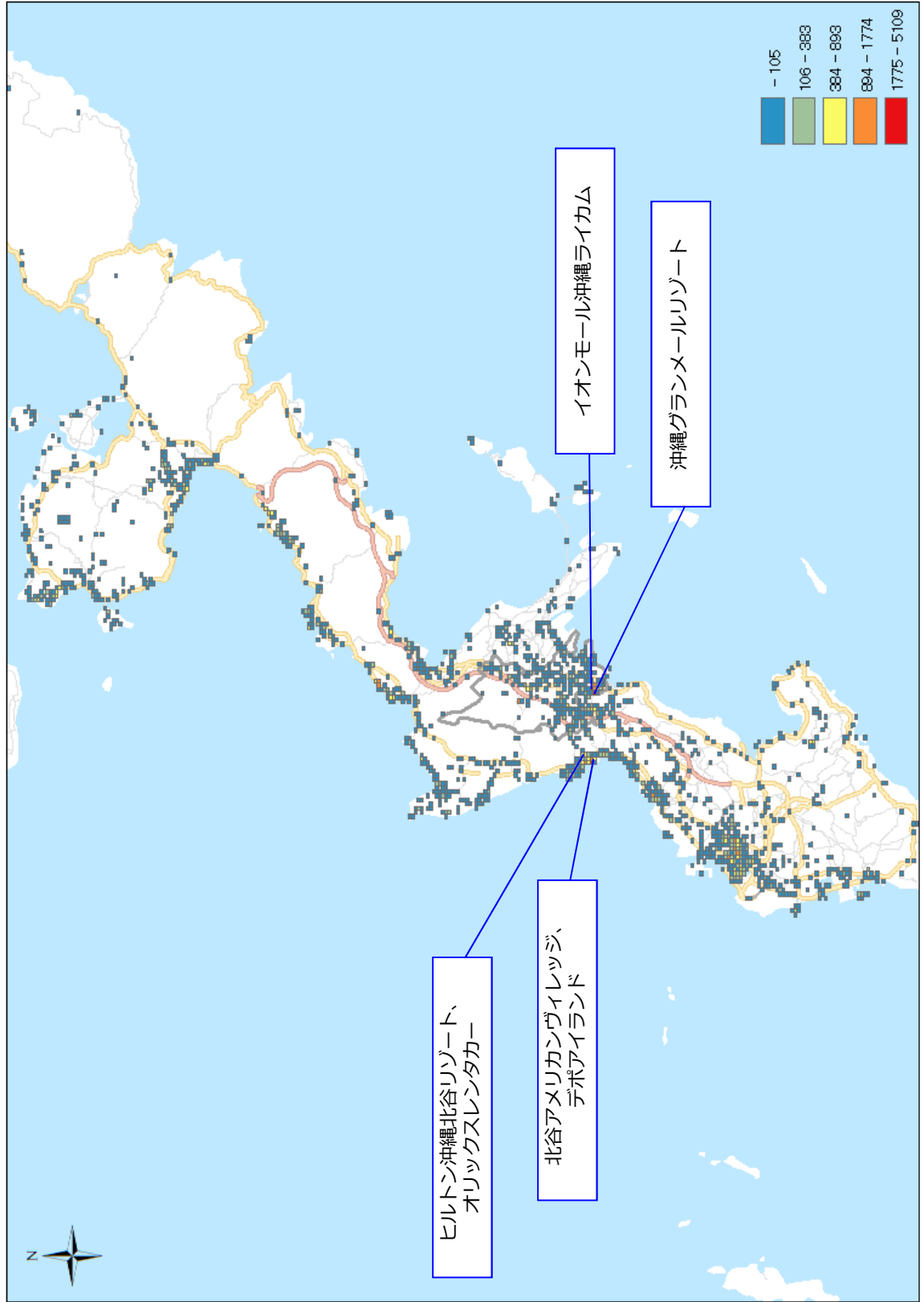
沖縄市來訪 直後立ち寄り市町村

市町村名	都道府県	【沖縄市】直後立ち寄り	市町村名	都道府県	【沖縄市】直後立ち寄り
那覇市	沖縄県	1,146	中頭郡中城村	沖縄県	136
中頭郡北谷町	沖縄県	1,979	国頭郡宜野座村	沖縄県	36
豊見城市	沖縄県	426	国頭郡金武町	沖縄県	39
国頭郡本部町	沖縄県	548	島尻郡八重瀬町	沖縄県	18
中頭郡北中城村	沖縄県	2,426	島尻郡南風原町	沖縄県	****
名護市	沖縄県	544	国頭郡国頭村	沖縄県	10
国頭郡恩納村	沖縄県	782	中頭郡嘉手納町	沖縄県	26
南城市	沖縄県	333	中頭郡西原町	沖縄県	****
浦添市	沖縄県	470	島尻郡与那原町	沖縄県	****
沖縄市	沖縄県		国頭郡大宜味村	沖縄県	****
国頭郡今帰仁村	沖縄県	188	国頭郡東村	沖縄県	****
うるま市	沖縄県	692	国頭郡伊江村	沖縄県	****
糸満市	沖縄県	98	島尻郡渡嘉敷村	沖縄県	****
宜野湾市	沖縄県	259	島尻郡伊是名村	沖縄県	****
中頭郡読谷村	沖縄県	213			
合計台数		11,776	沖縄市最後立ち寄り		1,392
		-			11.8%

来訪者駐車場所（ヒートマップ）分析_昼間滞在



来訪者駐車場所（ヒートマップ）分析_夜間滞在



宿泊地分析（宿泊地、泊数）

県内で宿泊地を集計したもの。同一市内に複数回宿泊した場合はも宿泊数分集計。

宿泊市町村

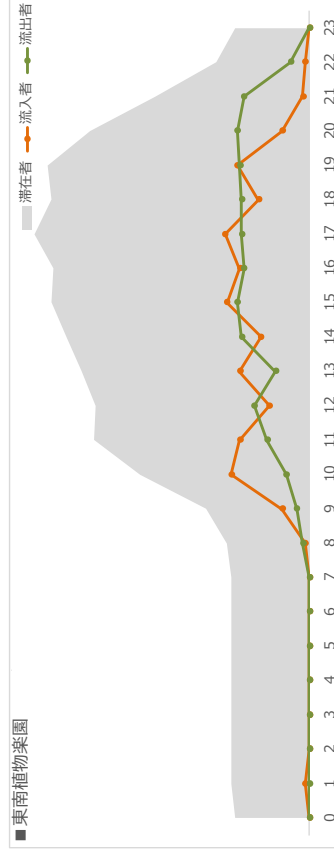
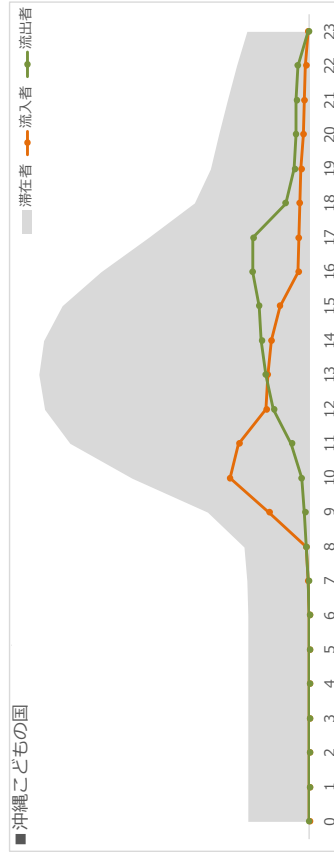
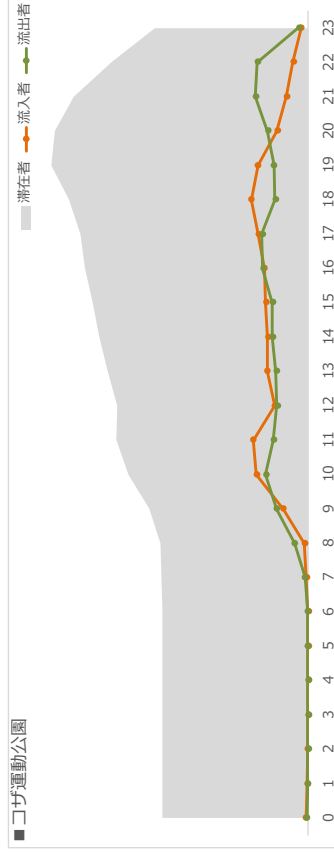
市町村名	都道府県	人泊数	構成比	市町村名	都道府県	人泊数	構成比
総人泊数 60,460							
沖繩市	沖繩県	10,380	17.2%	浦添市	沖繩県	194	0.3%
那覇市	沖繩県	9,539	15.8%	国頭郡宜野座村	沖繩県	93	0.2%
中頭郡北谷町	沖繩県	7,228	12.0%	島尻郡八重瀬町	沖繩県	67	0.1%
国頭郡恩納村	沖繩県	5,755	9.5%	国頭郡国頭村	沖繩県	60	0.1%
名護市	沖繩県	4,265	7.1%	中頭郡嘉手納町	沖繩県	53	0.1%
国頭郡本部町	沖繩県	2,990	4.9%	島尻郡与那原町	沖繩県	40	0.1%
うるま市	沖繩県	1,639	2.7%	中頭郡西原町	沖繩県	30	0.0%
宜野湾市	沖繩県	1,629	2.7%	国頭郡東村	沖繩県	22	0.0%
中頭郡読谷村	沖繩県	1,192	2.0%	中頭郡中城村	沖繩県	19	0.0%
南城市	沖繩県	870	1.4%	国頭郡大宜味村	沖繩県	****	****
中頭郡北中城村	沖繩県	796	1.3%	島尻郡南風原町	沖繩県	****	****
国頭郡金武町	沖繩県	703	1.2%	国頭郡伊江村	沖繩県	****	****
糸満市	沖繩県	558	0.9%	島尻郡渡嘉敷村	沖繩県	****	****
国頭郡今帰仁村	沖繩県	493	0.8%	島尻郡座間味村	沖繩県	****	****
豊見城市	沖繩県	488	0.8%	宿泊地不明	—	11,347	18.8%

調査結果：沖縄市内観光工リリア来訪者

時間帯別流入出者数・滞在者数分析

沖縄市内に停車した際の流入時間帯と流出時間。 ※沖縄市内で停車しなかった場合は集計対象外

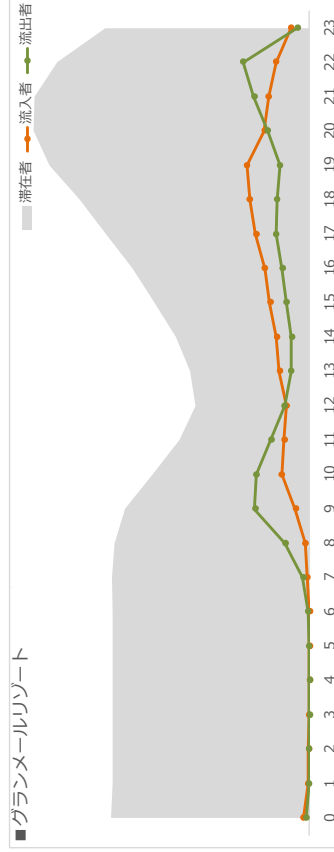
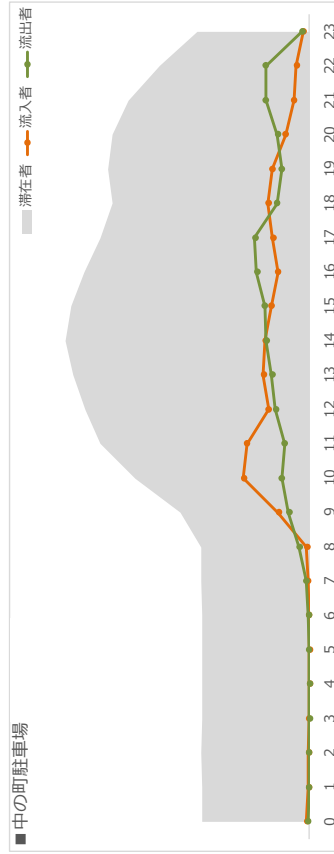
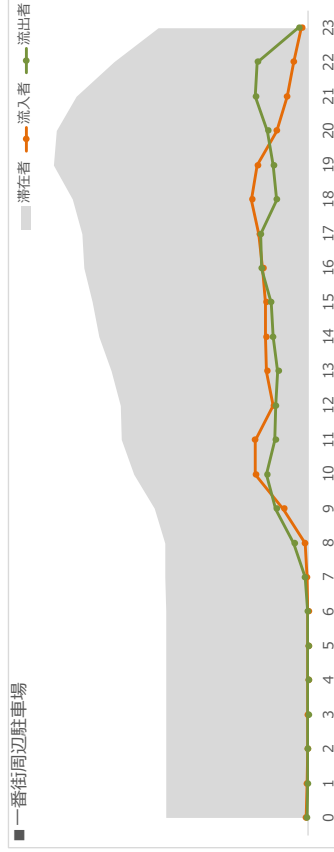
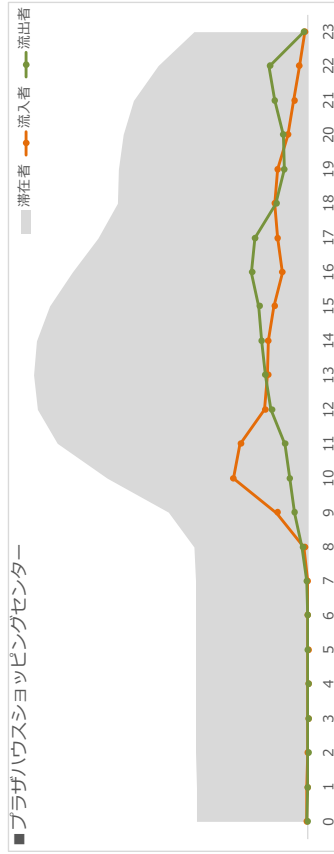
沖縄市時間帯別流入出者数



時間帯別流入出者数・滞在者数分析

沖縄市内に停車した際の流入時間帯と流出時間。 ※沖縄市内で停車しなかった場合は集計対象外

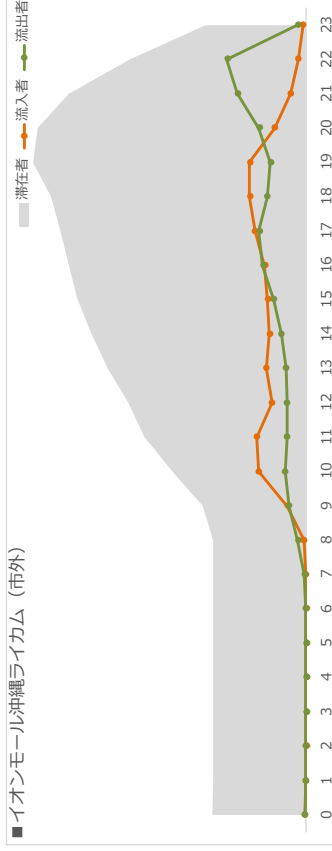
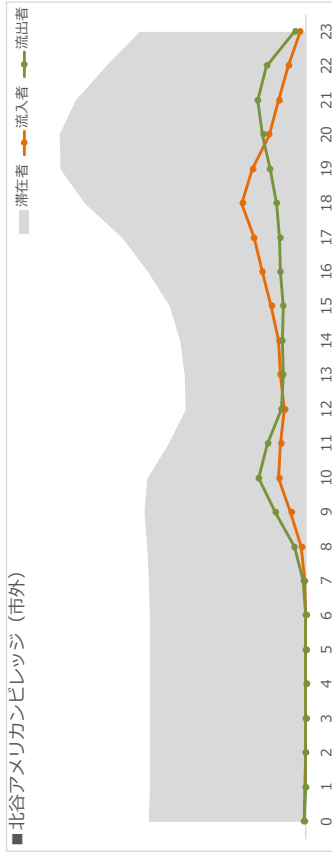
沖縄市時間帯別流入出者数



時間帯別流入流出者数・滞在者数分析

沖縄市内に停車した際の流入時間帯と流出時間。 ※沖縄市内で停車しなかった場合は集計対象外

沖縄市時間帯別流入流出者数



宿泊地分析（宿泊地、泊数）

県内で宿泊地を集計したものです。同一市内に複数回宿泊した場合はも宿泊数を集計。

宿泊市町村

市町村名	総人泊数		県総合運動公園		コガ運動公園		沖縄こどもの国		東南植物楽園		プラザハウスショッピングセンター	
	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比
那覇市	49,411	15.5%	2,439	7.77%	5,092	18.3%	302	16.3%	3,735	17.2%	21,699	17.2%
沖縄市	47,223	15.9%	2,514	7.20%	2,046	7.4%	180	9.7%	2,771	12.8%		12.8%
中頭郡北谷町	40,332	12.4%	1,958	6.04%	4,428	16.0%	292	15.7%	3,237	14.9%		14.9%
国頭郡恩納村	29,826	1,274	8.1%	4,820	10.0%	3,120	11.2%	209	11.3%	2,128	9.8%	9.8%
名護市	22,208	1,109	7.0%	3,624	7.5%	2,164	7.8%	135	7.3%	1,435	6.6%	6.6%
国頭郡本部町	15,180	696	4.4%	2,494	5.2%	1,438	5.2%	121	6.5%	1,005	4.6%	4.6%
国頭郡本部町	9,024	502	3.2%	1,317	2.7%	1,111	4.0%	35	1.9%	912	4.2%	4.2%
うるま市	7,518	699	4.4%	1,215	2.5%	467	1.7%	52	2.8%	383	1.8%	1.8%
中頭郡読谷村	5,489	312	2.0%	825	1.7%	546	2.0%	33	1.8%	296	1.4%	1.4%
中頭郡北中城村	4,863	388	2.5%	653	1.4%	380	1.4%	12	0.6%	531	2.4%	2.4%
南城市	4,402	273	1.7%	670	1.4%	458	1.7%	28	1.5%	298	1.4%	1.4%
国頭郡金武町	3,723	180	1.1%	605	1.3%	388	1.4%	14	0.8%	262	1.2%	1.2%
糸満市	2,689	164	1.0%	439	0.9%	254	0.9%	31	1.7%	166	0.8%	0.8%
豊見城市	2,573	130	0.8%	401	0.8%	222	0.8%	18	1.0%	198	0.9%	0.9%
国頭郡今帰仁村	2,408	141	0.9%	410	0.9%	184	0.7%	16	0.9%	116	0.5%	0.5%
浦添市	1,057	75	0.5%	167	0.3%	109	0.4%	11	0.6%	71	0.3%	0.3%
国頭郡宜野座村	433	14	0.1%	75	0.2%	31	0.1%	****	****	45	0.2%	0.2%
国頭郡国頭村	274	18	0.1%	48	0.1%	24	0.1%	****	****	14	0.1%	0.1%
中頭郡嘉手納町	261	****	****	46	0.1%	24	0.1%	****	****	****	****	****
島尻郡八重瀬町	258	13	0.1%	49	0.1%	13	0.0%	****	****	10	0.0%	0.0%
中頭郡西原町	160	12	0.1%	30	0.1%	18	0.1%	****	****	****	****	****
島尻郡与那原町	143	13	0.1%	23	0.0%	11	0.0%	****	****	****	****	****
中頭郡中城村	115	****	****	17	0.0%	12	0.0%	****	****	****	****	****
国頭郡東村	69	****	****	14	0.0%	****	****	****	****	****	****	****
国頭郡大宜味村	42	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
島尻郡南風原町	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
国頭郡伊江村	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
島尻郡渡嘉敷村	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
島尻郡座間味村	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
宿泊地不明	57,859	2,841	18.0%	9,131	19.0%	5,212	18.8%	343	18.5%	4,059	18.7%	18.7%

宿泊地分析（宿泊地、泊数）

県内で宿泊地を集計したもの。同一市内に複数回宿泊した場合も宿泊数分集計。

宿泊市町村

市町村名	総人泊数		一番街周辺駐車場		中の町駐車場		グランメーラルリゾート		北谷アメリカンビレッジ(市外)		イオンモール沖縄ライカム(市外)	
	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比	人泊数	構成比
那覇市	49,411	16.1%	7,842	15.4%	5,359	15.4%	3,124	13.7%	7,057	15.9%	6,683	16.0%
沖縄市	47,223	15.0%	7,303	15.0%	5,243	15.1%	6,027	26.4%	6,802	15.3%	7,128	17.1%
中頭郡北谷町	40,332	12.3%	5,971	12.3%	4,340	12.5%	2,098	9.2%	6,649	15.0%	5,319	12.7%
国頭郡恩納村	29,826	10.2%	4,939	10.2%	3,783	10.9%	1,665	7.3%	4,001	9.0%	3,887	9.3%
名護市	22,208	7.6%	3,678	7.6%	2,522	7.2%	1,528	6.7%	3,130	7.1%	2,883	6.9%
国頭郡本部町	15,180	5.2%	2,524	5.2%	1,698	4.9%	1,055	4.6%	2,164	4.9%	1,985	4.7%
沖繩県	9,024	2.7%	1,328	2.7%	858	2.5%	435	1.9%	1,241	2.8%	1,285	3.1%
うるま市	7,518	2.5%	1,238	2.5%	951	2.7%	650	2.9%	910	2.1%	953	2.3%
中頭郡読谷村	5,489	1.8%	885	1.8%	727	2.1%	277	1.2%	845	1.9%	743	1.8%
中頭郡北中城村	4,863	1.4%	677	1.4%	561	1.6%	401	1.8%	554	1.3%	706	1.7%
南城市	4,402	1.4%	674	1.4%	482	1.4%	327	1.4%	610	1.4%	582	1.4%
国頭郡金武町	3,723	1.3%	624	1.3%	512	1.5%	187	0.8%	493	1.1%	458	1.1%
糸満市	2,689	0.9%	432	0.9%	343	1.0%	159	0.7%	370	0.8%	331	0.8%
豊見城市	2,573	0.8%	409	0.8%	305	0.9%	197	0.9%	375	0.8%	318	0.8%
国頭郡今帰仁村	2,408	0.9%	421	0.9%	282	0.8%	180	0.8%	352	0.8%	306	0.7%
浦添市	1,057	0.3%	168	0.3%	112	0.3%	51	0.2%	150	0.3%	143	0.3%
国頭郡宜野座村	433	0.2%	75	0.2%	60	0.2%	20	0.1%	57	0.1%	47	0.1%
国頭郡国頭村	274	0.1%	48	0.1%	27	0.1%	17	0.1%	42	0.1%	37	0.1%
中頭郡嘉手納町	261	0.1%	42	0.1%	41	0.1%	19	0.1%	47	0.1%	31	0.1%
島尻郡八重瀬町	258	0.1%	49	0.1%	27	0.1%	20	0.1%	39	0.1%	35	0.1%
中頭郡西原町	160	0.0%	22	0.0%	22	0.1%	14	0.1%	13	0.0%	24	0.1%
島尻郡与那原町	143	0.0%	23	0.0%	14	0.0%	13	0.1%	17	0.0%	23	0.1%
中頭郡中城村	115	0.0%	17	0.0%	14	0.0%	11	0.0%	13	0.0%	18	0.0%
国頭郡東村	69	0.0%	14	0.0%	****	****	****	****	13	0.0%	****	****
国頭郡大宜味村	42	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
島尻郡南風原町	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
国頭郡伊江村	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
島尻郡渡嘉敷村	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
島尻郡盛岡味村	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
宿泊地不明	57,859	18.9%	9,213	18.9%	6,533	18.8%	4,301	18.9%	8,369	18.9%	7,857	18.8%
合計	307,549		48,624		34,830		22,789		44,319		41,794	

2-5. 令和2年度夏季期間の観光動態分析 (KDDI ロケーションアナライザー)

(1) 調査目的

令和2年度の with コロナの状況における観光動向の変化等を把握することを目的として、KDDI のロケーションアナライザーを用いた動態把握・分析を実施した。




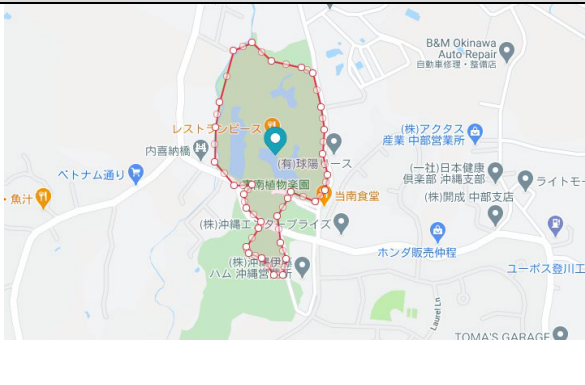

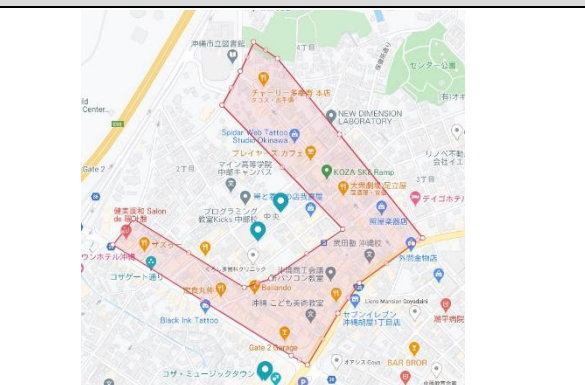
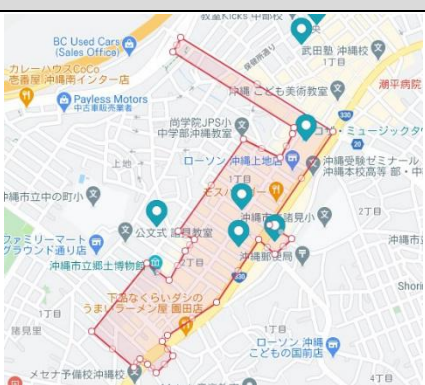
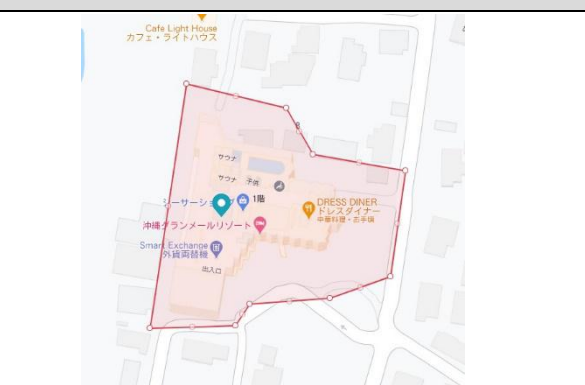
市内主要エリアの滞在者の人口、性別、年齢、居住地の把握や、時間別等の推移を確認した。

【観光動態分析の実施項目】

調査対象	○沖縄市内外に設定した調査地点の立ち寄り者 ※KDDI ユーザーを対象
調査方法	○Oau スマートフォン契約者のうち位置情報の利用許諾を得たユーザーの GPS 位置情報データを取得分析。
調査期間	○令和2年度の観光動向として以下の期間のデータを対象とした ①昨年度夏季：令和元年4月1日～令和元年8月31日 ②今年度夏季：令和2年4月1日～令和2年8月31日 ※月別の滞在者数推移のみ平成30年12月～令和元年1月、令和元年12月～令和2年11月にて確認した
分析項目	○市内主要エリアの来訪者数（市内・市外・県外／居住地市町村別） ○来訪者属性（性別・年代） ○時間帯別の来訪者数 ○前年同月との比較分析
調査エリア	○市内外主要エリア 10箇所 ①県総合運動公園 ②コザ運動公園 ③沖縄こどもの国 ④東南植物楽園 ⑤プラザハウス ⑥コザ商店街周辺 ⑦中の町周辺 ⑧グランメールリゾート ⑨イオンモール沖縄ライカム（市外） ⑩アメリカンビレッジ（市外）

(2) 調査エリア

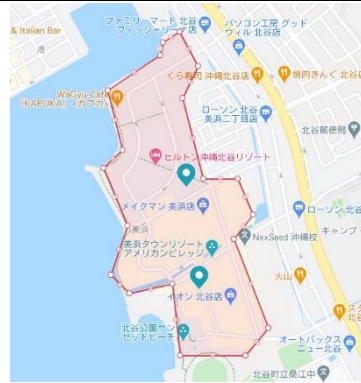
本調査では市内主要エリア 8 箇所および市外エリア 2 箇所の確認を行った。

<p style="text-align: center;">県総合運動公園</p> 	<p style="text-align: center;">コザ運動公園</p> 
<p style="text-align: center;">沖縄こどもの国</p> 	<p style="text-align: center;">東南植物楽園</p> 
<p style="text-align: center;">プラザハウス</p> 	<p style="text-align: center;">コザ商店街周辺</p> 
<p style="text-align: center;">中の町周辺</p> 	<p style="text-align: center;">グランメールリゾート</p> 

イオンモール沖縄ライカム



アメリカンビレッジ



(3) 調査結果

①市内・市外別の滞在者数

○調査対象エリアを市内8施設、市外2施設の2種類に分け、令和元年4～8月、令和2年4～8月の2期間で滞在者数の比較を行った。

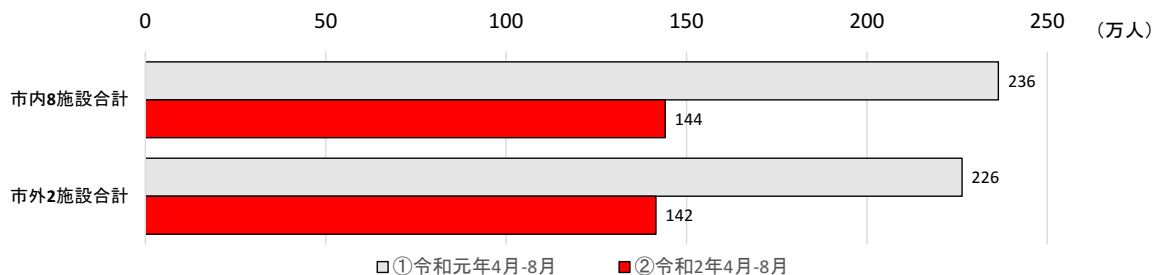
※市内エリアは①県総合運動公園、②コザ運動公園、③沖縄こどもの国、④東南植物楽園、⑤プラザハウス、⑥コザ商店街周辺、⑦中の町周辺、⑧グランメールリゾート

※市外エリアは⑨イオンモール沖縄ライカム、⑩アメリカンビレッジとしている。

○市内8施設、市外2施設のいずれも令和2年度(4～8月)は、前年の令和元年度より30%～35%の減少が確認された。

【市内・市外別の滞在者数】

区分	①令和元年4～8月	②令和2年4～8月	差分(②-①)	増減率
市内8施設	1,442,548人	938,526人	-504,022人	-35%
市外2施設	432,891人	301,850人	-131,041人	-30%



【市内・市外別の滞在者数】

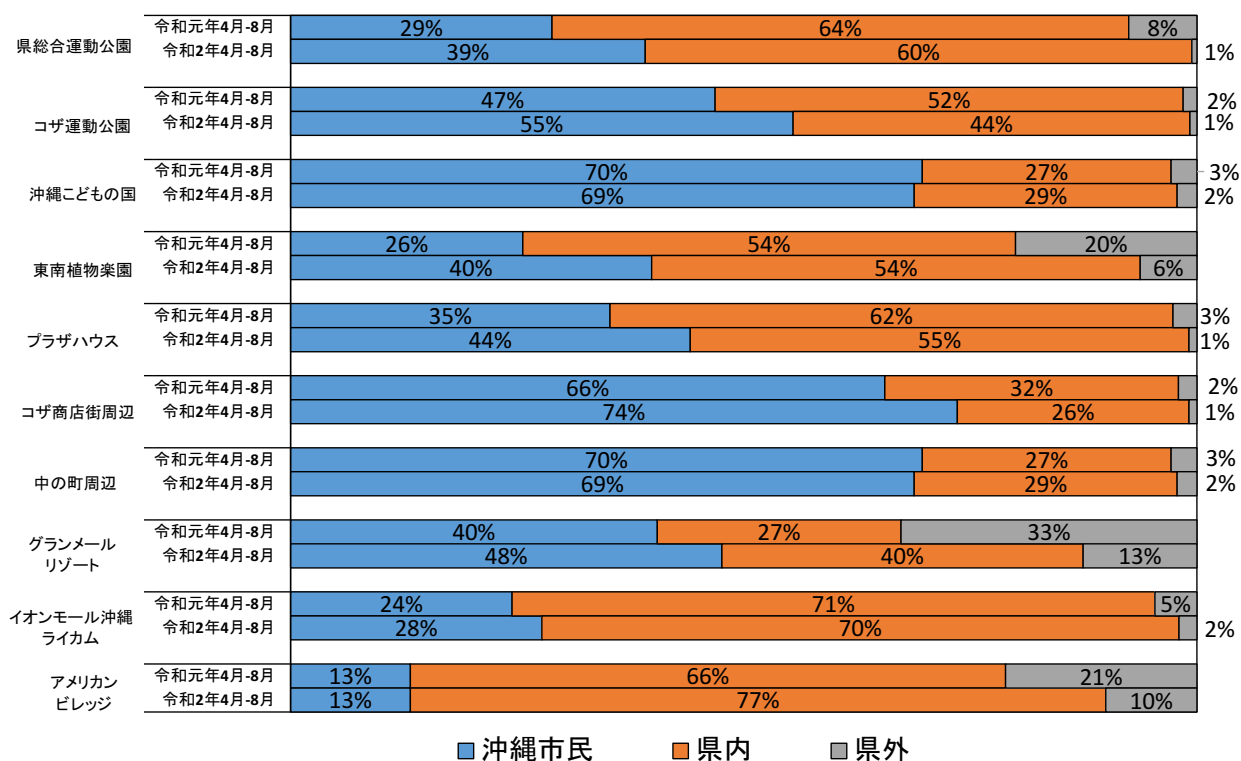
②各エリアにおける滞在者の居住地割合

○各エリアの滞在者の居住地割合をみると、令和2年は各エリアにおいて、県外客の割合は半数以下に減少している。

○沖縄市内のエリアは8施設中6施設が令和元年度より沖縄市民の割合が増加している。また、市内エリアにおける県内客（沖縄市民を除く）の割合は8施設中5施設が増加している。

【エリア別の滞在者の居住地割合】

施設	①令和元年 4～8月			②令和2年 4～8月		
	沖縄市民	県内	県外	沖縄市民	県内	県外
県総合運動公園	29%	64%	8%	39%	60%	1%
コザ運動公園	47%	52%	2%	55%	44%	1%
沖縄こどもの国	70%	27%	3%	69%	29%	2%
東南植物楽園	26%	54%	20%	40%	54%	6%
プラザハウス	35%	62%	3%	44%	55%	1%
コザ商店街周辺	66%	32%	2%	74%	26%	1%
中の町周辺	70%	27%	3%	69%	29%	2%
グランメールリゾート	40%	27%	33%	48%	40%	13%
イオンモール沖縄ライカム	24%	71%	5%	28%	70%	2%
アメリカンビレッジ	13%	66%	21%	13%	77%	10%



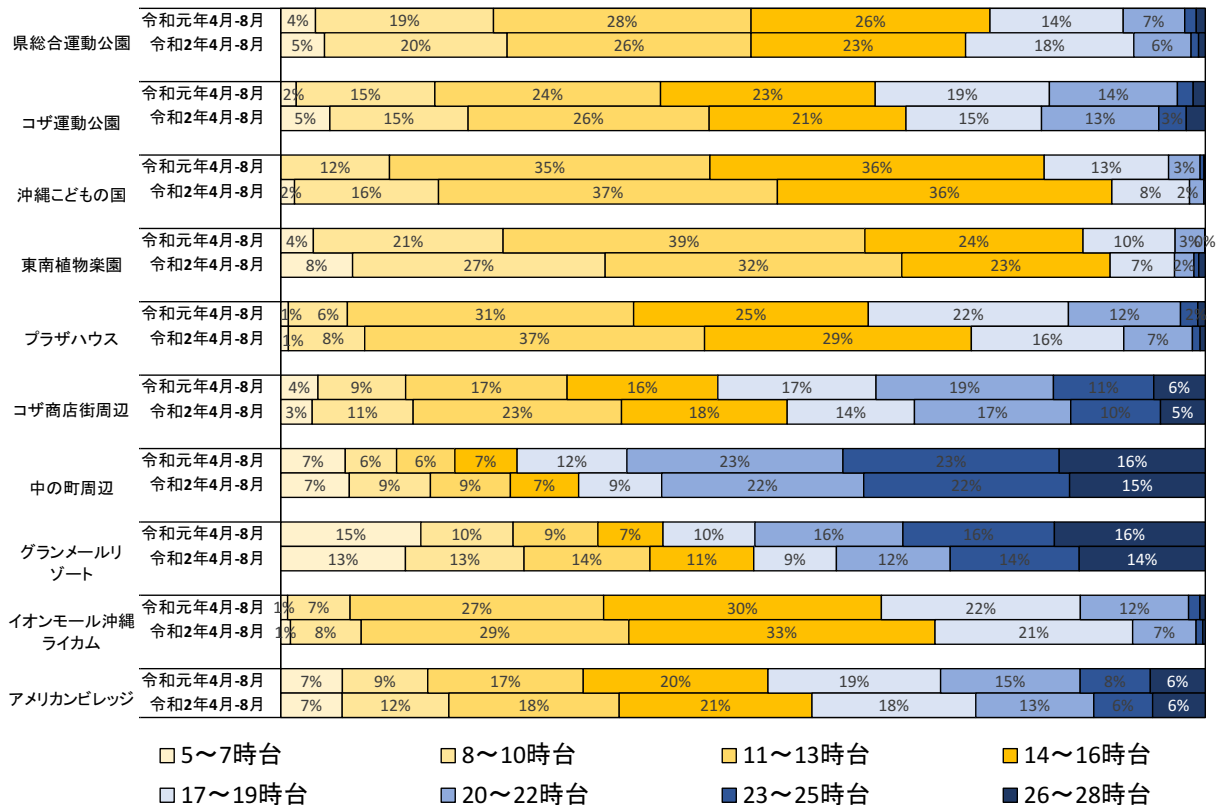
【エリア別の滞在者の居住地割合】

③各エリアにおける時間帯別の滞在者数の割合

○各エリアにおける時間帯別の割合を確認すると、各エリアにおいて昼間（5～16時台）の割合が3～10pt程度微増している。（県総合運動公園を除く）
 ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした夜間イベントの中止や外出自粛等の影響と推察される。

【エリア別時間帯別の滞在者数の割合】

施設	①令和元年4～8月		②令和2年4～8月	
	5～16時台	17～28時台	5～16時台	17～28時台
県総合運動公園	74%	26%	77%	23%
コザ運動公園	68%	32%	64%	36%
沖縄こどもの国	90%	10%	83%	17%
東南植物楽園	90%	10%	87%	13%
プラザハウス	75%	25%	64%	36%
コザ商店街周辺	55%	45%	47%	53%
中の町周辺	32%	68%	26%	74%
グランメールリゾート	51%	49%	41%	59%
イオンモール沖縄ライカム	71%	29%	65%	35%
アメリカンビレッジ	57%	43%	53%	47%



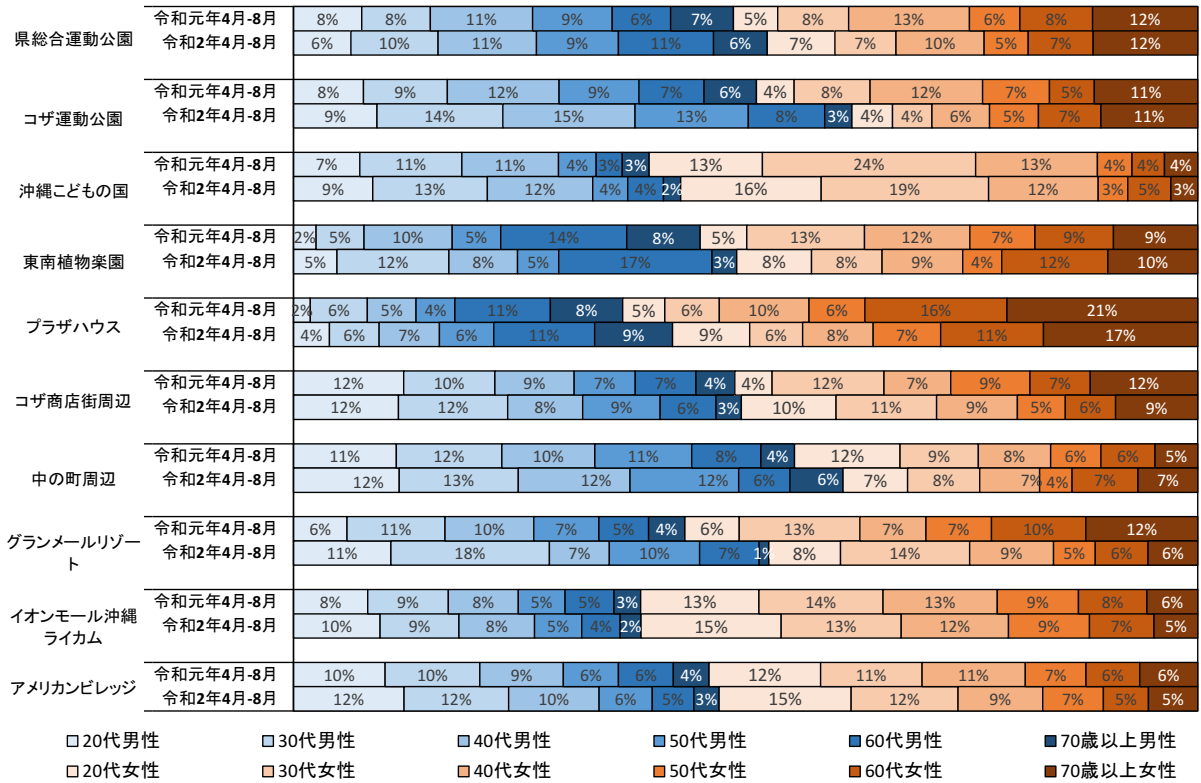
【エリア別時間帯別の滞在者数の割合】

④各エリアの滞在者数の属性（性別・年代）

○令和2年4～8月の滞在者数は令和元年と比較すると各エリアのいずれについても男性の割合が増加（1～10pt程度）している。
 ○年代については、県総合運動公園、コザ運動公園、中の町周辺は50代以上の割合が微増（1～3pt程度増加）し、その他エリアは50代以下の割合が増加している。
 ⇒グランメールリゾートは50代以下が13pt増加

【エリア別の性別・年代別の滞在者数の割合】

施設	①令和元年4～8月		②令和2年4～8月	
	男性の割合	50代以上の割合 ※女性含む	男性の割合 ()は昨年との差分	50代以上の割合 ※女性含む ()は昨年との差分
県総合運動公園	52%	47%	49% (4pt)	49% (2pt)
コザ運動公園	62%	46%	51% (11pt)	47% (1pt)
沖縄こどもの国	43%	21%	39% (3pt)	21% (0pt)
東南植物楽園	49%	53%	45% (4pt)	50% (-2pt)
プラザハウス	42%	66%	36% (6pt)	62% (-4pt)
コザ商店街周辺	50%	45%	49% (1pt)	37% (-8pt)
中の町周辺	61%	38%	55% (5pt)	41% (3pt)
グランメールリゾート	53%	47%	43% (9pt)	34% (-13pt)
イオンモール沖縄ライカム	38%	36%	38% (0pt)	33% (-3pt)
アメリカンビレッジ	47%	35%	46% (1pt)	30% (-5pt)



【エリア別の性別・年代別の滞在者数の割合】

⑤滞在者数の月別推移の比較（市内・市外別）

対象施設を市内 8 施設、市外 2 施設に分け、滞在者数の月別推移を平成 30 年 12 月～令和元年 1 月、令和元年 12 月～令和 2 年 11 月の 2 期間で比較した。

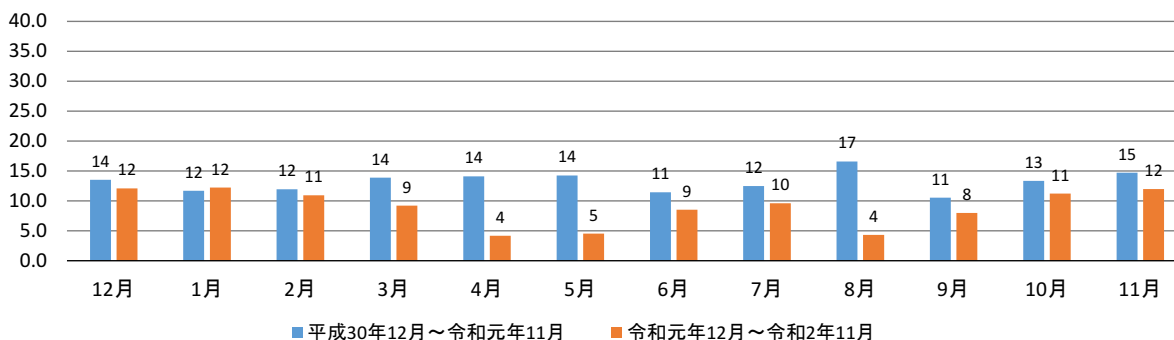
1) 市内 8 施設

○市内 8 施設については、緊急事態宣言期間中の 4 月から 5 月、8 月が約 7～8 割の減少となっている。

(単位：万人)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
H30.12-R1.11	13.5	11.7	11.9	13.9	14.1	14.3	11.4	12.5	16.6	10.6	13.3	14.7
R1.12-R2.11	12.1	12.2	10.9	9.2	4.2	4.5	8.5	9.6	4.3	8.0	11.2	12.0
増減率（月単位）	-11%	5%	-8%	-34%	-70%	-68%	-26%	-23%	-74%	-24%	-16%	-18%

(万人)



【市内 8 施設の月別滞在者数の推移（令和元年～令和 2 年）】

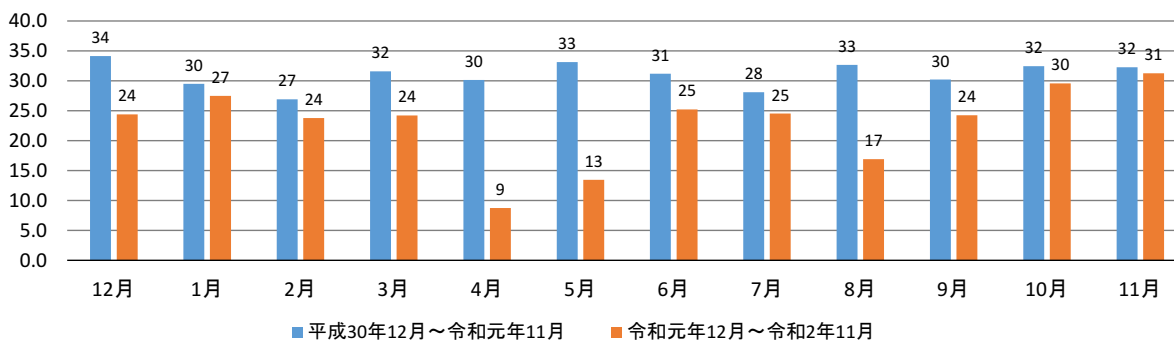
2) 市外 2 施設

○緊急事態宣言期間中の 4 月が最も大きく約 7 割の減少となっている。

(単位：万人)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
H30.12-R1.11	34.1	29.5	26.9	31.6	30.1	33.1	31.2	28.1	32.7	30.2	32.4	32.3
R1.12-R2.11	24.4	27.5	23.8	24.2	8.8	13.4	25.2	24.5	16.9	24.2	29.6	31.3
増減率（月単位）	-29%	-7%	-12%	-23%	-71%	-59%	-19%	-13%	-48%	-20%	-9%	-3%

(万人)



【市外 2 施設の月別滞在者数の推移（令和元年～令和 2 年）】

⑤県外客を対象とした周遊分析

○各エリアの滞在者数（県外客のみ）に対する周遊者の割合について以下に示す。

※例：令和元年度（4月～8月）の県の滞在者（13,207人）のうちコザ運動公園に周遊した方（周遊者）の割合は1.6%。

○分析の結果、令和元年は、各市内エリアのいずれにおいても、イオンモール沖縄ライカムもしくはアメリカンビレッジへ周遊した割合が約2割程度確認された。市内エリア間ではコザ商店街に訪れた観光客の約4割が中の町周辺に訪れていることが確認された。

○令和2年は令和元年に比べ全体的に周遊の割合が低下している。

	延べ滞在者数	県総合運動公園	コザ運動公園	沖縄こどもの国	東南植物楽園	ブラザハウス	コザ商店街周辺	中の町周辺	グランメールリゾート	イオンモール沖縄ライカム	アメリカンビレッジ
県総合運動公園	13,207		1.6%	2.6%	0.3%	0.3%	5.6%	4.1%	4.9%	20.9%	19.2%
コザ運動公園	4,245	4.9%		2.6%	2.7%	1.8%	8.4%	16.5%	1.2%	23.7%	29.1%
沖縄こどもの国	7,781	4.3%	1.4%		3.6%	2.0%	4.0%	5.9%	4.0%	29.1%	23.5%
東南植物楽園	13,971	0.3%	0.8%	2.0%		0.3%	0.7%	0.7%	2.9%	5.1%	15.0%
ブラザハウス	3,712	1.0%	2.1%	4.1%	1.1%		9.5%	19.0%	2.3%	24.6%	37.0%
コザ商店街周辺	9,232	8.0%	3.9%	3.4%	1.1%	3.8%		43.3%	2.6%	27.9%	25.9%
中の町周辺	16,627	3.3%	4.2%	2.8%	0.6%	4.3%	24.1%		2.1%	20.3%	21.3%
グランメールリゾート	10,322	6.3%	0.5%	3.0%	3.9%	0.8%	2.4%	3.4%		27.2%	31.2%
イオンモール沖縄ライカム	63,187	4.4%	1.6%	3.6%	1.1%	1.4%	4.1%	5.3%	4.4%		29.2%
アメリカンビレッジ	200,190	1.3%	0.6%	0.9%	1.0%	0.7%	1.2%	1.8%	1.6%	9.2%	

【令和元年4月～8月の周遊分析】

	延べ滞在者数	県総合運動公園	コザ運動公園	沖縄こどもの国	東南植物楽園	ブラザハウス	コザ商店街周辺	中の町周辺	グランメールリゾート	イオンモール沖縄ライカム	アメリカンビレッジ
県総合運動公園	323		0.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.4%	0.1%
コザ運動公園	626	1.5%		0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	2.2%	0.0%	1.9%	1.7%
沖縄こどもの国	792	0.0%	0.0%		1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	4.6%
東南植物楽園	1,999	0.0%	0.0%	0.6%		0.0%	0.6%	0.4%	0.4%	1.9%	6.2%
ブラザハウス	894	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%		1.1%	5.1%	0.4%	10.6%	14.7%
コザ商店街周辺	2,956	0.1%	0.3%	0.0%	0.9%	0.4%		10.1%	0.3%	8.5%	12.2%
中の町周辺	4,612	0.2%	0.6%	0.0%	0.4%	1.1%	5.6%		0.4%	5.1%	6.7%
グランメールリゾート	1,469	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%	0.3%	0.6%		4.0%	2.8%
イオンモール沖縄ライカム	16,152	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.6%	1.2%	1.3%	0.7%		9.9%
アメリカンビレッジ	48,016	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.3%	0.6%	0.6%	0.1%	3.1%	

【令和2年4月～8月の周遊分析】

第3章 観光客満足度・消費動向調査

3-1. 旅行サイトの口コミ分析

(1) 調査目的

旅行情報・投稿WEBサイトの「トリップアドバイザー」および「じゃらん」に掲載されている観光施設（20施設）、宿泊施設（6施設）、飲食施設（28施設）に対して投稿されている口コミ247件を分析対象として、投稿者属性、評価の集計、テキストマイニング（自然言語の統計処理）による感情分析、頻出単語の把握等を行った。

【旅行サイト口コミ分析の実施内容】

調査対象	○トリップアドバイザーおよびじゃらんに掲載されている沖縄市内の主要な観光施設、飲食施設、宿泊施設に対する評価・口コミ・投稿者の属性等 ⇒ 令和元年11月～令和3年1月に投稿された247件の口コミを対象
対象施設	①観光施設 1) じゃらん : 2施設 12件の投稿 2) トリップアドバイザー : 7施設 55件の投稿（うち28件が海外客） ⇒文字数の総合計：9,823文字 ②宿泊施設 1) じゃらん : 6施設 130件の投稿 ⇒文字数の総合計：20,221文字 ③飲食施設 1) トリップアドバイザー : 21施設 50件の投稿（うち10件が海外客） ⇒文字数の総合計：7,278文字
分析項目	①投稿者の属性（性別・世代・居住地・言語） ②投稿者の旅行者タイプ ③観光地ごとの評価（点数及びコメントの傾向） ④感情分析（文章中の感情の傾向を可視化） ⑤ワードクラウド（出現率の高い単語を可視化） ⑥単語の頻出度の把握
分析ツール	○分析項目④～⑦は株式会社ローカルの「AIテキストマイニング」を活用し実施した。（分析内容の詳細は次頁記載）

【テキストマイニングの各分析項目の詳細】

感情分析 AI	<p>○文書全体を分析し、感情の傾向の可視化を行う。文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文を解析し割合を表示。</p> <p>○「感情」は、文章に含まれる各感情の度合いを数値に換算する。なお、各感情の数値は、全ての感情の平均値を50%とした偏差値を指す。</p>
ワードクラウド	<p>○口コミにおける重要度の高い単語を選び出し可視化。</p> <p>○単語の重要度については、出現回数だけではなく、「一般的な文書でよく出る単語は、重要ではないため、重み付けを軽く」し、対して「一般的な文書ではあまり出現しないが、調査対象の文書だけによく出現する単語は重くする」ことにより算出している。</p>
単語頻出頻度解析	<p>○文章中に出現する単語の頻出度を表に整理。</p> <p>○単語ごとに表示されている「重要度」は、与えられた文書の中で当該単語が全文中においてどの程度特徴的であるかを表す。</p>

(2) 対象施設および各サイトの投稿数について

調査対象とした観光施設、宿泊施設、飲食施設における各施設およびじゃらん・トリップアドバイザーの投稿数を以下に示す。

【対象とした観光施設における各サイトの投稿数】

観光施設		合計	じゃらん	トリップアドバイザー	
			日本語	日本語	外国語
		67	12	27	28
1	東南植物楽園	32	7	17	8
2	沖縄こどもの国	22	5	3	14
3	コザゲート通り	5	0	3	2
4	プラザハウスショッピングセンター	4	0	2	2
5	コザミュージックタウン 音市場	2	0	2	0
6	ちゃんぷる～市場	1	0	0	1
7	サンシティ	1	0	0	1

【対象とした宿泊施設における各サイトの投稿数】

宿泊施設		合計	じゃらん	トリップアドバイザー	
			日本語	日本語	外国語
		130	130	-	-
1	オキナワグランメールリゾート	53	53	-	-
2	ホテルコザ	20	20	-	-
3	ヒヤグン・ラナイ・リゾート	20	20	-	-
4	ライカム クリスタルホテル	22	22	-	-
5	トリップショットホテルズ・コザ	9	9	-	-
6	デイゴホテル	6	6	-	-

【対象とした飲食施設における各サイトの投稿数】

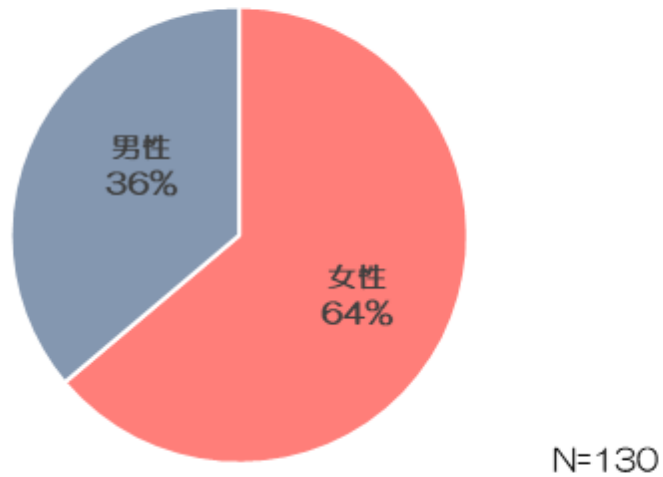
飲食施設		合計	じゃらん	トリップアドバイザー	
			日本語	日本語	外国語
		50	0	40	10
1	チャーリー多幸寿	5	0	5	0
2	泡瀬漁港食堂 / 泡瀬漁港バヤオ直売店	5	0	2	3
3	サムズバイザシー 泡瀬店	4	0	2	2
4	ソムチャイ	4	0	2	2
5	ステーキハウス ビッグハート 泡瀬店	3	0	3	0
6	タイヨースステーキハウス	3	0	2	1
7	ジバゴ コーヒー ワークス オキナワ	3	0	2	1
8	レストランPEACE	2	0	2	0
9	だるまそば	2	0	2	0
10	手づくりソーセージ テシオ	2	0	2	0
11	コザ麦酒工房	2	0	2	0
12	ステーキハウスビッグハート 美里店	2	0	2	0
13	和風亭 泡瀬店	2	0	2	0
14	泡瀬漁港食堂	2	0	2	0
15	だいごんの花 美里店	2	0	1	1
16	本格中華料理 月苑飯店	2	0	2	0
17	バンブーカフェ	1	0	1	0
18	クリシュナ	1	0	1	0
19	麺や けいじろう	1	0	1	0
20	上間てんぷら店 ゴヤ市場	1	0	1	0
21	Mother Coffee	1	0	1	0

(3) 調査結果

①投稿者の属性について

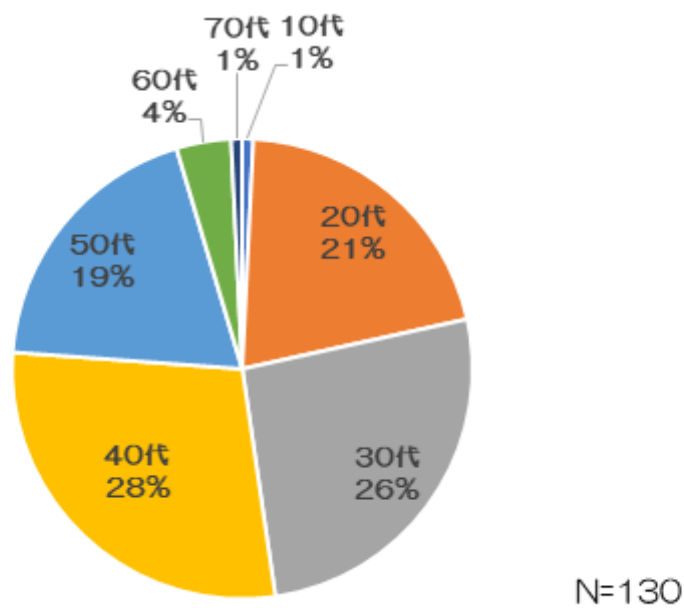
1) 性別について

○観光施設・飲食施設・宿泊施設の各投稿のうち、性別の明記がある宿泊施設について表記する。宿泊施設の口コミ投稿者の性別は女性が64%、男性が36%となった。



2) 年代について

○観光施設・飲食施設・宿泊施設の各投稿のうち、性別の明記がある宿泊施設について表記する。宿泊施設の口コミ投稿者の年代で最も多かったのが「40代」の28%、次いで「30代」の26%となった。

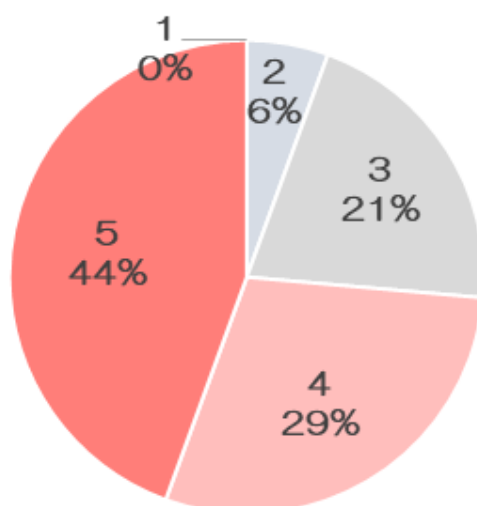


②評価について

1) 観光施設（日本語投稿）の評価

○観光施設の満足度は平均 4.1 となり、高い満足度をさす評価 4、評価 5 の合計が 73% となった。

※最も高い評価は「5」となっている。（最も低い評価は「1」）

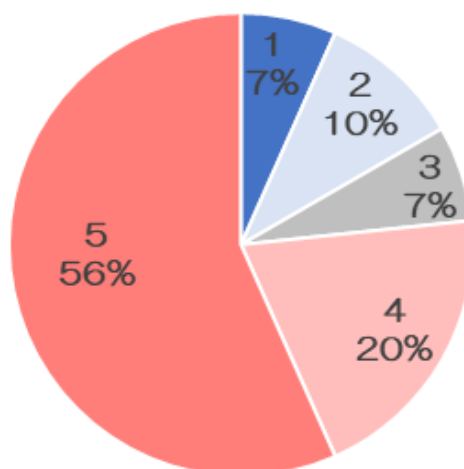


N=72

2) 観光施設（外国語投稿）の評価

○観光施設の満足度は平均 4.1 となり、高い満足度をさす評価 4-5 の合計が 76% となった。

※最も高い評価は「5」となっている。（最も低い評価は「1」）

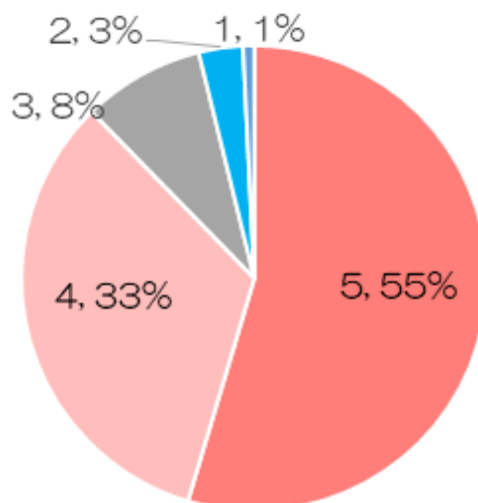


N=30

3) 宿泊施設（日本語）の評価

○じゃらん宿泊施設の口コミで日本語投稿のみの集計となり、合計 130 件の総合評価の平均評価は 4.37 であった。満足度が高い評価 4—5 の合計が 88% となった。

※最も高い評価は「5」となっている。（最も低い評価は「1」）

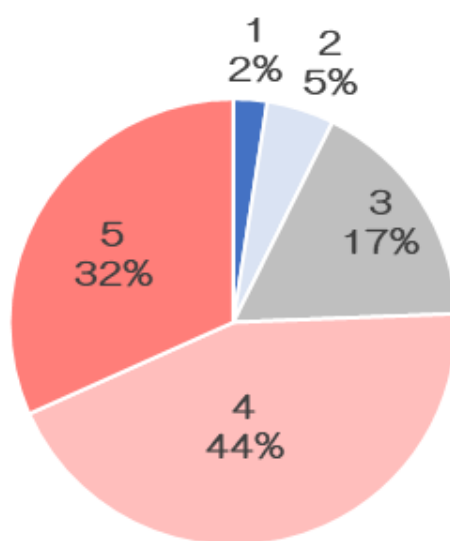


N=130

4) 飲食施設（日本語・外国語投稿）の評価

○飲食施設の日本語投稿の満足度は平均 3.9 となり、高い満足度をさす評価 4、評価 5 の合計が 76% となった。また、飲食施設の外国語投稿数は 10 件あり、うち 1 件は評価 1、9 件が評価 5 となった。

※最も高い評価は「5」となっている。（最も低い評価は「1」）



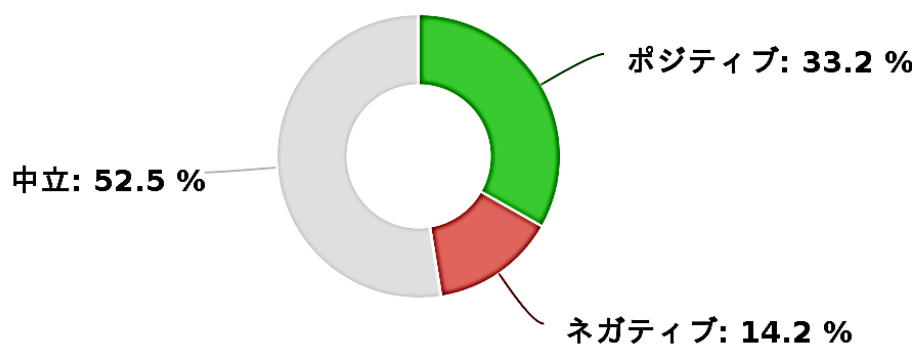
N=41

③AI によるテキストマイニング（文章分析）結果について

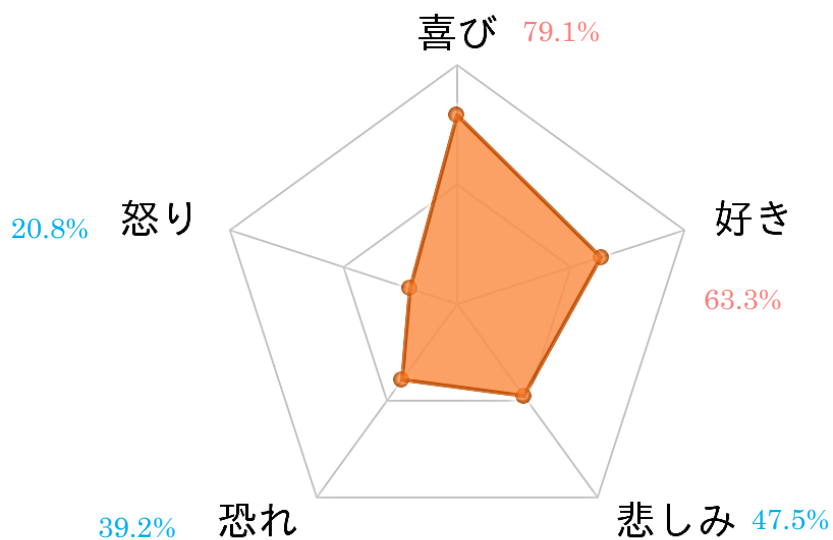
1) 観光施設（日本語・外国語投稿）の分析

①感情分析 AI

○「ポジネガ」は、文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比を示す。ポジティブな口コミは全体の 33.2%、ネガティブな口コミは全体の 14.2%となった。

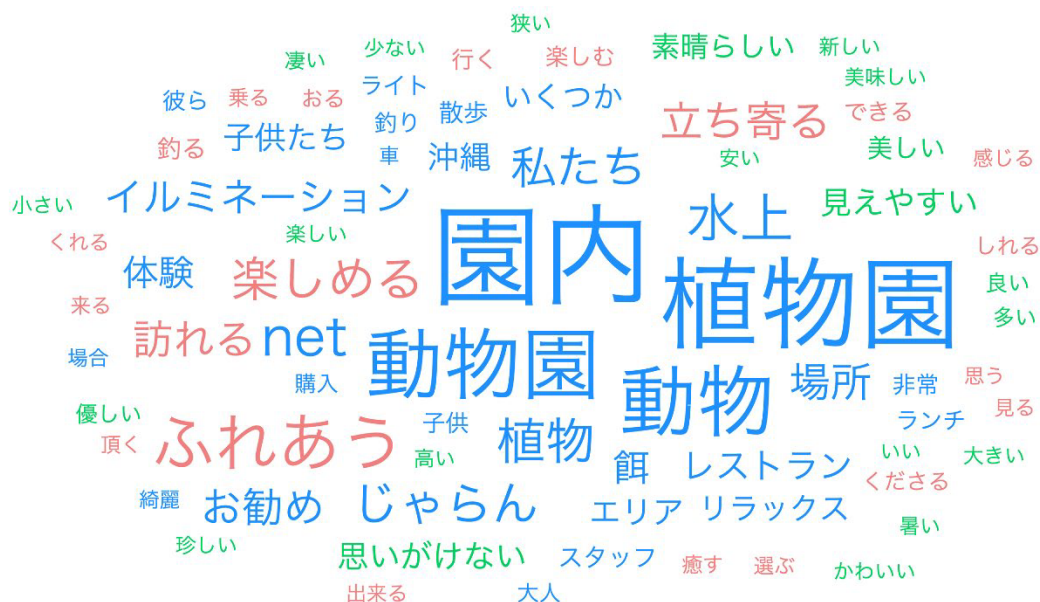


○喜び・好きが偏差値の平均値を超える 79.1%・63.3%となった。



②ワードクラウド

○観光施設での口コミでは、「園内」「動物園」「植物」「動物」などのキーワードが多く上がり、それに関連して「楽しめる」「触れ合う」「立ち寄る」「イルミネーション」等のキーワードが上がり、自然を味わうコンテンツとしての観光を想起させている。



▲口コミでスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを示す。

単語の色は品詞を示す（青色：名詞、赤色：動詞、緑色：形容詞、灰色：感動詞）

③単語頻出頻度（文章中出现する単語の頻出度を表に可視化）

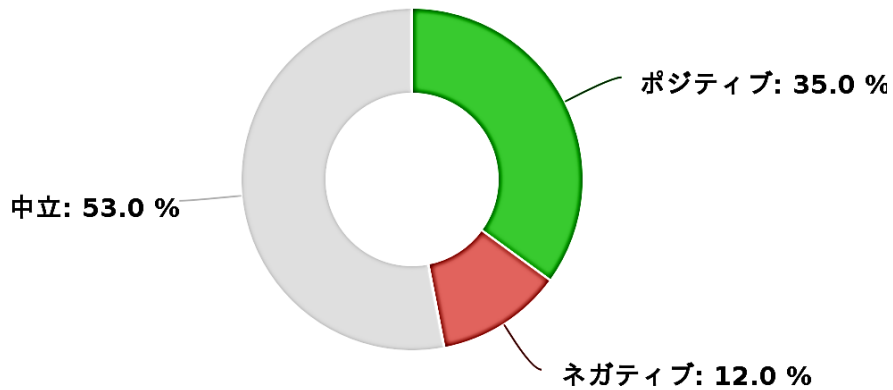
○最もスコアが高いキーワードとして「園内」「動物」「植物園」などが多く、動詞では「触れ合う」「楽しめる」等のキーワードが投稿されている。

■ 名詞	スコア	出現頻度	■ 動詞	スコア	出現頻度
動物	36.52	30	行く	0.48	25
場所	8.89	29	できる	0.51	20
動物園	35.84	18	思う	0.16	17
私たち	12.25	15	楽しめる	5.01	14
園内	58.38	13	くださる	0.34	13
体験	7.00	13	楽しむ	0.48	9
子供	1.83	13	おる	0.29	9
沖縄	5.22	12	しれる	0.36	8
植物園	51.88	11	見る	0.04	7
植物	15.49	10	出来る	0.10	6
お勧め	9.45	9	訪れる	3.35	5
エリア	4.99	9	感じる	0.14	5
イルミネーション	7.78	8	くれる	0.03	5
餌	7.36	8	ふれあう	8.77	4
スタッフ	2.17	8	立ち寄る	3.79	4

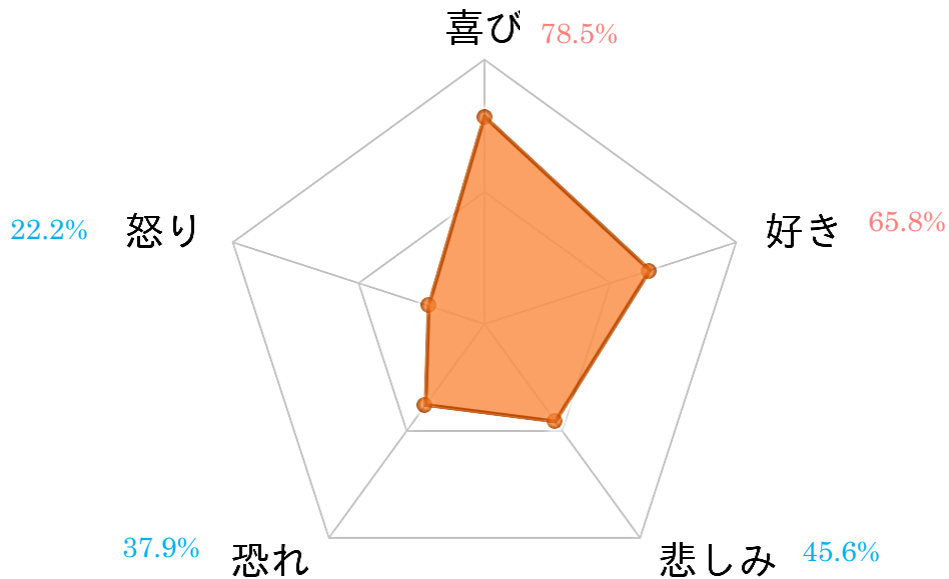
2) 宿泊施設（日本語投稿）の分析

①感情分析 AI

○「ポジネガ」は、文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比を示す。ポジティブな口コミは全体の35.0%、ネガティブな口コミは全体の12.0%となった。

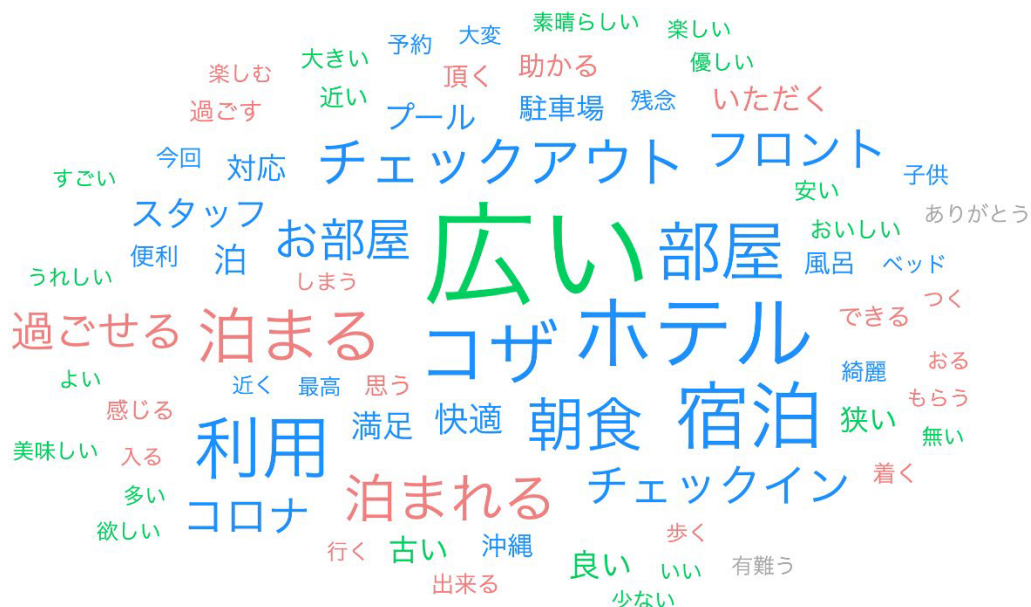


○喜び・好きが偏差値の平均値を超える78.5%・65.8%となった。



②ワードクラウド（ロコミのスコアが高い単語を複数選びだし、可視化）

○宿泊施設でのロコミでは、「広い」「コザ」「ホテル」「部屋」などのキーワードが多く上がり、それに関連して「泊まれる」「プール」「助かる」等のキーワードが上がった。



▲ロコミでスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを示す。
 単語の色は品詞を示す（青色：名詞、赤色：動詞、緑色：形容詞、灰色：感動詞）

③単語頻出頻度（文章中出现する単語の頻出度を表に可視化）

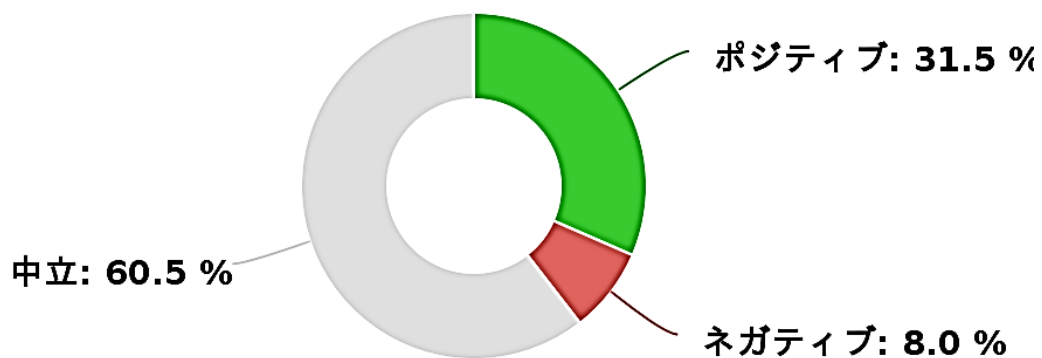
○最もスコアが高いキーワードとして「ホテル」「宿泊」「利用」などが多く、動詞では「泊まる」「過ごせる」等のキーワードが投稿されている。

品詞	単語	スコア	出現頻度
名詞	部屋	81.47	110
	ホテル	119.71	98
	利用	92.61	65
	宿泊	107.91	44
	朝食	69.94	35
	風呂	6.66	29
	対応	11.23	27
	満足	13.42	26
	お部屋	36.09	24
	スタッフ	16.73	24
	今回	2.62	22
	フロント	36.51	21
	快適	17.69	18
	綺麗	2.74	18
	泊	17.74	16
動詞	思う	1.84	57
	できる	1.46	34
	泊まる	25.89	25
	いただく	4.23	25
	行く	0.27	19
	出来る	0.76	17
	頂く	2.09	15
	過ごせる	9.69	12
	感じる	0.78	12
	もらう	0.48	12
	助かる	2.65	10
	おる	0.36	10
	入る	0.23	10
	過ごす	1.54	9
	つく	0.45	9

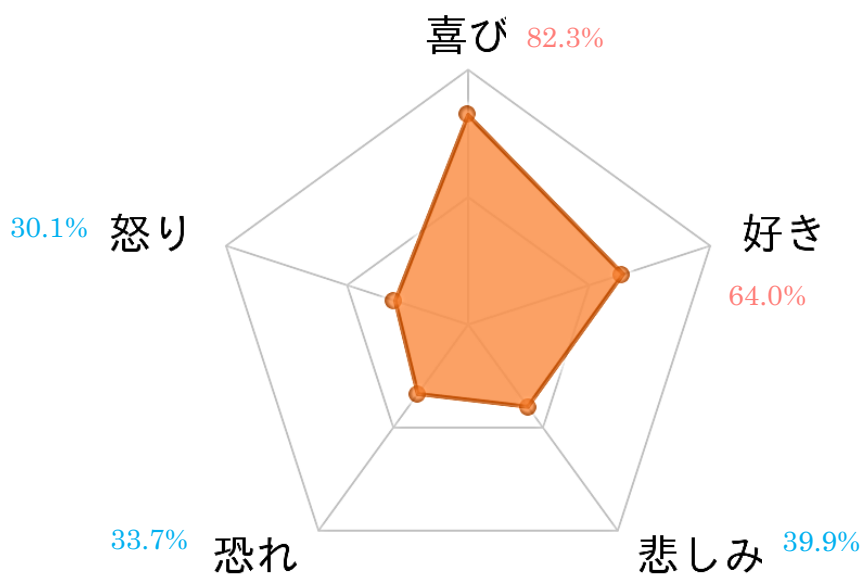
3) 飲食施設（日本語・外国語投稿）の分析

①感情分析 AI

○ポジティブな口コミは全体の31.5%、ネガティブな口コミは全体の8.0%となった。

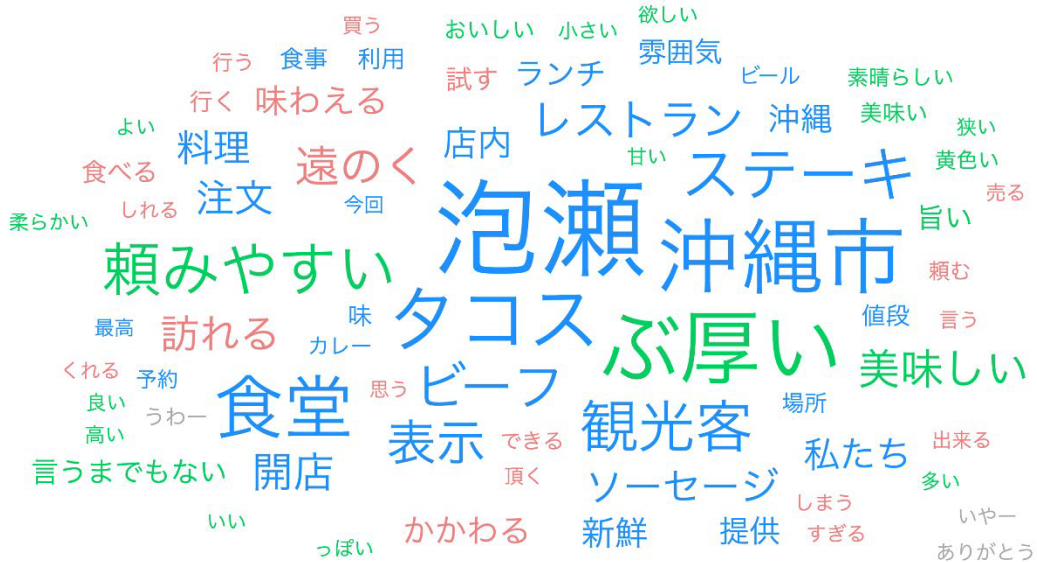


○喜び・好きが偏差値の平均値を超える82.3%・64.0%となった。



②ワードクラウド

○飲食施設での口コミでは、「泡瀬」「タコス」「ステーキ」「ビーフ」などのキーワードが多く上がり、それに関連して「ぶ厚い」「観光客」「頼みやすい」「美味しい」等のキーワードが上った。



▲口コミでスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを示す。
 単語の色は品詞を示す（青色：名詞、赤色：動詞、緑色：形容詞、灰色：感動詞）

③単語頻出頻度（文章中に出現する単語の頻出度を表に可視化）

○最もスコアが高いキーワードとして「食堂」「観光客」「ステーキ」などが多く、動詞では「訪れる」「試す」等のキーワードが投稿されている。

品詞	単語	スコア	出現頻度
名詞	表示	7.67	14
	料理	3.46	12
	食堂	15.42	11
	ステーキ	11.16	10
	注文	3.71	10
	雰囲気	1.58	9
	沖縄	2.43	8
	味	0.75	8
	観光客	10.85	7
	私たち	3.07	7
	場所	0.56	7
	最高	0.18	7
	レストラン	4.87	6
	開店	4.58	6
	新鮮	2.66	6
動詞	行く	0.34	21
	食べる	0.38	15
	できる	0.15	11
	思う	0.06	10
	行う	0.10	5
	言う	0.02	5
	試す	0.47	4
	出来る	0.04	4
	訪れる	1.31	3
	頼む	0.11	3
	頂く	0.09	3
	売る	0.08	3
	しれる	0.05	3
	しまう	0.01	3
	買う	0.01	3



3-2. WEB アンケートシステムを活用した来訪者調査の実施

(1) 調査目的

観光客の満足度やニーズ、観光動向、消費金額を把握することを目的として、昨年度構築したWEBアンケートシステムを用いて、観光客へのアンケート調査を実施した。

(2) 調査概要

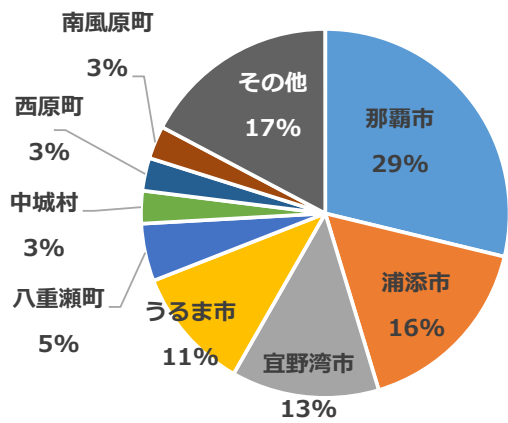
市内の宿泊施設、観光施設等の協力のもと、アンケートページへのQRコードを掲載した名刺サイズのカードを観光客へ配布し、調査を行った。次年度以降の継続的なデータ取得を視野に沖縄市観光物産振興協会と連携し実施した。

調査対象	○調査期間中に沖縄市内宿泊施設に宿泊した観光客
調査期間	○令和2年11月中旬から令和3年1月26日
調査箇所	①オキナワグランメールリゾート ②ホテルニューセンチュリー ③クラウンホテル ④デイゴホテル ⑤ホテルシャララ ⑥ホテルコザ ⑦サンライズ観光ホテル ⑧ホテルタイムリッチ ⑨デイリーウィークリーマンズリーマンション（ぷらり） ⑩沖縄こどもの国 ⑪東南植物楽園 ⑫観光物産振興協会
回収結果	県内客 139票 県外客 119票
調査方法	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>宿泊客に QR コードを記載した名刺サイズのカードを配布</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>アンケートに回答</p> </div> </div>
質問項目	①来訪目的・観光行動：行程／目的／情報源／訪問箇所／移動手段 ②消費行動：市内での消費額（ツアー・宿泊・交通・食事等） ③沖縄市の評価：満足度／再訪意向／推薦意向 ④基本属性：居住地（国籍）／性別・年齢・職業／来訪経験 ⑤その他

(3) 調査結果

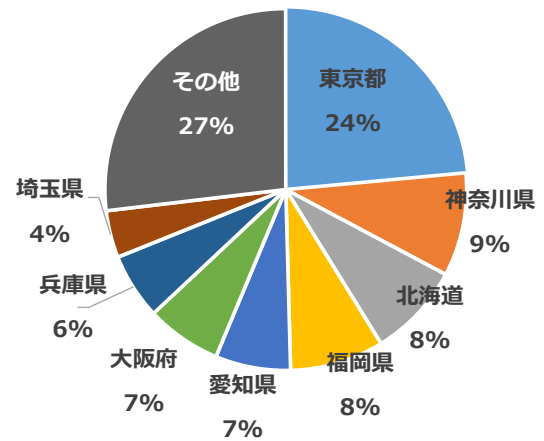
①居住地

○県内客は自治体別にみると那覇市が最も多く（29%）、次いで浦添市、宜野湾市が多い。
 ○県外客は東京都が最も多く（24%）、次いで神奈川県、北海道、福岡県が多い。



N=139

【県内客の居住地（自治体別）】

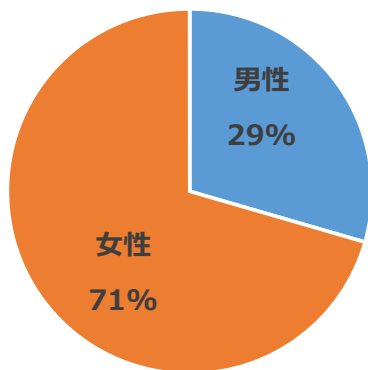


N=119

【県外客の居住地（都道府県別）】

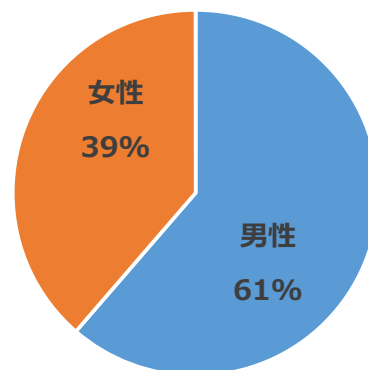
②性別

○県内客は女性が約7割であった。対して、県外客は男性が約6割。



N=139

【県内客の性別】

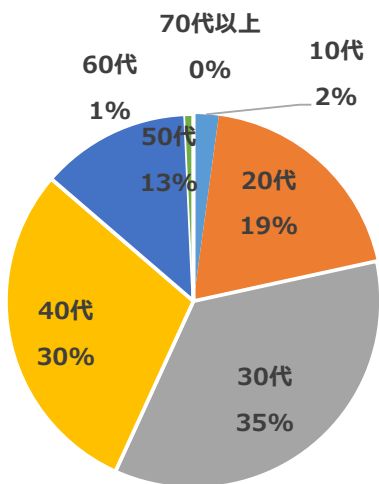


N=119

【県外客の性別】

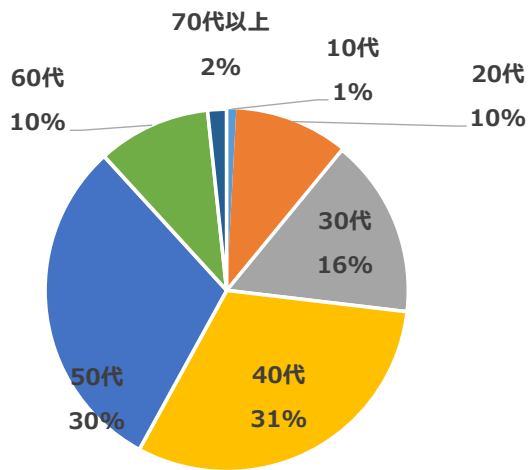
③年代

○県内客は30代以下が56%であり、県外客は30代以下が27%であった。
 ⇒県外客は県内客に比べシニア層の来訪が多い。



N=139

【県内客の年代】



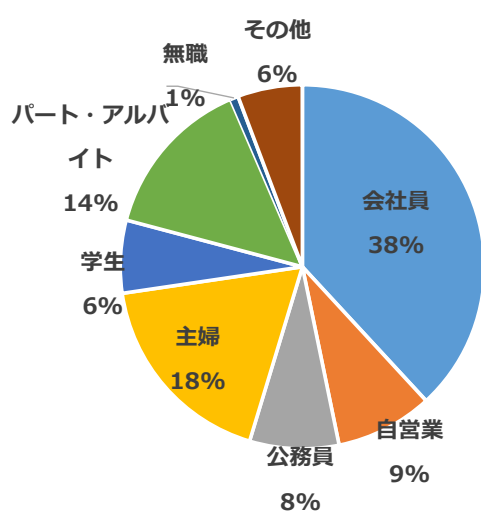
N=119

【県外客の年代】

④職業

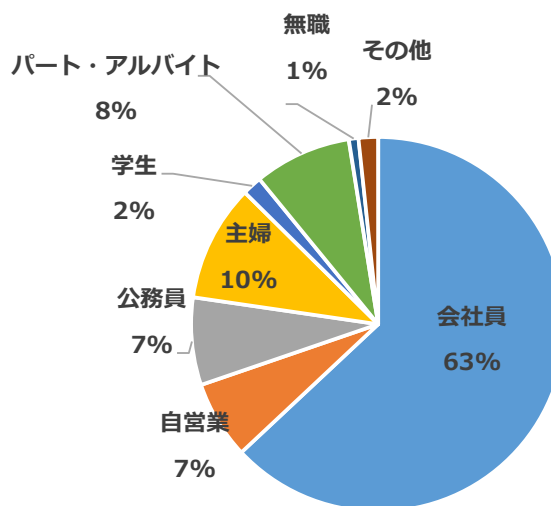
○県内は会社員が最も多く38%、次いで主婦が18%であった。
 ○県外は会社員が最も多く63%、次いで主婦が10%であった。

--



N=139

【県内客の職業別】

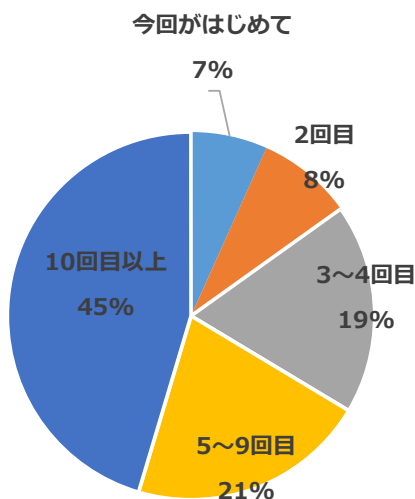


N=119

【県外客の職業】

⑤ 沖縄県への来訪回数（今回含む）

○ 県外客の沖縄県への来訪回数は 10 回目以上が最も多く 45%、次いで 5～9 回目が 21%であった。

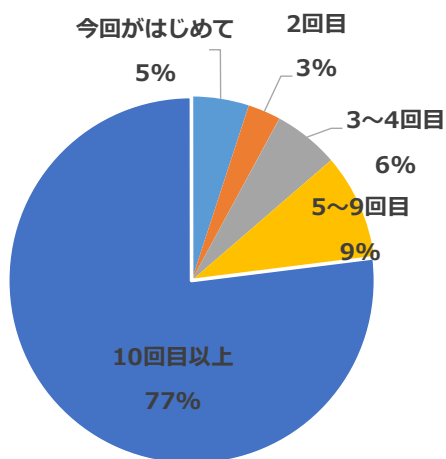


N=119

【県外客の来訪回数】

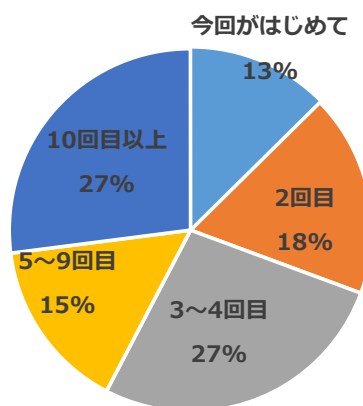
⑥ 沖縄市への来訪経験（今回含む）

○ 県内客は 10 回目以上が最も多く 77%、次いで 5～9 回目が 9%であった。
 ○ 県外客は 10 回目以上と 3～4 回目が最も多く 27%、次いで 2 回目が 18%であった。
 ⇒ 県外客の初回来訪者は 13%（リピーターは 87%）



N=139

【県内客の沖縄市来訪回数】

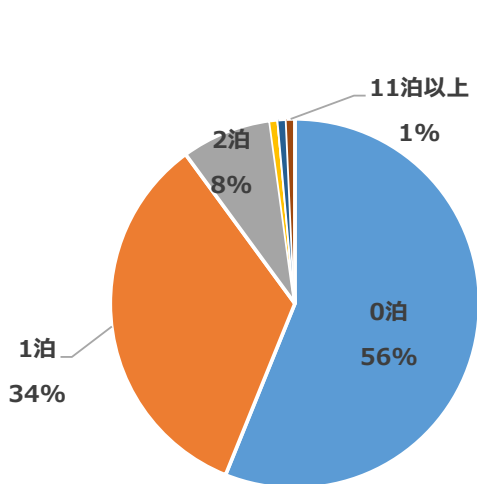


N=119

【県外客の沖縄市来訪回数】

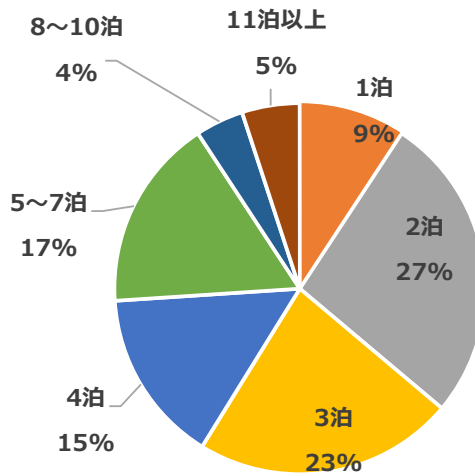
⑦今回の旅行全体の宿泊数

○県内は0泊が最も多く56%、次いで1泊が34%であった。
 ○県外は2泊が最も多く27%、次いで3泊が23%であった。



N=139

【県内客の宿泊数（全旅程）】

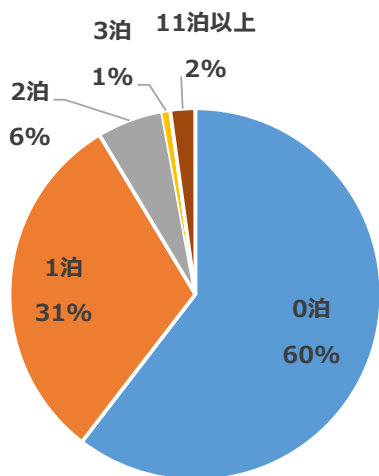


N=119

【県外客の宿泊数（全旅程）】

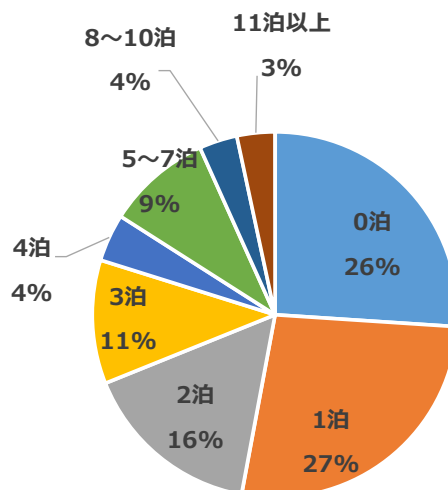
⑧沖縄市内の宿泊数

○市内の宿泊数について、県内は0泊が最も多く60%、次いで1泊が31%であった。
 ○県外は1泊が最も多く27%、次いで0泊が26%であった。



N=139

【県内客の市内宿泊数】



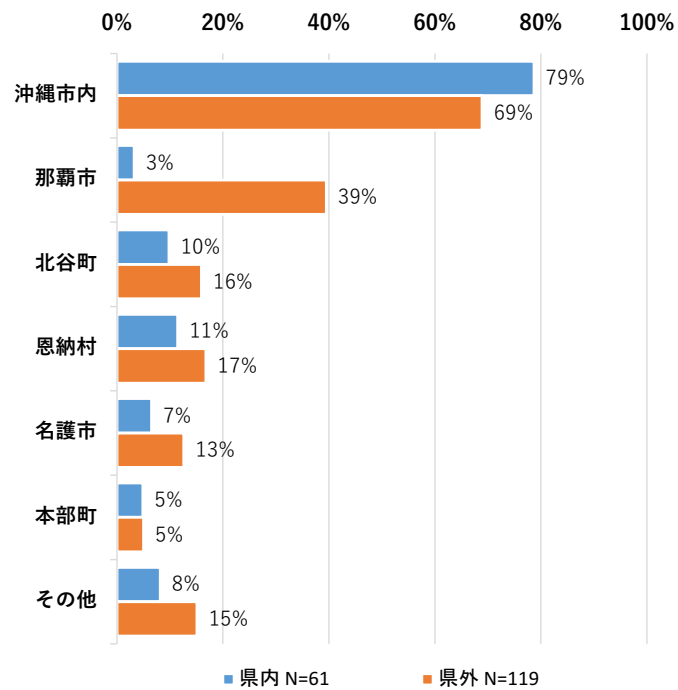
N=119

【県外客の市内宿泊数】

⑨宿泊した地域

○県内客は沖縄市内が最も多く 79%、次いで恩納村が 11%であった。

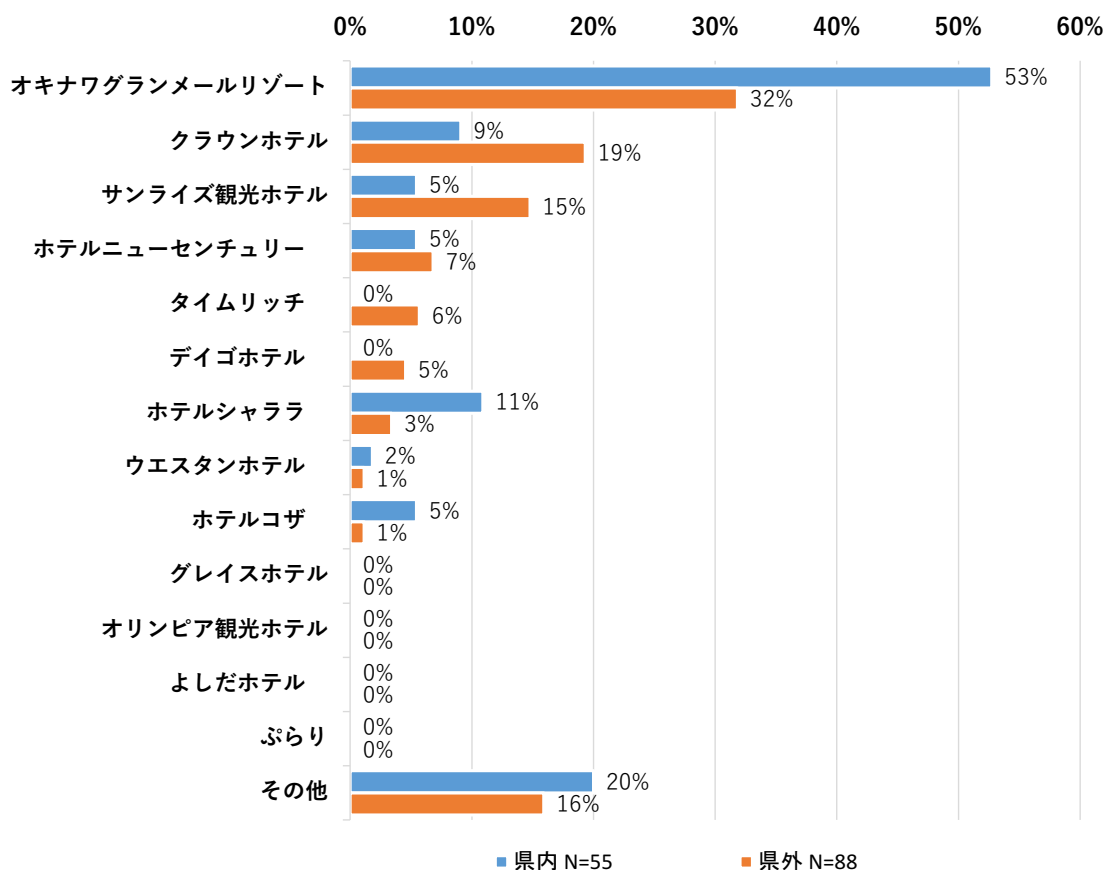
○県外客は沖縄市内が最も多く 69%、次いで那覇市が 39%であった。



【県内宿泊先（県内客・県外客）】

⑩ 沖縄市内における宿泊施設

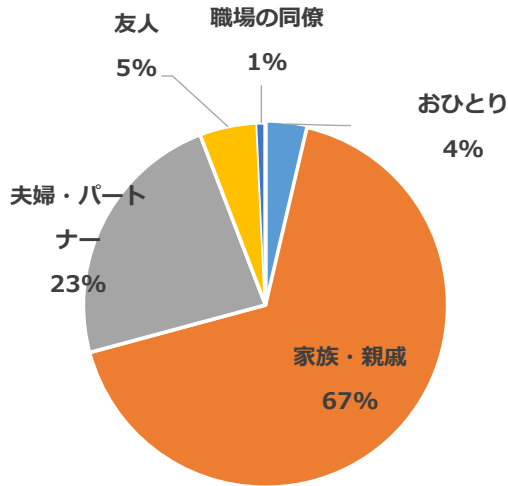
○ 県内客の市内における宿泊施設はオキナワグランメールリゾートが最も多く 53%、次いでその他が 20%であった。
 ○ 県外はオキナワグランメールリゾートが最も多く 32%、次いでクラウンホテルが 19%であった。



【市内宿泊先（県内客・県外客）】

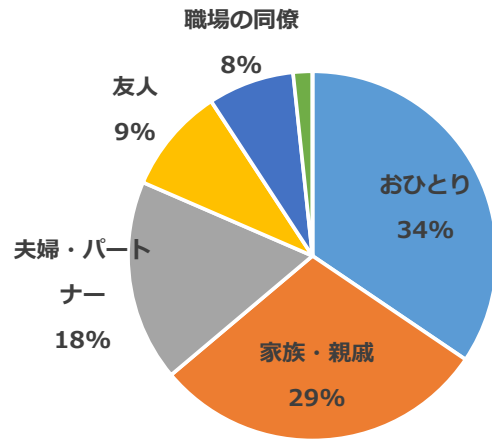
⑪旅行の同行者

○県内は家族・親戚が最も多く67%、次いで夫婦・パートナーが23%であった。
 ○県外はおひとりが最も多く34%、次いで家族・親戚が29%であった。



N=139

【県内客の同行者】

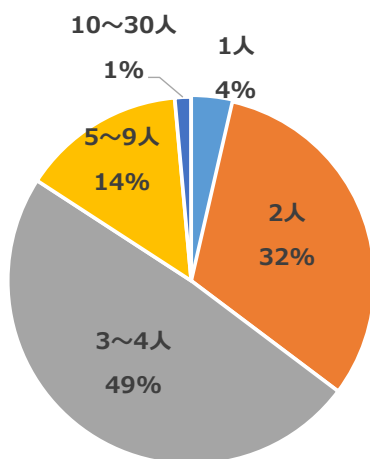


N=119

【県外客の同行者】

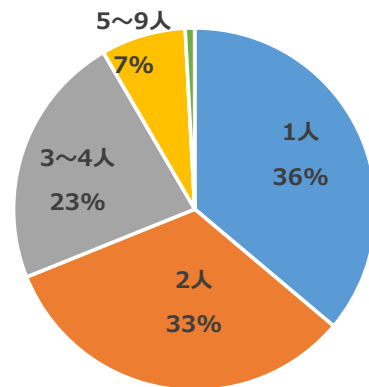
⑫合計人数

○県内は3~4人が最も多く49%、次いで2人が32%であった。
 ○県外は1人が最も多く36%、次いで2人が33%であった。
 ⇒県外客は県内客に比べ小規模で訪れる傾向。



N=139

【県内客の旅行合計人数】

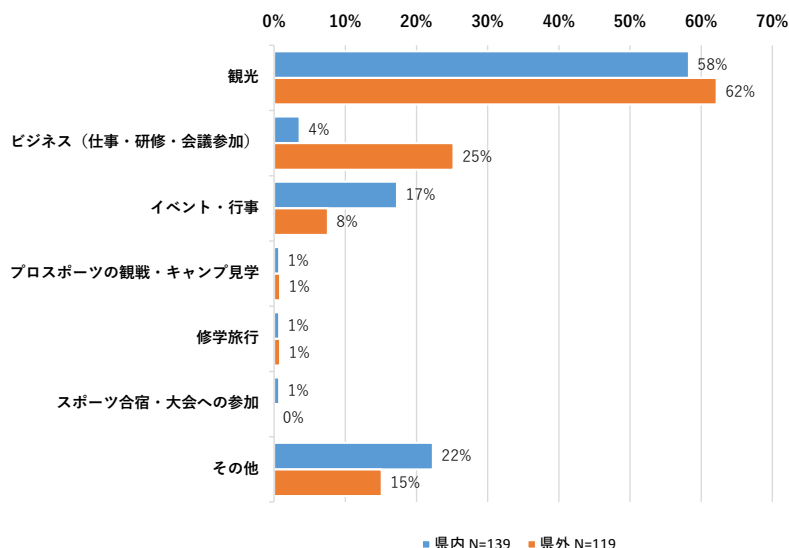


N=119

【県外客の旅行合計人数】

⑬ 沖縄市内を訪れた理由

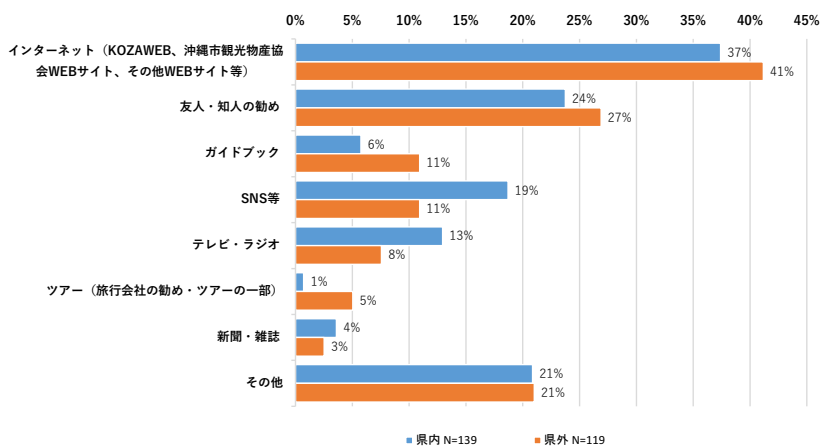
○県内客の訪問理由は観光が最も多く 58%、次いでその他が 22%であった。
 ○県外は観光が最も多く 62%、次いでビジネス（仕事・研修・会議参加）が 25%であった。



【沖縄市来訪の理由・目的（県内客・県外客）】

⑭ 沖縄市を訪れるきっかけとなった情報源・媒体

○県内はインターネット（KOZAWEB、沖縄市観光物産協会WEBサイト、その他WEBサイト等）が最も多く 37%、次いで友人・知人の勧めが 24%であった。
 ○県外はインターネット（KOZAWEB、沖縄市観光物産協会WEBサイト、その他WEBサイト等）が最も多く 41%、次いで友人・知人の勧めが 27%であった。

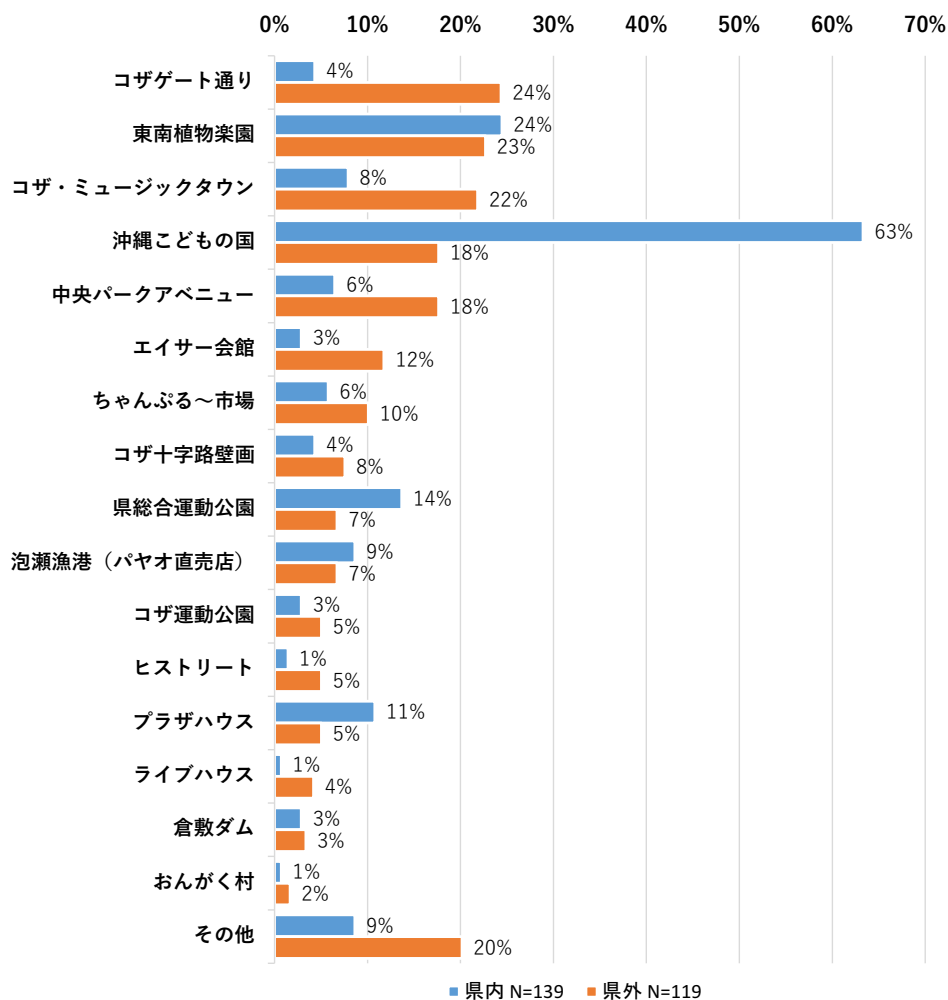


【沖縄市来訪のきっかけとなった情報源・媒体（県内客・県外客）】

⑮ 今回の旅行中に沖縄市内で訪れた場所

○県内客の市内訪問地は沖縄こどもの国が最も多く 63%、次いで東南植物楽園が 24%となっている。

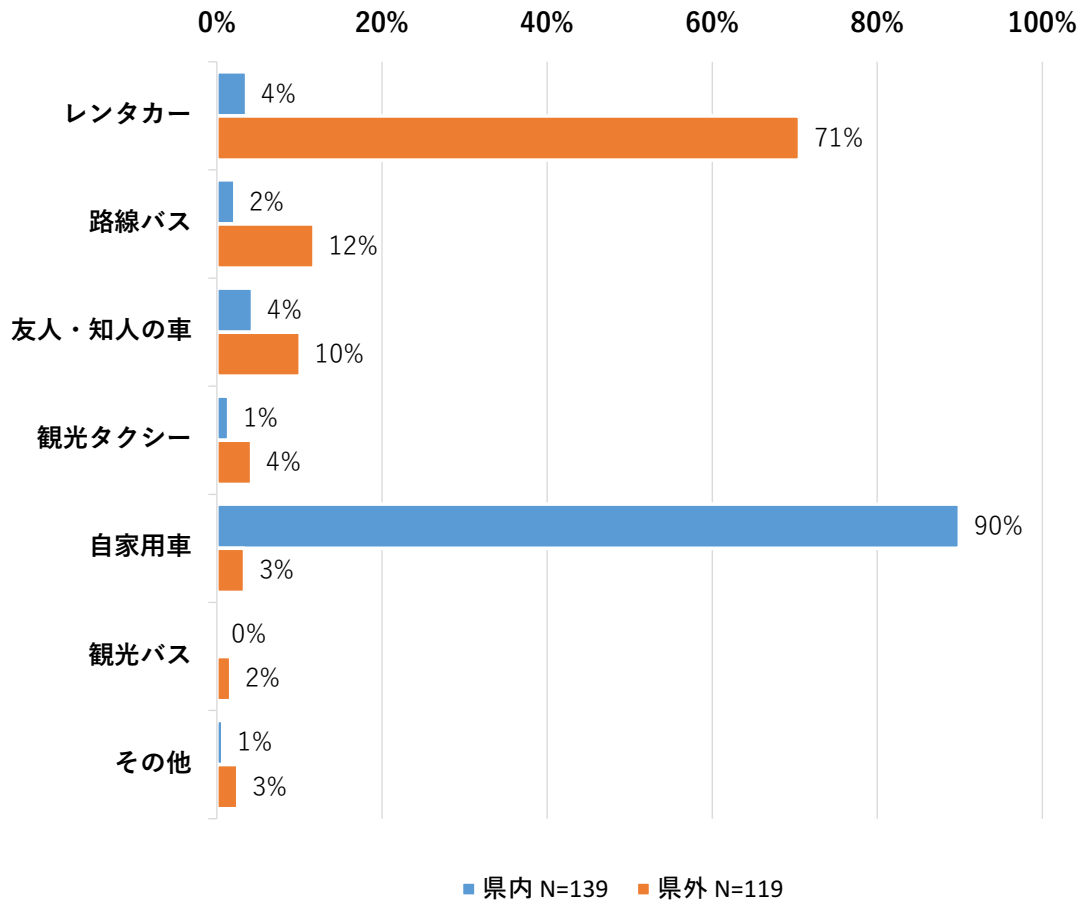
○県外客はコザゲート通りが最も多く 24%、次いで東南植物楽園が 23%となっている。



【市内立ち寄り地（県内客・県外客）】

⑩ 沖縄市までの交通手段

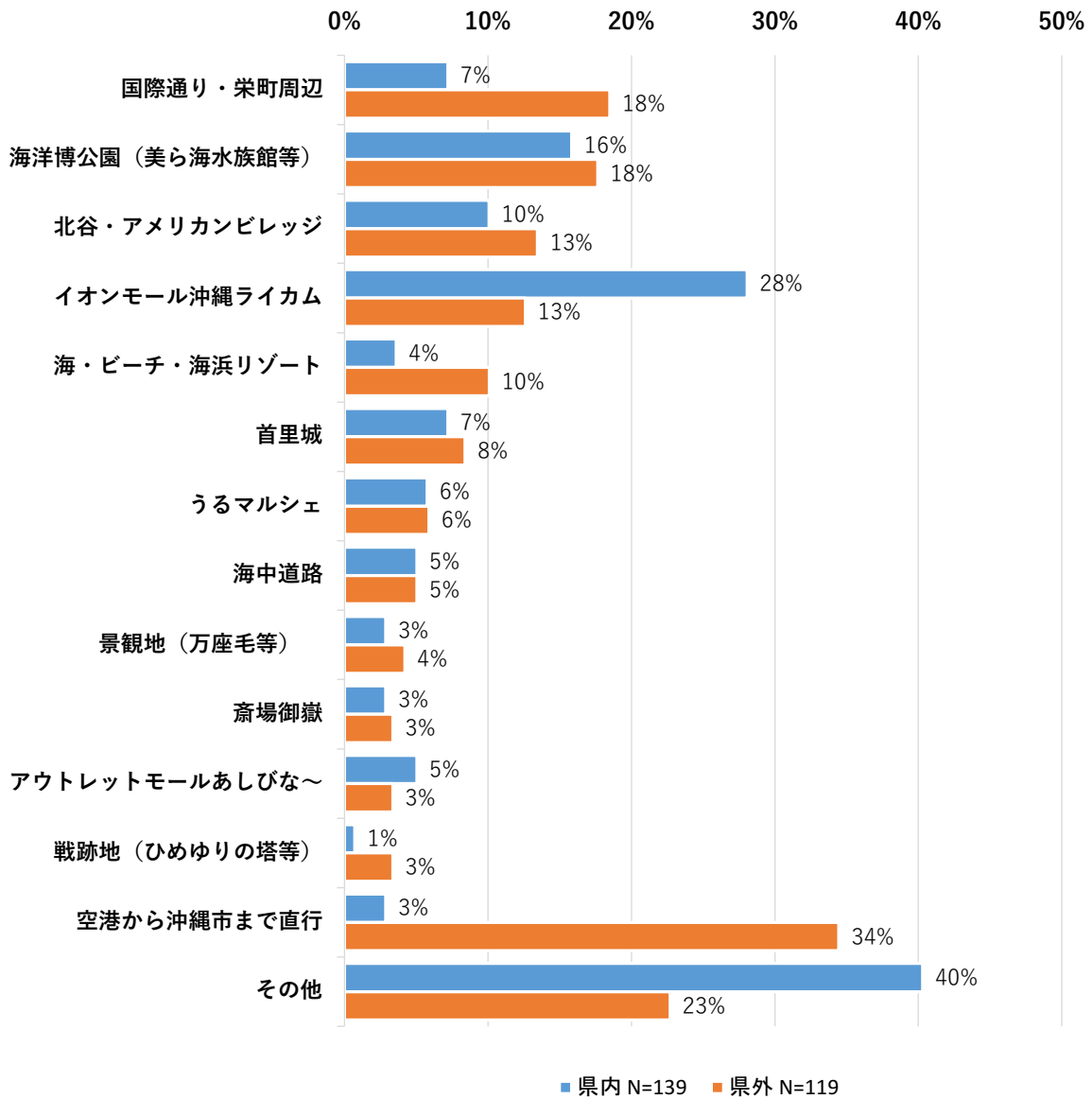
○ 県内客は自家用車の利用が 90%であり、県外客は 71%がレンタカーの利用であった。



【沖縄市までの交通手段（県内客・県外客）】

⑰ 沖縄市の「前」に訪れた場所

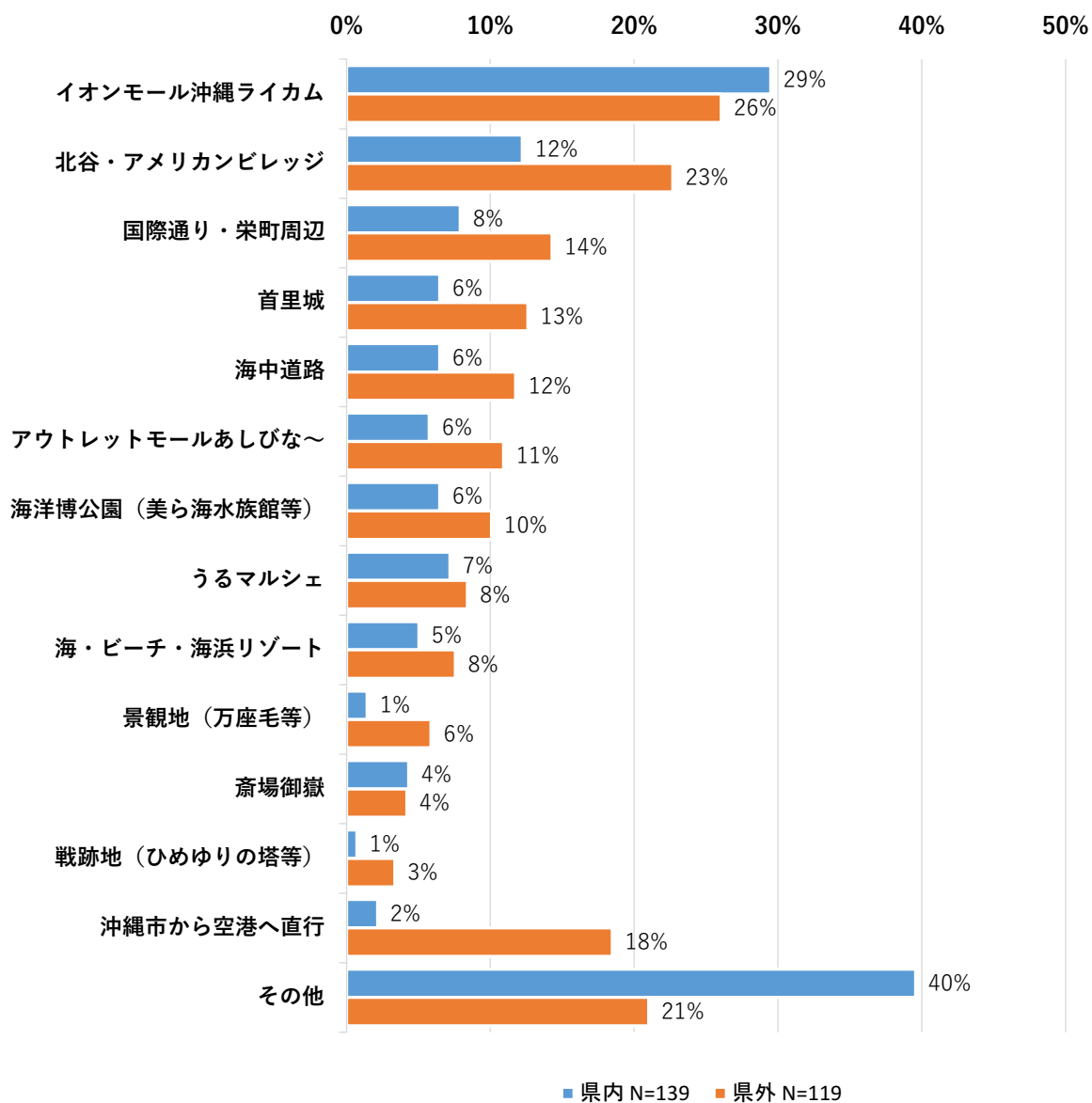
○ 沖縄市来訪前の訪問地は、県内客はイオンモール沖縄ライカムが 28%、次いで海洋博が 16% であった。
 ○ 県外客は空港から沖縄市まで直行が最も多く 34%、次いで、国際通り・栄町周辺と海洋博公園が 18%、北谷アメリカンビレッジが 13%であった。



【沖縄市訪問前の立ち寄り地（県内客・県外客）】

⑱ 沖縄市の「後」に訪れた場所

○ 沖縄市来訪後の訪問地は、県内客はイオンモール沖縄ライカムが最も多く 29%、次いで北谷アメリカンビレッジが多く 12%であった。
 ○ 県外客はイオンモール沖縄ライカムが最も多く 26%、次いで北谷アメリカンビレッジが多く 23%であった。沖縄市から空港へ直行は 18%であった。



【沖縄市訪問後の立ち寄り地（県内客・県外客）】

⑱ひとりあたりの消費額

○平成 30 年度、令和 2 年度の市内における県内・県外客別の購入者割合、平均消費額を以下に示す。各費目の平均消費金額は、各費目における 1 円以上の購入者のひとりあたりの平均値を示す。また、市内総消費単価とは、市内における 1 円以上の購入者のひとりあたりの消費金額合計の平均値を示す。そのため、各費目の平均消費金額の合計と市内総消費単価は一致しない。

○購入者割合は、市内にて 1 円以上の購入者（サンプル数）を母数として、各費目の購入者の割合を示す。（例：平成 30 年度の県内客の宿泊代は、市内にて 1 円以上購入した方（110 サンプル）のうち 4%の方が購入）

○令和 2 年度は平成 30 年度より、県外客については約 1 万円程度の増加。

⇒GOTO トラベル等の活用、ビジネス層の割合が増加したためと推察

【平成30年度】（ハイシーズン）

費目	購入者割合		平均消費額	
	県内	県外	県内	県外
宿泊代	4%	49%	5,200円	17,665円
交通費	31%	60%	1,289円	8,284円
食事代	71%	89%	1,394円	7,145円
お酒・ナイトエンターテイメント	5%	44%	6,160円	7,627円
お土産・買い物代	35%	64%	3,742円	5,207円
施設入場料、レジャー・体験料、その他	42%	43%	1,108円	3,166円
市内総消費単価	—		3,646円	28,050円

【令和2年度】 ※GO TO 適用後

費目	購入者割合		平均消費額	
	県内	県外	県内	県外
宿泊代	35%	52%	6,364円	19,837円
交通費	11%	39%	2,073円	20,974円
食事代	64%	84%	2,809円	9,169円
お酒・ナイトエンターテイメント	28%	42%	4,623円	9,516円
お土産・買い物代	41%	65%	4,174円	8,278円
施設入場料、レジャー・体験料、その他	66%	47%	1,895円	5,248円
市内総消費単価	—		8,500円	38,093円

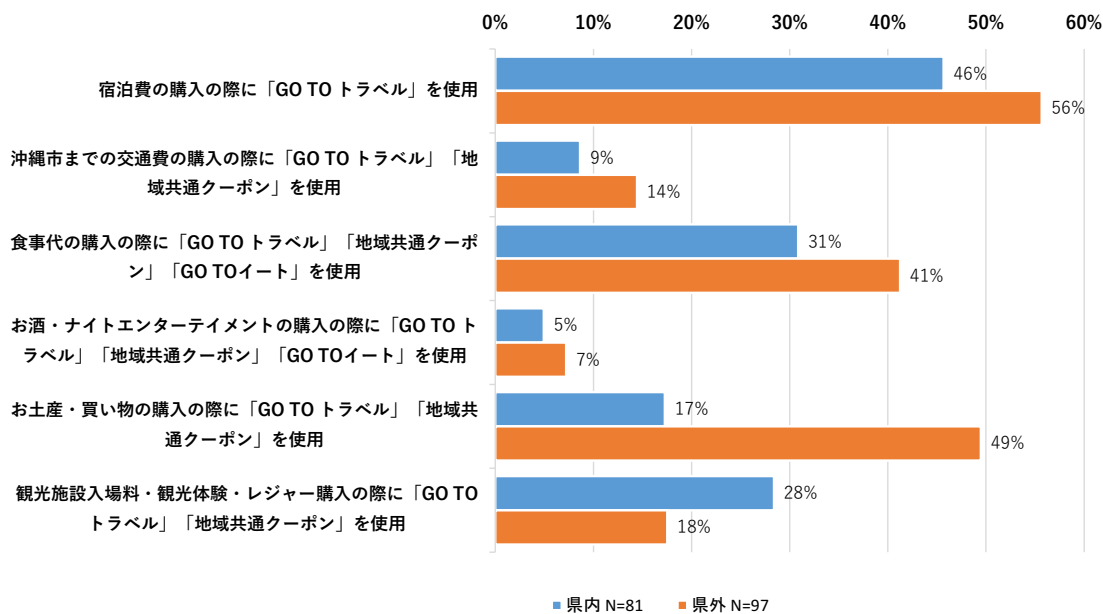
（平成 30 年度 県内：110 サンプル、県外：122 サンプル）

（令和 2 年度 県内：115 サンプル、県外：103 サンプル）

【沖縄市における観光客一人あたりの旅行単価（平成 30 年度／令和 2 年度比較）】

⑳GOTO トラベル等の使用

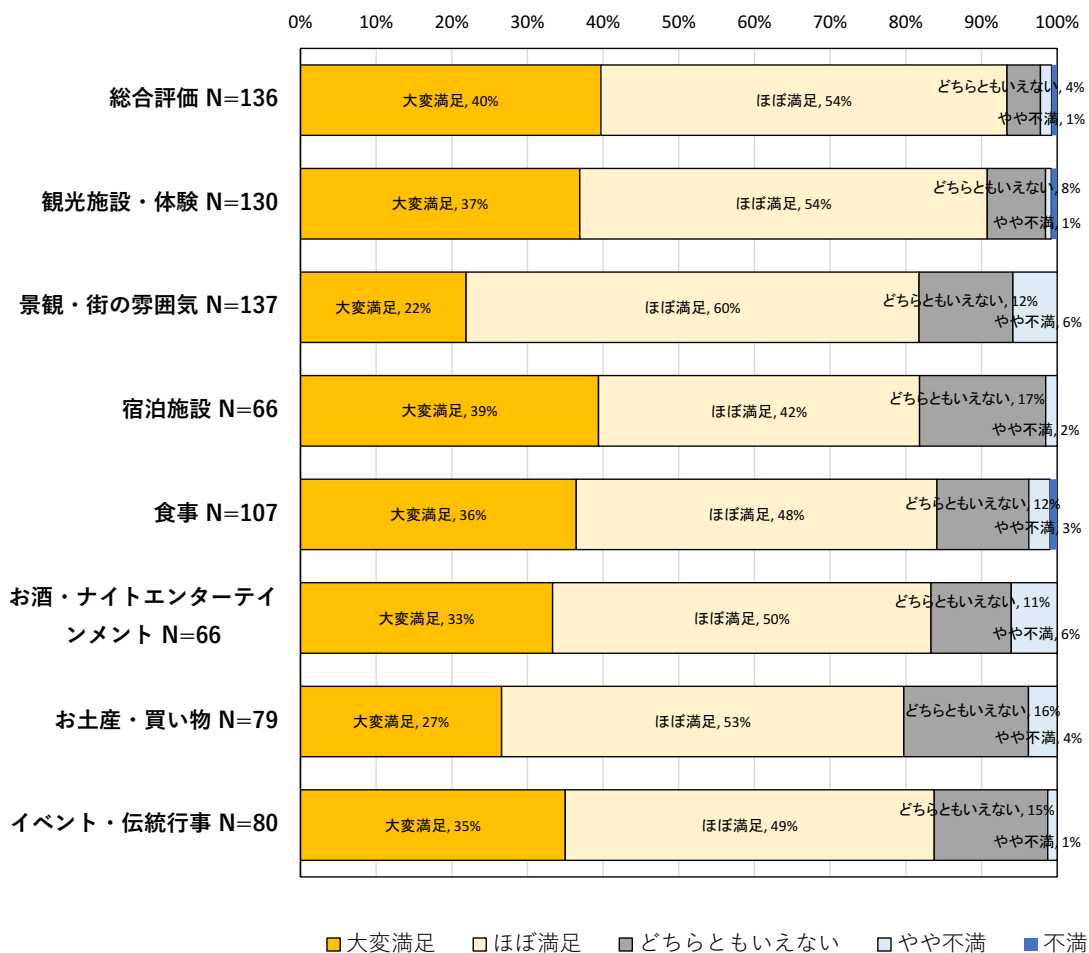
○GOTO トラベル等の使用の有無では、宿泊の際に県外客は 56%、県内客は 46%使用している。



【GOTO トラベルの使用の有無（県内客・県外客）】

②1 沖縄市内に滞在中の満足度 ※各項目の「該当しない」は除外

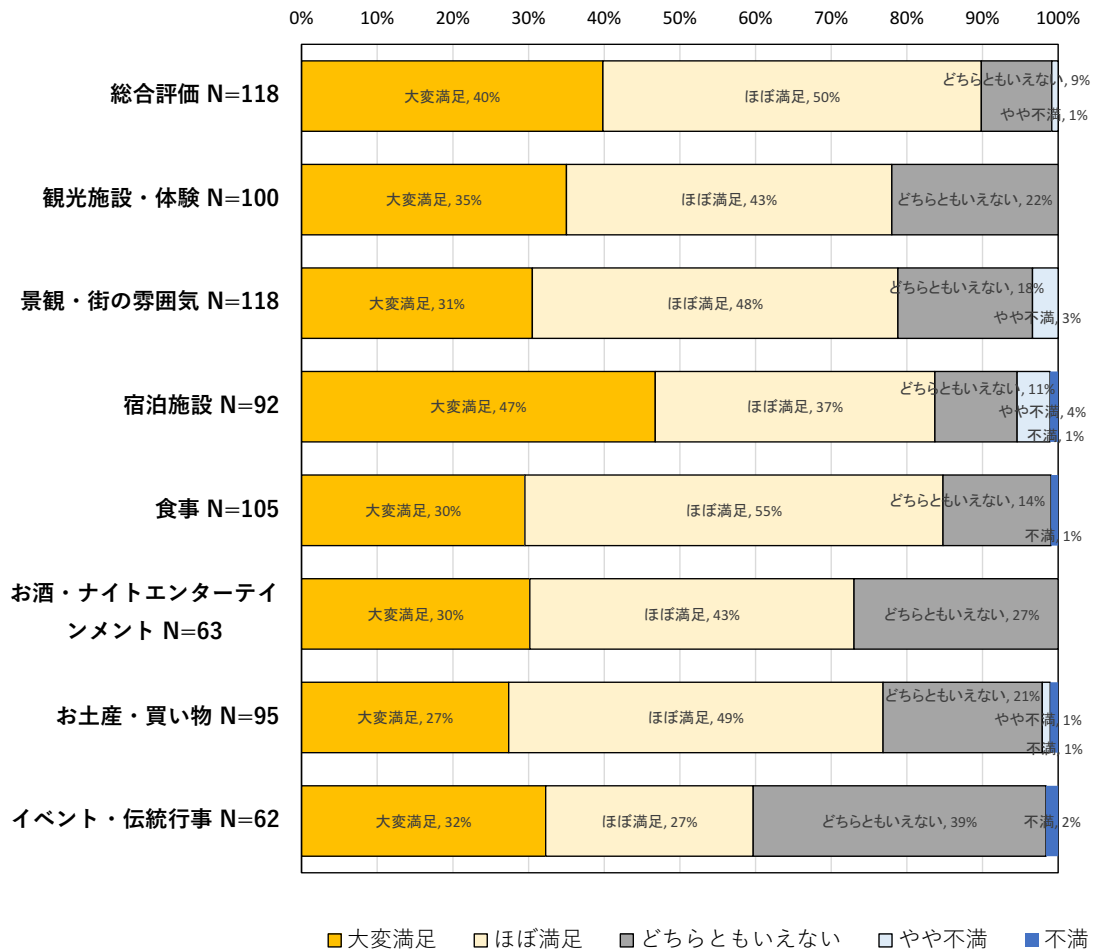
○県内容の総合評価について、大変満足もしくはほぼ満足は、94%となっている。項目別では、観光施設・体験の満足度（大変満足もしくはほぼ満足）の割合が高い。



【県内容の各項目の満足度】

○県外客の総合評価における大変満足もしくはほぼ満足の割合は90%である。宿泊施設の大変満足の割合は高く47%であった。

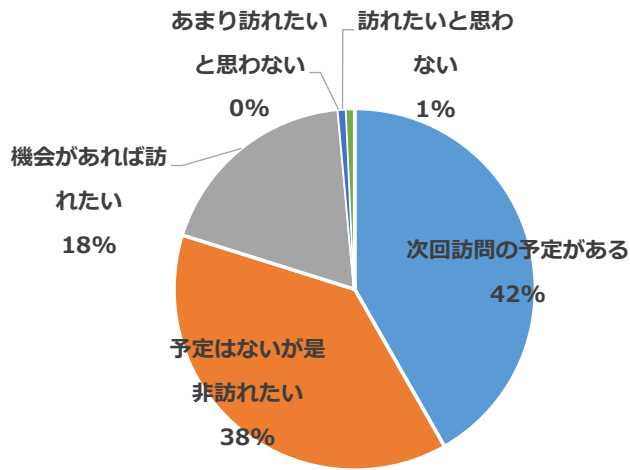
○お土産の大変満足の割合は27%とその他項目と比べてやや低い。



【県外客の各項目の満足度】

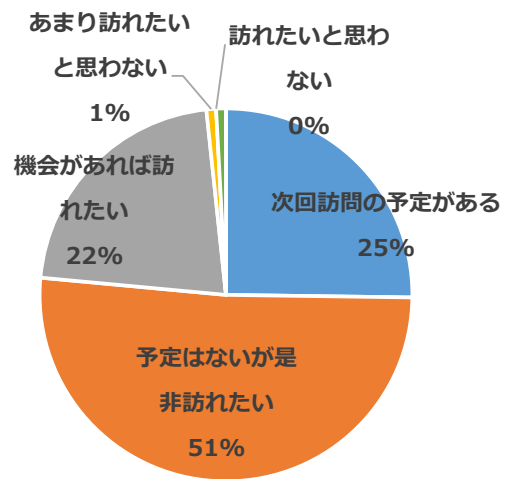
②訪問意向

○県内客は次回訪問の予定があるが最も高く 42%、ついで予定はないが訪れたいが 38%であった。
 ○県外客は予定はないが是非訪れたいが最も高く 51%、次いで次回訪問の予定があるが 25%であった。



N=139

【県内客の訪問意向】



N=119

【県外客の訪問意向】

第4章 マーケティング分析

各種調査結果を踏まえ、沖縄市を訪れる観光客の動態や特徴、沖縄市を訪れる来訪者像の詳細分析等を取りまとめるとともに、また、これらの検討を通じて沖縄市における観光施策の効果検証を行った。

また、来訪セグメントを分析したうえで、市内観光関係者との勉強会（第5章）での意見交換を通して、戦略的かつ効果的に観光客の受入環境整備や情報発信、ターゲティングを絞り込んだ観光地づくり等の検討を行った。

4-1. 今年度調査結果の概要

今年度（令和2年度）の各種調査結果を踏まえ、沖縄市を訪れる来訪者像を取りまとめた。なお、データ取得の関係上、携帯GPS調査およびレンタカーGPS調査はコロナ禍以前の令和元年度について、その他調査については、今年度（令和2年度）の調査結果として取りまとめた。

1) コロナ禍以前（令和元年度）の沖縄市の来訪特性

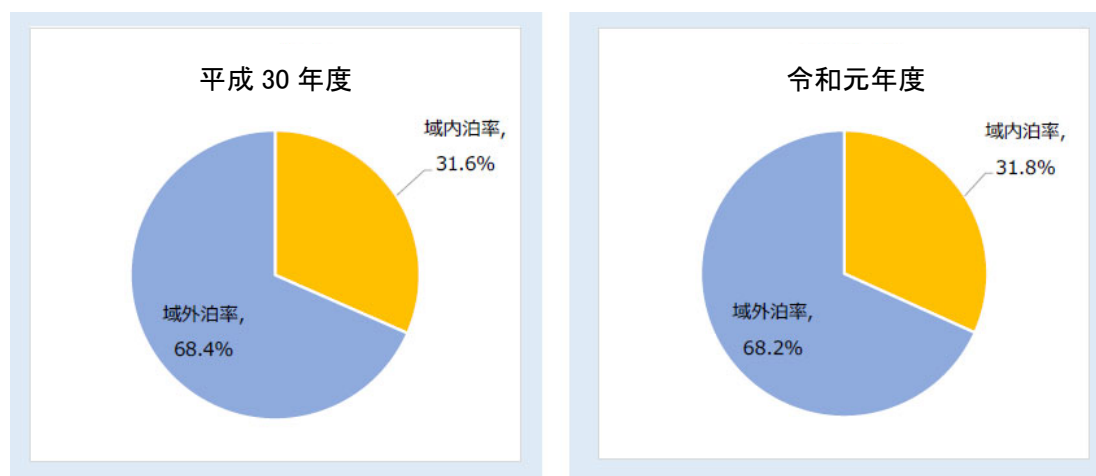
コロナ禍以前の令和元年度までの沖縄市の来訪特性の詳細について、携帯GPS調査およびレンタカーGPS調査をもとにとりまとめを行った。

① 沖縄市に訪れた県外観光客の宿泊実態は？

◆携帯GPS調査により沖縄市を訪れる県外客のうち約3割が市内にて宿泊、約7割が市外にて宿泊していることが確認された。

（60分以上の滞在者。平成30年度、令和元年度ともに）

◆域内泊率（市内の宿泊者の割合）については、令和元年度は平成30年度より0.2%増加している。



【沖縄市内における60分以上滞在者 旅程別構成比】

出典：携帯GPS調査

② 沖縄市に訪れた県外観光客はどこから来ている？

◆県外の来訪客については、東京都が最も多く12.7%、ついで神奈川県、福岡県、大阪府が続く。昨年度と比較して福岡県が上昇しておりプロモーションの成果と推察される。

【市内来訪者（県外観光客）における発地都道府県別の来訪者数・構成比】

順位	発地 都道府県	通年		2019年4~6月		2019年7~9月		2019年10~12月		2020年1~3月					
		来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比			
		1	東京都	302	12.7%	3	57	10.1%	1	85	15.9%	1	73	10.9%	1
2	神奈川県	216	9.1%	2	58	10.4%	6	30	5.7%	5	54	8.1%	2	73	11.8%
3	福岡県	212	8.9%	5	39	7.0%	2	53	10.0%	2	58	8.7%	3	62	10.0%
4	大阪府	194	8.2%	4	40	7.2%	3	49	9.2%	3	58	8.6%	5	48	7.7%
5	埼玉県	183	7.7%	1	74	13.3%	7	24	4.6%	4	55	8.2%	7	30	4.8%
6	愛知県	162	6.8%	8	24	4.3%	4	37	6.9%	6	45	6.8%	4	55	8.9%
7	千葉県	144	6.1%	7	31	5.5%	5	35	6.6%	7	39	5.9%	6	39	6.3%
8	兵庫県	112	4.7%	6	35	6.2%	9	22	4.1%	8	29	4.4%	8	26	4.1%
9	北海道	74	3.1%	9	19	3.4%	8	24	4.5%	12	15	2.2%	10	16	2.6%
10	京都府	54	2.3%	17	****	****	17	****	****	9	26	3.8%	12	13	2.1%
-	その他	725	30.5%	-	****	****	-	****	****	-	216	32.4%	-	169	27.4%
-	計	2,378	-	-	559	-	-	534	-	-	668	-	-	617	-

通年構成比+1%

出典：携帯 GPS 調査

③ 沖縄市に訪れた外国人観光客の国籍および宿泊実態は？

◆レンタカーに設置した GPS を用いて、令和元年度に沖縄市に訪れた外国人観光客の動向について調査分析を行った。

◆沖縄市への来訪は、台湾が最も多く次いで香港、韓国、シンガポールが多い。

◆市内宿泊の割合はマレーシアが最も多く（57.6%）、次いで韓国（54.5%）が多い。

◆最も来訪台数の多い台湾については35.8%、香港は29.4%となっている。

【市来訪外国人観光客の国籍別の台数、市内宿泊状況、滞在時間一覧】

国籍	来訪台数			平均滞在時間		
	合計	沖縄市宿泊無	沖縄市宿泊有	合計	沖縄市宿泊無	沖縄市宿泊有
台湾	8,004	64.2%	35.8%	12:55	2:29	31:39
香港	2,320	70.6%	29.4%	13:48	2:38	40:36
韓国	486	45.5%	54.5%	16:30	2:01	28:35
シンガポール	296	60.1%	39.9%	14:58	2:16	34:08
タイ	224	62.5%	37.5%	10:28	2:20	23:59
マカオ	163	75.5%	24.5%	10:45	2:47	35:14
アメリカ合衆国	97	55.7%	44.3%	38:09	7:02	77:15
マレーシア	85	42.4%	57.6%	32:56	1:55	55:44
オーストラリア	24	****	****	9:59	2:06	49:19
カナダ	21	52.4%	47.6%	18:34	2:28	36:17
その他	56	****	****	18:05	2:08	44:39
合計	11,776	64.5%	35.5%	13:36	2:31	33:43

出典：レンタカーGPS 調査

* コロナ収束後は、来訪の多い台湾、香港の市内宿泊率の向上が課題。

④沖繩市を訪れた観光客の行動は？

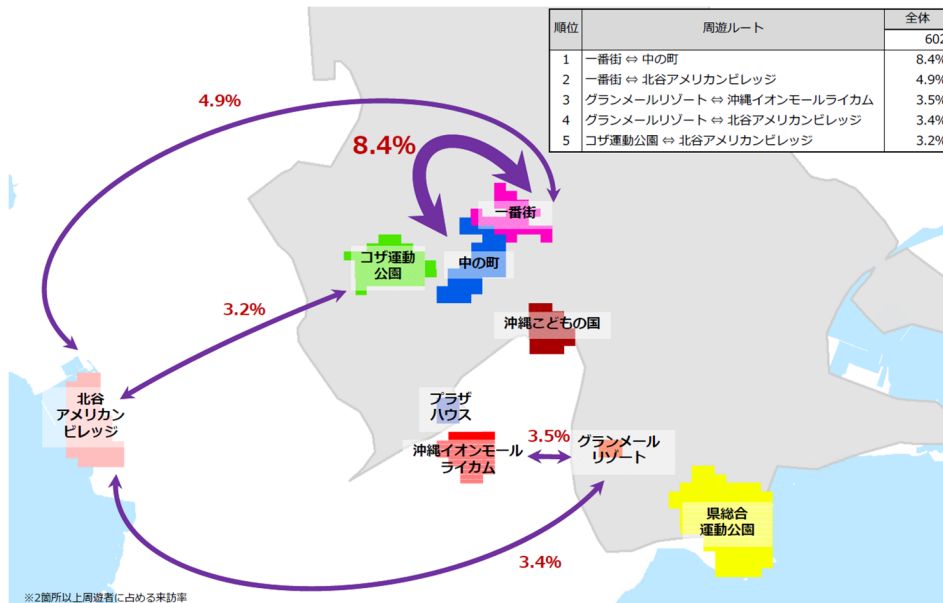
＜県外客の市内周遊状況＞

◆携帯 GPS 調査により沖繩市を訪れる県外客のうち市内観光エリアへの来訪は中の町が最も多い（12.5%）、ついで東南植物楽園（8.6%）が続く。市外エリアの北谷アメリカンビレッジ、沖繩イオンモールライカムにはそれぞれ 26.2%、17.5%の来訪を確認。

【令和元年度市内来訪者（県外客）における観光エリア別来訪者数・来訪率】

順位	観光エリア名	全体	
		来訪者数	来訪率
1	北谷アメリカンビレッジ	622	26.2%
2	沖繩イオンモールライカム	416	17.5%
3	中の町	298	12.5%
4	東南植物楽園	204	8.6%
5	一番街	172	7.2%
6	県総合運動公園	164	6.9%
7	グランメールリゾート	162	6.8%
8	沖繩こどもの国	127	5.3%
9	コザ運動公園	104	4.4%
10	プラザハウス	45	1.9%
-	沖繩市来訪者（通年）	2,378	-

出典：携帯 GPS 調査



【令和元年度市内来訪者（県外客）における市内各エリア周遊分析】

出典：携帯 GPS 調査

















* 市内周遊促進を図るとともに北谷アメリカンビレッジ等の市外隣接エリアとの連携が重要

<外国人観光客の沖縄市来訪前後の立ち寄り状況>

◆レンタカーGPS 調査より沖縄市に訪れた外国人観光客（レンタカー利用）の沖縄市の来訪前後に立ち寄った市町村を確認した。那覇市が最も多く、次いで北谷町、豊見城市、本部町、北中城村、名護市等が続いている。

⇒北部西海岸や北谷とセットで立ち寄っている傾向

【沖縄市立ち寄り前後の市町村】

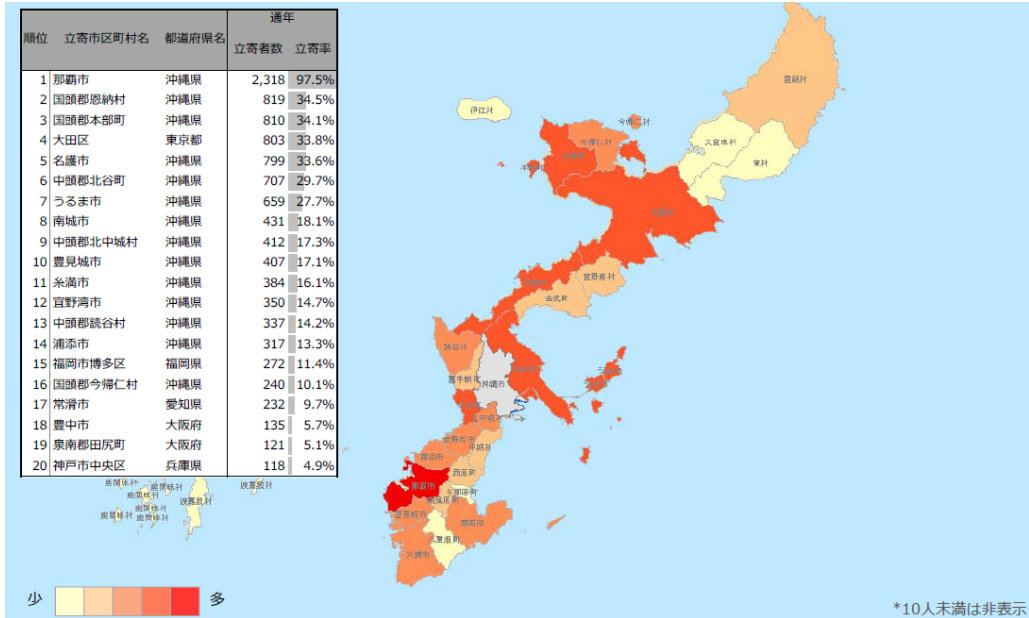
順位	市町村名	都道府県名	延べ 立ち寄り数	来訪前 立ち寄り数	前後傾向	来訪後 立ち寄り数
—	全体		89,840	44,325		45,515
1	那覇市	沖縄県	11,460	4,533		6,927
2	中頭郡北谷町	沖縄県	10,712	5,413		5,299
3	豊見城市	沖縄県	8,498	2,978		5,520
4	国頭郡本部町	沖縄県	8,334	5,267		3,067
5	中頭郡北中城村	沖縄県	8,162	3,783		4,379
6	名護市	沖縄県	7,463	4,671		2,792
7	国頭郡恩納村	沖縄県	5,790	3,330		2,460
8	南城市	沖縄県	4,222	1,598		2,624
9	浦添市	沖縄県	4,208	1,723		2,485
10	沖縄市	沖縄県	4,051	2,179		1,872
11	国頭郡今帰仁村	沖縄県	3,787	2,410		1,377
12	うるま市	沖縄県	3,057	1,550		1,507
13	糸満市	沖縄県	2,461	1,067		1,394
14	宜野湾市	沖縄県	2,451	1,105		1,346
15	中頭郡読谷村	沖縄県	1,892	1,007		885

出典：レンタカーGPS 調査

⑤沖繩市の前後の立ち寄りとは？

<県外客の前後の立ち寄り状況>

◆市内来訪者の立ち寄り市町村は、那覇市について恩納村、本部町、名護市、北谷町、うるま市が多い。



【沖縄市来訪の県外客の市区町村別立ち寄り者数・立ち寄り率】

出典：携帯 GPS 調査

<外国人観光客の前後の立ち寄り状況>

◆外国人観光客では那覇市が最も多く、ついで北谷町、豊見城市、本部町、北中城村が続く。

順位	市町村名	都道府県名	延べ立ち寄り数	来訪前立ち寄り数	前後傾向	来訪後立ち寄り数
—	全体		89,840	44,325		45,515
1	那覇市	沖縄県	11,460	4,533		6,927
2	中頭郡北谷町	沖縄県	10,712	5,413		5,299
3	豊見城市	沖縄県	8,498	2,978		5,520
4	国頭郡本部町	沖縄県	8,334	5,267		3,067
5	中頭郡北中城村	沖縄県	8,162	3,783		4,379
6	名護市	沖縄県	7,463	4,671		2,792
7	国頭郡恩納村	沖縄県	5,790	3,330		2,460
8	南城市	沖縄県	4,222	1,598		2,624
9	浦添市	沖縄県	4,208	1,723		2,485
10	沖繩市	沖縄県	4,051	2,179		1,872
11	国頭郡今帰仁村	沖縄県	3,787	2,410		1,377

【沖縄市来訪の外国人観光客の市区町村別立ち寄り者数】

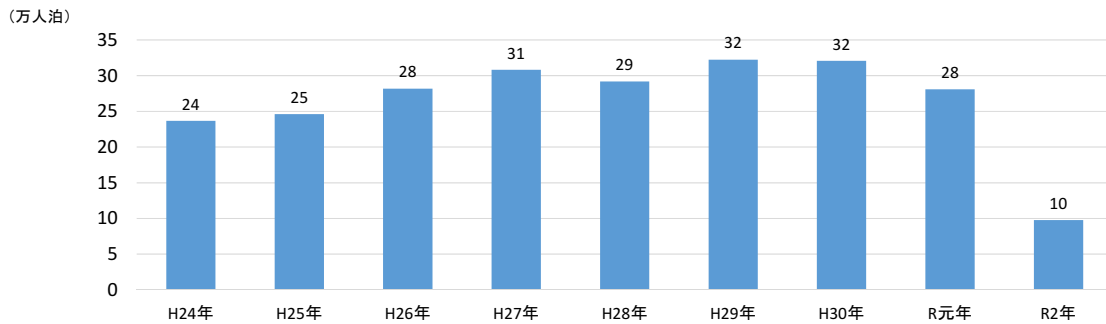
出典：レンタカーGPS 調査

2) コロナ禍における沖縄市の来訪特性

①市内宿泊者数の状況

＜平成24年から令和2年（暦年）の市内延べ宿泊者の推移＞

◆令和2年（暦年）の宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、沖縄市の前年より比較し大きく減少しており、市内において継続的に取得している10施設を対象とした年間宿泊者数は、年間約10万人泊であり約6.5割減の状況である。



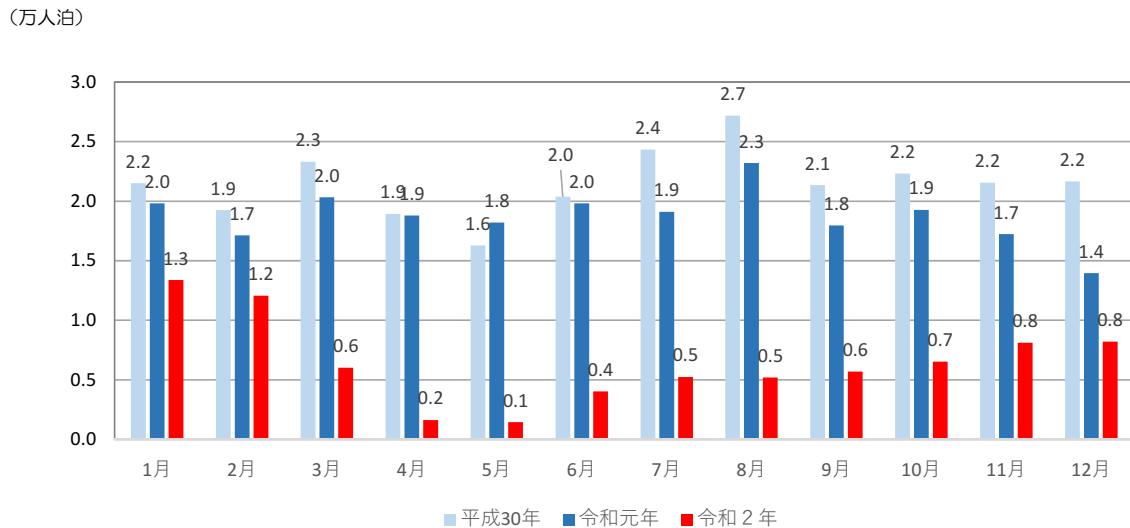
【平成24年から令和2年（暦年）の市内延べ宿泊者数の推移】

出典：沖縄宿泊統計調査

＜過去3年分の月別の市内宿泊者の推移＞

◆月別の市内宿泊者を継続的に取得している市内宿泊施設（6施設）を対象にみると令和元年3月以降、前年2カ年と比較すると大きく減少している。

◆7月以降は横ばい基調だが依然として厳しい状況が続いている。

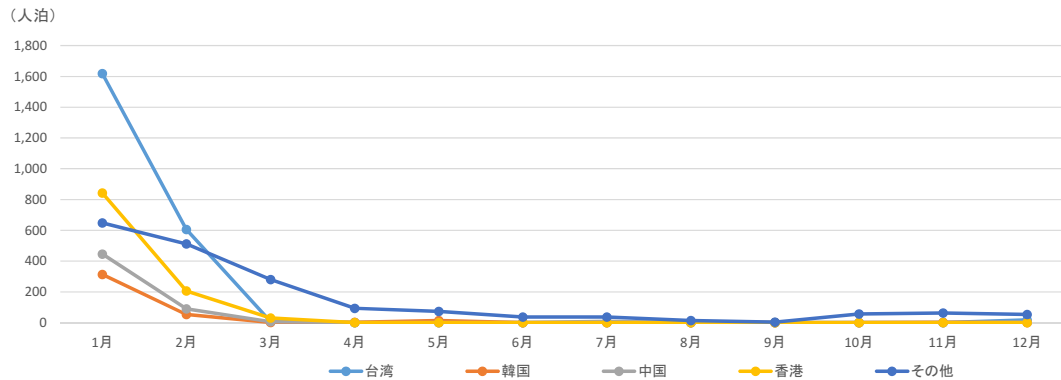


【過去3年分の月別の市内宿泊者の推移】

出典：沖縄宿泊統計調査

<国籍別の外国籍の市内延べ宿泊者数の月別推移>

◆宿泊統計調査より令和2年の外国人観光客の延べ宿泊者数は、3月以降は国際線の停止のため、皆減となっている。

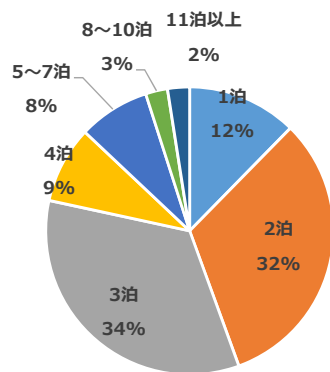


【国籍別の令和2年における外国籍の市内延べ宿泊者数の月別推移】

出典：沖縄宿泊統計調査

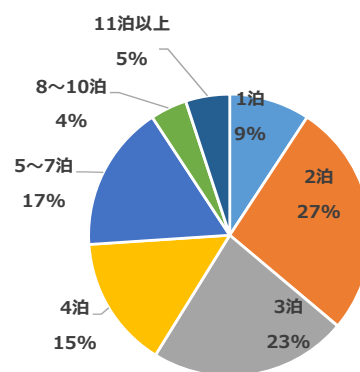
② 沖縄市内における宿泊数（県外客のみ）

◆令和2年度は宿泊数については旅行全体、市ともに5泊以上の割合が増加している。



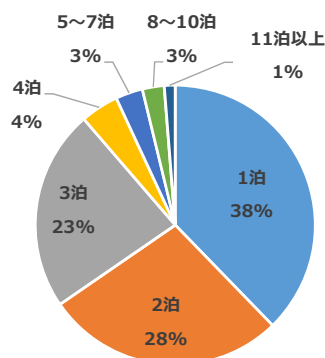
N=162

【旅行全体の宿泊数（令和元年度）】



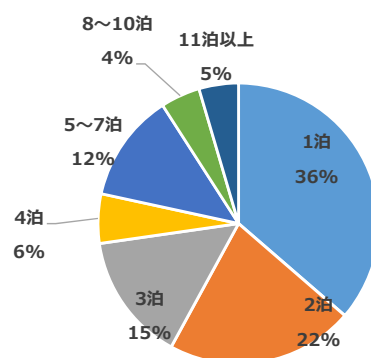
N=159

【旅行全体の宿泊数（令和2年度）】



N=119

【沖縄市での宿泊数（令和元年度）】



N=88

【沖縄市での宿泊数（令和2年度）】

出典：WEB アンケート調査

③市内各エリアにおける滞在者の状況

◆沖縄市における各エリアの入込状況を把握するため、携帯の位置情報を分析するKDDIロケーションアナライザーをもちいて「コロナ禍前：平成30年12月から令和元年11月」、「コロナ期間中：令和元年12月から令和2年11月」の2期間において入込の推移の確認を行った。

※本調査は指定エリアから自動車で10分圏内の居住者・勤務者は対象外としている。
県内・県外・上記を除く市民が滞在者数としてカウントしている。

【エリア別滞在者数の前年度比較】

	12-3月	4-6月	9-11月
中の町周辺	-20.3pt	-41.8pt	-15.1pt
一番街周辺	+0.4pt	-35.9pt	-13.5pt
県総合運動公園	-27.1pt	-64.4pt	-9.2pt

出典：KDDIロケーションアナライザー

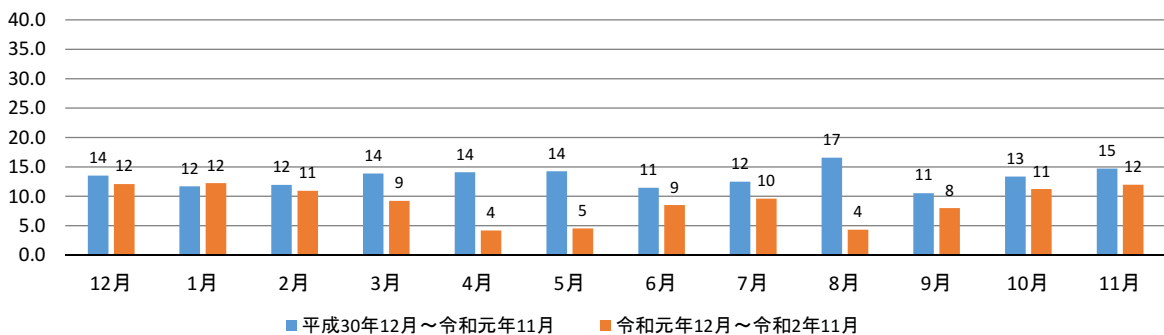
◆市内8施設を合算した滞在者数をみると、緊急事態宣言期間中の4月から5月、8月が約7～8割の減少となっている。

※市内8施設として、①県総合運動公園、②コザ運動公園、③沖縄こどもの国、④東南植物楽園、⑤プラザハウス、⑥コザ商店街周辺、⑦中の町周辺、⑧グランメールリゾートを集計。

(単位：万人)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
H30.12-R1.11	13.5	11.7	11.9	13.9	14.1	14.3	11.4	12.5	16.6	10.6	13.3	14.7
R1.12-R2.11	12.1	12.2	10.9	9.2	4.2	4.5	8.5	9.6	4.3	8.0	11.2	12.0
増減率(月単位)	-11%	5%	-8%	-34%	-70%	-68%	-26%	-23%	-74%	-24%	-16%	-18%

(万人)



【エリア別の令和元年度および令和2年度の比較】

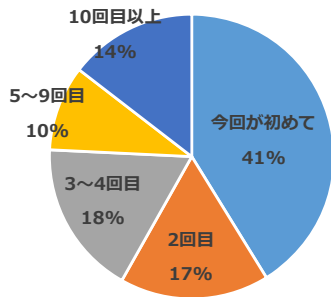
出典：KDDIロケーションアナライザー

- * 緊急事態宣言期間中は大幅に入込客が減少する傾向。
- * 感染症対策を図りながら回復を目指すことが重要。

④ 沖縄市への来訪回数（県外客）

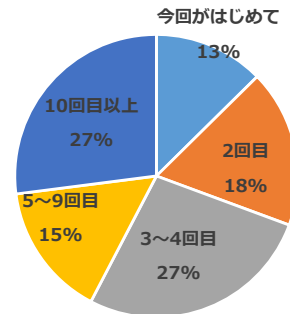
◆アンケート結果より、令和2年度は前年度より2回目以上が28pt増加しており、リピーターが増加している。

◆「10回目以上」訪れているヘビーリピーターの割合が13pt増加している。



N=165

【沖縄市への来訪回数（令和元年度）】



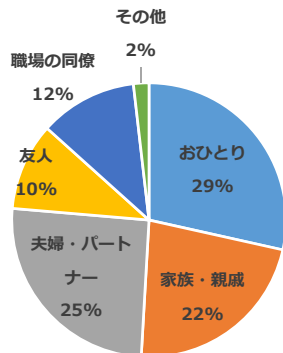
N=111

【沖縄市への来訪回数（令和2年度）】

出典：WEB アンケート調査

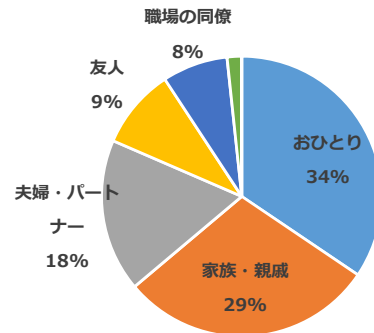
⑤ 沖縄市内宿泊（県外）の同行者・同行人数

◆同行者は「友人」や「職場の同僚」が減少し、「家族・親戚」、「夫婦・パートナー」と近い関係の同行者の割合が増加している。



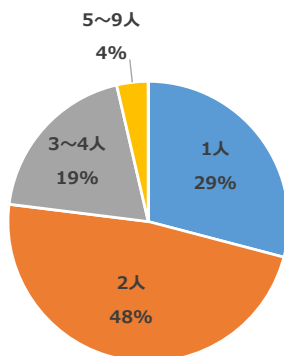
N=165

【同行者（令和元年度）】



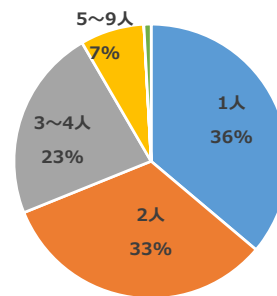
N=119

【同行者（令和2年度）】



N=165

【同行人数（令和元年度）】



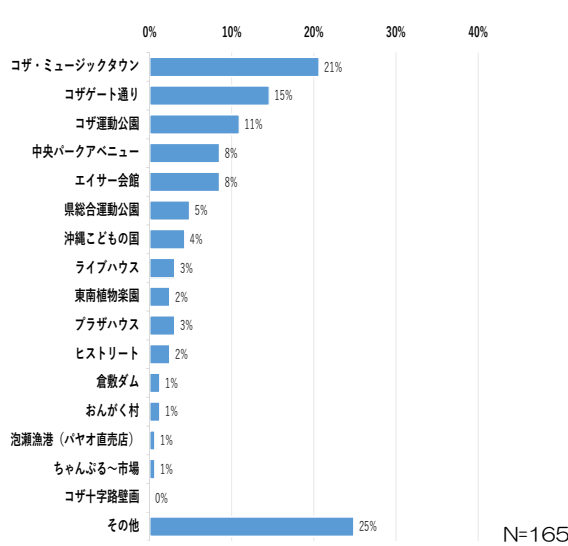
N=119

【同行人数（令和2年度）】

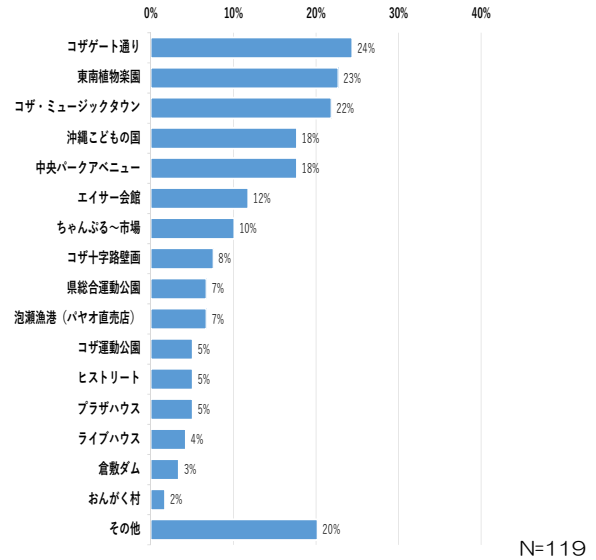
出典：WEB アンケート調査

⑥ 市内の立ち寄り状況について（県外客）

◆令和2年はコザゲート通り、東南植物楽園、ミュージックタウンへの立ち寄りが多い傾向にあった。



【市内の立ち寄り状況（令和元年度）】



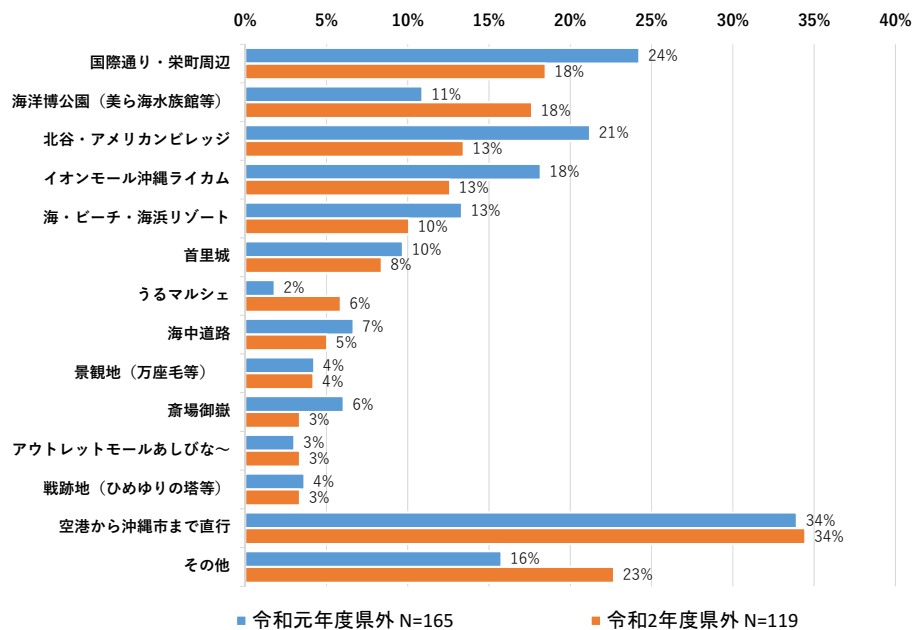
【市内の立ち寄り状況（令和2年度）】

出典：WEB アンケート調査

⑦ 沖縄市の前に訪れる場所

◆令和2年、令和元年ともに「空港から沖縄市まで直行」（立ち寄り地なし）が約3割と最も多い。

◆北谷・アメリカンビレッジは昨年度より10pt程度減少している

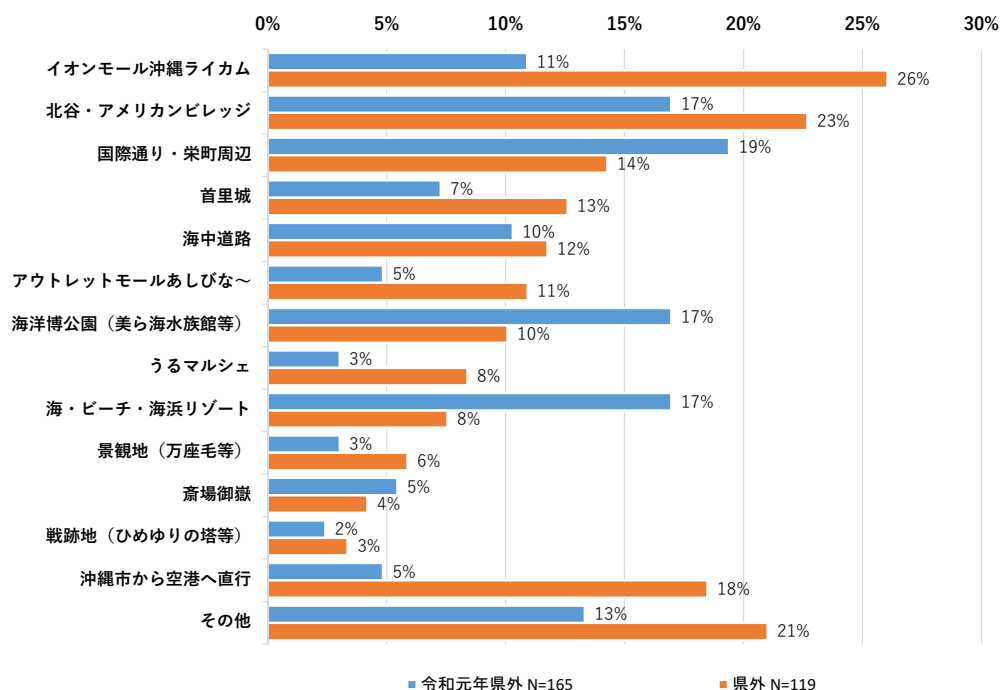


【沖縄市の前に訪れる場所】

出典：WEB アンケート調査

⑧ 沖縄市の後に訪れる場所

- ◆令和元年度は「国際通り・栄町周辺」が最多だったが、令和2年度は「イオンモール沖縄ライカム」が最多となっている。
- ◆また、「沖縄市から空港へ直行」が18ptと増えている。前後を含め「沖縄市」のみに訪れる方の増加と推察される。



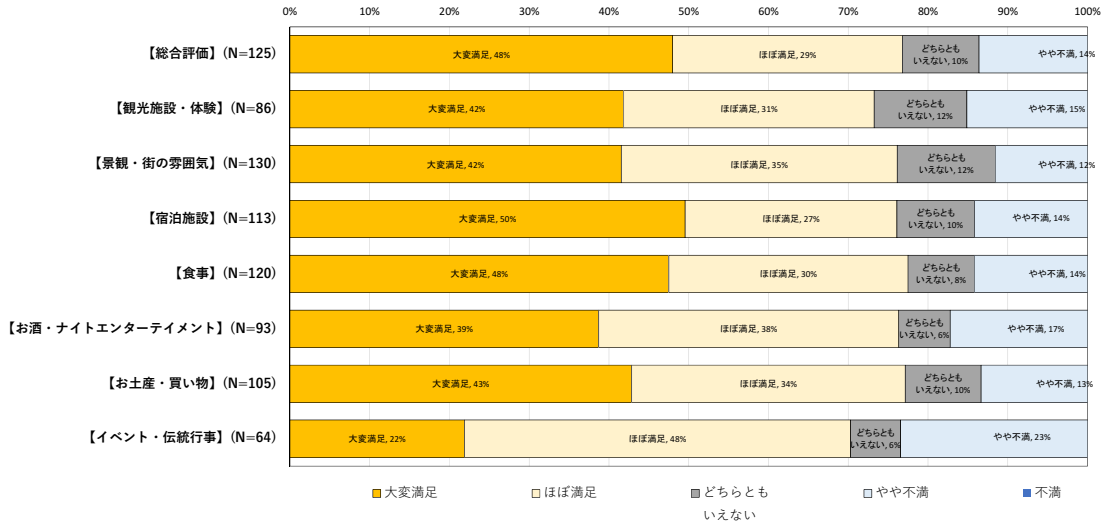
【沖縄市の後に訪れる場所】

出典：WEB アンケート調査

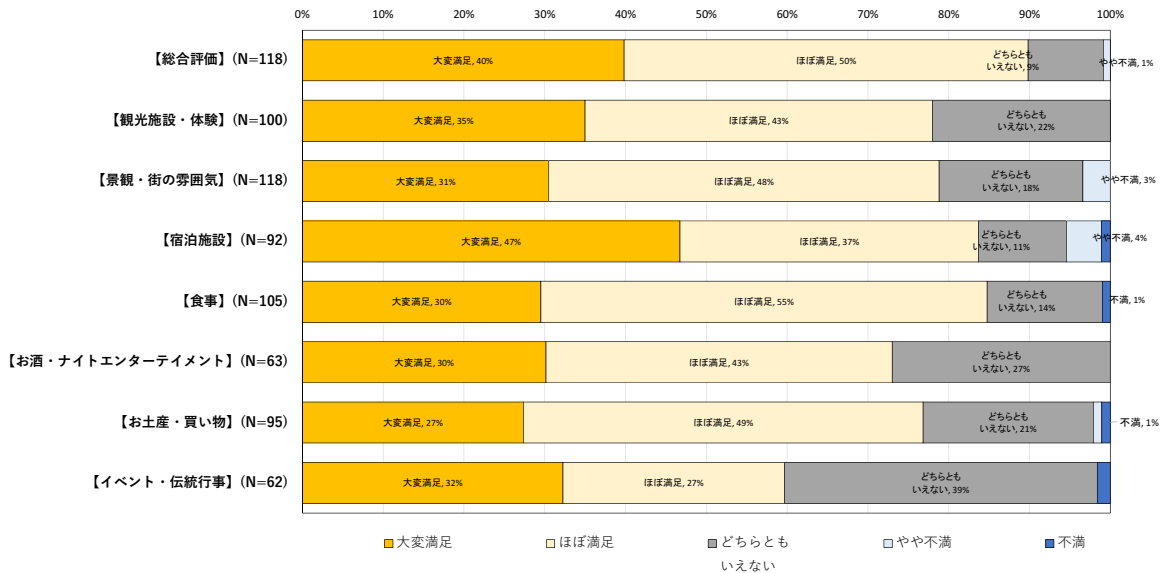
⑨ 沖縄市に対する評価

<各項目における満足度>

◆令和2年度は昨年度に比べ各項目の「大変満足」「やや不満」が減少し、「ほぼ満足」「どちらともいえない」が増加している傾向にある。



【沖縄市観光の満足度（令和元年度）】

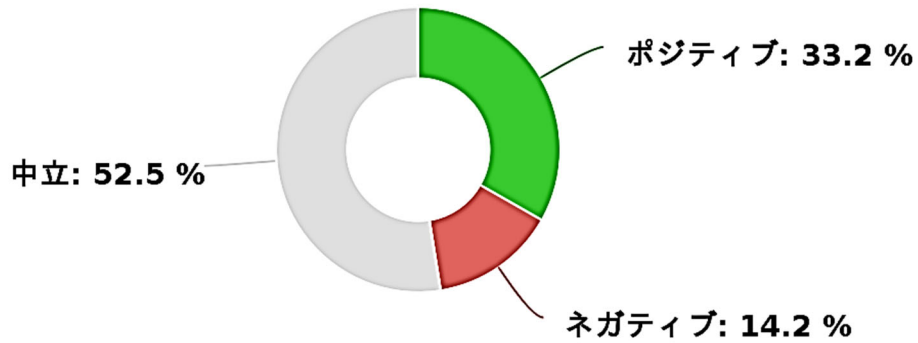


【沖縄市観光の満足度（令和2年度）】

出典：WEB アンケート調査

<観光施設への口コミの文章におけるポジティブ・ネガティブ分析>

◆トリップアドバイザー、じゃらん等へ投稿された口コミについてAIによる感情分析を行った結果、ポジティブな口コミは全体の33.2%、ネガティブな口コミは全体の14.2%となった。



【口コミ（トリップアドバイザー、じゃらん）の文章における感情分析】

出典：口コミ分析結果

⑩ 沖縄市内における消費金額

◆沖縄市内での費目ごとの平均消費金額は県内、県外ともに過年度より増加傾向にある。

【平成30年度】（ハイシーズン）

費目	購入者割合		平均消費額	
	県内	県外	県内	県外
宿泊代	4%	49%	5,200円	17,665円
交通費	31%	60%	1,289円	8,284円
食事代	71%	89%	1,394円	7,145円
お酒・ナイトエンターテインメント	5%	44%	6,160円	7,627円
お土産・買い物代	35%	64%	3,742円	5,207円
施設入場料、レジャー・体験料、その他	42%	43%	1,108円	3,166円
市内総消費単価	—		3,646円	28,050円

【令和2年度】 ※GO TO 適用後

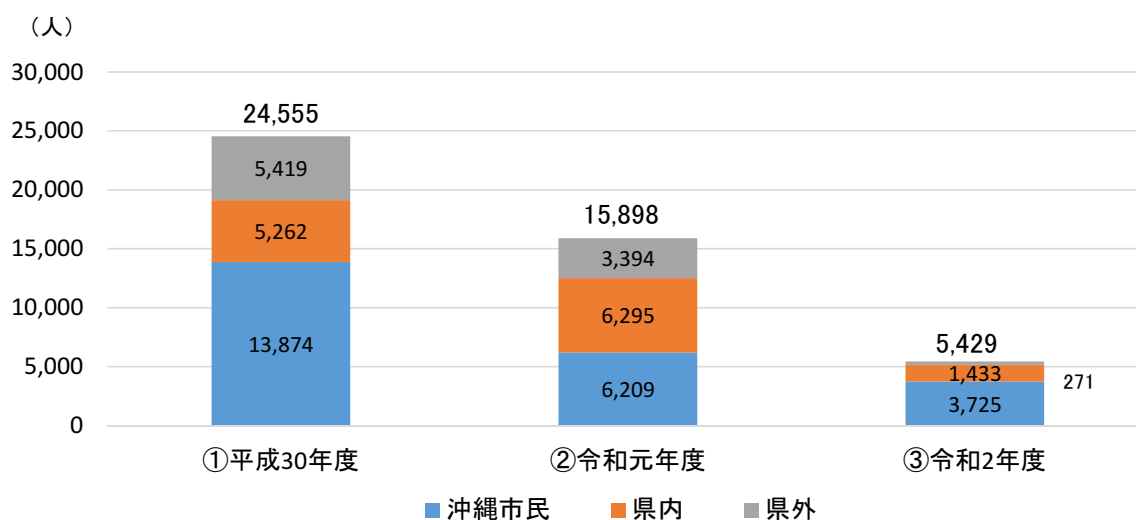
費目	購入者割合		平均消費額	
	県内	県外	県内	県外
宿泊代	35%	52%	6,364円	19,837円
交通費	11%	39%	2,073円	20,974円
食事代	64%	84%	2,809円	9,169円
お酒・ナイトエンターテインメント	28%	42%	4,623円	9,516円
お土産・買い物代	41%	65%	4,174円	8,278円
施設入場料、レジャー・体験料、その他	66%	47%	1,895円	5,248円
市内総消費単価	—		8,500円	38,093円

出典：WEB アンケート調査結果

⑪ プロスポーツキャンプ期間中の滞在者数（スポーツ）

◆広島東洋カープがキャンプを実施しているコザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）においては、令和2年度（令和2年12月～令和3年2月）は感染症対策のため見学なしとしているため、大幅に減少している。

◆なお過去3年を比較すると優勝した平成30年度（平成30年12月～平成31年2月）の滞在者数が最も多い。



【キャンプ会場における滞在者数の推移（直近3カ年）】

4-2. 各施策の効果の検証

沖縄市でこれまで取り組んできた施策について、関連調査結果から効果を検証し、改善方策等について検討を行った。

なお、検討した施策は、「①メディアプロモーション/動画プロモーション」、「②観光情報誌制作・配布」、「③スポーツキャンプ・合宿」、「④まち歩き・飲み歩きイベント」、「⑤観光施設、飲食店、宿泊施設等の受入環境」を対象とした。

①メディアプロモーション/動画プロモーションについて

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆県内・県外ともに来訪のきっかけとして、インターネットより情報をあげており、KOZAWEB等のメディアプロモーションの効果とも推察される。
◆また、県内客は県外客に比べてSNSやテレビ・ラジオを参考にしている割合が高い。
2) 今後の改善方策
◆県内・県外ともに取り込むためにインターネット（KOZAWEB、協会WEBサイト等）による継続的な情報発信が重要である。
◆県内客に対しては、テレビ・ラジオ、SNSを通じた発信が有効である。
◆コロナ収束後を見据えた県外客およびインバウンド向けのSNS発信の継続も重要である。

②観光情報誌制作・配布について

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆リピーター層は情報誌等を参考にしていることが確認された。
◆ビジネス客は消費が高い一方でほとんど目にしていない傾向。
2) 今後の改善方策
◆ビジネス客のさらなる市内周遊を目的として宿泊施設等での観光情報誌の配布が重要。
◆県内客についてはポテンシャルのある那覇市民への訴求を図ることが望まれる。

③スポーツキャンプ・スポーツ合宿誘致（1～2月）について

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆令和3年1月～2月は新型コロナウイルス感染症の影響によりプロスポーツについては見学なしの開催および緊急事態宣言の発令期間中となったため、前年より大きく減少している。 ⇒その他の年度では同時期は広島出身の割合が高くなる傾向。
2) 今後の改善方策
◆コロナ収束後の早期回復を目指し、各団体との継続的な関係性構築およびファン等に対しての発信が重要である。

④まち歩き・飲み歩きイベント

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆県外へピーリピーター層、ビジネス客は市内消費は高い傾向にあり一定の成果がある。 ◆スポーツ客については観戦前後の市内周遊が課題である。
2) 今後の改善方策
◆スポーツ客向けのイベントが重要である。

⑤観光施設、飲食店、宿泊施設等の受入環境

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆観光施設については、県内のファミリー層などの利用割合が高い属性より比較的高い評価を受けている。 ◆宿泊施設については、県外のビジネス客層の長期宿泊者の高い属性より比較的高い評価を受けている。また、口コミ投稿における感情 AI 分析結果では、ポジティブの感情が 35%と一定の評価を受けている。 ◆沖縄市来訪の台湾、香港については宿泊率についてポテンシャルがある状況。
2) 今後の改善方策
◆継続的な受け入れ環境の実施。 ◆特に外国人観光客についてはコロナ収束後の回復を見据え整備が重要である。

4-3. 沖縄市の来訪セグメントの分析と今後のターゲットの検討

各種調査結果を踏まえ、今後ターゲットとすべき来訪セグメントについて検討し、そのターゲットを誘客し、受け入れ、活性化につなげるための取組について検討した。比較対象として沖縄県の来訪セグメントについて分析を行った。

(1) 沖縄市の来訪セグメントの分析

各種調査結果を踏まえ、今後の沖縄市における観光誘客等の戦略的な実践に向け、沖縄市の来訪セグメントについて分析を行った。

1) 来訪セグメントの設定

セグメント分析にあたっては、各種調査結果を踏まえ、代表的と考えられる来訪者像を6つ抽出し、分析整理を行った。

【沖縄市の来訪者特性を踏まえ設定した6つの来訪者像（セグメント）】

セグメント		概要
1	県外のヘビーリピーター	・沖縄市を何度も訪れる沖縄市ファン。 ⇒今回は5回以上の来訪者を対象に集計。
2	県外の初回来訪者	・沖縄市の来訪経験がはじめての来訪者。 ・主たる目的地が他にもあるなか沖縄市にも立ち寄るような層などを想定。
3	県外のビジネス客	・ビジネス客。 ・現状はアリーナ関係等が多いが今後はワーケーション層等も想定。
4	県内のファミリー層	・市内の観光施設に週末に遊びに来るような層。 ・コロナ後にマイクロツーリズムとして注目が増している。第2回の今夏の来訪特性の分析より、沖縄市の観光は県民にも支えられていることが明らかとなった。
5	スポーツ観戦者層	・キングスやFC琉球の観戦者。
6	インバウンド客	・コロナ禍以前に沖縄市に訪れていた台湾、韓国、中国等からの観光客。 ・インバウンドの再開を見据えて検討。

2) 来訪セグメントの抽出条件

来訪セグメントの設定にあたっては、観光客アンケート調査結果やスポーツ観戦者やスポーツ観戦者へのアンケート等をもとに居住地域や旅行目的、同行者、市来訪経験の項目で条件を設定し、抽出を行った。(県外のヘビーリピーターであれば、観光客アンケート調査結果のうち、居住地域を県外、旅行目的を観光、市来訪経験を5回以上と設定し抽出(サンプル128)を行った。)

来訪セグメントごとの抽出条件ならびにサンプル数の詳細については下表に示す。

【各セグメントにおける抽出条件および参考元(出典)について】

セグメント	出典	抽出条件				サンプル数
		居住地域	旅行目的	同行者	市来訪経験	
1 県外のヘビーリピーター	観光客アンケート調査結果 (沖縄市観光統計調査業務、H30-R2)	県外	観光	-	5回以上	128
2 県外の初回来訪者	観光客アンケート調査結果 (沖縄市観光統計調査業務、H30-R2)	県外	観光	-	1回	130
3 県外のビジネス客	観光客アンケート調査結果 (沖縄市観光統計調査業務、H30-R2)	県外	ビジネス	-	-	101
4 県内のファミリー層	観光客アンケート調査結果 (沖縄市観光統計調査業務、H30-R2)	県内	観光	家族	-	98
5 スポーツ観戦者層	お客様動向調査アンケート等 (沖縄市中心市街地活性化協議会、H30) ※琉球ゴールデンキングス試合対象	県内外	スポーツ観戦	-	-	1,010
	スポーツ観光誘客促進事業 (沖縄観光コンベンションビューロー、R1.10) ※FC琉球ホームゲーム対象	県外	スポーツ観戦	-	-	170
6 インバウンド客	観光客アンケート調査結果 (沖縄市観光統計調査業務、H30-R1)	海外	-	-	-	123

3) 分析項目

来訪セグメントの分析のうち観光客アンケート調査結果を参考とした分析については、属性(性別、居住地、年代、同行者、動向人数、県及び市への来訪回数等)、情報源媒体、交通手段、市内訪問箇所、市外訪問箇所、費目別の購入者割合・消費単価、満足度を分析項目として設定した。

4) 来訪セグメント分析の結果

抽出した各来訪セグメントを3)の項目にて分析を行いセグメント毎の属性や観光行動の傾向や特徴をとりまとめた表を以下に示す。次頁以降に各来訪セグメントの詳細について記載する。

【各セグメント別の分析結果の概要】

	県外のヘビーリピーター層	県外の初回来訪者層	県外のビジネス客
属性	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市来訪は平均7.5回。 ・40～50代が多い。 ・ひとりや友人・知人と訪れる方だけでなく、家族で訪れる方も多い。 ・約3泊の沖縄滞在中、2泊は沖縄市に滞在している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約3回目の来沖ではじめての沖縄市の来訪。 ・30代以下の若い世代が多い。家族、夫婦、ひとりの来訪が多い。 ・市内訪問箇所から音楽イベント目的の方も多いと想定。 ・旅行全体の泊数は短く、市内泊数も短い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事で定期的に沖縄市に訪れているため、<u>来訪回数は多い</u>。 ・<u>40代以上の男性の傾向があり、ひとりもしくは仕事の同僚と訪れている</u>。 ・沖縄市での泊数は2.8泊と多い。 ・九州の割合が高い傾向。
観光行動	<ul style="list-style-type: none"> ・市内、市外ともに訪問箇所が多く活発。 ・市内では、ゲート通りや、パークアベニューなどの市街地エリアにも訪れている。 ・市内消費は積極的であり、特に観光体験、施設入場料やお酒等の消費が多い。 ・満足度は全般的に高く、特にイベント・伝統行事の評価が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他セグメントと比べて、<u>レンタカー以外の交通手段で訪れる人がやや多い</u>。 ・市外の訪問箇所は多い一方で、<u>市内の訪問箇所は約1箇所</u>。 ・市外は美ら海や国際通り、首里城など定番の観光地への来訪が高い。 ・市内消費は<u>いずれの項目も消極的</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内、市外ともに訪問箇所が少ない。(市外には立ち寄りず沖縄市だけの滞在も多い。) ・市内立ち寄り地は市街地エリアの来訪が多い。 ・市内消費は観光体験に係る費目以外は、非常に活発。 ・満足度は<u>いずれの項目もやや低い</u>が、宿泊施設に対してはやや高い評価。

	県内のファミリー層	スポーツ観戦者層	インバウンド客
属性	<ul style="list-style-type: none"> ・30～40代的那覇市、本島中南部の割合が高い。 ・沖縄市の来訪回数はやや多い。 ・同行人数は4.2人と多い。 ・日帰りがほとんど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キングス観戦者は、10～30代の割合が高く、家族の他、友人との観戦が多い。県内の那覇市や本島南部地域からの来訪が多い。 ・FC琉球観戦者(県外客)はアウェーサポーター出身の都道府県が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族での来訪が多く、<u>同行人数は4.4人</u>。 ・20～30代と若い層が多い。 ・台湾、韓国が多い。日帰りと思われる中国も多い。
観光行動	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや友人・知人から情報収集を行っている。 ・ほとんどが自家用車利用。 ・観光施設以外の中心市街地等への来訪は少ない。<u>市外はライカムの立ち寄りが約半数</u>。 ・お酒・ナイトエンターテイメントの消費はほとんどない。 ・観光施設の満足度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キングス観戦者は、観戦前後では、<u>飲食や買物等</u>を行っており、<u>観戦前には約3,000円、観戦後に約4,300円消費</u>している。観戦前後の立ち寄り先の約半数が沖縄市外となっている。(半数が市内で消費) ・FC琉球観戦者のアウェーサポーターの市内宿泊は16%にとどまる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泡瀬漁港への来訪が多く、ついで沖縄こどもの国への来訪が多い。 ・コザゲート通り等の中心市街地の来訪は少ない。 ・市内消費は活発であり、特に食事、お土産・買い物が多い傾向。 ・市内の旅行満足度は<u>全般的に高く</u>、特に観光施設・体験、イベント・伝統行事が高い。

1 県外のへびりピーター

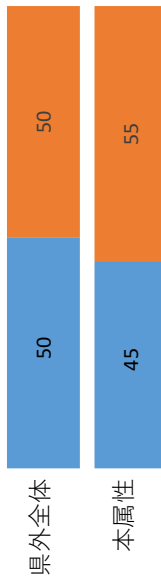
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=128、沖縄市来訪者のうち県外全体：N=530

▼属性

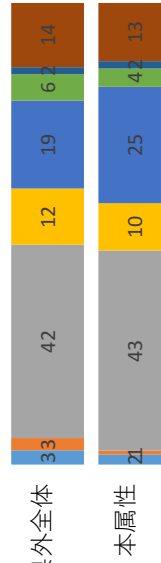
<性別>

■男性 ■女性



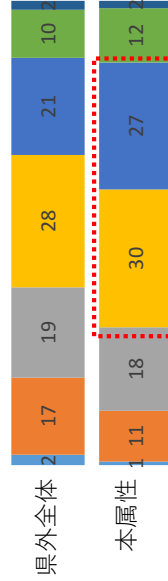
<居住地>

■北海道 ■関東 ■中部
■近畿 ■中国 ■四国 ■九州



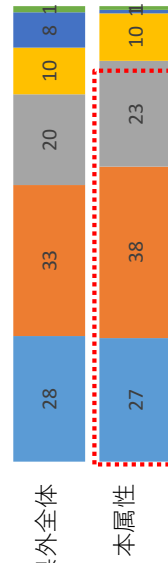
<年代>

■10代 ■20代 ■30代 ■40代
■50代 ■60代 ■70代以上



<同行者>

■ひとり ■友人 ■家族 ■夫婦・パートナー
■同僚 ■その他



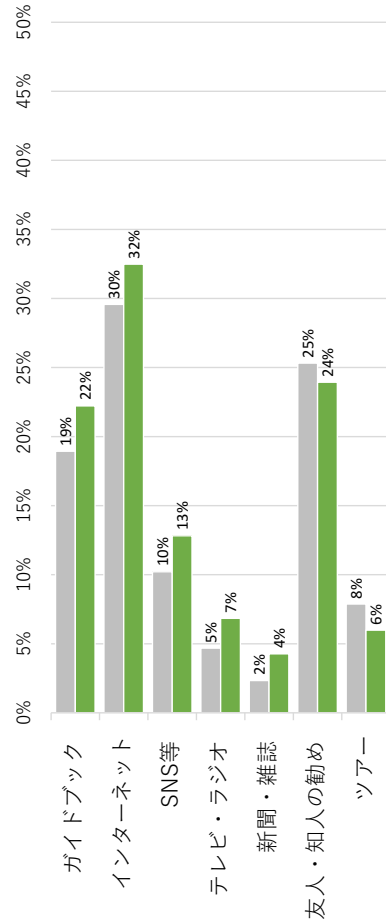
※カッコ内は県外全体のスコア

沖縄県 来訪回数	7.7回	(5.4回)
沖縄市 来訪回数	7.5回	(4.0回)
旅行全体泊数	3.4泊	(3.2泊)
沖縄市泊数	2.0泊	(2.0泊)
同行人数	2.6人	(2.7人)

※来訪回数について、H30は7回以上を7回として、R1、R2は10回以上は10回として平均値を算出
※宿泊数について、H30は5泊以上を5泊として、R1、R2は11泊以上は11泊として平均値として算出
※同行人数は、H30は6人以上を6人として、R1、R2は31人以上は31人として平均値として算出

▼情報源・媒体

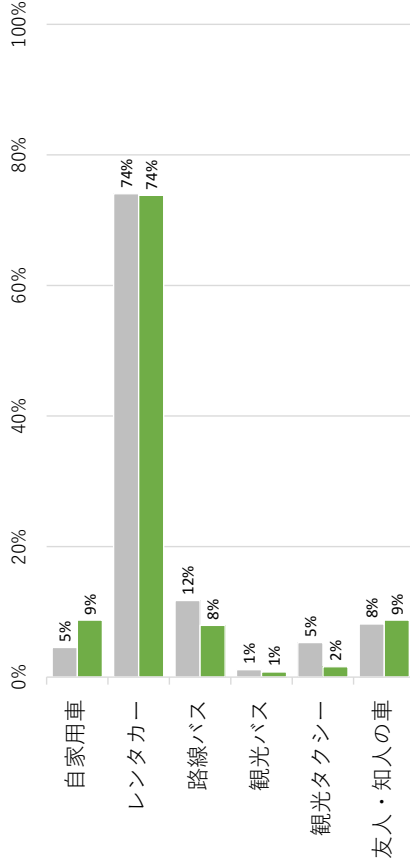
■県外全体 ■本属性



※インターネットはKOZAWEB、協会HP、その他インターネットを選択した方
※ツアーは旅行会社の勧め、ツアーの一部を選択した方

▼交通手段

■県外全体 ■本属性

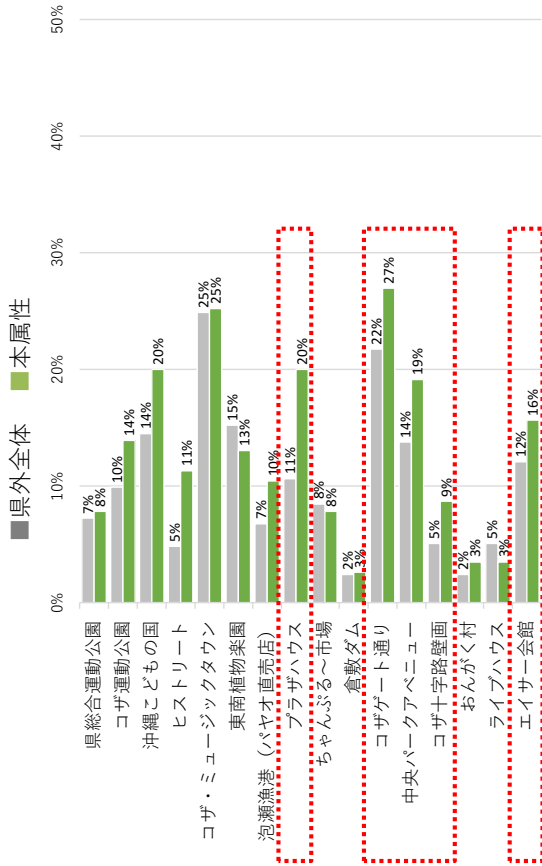


1 県外のへびりぴーター

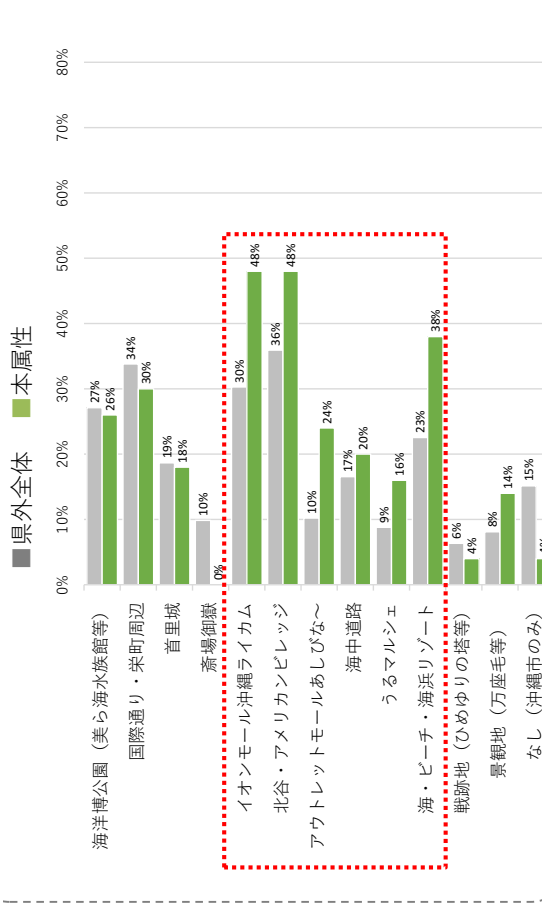
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=128 沖縄市来訪者のうち県外全体：N=530

市内訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：2.09（県外全体：1.50）



市外訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：3.48（県外全体：2.77）



費目別の購入者割合、消費単価

※カッコ内は県外全体との差分

費目	購入者割合	平均消費額
宿泊代	54%	17,788円 (538円)
交通費	50%	10,297円 (-1,719円)
食事代	92%	8,574円 (781円)
お酒・ナイトエンターテイメント	48%	9,076円 (953円)
お土産・買い物代	74%	6,146円 (-190円)
施設入場料、レジャー・体験料、その他	38%	5,635円 (1,703円)
市内総消費単価	—	33,542円 (2,415円)

※費目別の平均消費額は購入者の平均値

満足度（大変満足、ほぼ満足の割合） ※カッコ内は県外全体との差分

観光施設・体験	76%	(7pt)
景観・街の雰囲気	80%	(4pt)
宿泊施設	82%	(5pt)
食事	80%	(3pt)
お酒・ナイトエンターテイメント	63%	(3pt)
お土産・買い物	70%	(3pt)
イベント・伝統行事	66%	(14pt)
総合評価	88%	(5pt)

2 県外の初回来訪者

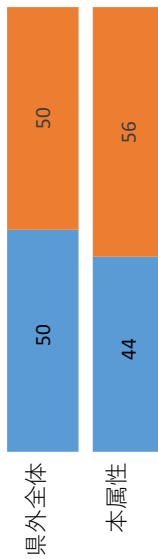
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=130、沖縄市来訪者のうち県外全体：N=530

▼属性

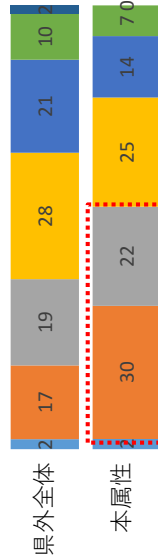
<性別>

■男性 ■女性



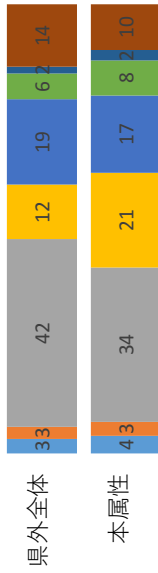
<年代>

■10代 ■20代 ■30代 ■40代
■50代 ■60代 ■70代以上



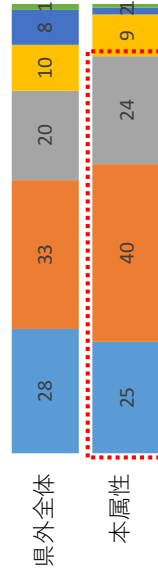
<居住地>

■北海道 ■東北 ■関東 ■中部
■近畿 ■中国 ■四国 ■九州



<同行者>

■ひとり ■友人 ■家族 ■夫婦・パートナー
■同僚 ■その他



※カッコ内は県外全体のスコア

沖縄県 来訪回数	2.8回	(5.4回)
沖縄市 来訪回数	1.0回	(4.0回)
旅行全体泊数	2.5泊	(3.2泊)
沖縄市泊数	1.6泊	(2.0泊)
同行人数	2.7人	(2.7人)

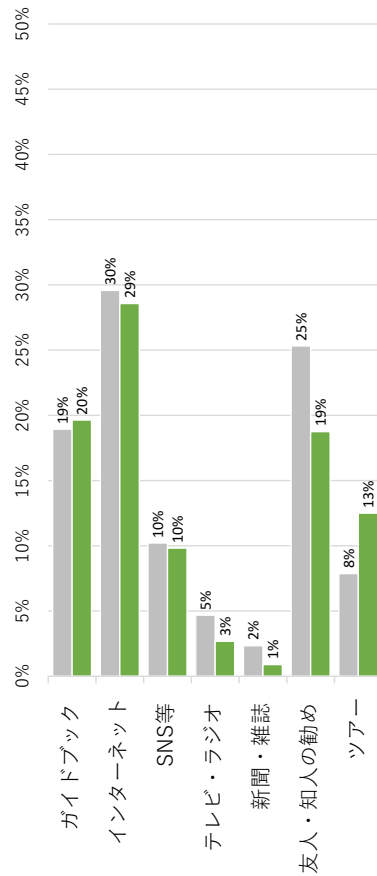
※来訪回数について、H30は7回以上を7回として、R1、R2は10回以上は10回として平均値を算出

※宿泊数について、H30は5泊以上を5泊として、R1、R2は11泊以上は11泊として平均値として算出

※同行人数は、H30は6人以上を6人として、R1、R2は31人以上は31人として平均値として算出

▼情報源・媒体

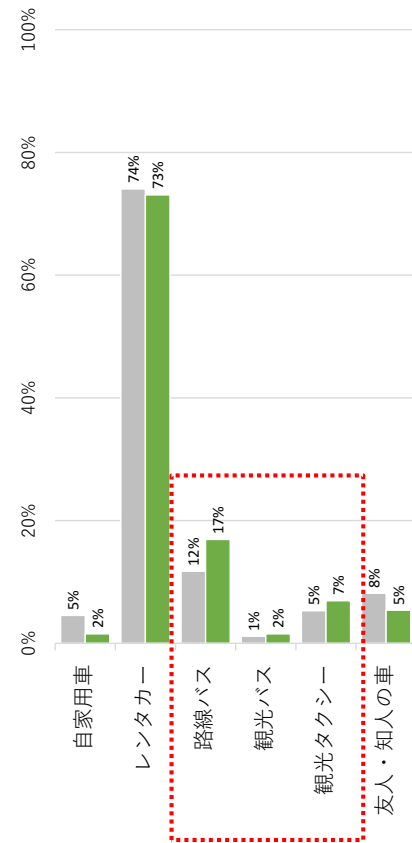
■県外全体 ■本属性



※インターネットはKOZAWEB、協会HP、その他インターネットを選択した方
※ツアーは旅行会社の勧め、ツアーの一部を選択した方

▼交通手段

■県外全体 ■本属性

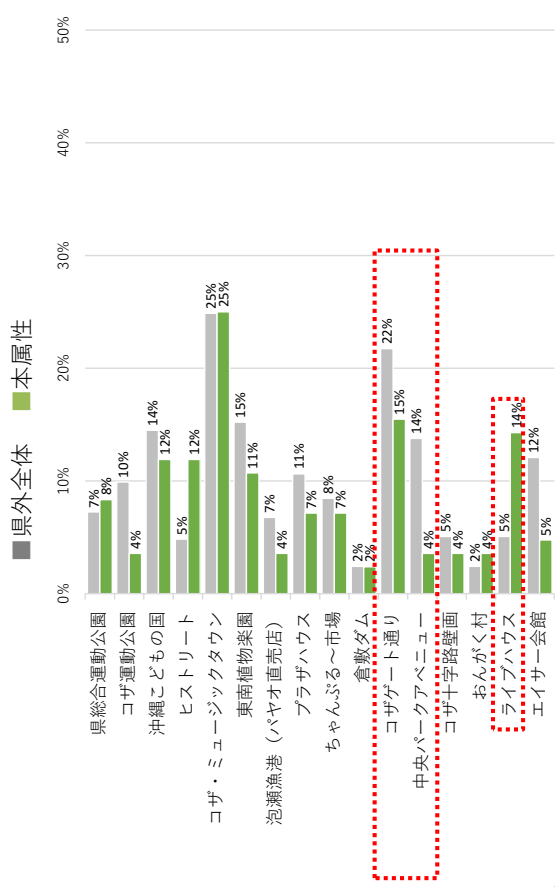


2 県外の初回来訪者

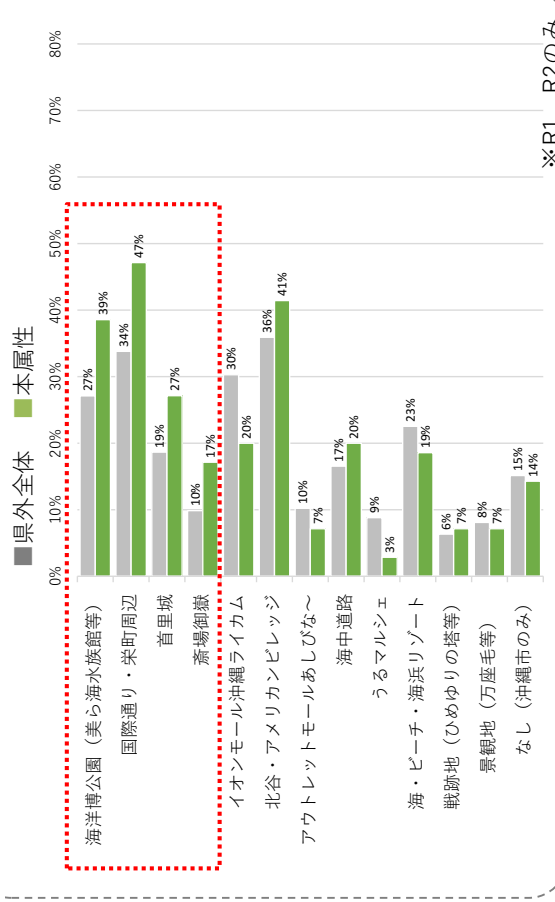
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=130、沖縄市来訪者のうち県外全体：N=530

▼市内訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：1.09（県外全体：1.50）



▼市外訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：2.89（県外全体：2.77）



▼費目別の購入者割合、消費単価

費目	購入者割合	平均消費額
宿泊代	56%	12,431円
交通費	54%	7,132円
食事代	83%	5,409円
お酒・ナイトエンターテイメント	37%	6,058円
お土産・買い物代	63%	5,615円
施設入場料、リジャー・体験料、その他	52%	3,064円
市内総消費単価	—	22,612円

※カッコ内は県外全体との差分
※費目別の平均消費額は購入者の平均値

▼満足度（大変満足、ほぼ満足の割合） ※カッコ内は県外全体との差分

観光施設・体験	68%	(-1pt)
景観・街の雰囲気	74%	(-3pt)
宿泊施設	79%	(2pt)
食事	82%	(5pt)
お酒・ナイトエンターテイメント	68%	(8pt)
お土産・買い物	67%	(0pt)
イベント・伝統行事	53%	(1pt)
総合評価	80%	(-3pt)

3 県外のビジネス客

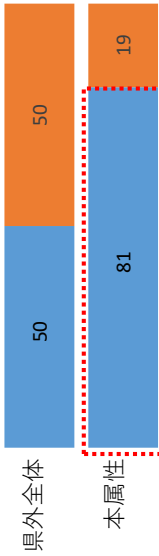
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=101、沖縄市来訪者のうち県外全体：N=530

▼属性

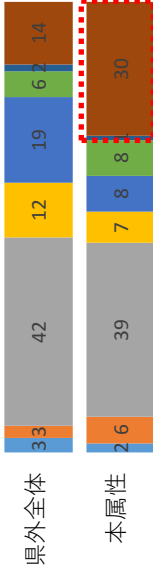
<性別>

■ 男性 ■ 女性



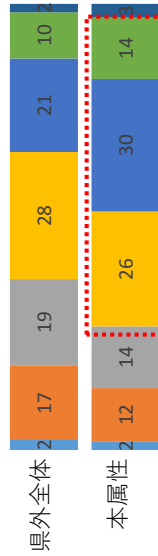
<居住地>

■ 北海道 ■ 関東 ■ 中部
■ 近畿 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州



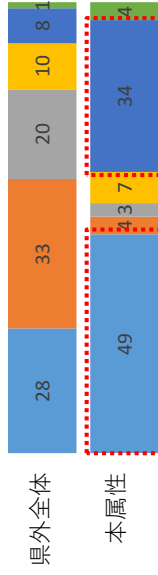
<年代>

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上



<同行者>

■ ひとり ■ 家族 ■ 夫婦・パートナー
■ 友人 ■ 同僚 ■ その他



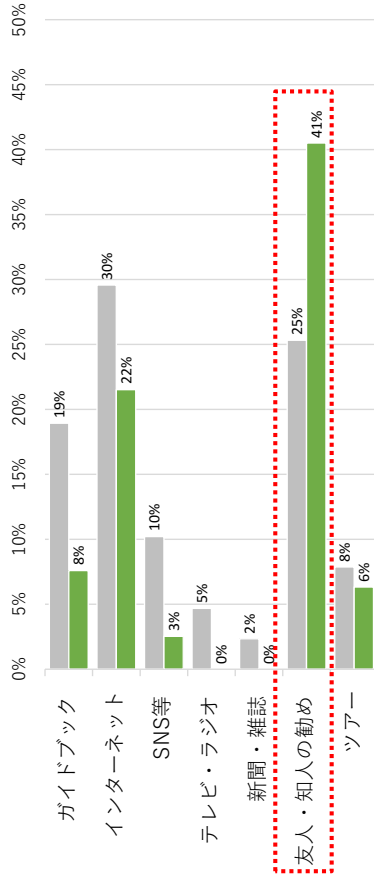
※カッコ内は県外全体のスコア

沖縄県 来訪回数	6.5回	(5.4回)
沖縄市 来訪回数	5.0回	(4.0回)
旅行全体泊数	3.2泊	(3.2泊)
沖縄市泊数	2.8泊	(2.0泊)
同行人数	2.2人	(2.7人)

※来訪回数について、H30は7回以上を7回として、R1、R2は10回以上は10回として平均値を算出
※宿泊数について、H30は5泊以上を5泊として、R1、R2は11泊以上は11泊として平均値として算出
※同行人数は、H30は6人以上を6人として、R1、R2は31人以上は31人として平均値として算出

▼情報源・媒体

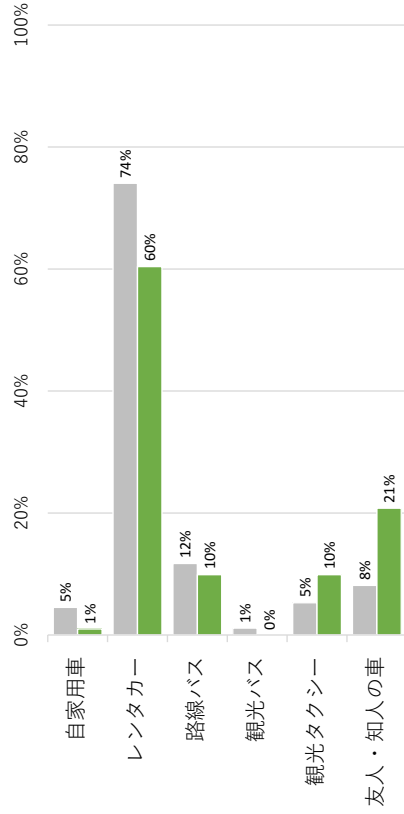
■ 県外全体 ■ 本属性



※インターネットはKOZAWEB、協会HP、その他インターネットを選択した方
※ツアーは旅行会社の勧め、ツアーの一部を選択した方

▼交通手段

■ 県外全体 ■ 本属性

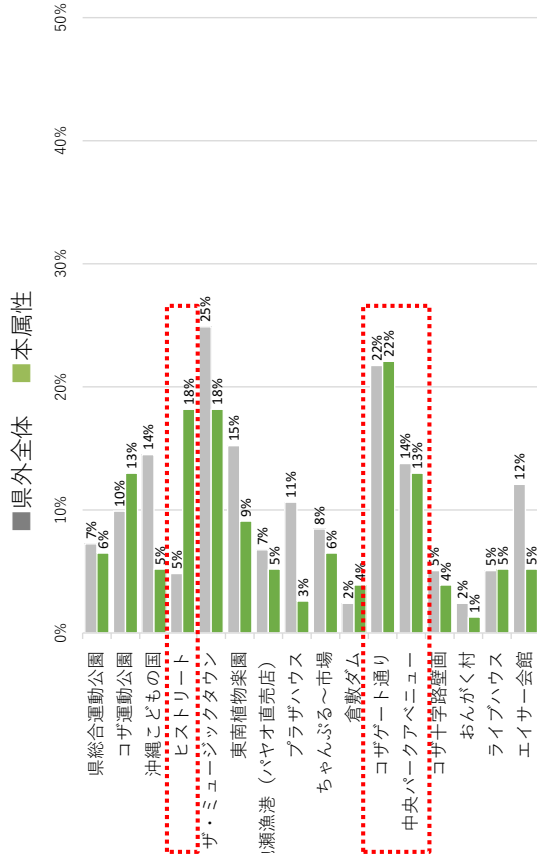


3 県外のビジネス客

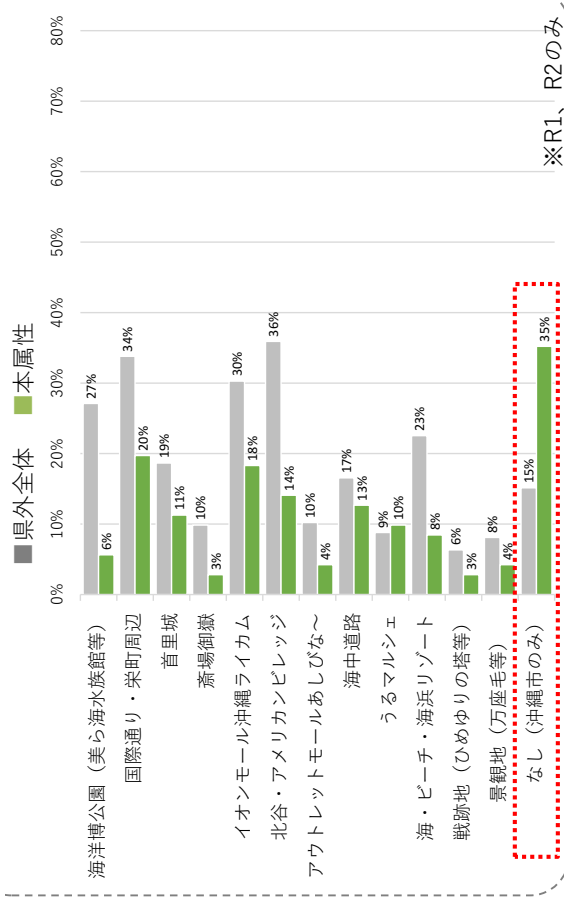
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=101、沖縄市来訪者のうち県外全体：N=530

市内訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：1.24（県外全体：1.50）



市外訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：1.58（県外全体：2.77）



費目別の購入者割合、消費単価

費目	購入者割合	平均消費額
宿泊代	73%	21,883円
交通費	60%	24,310円
食事代	90%	11,584円
お酒・ナイトエンターテイメント	56%	12,044円
お土産・買い物代	56%	8,083円
施設入場料、レンタカー・体験料、その他	21%	2,870円
市内総消費単価	—	52,941円

※カッコ内は県外全体との差分

※費目別の平均消費額は購入者の平均値

満足度（大変満足、ほぼ満足の割合）

項目	割合	差分
観光施設・体験	48%	(-20pt)
景観・街の雰囲気	77%	(0pt)
宿泊施設	80%	(3pt)
食事	71%	(-6pt)
お酒・ナイトエンターテイメント	58%	(-2pt)
お土産・買い物	59%	(-8pt)
イベント・伝統行事	34%	(-17pt)
総合評価	80%	(-3pt)

※カッコ内は県外全体との差分

4 県内のファミリー層

出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=98 沖縄市来訪者のうち県内全体：N=550

▼属性

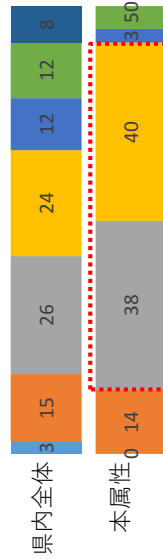
<性別>

■男性 ■女性



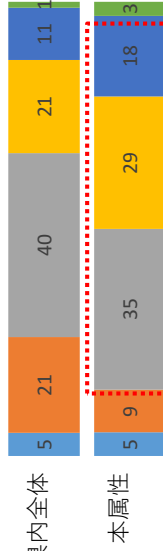
<年代>

■10代 ■20代 ■30代 ■40代
■50代 ■60代 ■70代以上



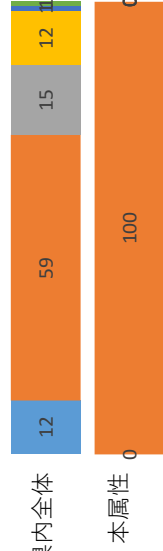
<居住地>

■本島北部 ■うるま市 ■那覇市
■本島中部（うるま市以外） ■離島
■本島南部（那覇市以外）



<同行者>

■ひとり ■家族 ■夫婦・パートナー
■友人 ■同僚 ■その他



※カッコ内は県内全体のスコア

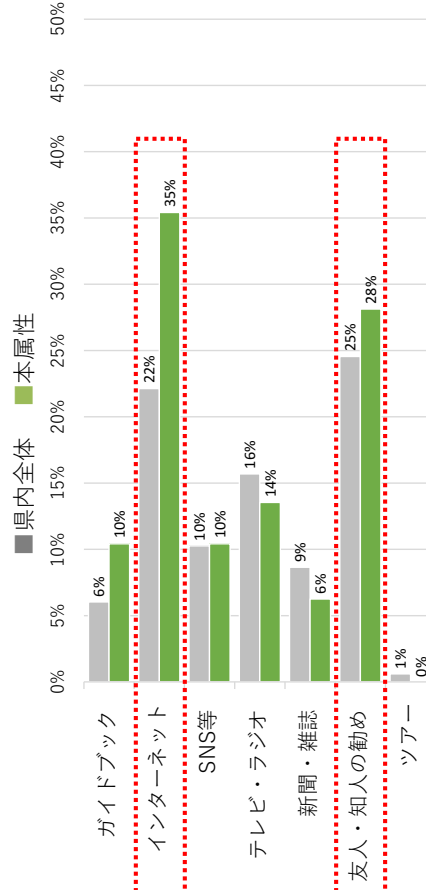
沖縄県 来訪回数	—	—
沖縄市 来訪回数	8.5回	(7.1回)
旅行全体泊数	0.3泊	(0.4泊)
沖縄市 泊数	0.4泊	(0.3泊)
同行人数	4.2人	(3.5人)

※来訪回数について、H30は7回以上を7回として、R1、R2は10回以上は10回として平均値を算出

※宿泊数について、H30は5泊以上を5泊として、R1、R2は11泊以上は11泊として平均値として算出

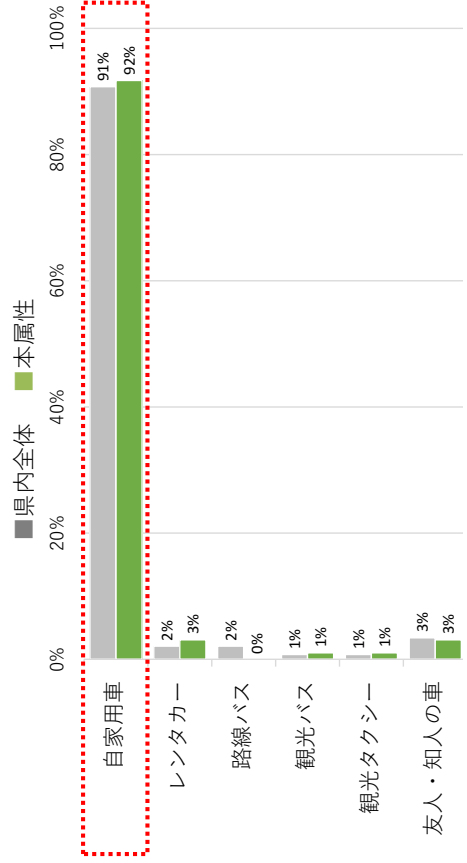
※同行人数は、H30は6人以上を6人として、R1、R2は31人以上は31人として平均値として算出

▼情報源・媒体



※インターネットはKOZAWEB、協会HP、その他インターネットを選択した方
※ツアーは旅行会社の勧め、ツアーの一部を選択した方

▼交通手段

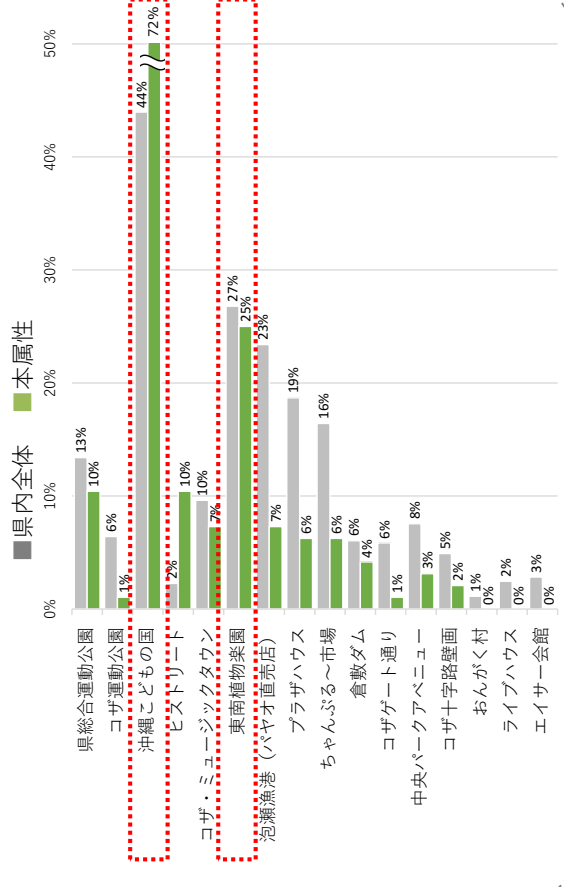


4 県内のファミリー層

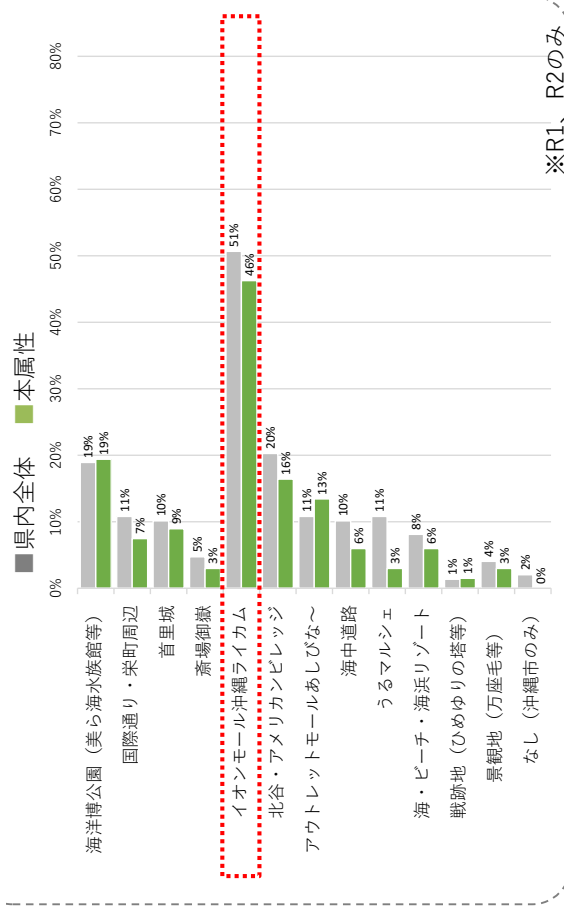
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）、
本属性：N=98 沖縄市来訪者のうち県内全体：N=550

▼市内訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：1.43（県内全体：1.96）



▼市外訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：2.40（県内全体：2.60）



▼費目別の購入者割合、消費単価

費目	購入者割合	平均消費額
宿泊代	14%	6,050円 (-229円)
交通費	7%	1,410円 (66円)
食事代	65%	1,932円 (29円)
お酒・ナイトエンターテイメント	11%	2,550円 (-2,169円)
お土産・買い物代	36%	3,611円 (68円)
施設入場料、レジャー・体験料、その他	73%	1,162円 (-455円)
市内総消費単価	—	4,607円 (-483円)

※費目別の平均消費額は購入者の平均値

▼満足度（大変満足、ほぼ満足の割合） ※カッコ内は県内全体との差分

観光施設・体験	88%	(12pt)
景観・街の雰囲気	78%	(6pt)
宿泊施設	24%	(-20pt)
食事	60%	(-13pt)
お酒・ナイトエンターテイメント	29%	(-25pt)
お土産・買い物	48%	(-12pt)
イベント・伝統行事	53%	(-15pt)
総合評価	89%	(7pt)

5 スポーツ観戦者層 (キングス)

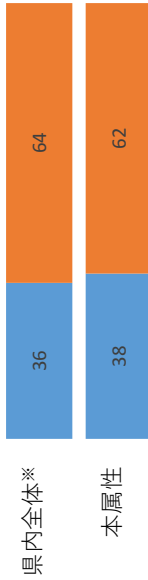
出典および
サンプル数

お客様動向調査アンケート (キングス試合対象、
沖縄市中心市街地活性化協議会、H30)、N = 1,010

▼属性 ※本属性 (調査結果) の92.3%が県内在住者のため、比較対象として、
観光客アンケート調査結果 (沖縄市、H30-R2) の県内全体の数値を掲載

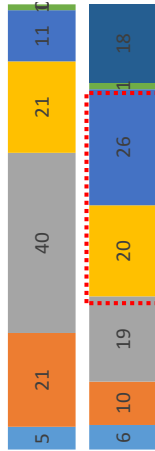
<性別>

■ 男性 ■ 女性



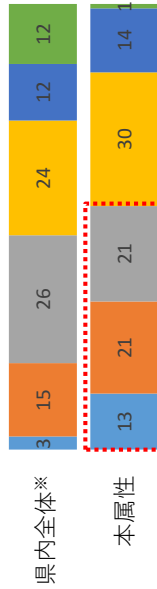
<居住地>

■ 本島北部 (うるま市) ■ 那覇市
■ 本島中部 (うるま市以外) ■ 沖縄市
■ 本島南部 (那覇市以外) ■ 離島
※本属性は沖縄市民を含む



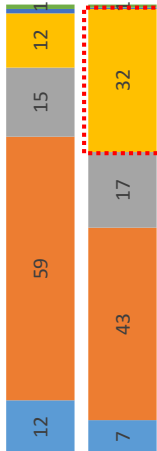
<年代>

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上



<同行者>

■ ひとり ■ 家族 ■ 夫婦・パートナー
■ 友人 ■ 同僚 ■ その他



※カッコ内は県内全体のスコア

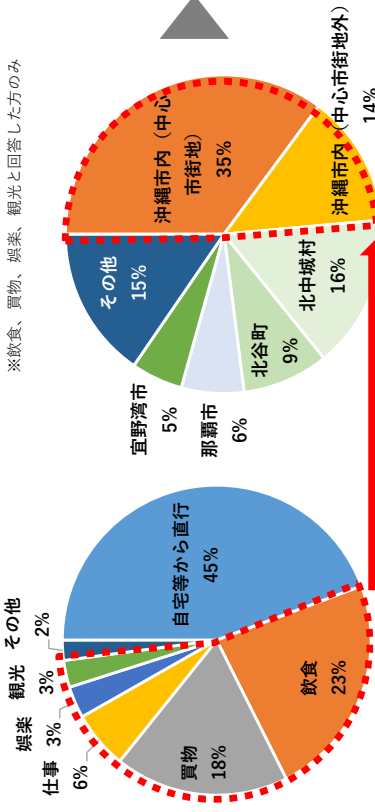
沖縄県 来訪回数	-	(-)
沖縄市 来訪回数	-	(-)
旅行全体泊数	-	(-)
沖縄市泊数	-	(-)
同行人数	2.9人	(3.5人)

※本属性の同行人数は、10人以上を10人として平均値を算出
※カッコ内の比較対象の同行人数は、H30は6人以上を6人として、R1、R2は31人以上は31人として平均値として算出

▼観戦前後の行動、消費金額

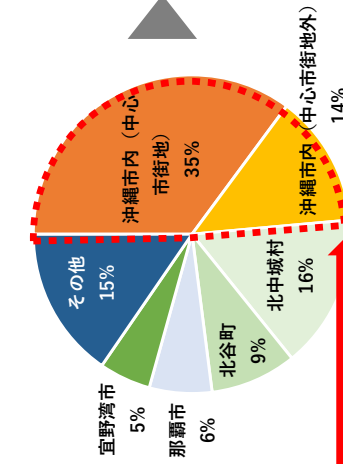
<観戦前にしたこと>

※飲食、買物、娯楽、観光と回答した方のみ



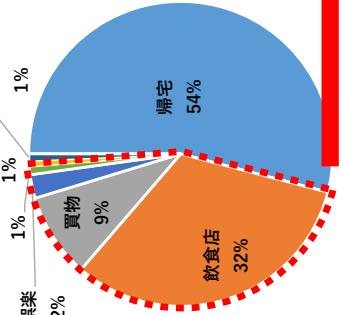
<観戦前に立ち寄った地域>

※飲食、買物、娯楽、観光と回答した方のみ



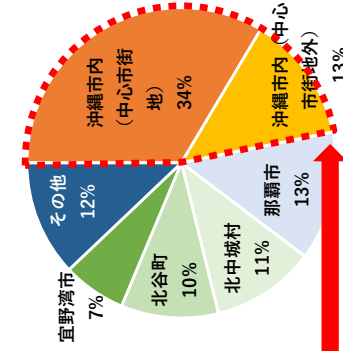
<観戦後にしたこと>

※飲食、買物、娯楽、観光と回答した方のみ



<観戦後に立ち寄った地域>

※飲食、買物、娯楽、観光と回答した方のみ



<平均消費金額 > 3,082円

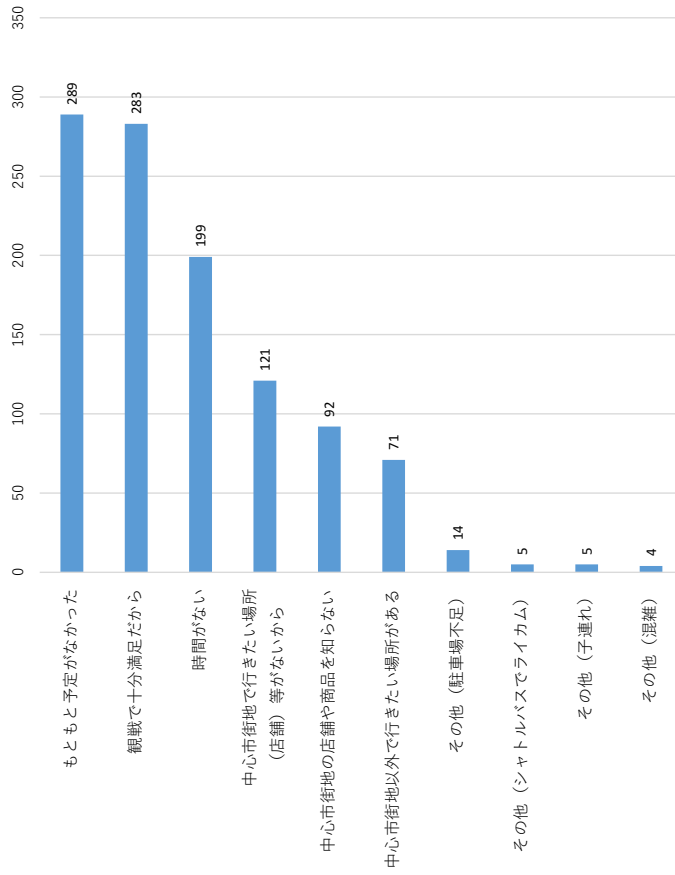
<平均消費予定金額 > 4,371円

5 スポーツ観戦者層（キングス）

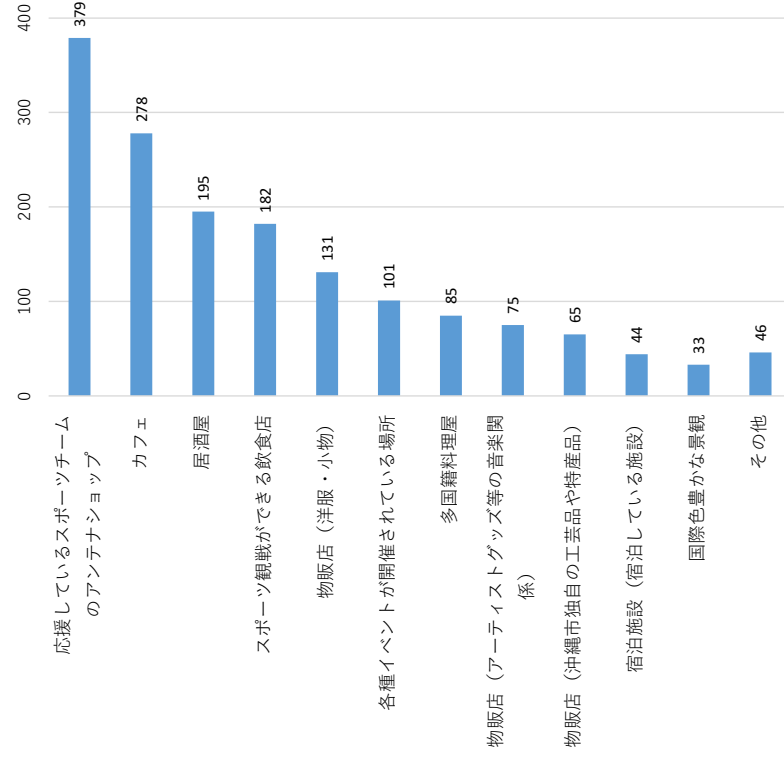
出典および
サンプル数

お客様動向調査アンケート（キングス試合対象、
沖縄市中心市街地活性化協議会、H30）、N = 1,010

▼観戦前後に沖縄市中心部に立ち寄らない理由



▼どのような場所があれば観戦前後に立ち寄るか



5 スポーツ観戦者層 (FC琉球)

出典および
サンプル数

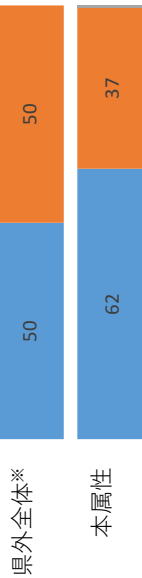
スポーツ観光誘客促進事業 (FC琉球試合対象、
OCVB、R1.10)、N=170

※東京ヴェルディ、大宮アルディージャ戦

▼属性 (調査結果) の調査対象は県外在住者のため、比較対象として、
観光客アンケート調査結果 (沖縄市、H30-R2) の県外全体の数値を掲載

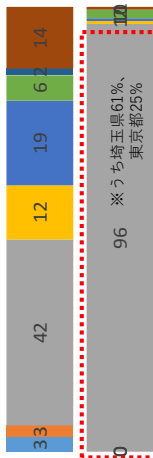
<性別>

■ 男性 ■ 女性



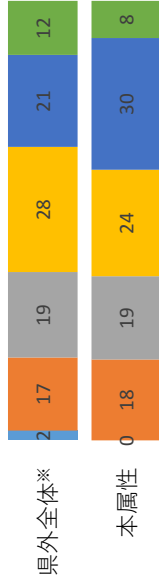
<居住地>

■北海道 ■東北 ■関東 ■中部
■近畿 ■中国 ■四国 ■九州



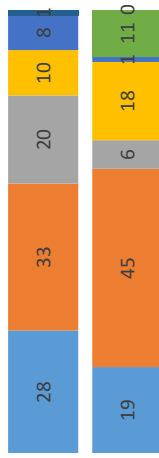
<年代>

■10代 ■20代 ■30代
■40代 ■50代 ■60代以上



<同行者>

■ひとり ■家族
■夫婦・パートナー ■友人 ■同僚
■サポーター・仲間 ■その他

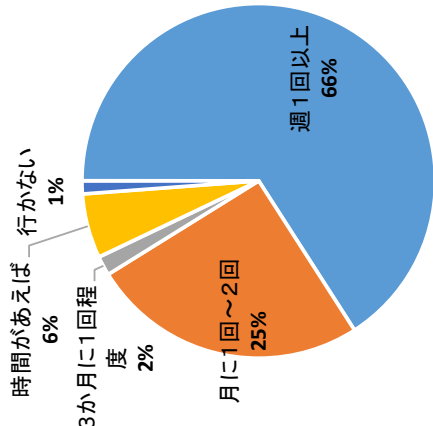


※カッコ内は県外全体のスコア

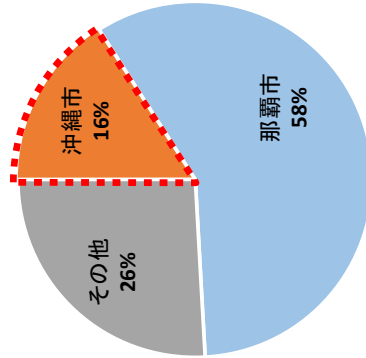
沖縄県 来訪回数	3.9回	(5.4回)
沖縄市 来訪回数	-	(-)
旅行全体泊数	-	(-)
沖縄市 泊数	-	(-)
同行人数	-	(-)

※本属性の来訪回数は、7回以上を7回として平均値を算出
※県外全体の来訪回数について、H30は7回以上を7回として、R1、R2は10回以上を10回として平均値を算出

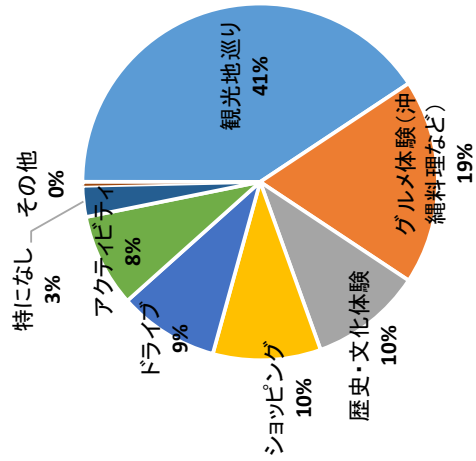
▼普段のスポーツ観戦の頻度



▼宿泊先



▼観戦以外の沖縄旅行の予定



5 スポーツ観戦者層 (FC琉球)

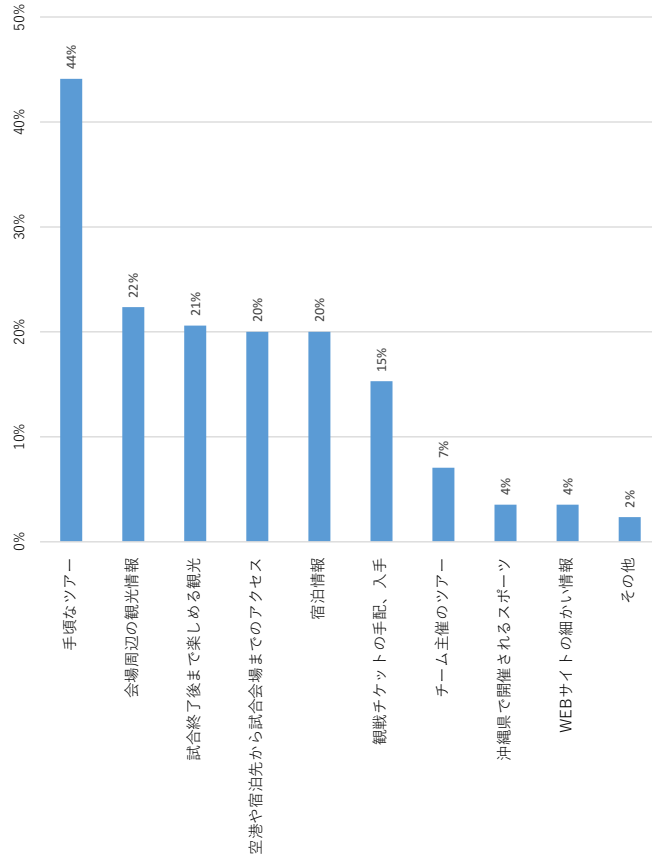
出典および
サンプル数

スポーツ観光誘客促進事業 (FC琉球試合対象、

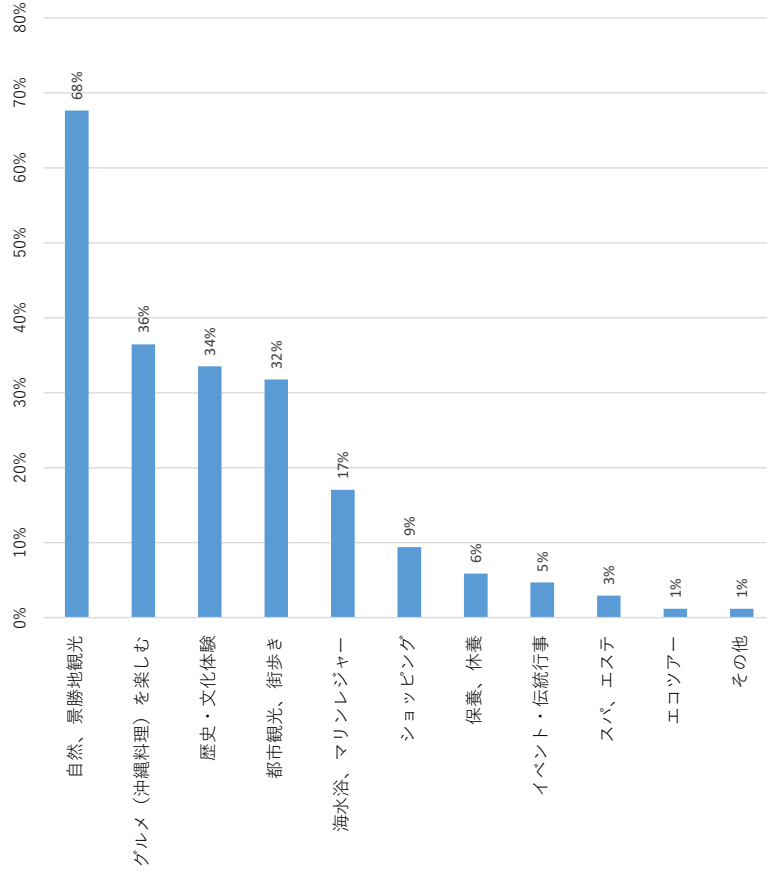
OCVB、R1.10)、N=170

※東京ヴェルディ、大宮アルディージャ戦

▼沖縄でのスポーツ観戦の際に重要視したこと



▼スポーツ観戦以外で沖縄観光でやりたいこと



6 インバウンド客

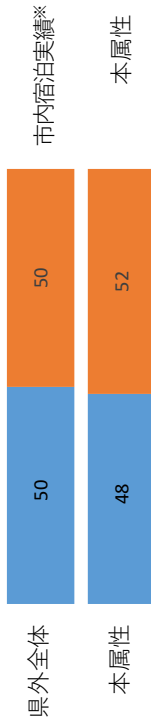
出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R1）、
N=123

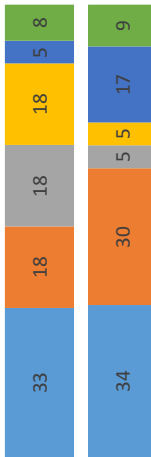
▼属性 (調査結果) の比較対象として、性別、年代、同行者は観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R2）の県外全体の数値を掲載。居住地については、沖縄市宿泊実績把握調査（沖縄市、R1）の数値を掲載

属性

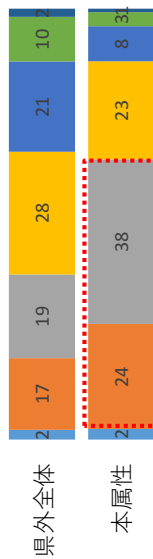
性別



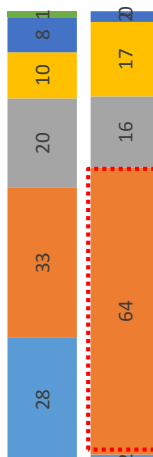
国籍



年代



同行者

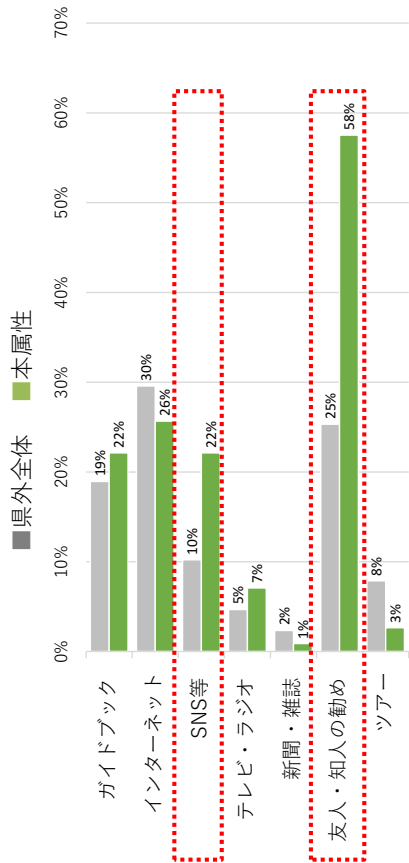


※カッコ内は県外全体のスコア

沖縄県 来訪回数	1.9回	(5.4回)
沖縄市 来訪回数	2.0回	(4.0回)
旅行全体泊数	4.0泊	(3.2泊)
沖縄市 泊数	2.3泊	(2.0泊)
同行人数	4.4人	(2.7人)

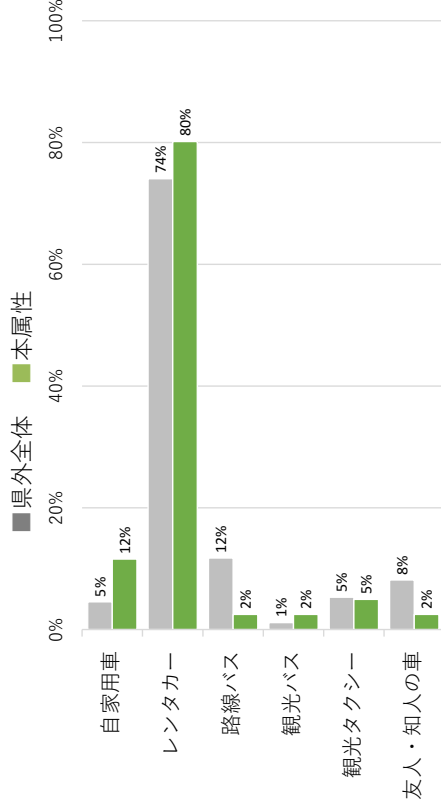
※来訪回数について、H30は7回以上を7回として、R1、R2は10回以上は10回として平均値を算出
 ※宿泊数について、H30は5泊以上を5泊として、R1、R2は11泊以上は11泊として平均値として算出
 ※同行人数は、H30は6人以上を6人として、R1、R2は31人以上は31人として平均値として算出

情報源・媒体



※インターネットはKOZAWEB、協会HP、その他インターネットを選択した方
 ※ツアーは旅行会社の勧め、ツアーの一部を選択した方

交通手段

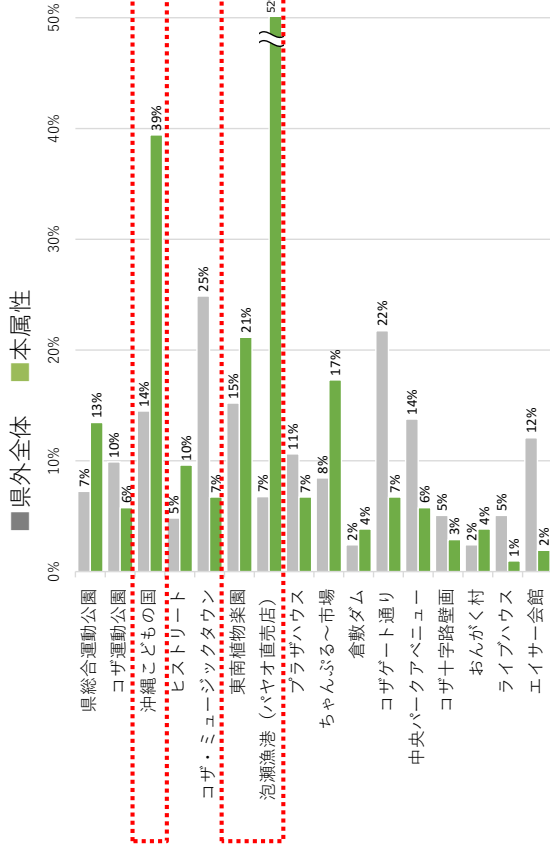


6 インバウンド客

出典および
サンプル数

観光客アンケート調査結果（沖縄市、H30-R1）、
N=123

▼市内訪問箇所 平均訪問箇所数 本属性：1.66（県外全体：1.50）



（未取得）

▼市外訪問箇所

▼費目別の購入者割合、消費単価

※カッコ内は県外全体との差分

費目	購入者割合	平均消費額
宿泊代	73%	17,717円 (467円)
交通費	85%	6,455円 (-5,561円)
食事代	84%	12,290円 (4,498円)
お酒・ナイトエンターテイメント	23%	7,836円 (-287円)
お土産・買い物代	66%	14,211円 (7,875円)
施設入場料、レンタカー・体験料、その他	64%	5,764円 (1,831円)
市内総消費単価	—	43,495円 (12,368円)

※費目別の平均消費額は購入者の平均値

▼満足度（大変満足、ほぼ満足の割合）※カッコ内は県外全体との差分

観光施設・体験	83%	(14pt)
景観・街の雰囲気	88%	(11pt)
宿泊施設	85%	(8pt)
食事	84%	(7pt)
お酒・ナイトエンターテイメント	62%	(2pt)
お土産・買い物	73%	(6pt)
イベント・伝統行事	68%	(16pt)
総合評価	89%	(6pt)

(2) 沖縄県の来訪セグメントの分析

沖縄市を来訪するセグメントとの比較として、また沖縄市では取り込めていないがターゲットとして検討するセグメントの参考として、沖縄県を来訪する代表的なセグメントについて抽出・設定した。

1) 来訪セグメントの設定

沖縄県の来訪セグメント分析にあたっては、沖縄県等にて実施している各種調査、代表的と考えられる来訪者像を6つ抽出し、分析整理を行った。

【各セグメントの概要】

セグメント		概要
1	子連れファミリー層	国内客の 17.9% 。令和元年度は697万8,800人のうち約 124万9,200人 と推計。
2	シニア層	60代以上は国内客の 29.3% （60代19.8%、70代8.5%、80代以上1.0%）。令和元年度は697万8,800人のうち約 204万4,800人 と推計。
3	学生・若者	10代・20代は国内客の 8.1% （10代0.7%、20代7.4%）。令和元年度は697万8,800人のうち約 56万5,300人 と推計。
4	おひとりさま	国内客の 24.1% 。令和元年度は697万8,800人のうち約 168万1,900人 と推計。
5	インバウンド客（空路）	令和元年度の外国人観光客は約249万0400人（入域客全体の26.3%）。うち空路客は約 142万7200人 （外国人観光客の57.3%）。
6	クルーズ客（中城湾港）	令和元年度の外国人海路客は約106万3200人（外国人観光客の42.7%）。中城湾港では、令和元年度に23回の寄港実績。

2) 来訪セグメントの抽出条件

沖縄県の来訪セグメントの設定にあたっては、沖縄県や中部広域市町村圏事務組合にて実施している観光客アンケート等を用いて、同行者や年代等の項目にて条件を設定し抽出を行った。

【各セグメントにおける抽出条件および参考元（出典）について】

セグメント	出典	抽出条件			サンプル数
		同行者	年代	その他	
1 子連れファミリー層	令和元年度観光統計実態調査 (沖縄県観光政策課、R2.10.5公表)	子ども連れ家族	-	-	(推計値)
2 シニア層	令和元年度観光統計実態調査 (沖縄県観光政策課、R2.10.5公表)	-	60代以上	-	(推計値)
3 学生・若者	令和元年度観光統計実態調査 (沖縄県観光政策課、R2.10.5公表)	-	10代 20代	-	(推計値)
4 おひとりさま	令和元年度観光統計実態調査 (沖縄県観光政策課、R2.10.5公表)	1人	-	-	(推計値)
5 インバウンド客（空路）	令和元年度外国人観光客実態調査 (沖縄県観光政策課、R2.10.5公表)	-	-	中国・韓国・香港・台湾等	(推計値)
6 クルーズ客（中城湾港）	令和元年度経済波及効果アンケート調査業務報告書 (中部広域市町村圏事務組合、R2.9)	-	-	中城湾港	568

4) 来訪セグメント分析の結果

来訪セグメントについては、属性、活動、宿泊タイプ、旅行形態、消費金額等を中心に分析を行った。以下に概要として、属性や観光行動について来訪セグメント毎にとりまとめた表を示す。また、各来訪セグメントの詳細について、次頁以降に示す。

【沖縄県来訪者の各セグメントにおける結果概要】

	子連れファミリー層	シニア層	学生・若者
属性	<ul style="list-style-type: none"> 30～40代がメインであり、世帯年収はやや高い。 沖縄県の泊数は3.1泊とやや長期の滞在。 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県への来訪回数は多く、泊数も多い傾向。 同行者は夫婦が最も高く、次いでひとり、友人の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の割合が高い。 同行者は、夫婦・恋人、ひとり、友人・知人が多い。⇒全体と比較して友人・知人の割合は高い。 泊数はやや長期。
観光行動	<ul style="list-style-type: none"> 観光地めぐり、海水浴・マリンが主な活動。 特に海水浴・マリンの割合は高く、夏季の来訪が高いと想定。 主にリゾートホテルに宿泊し、フリープランで手配をする傾向。 消費は非常に活発である。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地めぐりが主な活動。 宿泊タイプはリゾートホテルもしくはシティホテルが多い。 個人旅行もしくはフリープランでの手配が主だが、団体、パッケージによる手配も一定程度いる。 消費はやや積極的だが、宿泊費や娯楽については節約する傾向。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地めぐり、沖縄料理が主な活動。 リゾートホテル等の割合も高いが、<u>民宿・ドミトリー等の安価な宿泊施設にも宿泊する傾向がある。</u> 個人旅行での手配が主であり、<u>団体、パッケージは僅か。</u> 消費は全体的に消極的だが、娯楽・入場費のみやや高い傾向。
	おひとりさま	インバウンド客 (空路)	クルーズ客 (中城湾港)
属性	<ul style="list-style-type: none"> 県来訪回数は10回と多い。 男性の割合が高く、40～50代が半数を占めている。 泊数は2.5泊。 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾が最も多く約4割。 年代は30代、同行者は家族が多い。 香港はリピーターが多く、中国は初回来訪者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾発は単一国籍（台湾）が殆どであり、夫婦・家族、友人がおよそ半数ずつ。 香港発は多国籍のため、オーストラリア等が含まれる。
観光行動	<ul style="list-style-type: none"> 観光地目的の他、<u>仕事目的の来訪が多い。</u> 仕事目的の来訪者はビジネスホテル、観光目的の方は民宿、ドミトリー等への宿泊施設利用が多いと推察。 リゾートホテル利用の割合は低い。 旅行の手配は個人旅行がほとんど。 泊数は平均的だが、消費はかなり消極的。 	<ul style="list-style-type: none"> 泊数は中国、香港、台湾、韓国の順に多い。 ショッピング、沖縄料理、自然・景観地観光等の体験が多い。 台湾、中国の宿泊タイプは市街地にあるホテルが多い。 韓国はリゾートホテルにも宿泊する傾向。 ほとんどの旅行形態は個人旅行。 消費は、中国、香港、韓国、台湾の順に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄港地の活動については、台湾発はショッピングが最も多い。香港発はレジャーが最も多い。 利用交通機関は、台湾発はタクシーが最も多い、香港発はシャトルバスが最も多い。 沖縄本島へ上陸後の訪問地は主にアメリカンビレッジ、イオンモール沖縄ライカム、イオン具志川。 消費のほとんどが上記施設。

1 子連れファミリー層

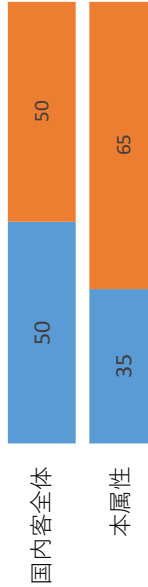
出典および
シェア等

令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）。国内客の17.9%。令和元年度推計値：約124万9,200人

▼属性

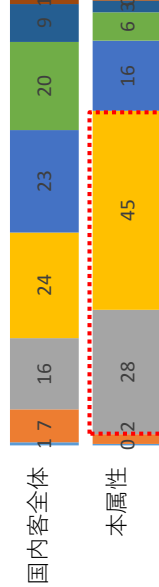
<性別>

■男性 ■女性



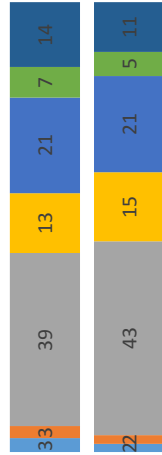
<年代>

■10代 ■20代 ■30代 ■40代
■50代 ■60代 ■70代 ■80代以上



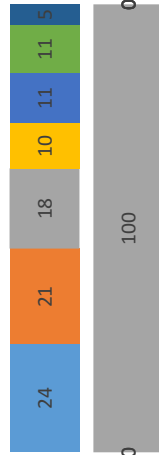
<居住地>

■北海道 ■東北 ■関東 ■中部
■近畿 ■中国・四国 ■九州



<同行者>

■ひとり ■夫婦・恋人
■子ども連れ家族 ■その他家族
■友人・知人 ■仕事仲間 ■その他



※カッコ内は国内客全体のスコア

県来訪問回数	5.7回	(7.3回)
泊数	3.1泊	(2.6泊)
世帯年収	870万円	(756万円)

※来訪回数について、20回以上を20回として平均値を算出
※泊数について、7泊以上を7泊として平均値として算出
※世帯年収について、1500万円以上を1500万円として平均値として算出

▼活動、宿泊タイプ、旅行形態

<活動> ※10%以上の項目、降順

観光地めぐり	70.7	(11.4)
海水浴・マリン	67.0	(42.0)
沖縄料理	54.8	(14.7)
保養・休養	36.7	(8.8)
ショッピング	31.3	(6.9)
伝統工芸・芸能体験	10.1	(4.4)

<宿泊タイプ>

リゾートホテル	72.7	(22.2)
シティホテル	24.6	(-0.9)
ビジネスホテル	7.8	(-16.4)
その他(民宿、ドミトリ等)	16.6	(0.9)

<旅行形態>

団体旅行	0.9	(-7.4)
パッケージ旅行	3.5	(-2.9)
フリープラン	37.7	(10.4)
個人旅行	57.9	(0.0)

※カッコ内は国内客全体との差分

▼消費金額

※カッコ内は国内客全体との差分

宿泊費	37,840円	(11,645円)
交通費	10,818円	(858円)
土産・買物費	15,597円	(1,314円)
飲食費	21,608円	(3,885円)
娯楽・入場費	9,545円	(2,105円)
合計(総消費単価)	96,769円	(19,782円)

2 シニア層

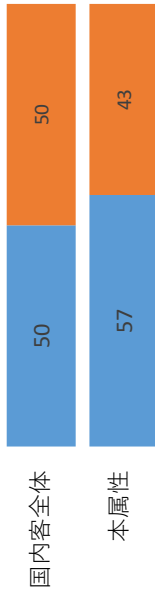
出典および
シェア等

令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）。国内客の29.3%。令和元年度推計値：約204万4,800人

▼属性

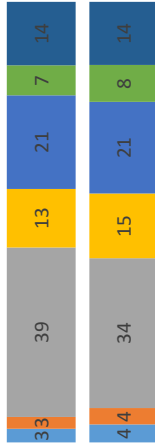
<性別>

■男性 ■女性



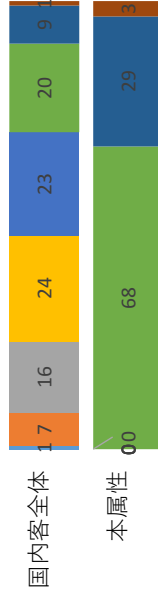
<居住地>

■北海道 ■東北 ■関東 ■中部
■近畿 ■中国・四国 ■九州



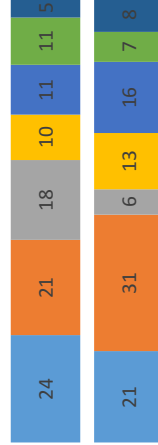
<年代>

■10代 ■20代 ■30代 ■40代
■50代 ■60代 ■70代 ■80代以上



<同行者>

■ひとり ■夫婦・恋人
■子ども連れ家族 ■その他家族
■友人・知人 ■仕事仲間 ■その他



※カッコ内は国内客全体のスコア

県来訪回数	7.6回	(7.3回)
泊数	2.7泊	(2.6泊)
世帯年収	619万円	(756万円)

※来訪回数について、20回以上を20回として平均値を算出
※泊数について、7泊以上を7泊として平均値として算出
※世帯年収について、1500万円以上を1500万円として平均値として算出

▼活動、宿泊タイプ、旅行形態

<活動> ※10%以上の項目、降順

観光地めぐり	63.3	(4.0)
沖縄料理	30.2	(-9.8)
保養・休養	23.1	(-4.8)
ショッピング	21.3	(-3.1)
海水浴・マリンスポーツ	11.4	(-13.5)
会議・研修	10.9	(2.2)
戦跡地参拝	10.8	(3.9)

<宿泊タイプ>

リゾートホテル	54.9	(4.5)
シティホテル	28.2	(2.7)
ビジネスホテル	18.7	(-5.4)
その他（民宿、ドミトリ等）	11.6	(-4.1)

<旅行形態>

団体旅行	11.6	(3.3)
パッケージ旅行	15.2	(8.7)
フリープラン	25.3	(-2.0)
個人旅行	47.8	(-10.0)

※カッコ内は国内客全体との差分

▼消費金額

※カッコ内は国内客全体との差分

宿泊費	25,766円	(-429円)
交通費	10,540円	(580円)
土産・買物費	14,668円	(385円)
飲食費	17,854円	(131円)
娯楽・入場費	7,000円	(-440円)
合計（総消費単価）	77,441円	(454円)

3 学生・若者

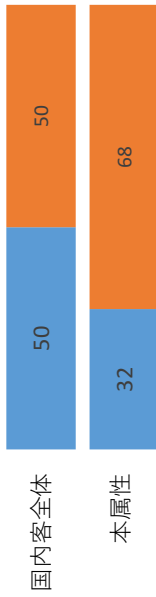
出典および
シェア等

令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）。国内客の8.1%。令和元年度推計値：約56万5,300人

▼属性

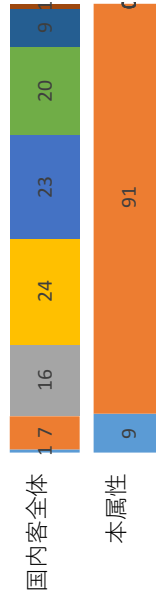
<性別>

■ 男性 ■ 女性



<年代>

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上



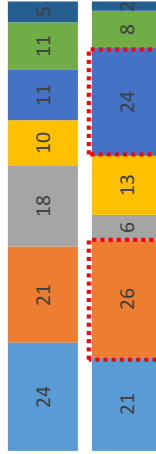
<居住地>

■ 北海道 ■ 関東 ■ 中部
■ 近畿 ■ 中国・四国 ■ 九州



<同行者>

■ ひとり ■ 夫婦・恋人
■ 子ども連れ家族 ■ その他家族
■ 友人・知人 ■ 仕事仲間 ■ その他



※カッコ内は国内客全体のスコア

県来訪問回数	4.3回	(7.3回)
泊数	2.7泊	(2.6泊)
世帯年収	600万円	(756万円)

※来訪回数について、20回以上を20回として平均値を算出
※泊数について、7泊以上を7泊として平均値として算出
※世帯年収について、1500万円以上を1500万円として平均値として算出

▼活動、宿泊タイプ、旅行形態

<活動> ※10%以上の項目、降順

観光地めぐり	69.9 (10.6)
沖縄料理	56.4 (16.4)
海水浴・マリリン	34.6 (9.6)
保養・休養	33.1 (5.2)
ショッピング	32.7 (8.3)

<宿泊タイプ>

リゾートホテル	47.1 (-3.4)
シティホテル	19.4 (-6.1)
ビジネスホテル	23.8 (-0.4)
その他(民宿、ドミトリ等)	24.7 (9.0)
旅行形態	
団体旅行	5.7 (-2.6)
パッケージ旅行	2.0 (-4.5)
フリープラン	25.8 (-1.5)
個人旅行	66.5 (8.7)

※カッコ内は国内客全体との差分

▼消費金額

※カッコ内は国内客全体との差分

宿泊費	22,241円	(-3,954円)
交通費	9,639円	(-321円)
土産・買物費	13,142円	(-1,141円)
飲食費	16,497円	(-1,226円)
娯楽・入場費	7,550円	(110円)
合計(総消費単価)	69,618円	(-7,369円)

4 おひとりさま

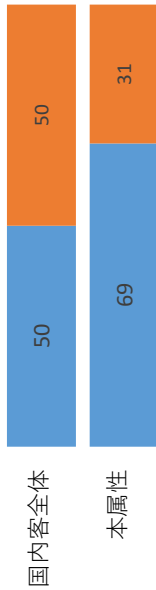
出典および
シェア等

令和元年度観光統計実態調査（沖縄県）。国内客の24.1%。令和元年度推計値：約168万1,900人

▼属性

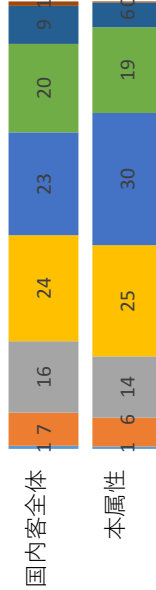
<性別>

■男性 ■女性



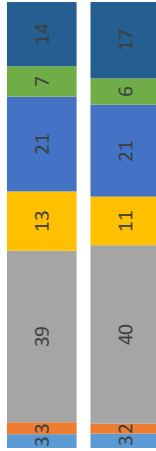
<年代>

■10代 ■20代 ■30代 ■40代
■50代 ■60代 ■70代 ■80代以上



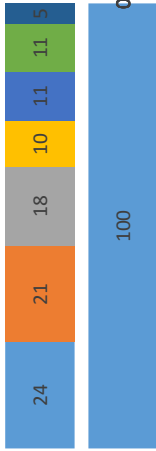
<居住地>

■北海道 ■東北 ■関東 ■中部
■近畿 ■中国・四国 ■九州



<同行者>

■ひとり ■夫婦・恋人
■子ども連れ家族 ■その他家族
■友人・知人 ■仕事仲間 ■その他



※カッコ内は国内客全体のスコア

県来訪回数	10.7回	(7.3回)
泊数	2.5泊	(2.6泊)
世帯年収	770万円	(756万円)

※来訪回数について、20回以上を20回として平均値を算出
※泊数について、7泊以上を7泊として平均値として算出
※世帯年収について、1500万円以上を1500万円として平均値として算出

▼活動、宿泊タイプ、旅行形態

<活動> ※10%以上の項目、降順

観光地めぐり	31.0	(-28.3)
仕事	30.8	(17.7)
沖縄料理	26.1	(-14.0)
保養・休養	24.4	(-3.6)
ショッピング	14.1	(-10.3)
会議・研修	13.1	(4.4)
友人・知人訪問	11.2	(4.1)

<宿泊タイプ>

リゾートホテル	14.7	(-35.8)
シティホテル	22.7	(-2.8)
ビジネスホテル	44.3	(20.2)
その他(民宿、ドミトリ等)	26.1	(10.4)

<旅行形態>

団体旅行	1.0	(-7.4)
パッケージ旅行	1.3	(-5.1)
フリープラン	14.7	(-12.6)
個人旅行	83.0	(25.1)

※カッコ内は国内客全体との差分

▼消費金額

※カッコ内は国内客全体との差分

宿泊費	18,622円	(-7,573円)
交通費	8,462円	(-1,498円)
土産・買物費	9,682円	(-4,601円)
飲食費	13,641円	(-4,082円)
娯楽・入場費	5,109円	(-2,331円)
合計(総消費単価)	56,567円	(-20,420円)

5 インバウンド客（空路）

出典および
シェア等

令和元年度外国人観光客実態調査（沖縄県）。空
路客は約142万7,200人（外国人観光客の57.3%）

	台湾	韓国	香港	中国
入域観光客数（空路のみ）	612,700人 (空路シェア42.9%)	246,700人 (空路シェア17.3%)	215,800人 (空路シェア15.1%)	214,700人 (空路シェア15.0%)
性別				
男性	42.1	50.2	40.2	43.5
女性	57.9	49.8	59.8	56.5
年代				
20代以下	23.5	28.3	26.5	21.5
30代	45.4	38.1	37.7	64.0
40代	24.2	23.2	22.7	10.2
50代	5.2	6.4	9.5	2.5
60代以上	1.8	4.0	3.6	1.9
同行者				
ひとり	4.3	8.7	6.6	6.0
夫婦・パートナー	12.9	26.4	24.0	20.4
家族	60.1	44.0	49.5	51.1
同僚	4.0	4.2	0.8	4.7
友人	21.0	16.8	20.7	18.6
その他	0.4	0.4	0.0	0.5
県来訪問回数				
初めて	64.4	78.7	59.1	84.7
2回以上	35.6	21.3	40.9	15.3
平均泊数	4.08泊	3.18泊	4.60泊	4.83泊

5 インバウンド客（空路）

出典および
シェア等

令和元年度外国人観光客実態調査（沖縄県）。空
路客は約142万7,200人（外国人観光客の57.3%）

	台湾	韓国	香港	中国
ショッピング	98.0	76.4	95.8	96.7
沖縄料理	94.7	69.0	93.2	93.9
自然・景観地観光	91.9	76.8	92.2	91.1
都市観光・街歩き	92.2	79.4	88.6	83.9
日本食	83.8	66.2	80.0	82.6
旧跡観光	60.3	47.3	51.2	59.4
海水浴・マリンスポーツ	15.6	30.8	21.8	17.9
ダイビング	5.3	7.2	12.0	1.6
保養・休養	1.6	42.7	2.3	0.6
スパ・エステ	1.1	11.5	1.3	0.2
リゾートホテル	26.1	54.7	39.6	38.4
市街地にあるホテル	61.7	42.8	55.3	63.1
民宿	14.5	2.0	13.1	7.4
その他（民泊等）	22.4	17.6	18.5	9.7
団体旅行	4.7	3.6	0.6	4.8
パッケージ旅行	7.4	13.9	1.3	9.0
フリープラン	6.6	3.1	6.7	10.9
個人旅行	81.3	79.4	91.5	75.3
宿泊費	23,388円	25,086円	33,176円	33,916円
交通費	10,008円	7,631円	14,609円	12,216円
土産・買物費	31,917円	20,201円	30,105円	73,797円
飲食費	16,621円	17,687円	24,535円	24,097円
娯楽・入場費	6,199円	8,828円	8,346円	6,872円
合計（総消費単価）	88,146円	79,441円	11,0788円	150,898円

6 クルーズ客（中城湾港）

出典および
シェア等

令和元年度経済波及効果アンケート調査業務報告
書（中部広域市町村圏事務組合、R2.9）

スーパースター・アクエリアス		スペクトラム・オブ・ザ・シーズ
航路	台湾（基隆）－中城－宮古島－台湾（基隆）	香港－中城－フィリピン－香港
調査対象 クルーズ概要	2019/11/13 16:00-23:30（7時間30分） 旅客403人、クルー801人 （サンプル数：旅客155人、クルー43人）	2020/01/04 12:00-21:00（9時間） 旅客4,411人、クルー1,692人 （サンプル数：旅客367人、クルー3人）
乗客数		
タイプ	カジュアル、単一国籍	カジュアル、多国籍
性別	男性36%、女性61%、無回答3%	男性42%、女性54%、無回答4%
年齢	どの年代も一定数存在	50－60代が多いが、どの年代も一定数存在
同行者	夫婦・家族47%、友人42%	夫婦・家族67%、友人17%
基本属性		
県訪問回数	1回目42%、2回目以上58%	1回目67%、2回目以上33%
国・地域	台湾が殆ど	香港が42%、オーストラリア16%、その他各国
旅行形態	自由行動74%、ツアー23%	自由行動78%、ツアー11%
寄港地での活動	ショッピング>食事＝観光>レジャー	レジャー>ショッピング>食事>観光
利用交通機関	タクシー41%、シャトルバス35%、観光バス20%	シャトルバス64%、観光バス15%、タクシー14%
訪問地	主にアメリカンビレッジ、イオンモール沖縄ライカム、イオン具志川の3箇所（他の箇所は少数）	大半がイオンモール沖縄ライカム。次いでアメリカンビレッジ、中城城跡、国際通り、イオン具志川。
情報入手方法	友人家族の勧め>船内>WEB	船内>友人知人家族の勧め、WEB
消費行動	ライカム、アメリカンビレッジ、イオン具志川の消費が9割（ライカムでの消費は平均約24,000円（飲料、菓子類等）、アメリカンビレッジでの消費は平均約15,000円（化粧品・衣料品等））	ライカムでの消費が9割（平均約26,000円、内容は衣類、靴・鞆・革製品、飲食等）

参考 本セグメント分析にて用いた各種調査について

- ・本セグメント分析にて用いた調査は以下の通り。

参考とした情報 ※は参照にした頁	調査もしくは事業名 (カッコ内に実施主体名)	時期	概要
沖縄市の来訪特性	宿泊実績把握調査／観光統計調査業務 (沖縄市観光振興課)	H31～R2 ※H31、R1は公表	・市内主要宿泊施設の協力のもと、市内宿泊者の属性および延べ宿泊者数の把握を対象とした調査。
	携帯GPS調査／観光統計調査業務 (沖縄市観光振興課)	H31～R2 ※H31、R1は公表	・携帯の位置情報データおよび属性情報をもとに市内来訪者を対象とした観光動態調査。対象は市内に30分以上滞在した人。
沖縄市に来訪する 国内外観光客	観光客アンケート調査／観光統計調査業務 (沖縄市観光振興課)	H31～R2 ※H31、R1は公表	・市内来訪客を対象としたアンケート調査。 ・属性、観光行動、消費額等を調査。
スポーツ観戦者 (キングス)	お客様動向調査アンケート (沖縄市中心市街地活性化協議会)	R2.3.5	・キングス戦観戦者に対するアンケート調査。 ・属性、観戦前後の行動を調査。
スポーツ観戦者 (FC琉球)	スポーツ観光誘客促進事業 (沖縄観光コンベンションビューロー)	R2.3.5	・FC琉球のホームゲーム2試合(東京ヴェルディ、大宮アルディージャ戦)のアウェー客へのアンケート調査。
沖縄県に来訪する 国内観光客	令和元年度観光統計実態調査 (沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)	R2.10.5公表	・令和元年度に沖縄を訪問した日本人客を対象としたアンケート調査。 ・属性、旅行内容、消費額等を調査。
沖縄県に来訪する 外国人空路客	令和元年度外国人観光客実態調査 (沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)	R2.10.5公表	・令和元年度に沖縄を訪問した外国人客を対象としたアンケート調査。 ・属性、旅行内容、消費額等を調査。
中城湾港に寄港 のクルーズ客	令和元年度経済波及効果アンケート調査業務報告書 (中部広域市町村圏事務組合)	R2.9公表	・中城湾港に寄港する主なクルーズ船(台湾、香港)の船客を対象としたアンケート調査。 ・属性、観光行動、消費額等を調査。

(3) ターゲットとなる来訪セグメントの検討

ターゲットの検討にあたっては、下図のように時間軸（今訪れている市場／中期的市場／将来の市場）および居住地域（県内／県外／海外客）の2軸によるフレームにて整理を行った。本フレームに対し、各調査の結果や地域関係者の意見によりセグメントの整理を行った。

なお、「現在訪れている市場／確実な顧客層」を重点的市場と位置づけ、対して「将来の市場、新規にアプローチする・できる層」を戦略的市場としている。

【ターゲットとなる来訪セグメントの整理結果】

重点的 ←————→ 戦略的			
	今訪れている市場	中期的市場	将来の市場
海外			⑪インバウンド (台湾、香港、韓国、中国)
県外	①県外ヘビーリピーター層 ②県外ビジネス層 ③県外スポーツ観戦者層	⑥アリーナオープン後の スポーツ観戦者層 ⑦県外初回来訪者層 (将来はリピーターへ)	
県内	④県内ファミリー層 (市内の方々・県内の人々) ⑤県内スポーツ観戦者 (現状キングスは県内客が9割)	⑧文化を好む層(県内外) ⑨沖縄市を知らない那覇市民 (まだ沖縄市の情報に触れていない人々) ⑩地元のスポーツ観戦者層 (将来はリピーター・発信者へ)	⑫こども達 (将来のリピーター・ファンへ) ⑬日中の日帰り層

各調査結果や勉強会の意見交換の内容を踏まえ、各セグメントの特性の詳細について整理を行った。下表にて一覧を記載する。

		重点的 ←	→ 戦略的	
		今訪れている市場	中長期市場	将来の市場
海外				⑪インバウンド <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後を見据えて長期的に取り組むことが重要な層。 ・多言語による SNS 発信を継続的に実施することで関係性を構築。 ・県内外の各種取組を実施することで基盤を整える。
県外	①県外ヘビーリピーター層 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも手堅く訪れていた層。 ・情報発信者や初回来訪者との来訪など単純な消費だけではない役割もある。 ②県外ビジネス層 <ul style="list-style-type: none"> ・来訪回数が多く、消費金額も最も高い層。 ・直近はアリーナ工事関係者が想定されるため、今後の継続的な取り込みが課題。 ③県外スポーツ観戦者層 <ul style="list-style-type: none"> ・アウェーチームのサポーターがメイン。 ・市内の宿泊や周遊・消費が課題。 ・中長期的にも拡大が可能であり重要な層。 	⑥アリーナオープン後のスポーツ観戦者層 <ul style="list-style-type: none"> ・アリーナオープン後に来訪されると思われる観戦者層。 ・市内事業者・店舗と連携した商品開発や周知による効果的な取り込みが課題。 ⑦県外初回来訪者層 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市を目的ではなく、沖縄旅行の一部として来訪している層。 ・首里城や美ら海、北谷アメリカンビレッジ等の主要観光地への来訪も多い。 ・継続的な沖縄県・OCVB 等との連携した周知活動が重要。 		
県内	④県内ファミリー層 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄こどもの国や東南植物楽園等の主要観光施設に訪れる層。 ・コロナの影響により増加したと考えられる層。施設だけではない市内周遊促進が課題。 ・SNS、口コミを参考に来訪する傾向にある。 ⑤県内スポーツ観戦者 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、琉球ゴールデンキングスの観戦客は県内客が9割でありメインとなる層。 ・アリーナオープン後にさらに増加することが見込まれる。 ・継続的な来訪促進とともに観戦前後における市内への立ち寄り、消費活動が課題。 	⑧沖縄市を知らない那覇市民 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市における楽しみ方や見どころ等の情報が届いていない那覇市周辺の居住者。 ・来訪のきっかけとなる情報発信が課題。 ・一方で、リピーターや情報発信者となるポテンシャルがあると想定される。 ⑨地元のスポーツ観戦者層 <ul style="list-style-type: none"> ・今後、伸びしろのある地元・沖縄市民のスポーツ観戦者層。 ・まず、実際にホームゲームに足を運んでもらうことが課題。 ・地域一体となって盛り上げることでキングス・FC 琉球のホームタウンとしてのインナー・アウターブランディングの向上が見込まれる。 ⑩文化を好む層 <ul style="list-style-type: none"> ・文化的な体験を好む層。かつてのキジムナーフェスタ等の文化イベントや取組の実施が課題。 	⑫日中の日帰り客 <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設への来訪や夜の飲食ではなく日中の市内散策を目的に訪れる層。現時点ではまだ少ないと考えられる。 ・各店舗の取組だけではなく、地域の美化活動や地域一体となった各種取組等により来訪の増加が見込まれる。 ⑬こども達 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄こどもの国等を軸として訪れている年少層（こども達）。 ・中長期的に沖縄市のリピーター・ファンとなることが見込まれる。 ・さらなる取組として、国連やユニセフとの連携、「こどものまち宣言」の再発信等が考えられる。 	

(4) ターゲットごとの取組イメージ

前節でのターゲットの検討を踏まえ、各ターゲットを効果的に取り込むことを目的とした戦略および取組について整理・検討を行った。

	重点的 ← 今訪れている市場	中長期市場	→ 戦略的 将来の市場
海外			⑪インバウンド向け 1) 多言語 SNS 発信 ・台湾、中国、香港、韓国の各重点地域に対する SNS 発信により関係性を構築。 2) オンライン旅行博・商談会への参加 ・各地域にて開催されるオンライン旅行博への継続的な参加により関係性構築。
県外	①県外ヘビーリピーター層向け 1) リピーターによる SNS 発信促進 ・リピーターによる沖縄市の魅力を発信・促進を狙い、ハッシュタグ投稿対象者に対しての特典を付与。 2) リピーターを対象とした特典の実施 ・来訪回数の多いリピーターを対象とした特典の付与（来訪回数を確認できるカード等の発行とあわせて実施）。 ②県外ビジネス層向け 1) 宿泊施設における市内まちあるきマップの配布 ・宿泊施設を通じて市内飲食店等をまとめたまちあるきマップを配布。 2) リピーターを対象とした特典の実施 ③県外スポーツ観戦者層向け 1) アウェーサポーターを対象とした市内滞在促進 ・土曜夜の試合を行うことで市内宿泊の促進を図る。日曜に市内ツアーを盛り込む。 2) 修学旅行生を対象としたスポーツ観戦・まち歩き ・修学旅行生を対象としたスポーツ観戦と市内まち歩きをセットに提供。将来の再来訪へつなげる。	⑥アリーナオープン後のスポーツ観戦者層向け 1) 県外アウェーサポーターへのプロモーション 2) 観戦前後の市内消費促進や市内宿泊率の向上施策 ⑦県外初回来訪者層向け 1) 広域周遊ルートへの組み込みと発信 ・県・OCVB、ツアー事業者と連携し、広域の周遊ルートとして組み込み発信。 2) 北谷アメリカンビレッジにおけるプロモーション ・市内訪問者が多く立ち寄るアメリカンビレッジにおいてプロモーションを実施。	
県内	④県内ファミリー層向け 1) SNS を活用した誘客促進施策 2) 観光情報誌等の設置による市内周遊・消費の向上施策 ・主要な来訪先である沖縄こどもの国、東南植物楽園における情報誌の設置・配布等。 ⑤県内スポーツ観戦者向け 1) 観戦前後の市内消費促進や市内宿泊率の向上施策 ・週末でのゲーム開催や市内観光や飲食店情報の発信等。 2) 観戦者による SNS 発信の促進施策 ・観戦者に対して、ハッシュタグをつけての投稿依頼および投稿者への特典（市内飲食店の割引クーポン等）の実施等（県内新規の来訪客の取り込みと市内周遊促進）。	⑧沖縄市を知らない那覇市民向け 1) 那覇市周辺住民を対象としたプロモーション・まちあるきイベントの開催 ・那覇市を対象とした（SNS・観光情報誌等による）沖縄市情報の発信等。 ⑨地元のスポーツ観戦者層向け 1) 市民（地元）向けのスポーツ観戦促進 ・市民対象の割引チケットや特典の実施。 2) 市内事業者と連携したホームタウンブランディング向上施策 ・市内事業者における琉球ゴールデンキングス/FC 琉球公認商品の販売。 ・市内プロスポーツ団体による地域住民との交流イベントの開催（例：運動会等）。 ⑩文化を好む層向け 1) 市内の文化コンテンツの磨き上げ・発信 ・市内事業者と連携した文化コンテンツを活用した取組、文化イベントの開催等。	⑫日中の日帰り客向け 1) 市内まちあるきイベントの開催 2) アークアイド等の市街地活用 3) 市内景観向上施策 ・市内美化活動や植栽等の整備の実施。 ⑬こども達（年少層）向け 1) こどものまち宣言の再発信 ・その他、国連・ユニセフと連携した取り組み等。

第5章 市内関係者との勉強会の開催

5-1. 実施概要

過去2年分の成果を含めた本観光統計調査事業の成果についての関係者への共有、アウトプットを促進するため、市内関係者との勉強会を開催した。

勉強会は3回開催し、調査結果の説明、意見交換等を通じてデータおよび成果の共有を行うことで、ファクトおよび適切な課題認識に基づく関係者の取組に繋げることを図った。

また、その他、沖縄市コザホテル関係者に対しても調査結果の説明、意見交換等を行った。

【勉強会の実施概要】

	開催日時	テーマ・内容
第1回	令和2年10月1日 17:00～19:00	データから読む沖縄市観光客の特徴 ・過年度までのデータから読みとれる沖縄市観光客の特性、課題等を共有
第2回	令和2年12月17日 17:00～19:00	今夏の沖縄市の来訪特性について ・今夏の観光客の属性や動向について速報的にとりまとめ、これまでの特性との変化等について共有
第3回	令和3年2月18日 17:00～19:00	沖縄市の来訪者特性を踏まえた今後の戦略について考える ・沖縄市として今後ターゲットとすべき来訪セグメントについて検討し、そのターゲットを誘客し、受入れ、活性化につなげるために取り組む戦略を検討

【沖縄市コザホテル組合関係者との勉強会の実施概要】

	開催日時	テーマ・内容
	令和2年11月18日 11:20～12:30	データから読む沖縄市観光客の特徴 ・過年度までのデータから読みとれる沖縄市観光客の特性、課題等を共有 ・市内の宿泊状況

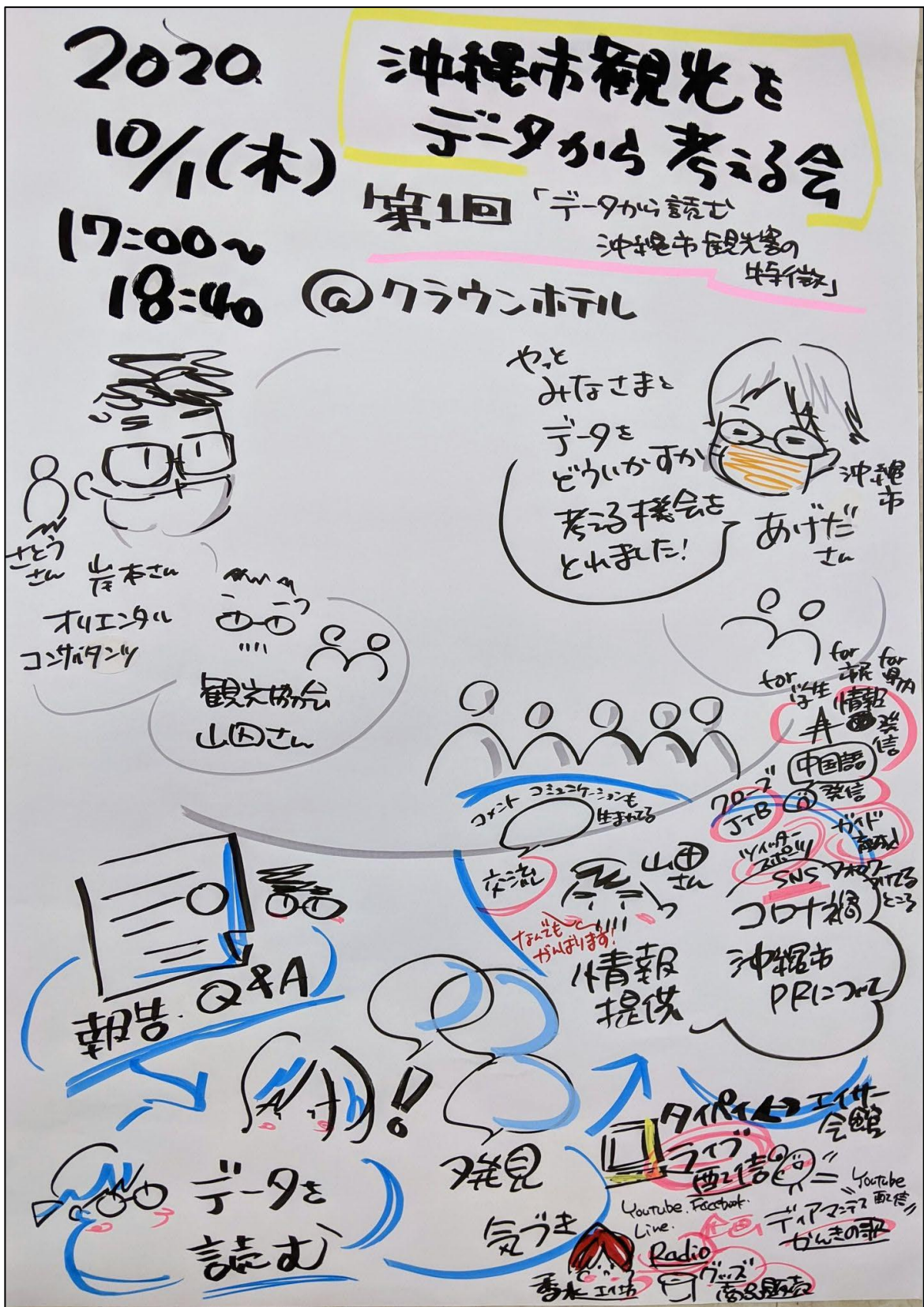
5-2. 実施結果

(1) 第1回勉強会の実施結果

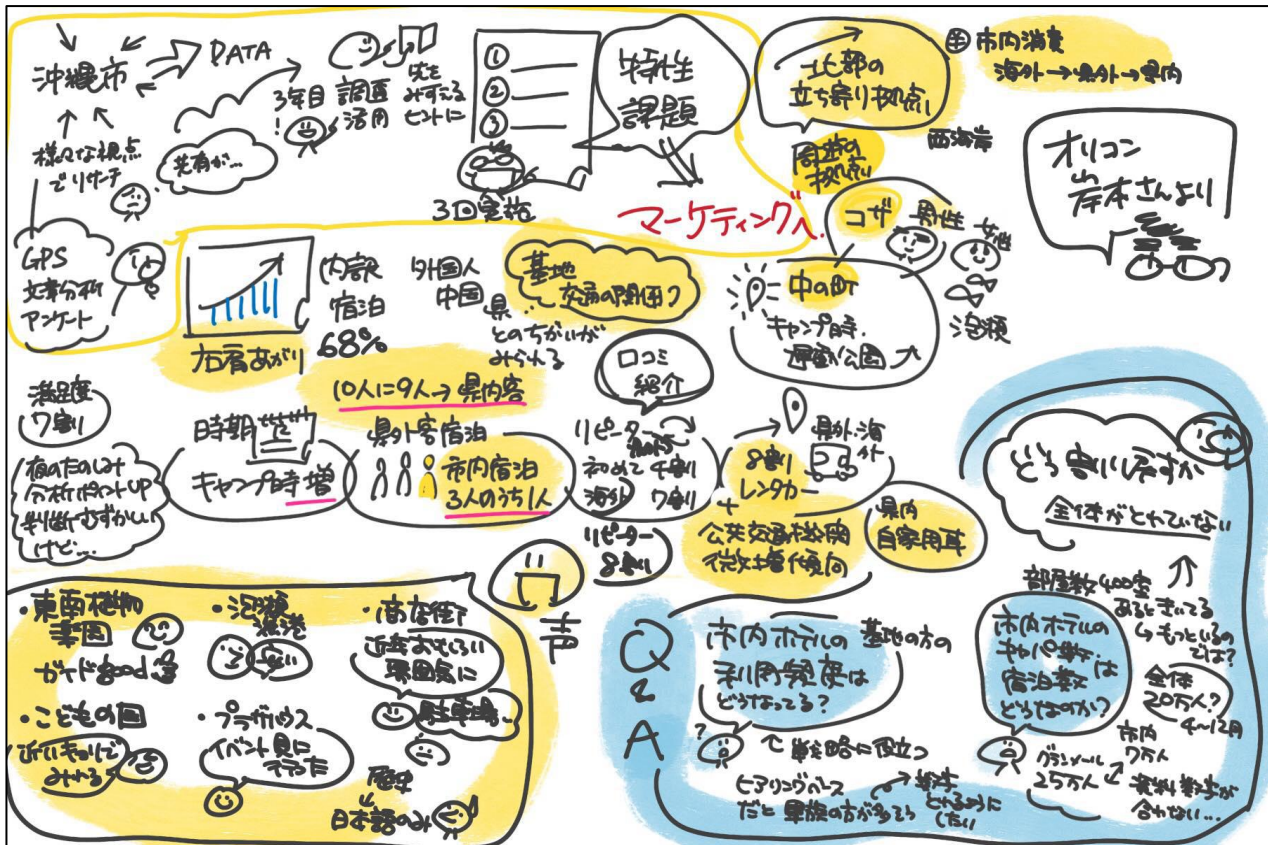
第1回勉強会の実施結果を以下に示す。

【第1回勉強会の実施結果】

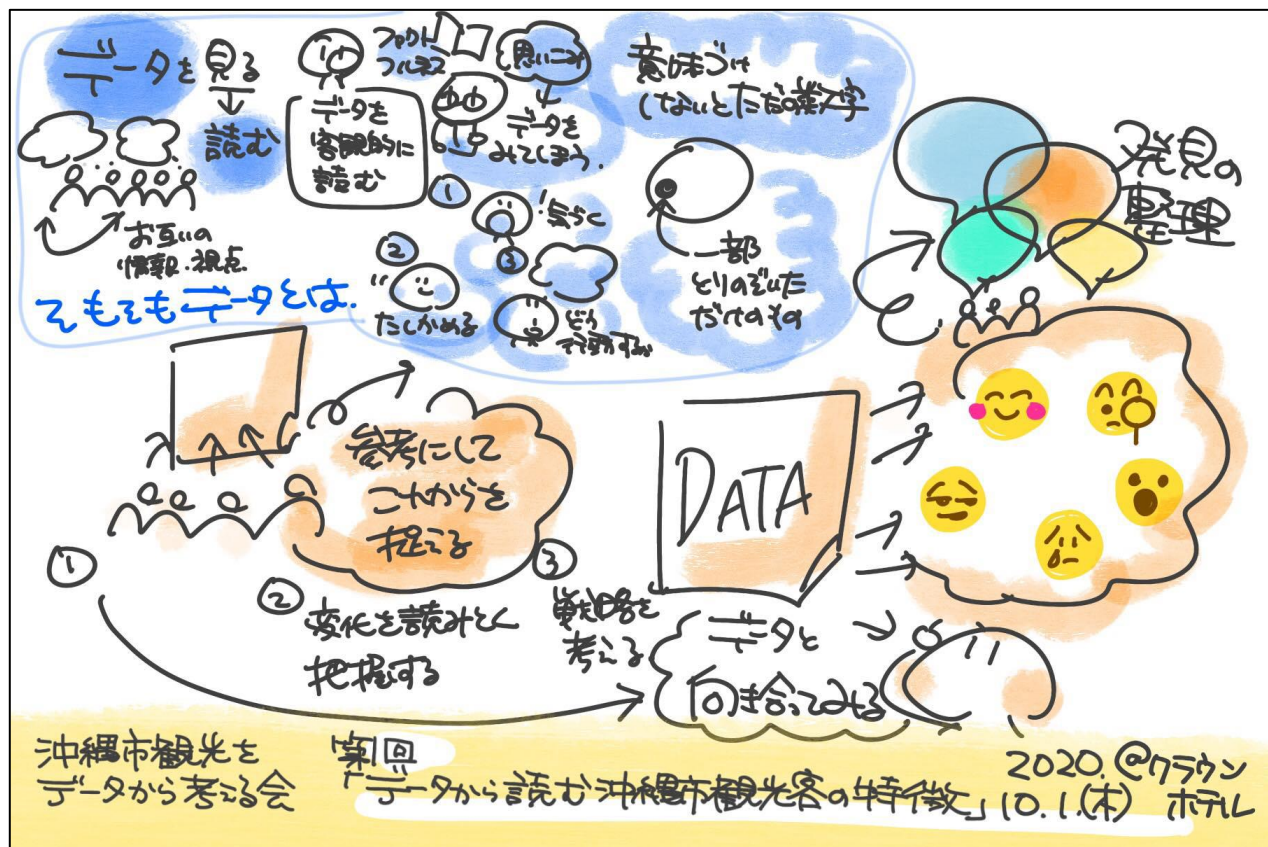
開催日時	・令和2年10月1日 17:00～18:40
テーマ	・データから読む沖縄市観光客の特徴
開催場所	・クラウンホテル クラウンルーム
参加機関	<p>【参加者】(計11名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者(1名) ・市内観光関連事業者(3名) ・市内宿泊事業者(1名) ・市内商工関係事業者(2名) ・プロスポーツ団体(3名) ・市内まちづくり団体(1名) <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市 ・(株)オリエンタルコンサルタンツ ・(一社)沖縄市観光振興物産協会 ・ファシリテーター/グラフィックレコーダー
プログラム	<p>17:00～開会</p> <p>17:05～報告 データから読み解く沖縄市観光について</p> <p>17:30～意見交換 沖縄市観光のデータを読んでみる</p> <p>18:15～情報提供 コロナ禍で実施できた沖縄市PR</p> <p>18:35～閉会</p>
議事概要	<p>①データから読み解く沖縄市観光について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データより沖縄市に立ち寄っても北谷や那覇に流れてしまい滞在や宿泊につながっていないことが推察されるため課題として認識することが重要である。 ・アウェイのサポーターをいかに市内に滞在してもらうかがプロスポーツ団体の課題である。市内事業者との協力が重要である。 ・市内観光施設と中の町等の市街地との連携が十分でないことが推察される。 <p>②沖縄市観光のデータを読んでみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市観光はこれまで夜の飲食が中心であったが、今後はスポーツ、健康、買い物といった側面にも力を入れていき客単価を上げていくことが重要である。 ・中の町に訪れている方はそのまま同地域に滞在していることが推察される。



【第1回勉強会の概要】



【資料の説明及び質疑応答】



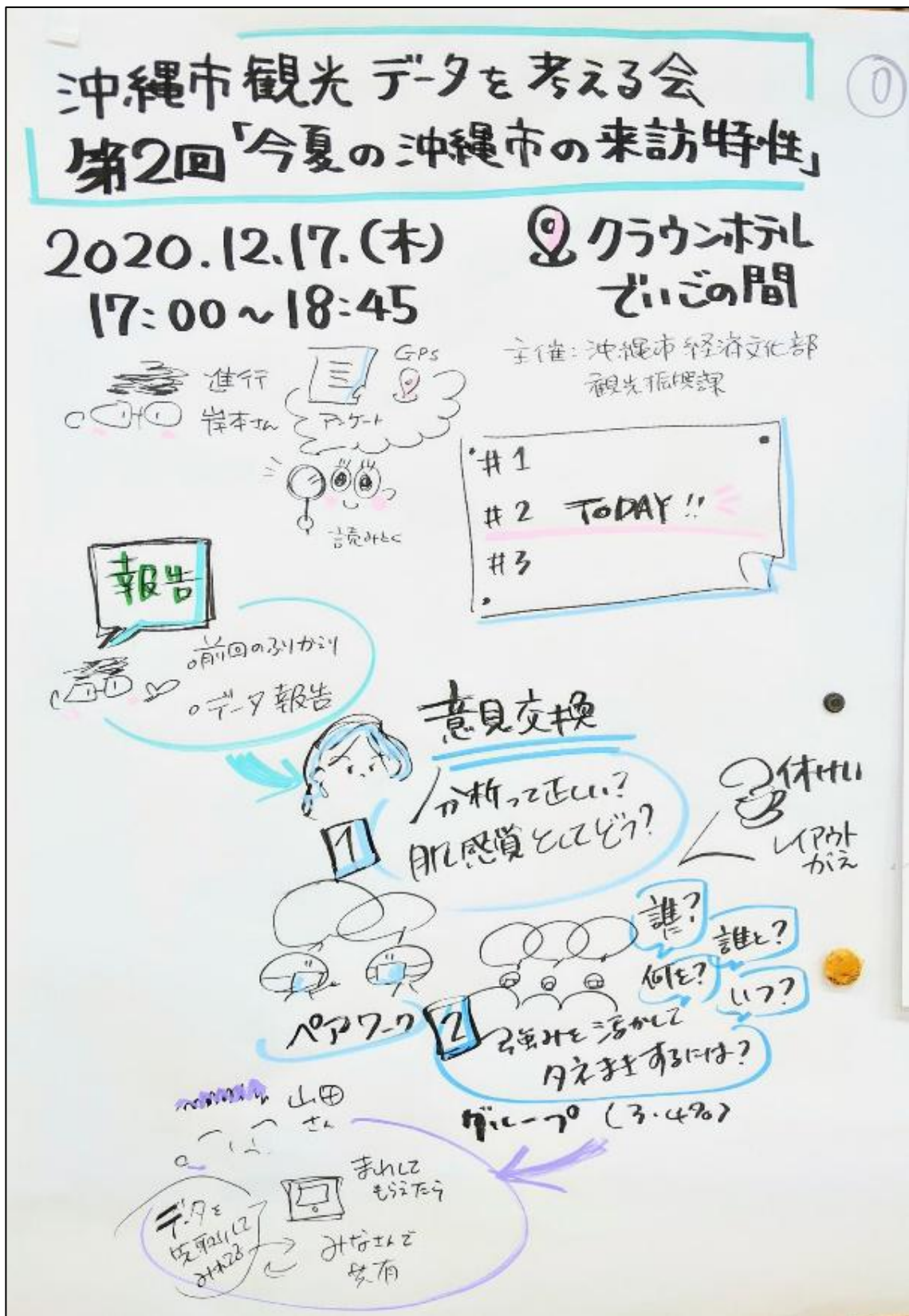
【意見交換：データを読む】

(2) 第2回勉強会の実施結果

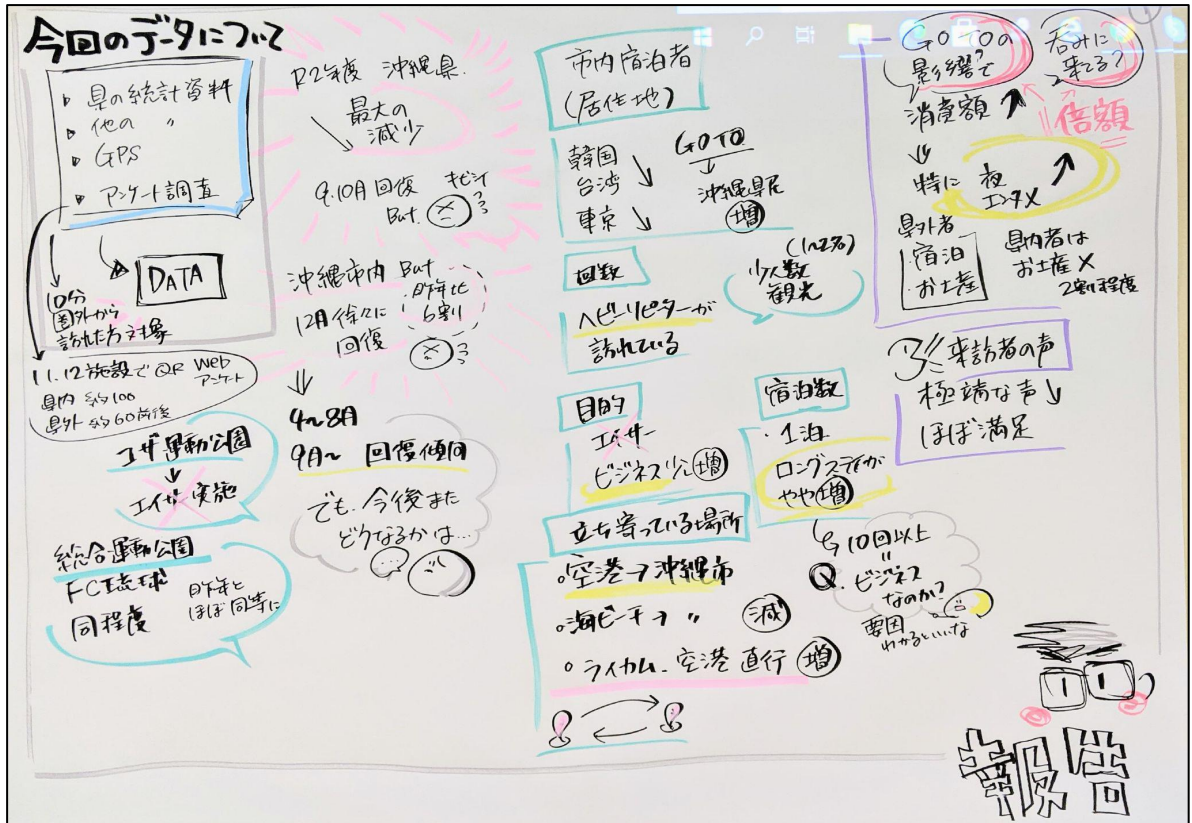
第2回勉強会の実施結果を以下に示す。

【第1回勉強会の実施結果】

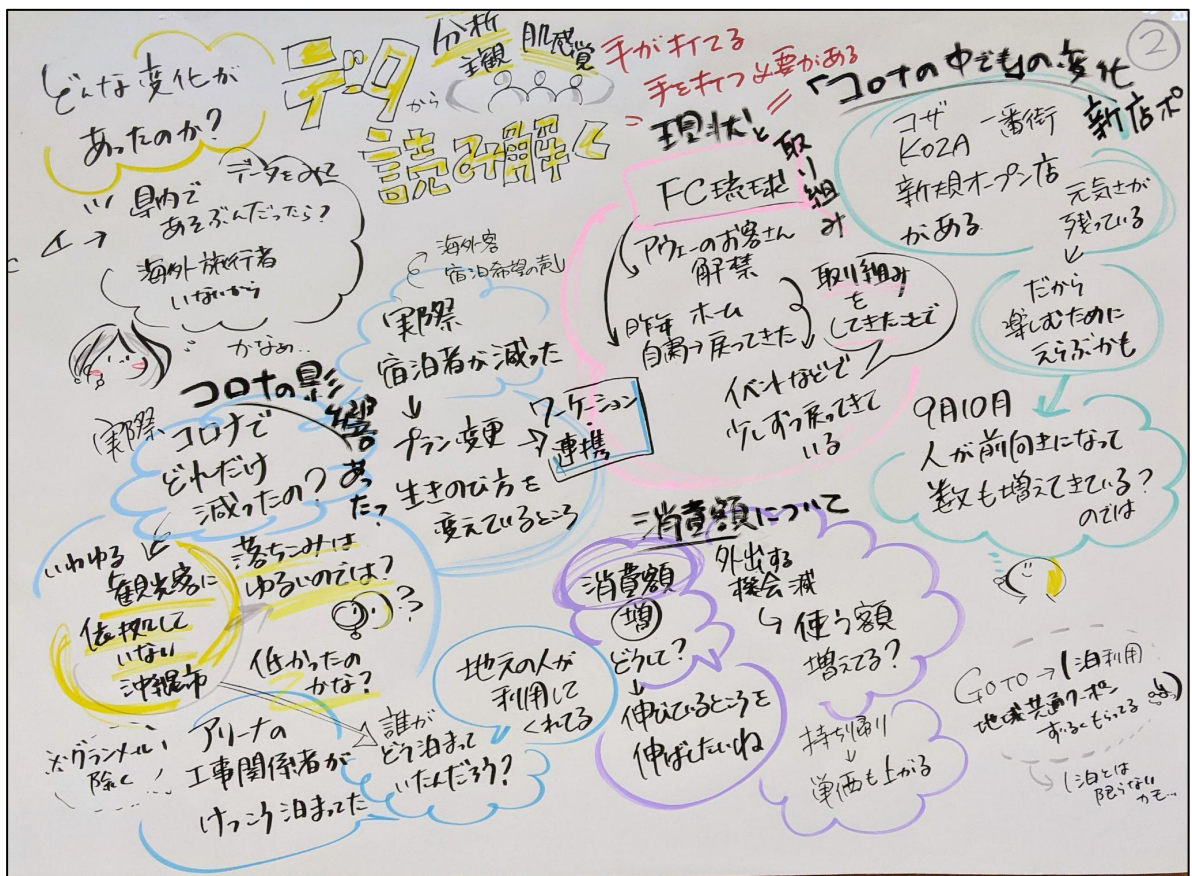
開催日時	・令和2年12月17日 17:00～18:45
テーマ	・今夏の沖縄市の来訪特性について
開催場所	・クラウンホテル クラウンルーム
参加機関	<p>【参加者】(11名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者(1名) ・市内観光関連事業者(2名) ・市内宿泊事業者(2名) ・市内飲食事業者(1名) ・市内商工関係事業者(1名) ・プロスポーツ団体(2名) ・市内まちづくり団体(2名) <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市 ・(株)オリエンタルコンサルタンツ ・(一社)沖縄市観光振興物産協会 ・ファシリテーター/グラフィックレコーダー
プログラム	<p>17:00～ 開会</p> <p>17:05～ 報告 今夏の沖縄市の来訪特性について</p> <p>17:25～ 意見交換 コロナ禍での変化を読み解く</p> <p>18:40～ 閉会</p>
議事概要	<p>①今夏の沖縄市の来訪特性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市は現在、観光客が少ない状況だが、地元の方が商店街等を頻繁に利用している状況である。そのためか、自粛期間中においても商店街では新規に3店舗がオープンしている状況である。 ・県外の最初に戻ってくる客層は、コアな沖縄市のファンだと推定される。 ・ビジネス客が多い要因についてはアリーナ工事関係者が多かったことも要因として考えられる。 ・10月中旬よりFC琉球ではアウェーサポーターの受入れが解禁されたため、沖縄に訪れる方が多くなっている。今後、イベント等を実施し滞在に繋げていきたい。 <p>②コロナ禍での変化を読み解く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市は地元の方々の利用が多いため、落ち込みは県全体と比較すると緩やかであると推察される。一方で、これまでインバウンドや県外客向けに整備してきた側面があるため、この機会に足元から戦略を考えていくことが重要である。 ・コロナにより状況が変わっているため、各施設にて実施しているオンラインツアーを継続し、有料化するなど仕組みを考えていくことが重要である。



【第3勉強会 意見交換の流れ】



【報告：今夏の沖縄市の来訪特性について】



【意見交換 コロナ禍での変化を読み解く (1/2)】



【意見交換 コロナ禍での変化を読み解く (2/2)】

(3) 第3回勉強会の実施結果

第3回勉強会の実施結果を以下に示す。

【第3回勉強会の実施結果】

開催日時	・令和3年2月18日 17:00～19:00
テーマ	・沖縄市の来訪者特性を踏まえた今後の戦略について考える
開催場所	・クラウンホテル クラウンルーム
参加機関	<p>【参加者】(13名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者(1名) ・市内観光関連事業者(1名) ・市内宿泊事業者(2名) ・市内飲食事業者(2名) ・市内商工関係事業者(1名) ・プロスポーツ団体(3名) ・市内まちづくり団体(3名) <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市 ・(株)オリエンタルコンサルタンツ ・(一社)沖縄市観光振興物産協会 ・ファシリテーター/グラフィックレコーダー
プログラム	<p>17:00～ 開会</p> <p>17:05～ 報告 沖縄市の来訪セグメントについて</p> <p>17:30～ 意見交換データからこれからのアクションをつくる</p> <p>19:00～ 閉会</p>
議事概要	<p>①沖縄市の来訪セグメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市は夜間の飲食は以前から認知されているが、日中の楽しみや魅力についても磨き上げ、発信していく必要がある。 ・沖縄市は動物園や植物園等があり、沖縄中の子どもたちが訪れている。彼らを将来の市場として見据えることも重要である。 ・スポーツ客は県外客が増えており、中長期的に取り組む必要がある。 ・アリーナオープン後の観戦客をいかに沖縄市に留まってもらうかが重要である。 ・市内の飲食等の事業者によるスポーツの底上げが期待される。例えば公式の商品の展開などが考えられる。 ・現状では最も遠いセグメントとしてインバウンドが当てはまるが、長期的な戦略が重要である。SNS発信等を継続して実施していきたい。 <p>②データからこれからのアクションをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇市民は今後重要なターゲットとなるため、まだ届いていない層に対していかに沖縄市の魅力を発信するかが重要である。 ・近年、修学旅行生がプロスポーツの見学等を行いたいといった声があるため、観光協会と連携してコンテンツを開発したい。 ・アウェーサポーターを獲得するために情報発信に力を入れることが重要である。



5-3. 勉強会の成果

本勉強会では、過去2年分の成果を含めた本観光統計調査事業の成果についての市内関係者への共有、アウトプットを促進することを目的として計4回開催した。

以下では本勉強会の成果を整理した。

【勉強会の成果について】	
①沖縄市観光客の特性、課題等の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・過去2年分の成果及びコロナ禍の調査結果を共有することができた。 ・また、調査結果適宜を共有することで、市内関係者より分析に関する意見を収集することができた。
②来訪者特性を踏まえた今後の戦略の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会（第3回）を通じて、各セグメントにおける戦略の検討を実施することが可能となった。 ・本勉強会を通じて、市内関係者に対し、各種調査結果データの共有や意見交換を実施することにより、データから課題把握を行う機運の醸成につながったと推察される。
③コロナ禍における市内関係者の取組状況の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の勉強会の意見交換を通じて、市内関係者のコロナ禍における状況や取組等について共有いただいた。
④市内関係者間の連携促進	<ul style="list-style-type: none"> ・本勉強会における意見交換では、市内関係者間にてデータの読み込みや課題の把握、戦略の検討に関するディスカッションを実施いただいた。 ・これら意見交換により市内関係者間の連携促進につながったと考えられる。 ・また、コロナ対策に十分に配慮し、現地開催としたことで、関係者より地域連携の場として効果的であり継続を求める声も挙げられた。
⑤調査協力の理解促進への寄与	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業では、市内宿泊施設や観光施設の協力のもと、宿泊実績の把握やアンケート調査を実施しており、本勉強会を通じて協力いただいている各種調査の成果を共有することにより、各施設に対し、調査協力に対する理解促進につながった。 ⇒2観光施設、1宿泊施設が新規に調査協力を賛同いただいた

本勉強会の実施については、上記にあるように、コロナ禍における情報共有や戦略の検討、地域関係者間の連携促進等の効果が確認でき、沖縄市の観光振興に寄与すると考えられる。

また、参加者より継続を求める声も多くあげられたため、今後の沖縄市観光の状況に合わせたテーマで継続的に開催検討をすることが重要である。

第6章 今後の方向性

本業務では、多様化する観光ニーズに対応し、より効果的な観光振興による地域活性化を目的として、各種調査を実施するとともに、マーケティング分析や地域関係者との勉強会を実施してきた。

以下では、本業務において実施した各種調査及び取組の今後の方向性について示す。

①観光統計調査の整理

1) 実施結果の概要

国・県・市の観光統計について整理・分析を行った。また、宿泊実績については、令和2年12月までの結果をとりまとめることで新型コロナウイルスによる市内の宿泊状況や観光動向を把握した。

2) 今後の方向性

国・県の動向把握のため、今後も継続的に整理・分析を行うことが重要である。また、宿泊実績については、市内観光を適切に把握するために重要な基礎資料となるため、市内関係者の協力のもと継続的に取得することが重要である。

②携帯GPS調査

1) 実施結果の概要

国内県外客（2,378 サンプル）についてKDDIの位置情報ビッグデータを活用し、1年分（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の市内の観光動向を分析した。

本年度より沖縄市と周遊関係にあると想定されていた市外施設である北谷アメリカンビレッジ及び沖縄イオンモールライカムを加えて詳細に調査を行った。その他、昨年度比較を行い来訪者の居住地域割合の変化等からプロモーションの効果等を確認した。（例：福岡県居住者の割合の増加）

2) 今後の方向性

プロモーション等の施策の効果検証を適切に行うことができるため、継続実施が重要である。また、次年度調査（令和3年度）では、令和2年度が分析対象期間となるため、緊急事態宣言等の影響の詳細を確認していくことが重要である。

③スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析

(KDDI ロケーションアナライザー)

1) 実施結果の概要

スポーツキャンプ、合宿等の観戦者や競技者が多くなる12月～2月を対象とし、KDDI ロケーションアナライザーを活用し動態分析を実施。直近3カ年の比較を実施した。

実施の結果、コロナ禍でありキャンプ等は非公開となったため、令和2年度は滞在者数(特に県外客)の減少や、他施設への周遊の低下等が確認された。

2) 今後の方向性

本年度の事業において、過去3年分のデータを確保したため、今後は状況の変化に応じて調査を実施することが望まれる。

④レンタカーGPS調査

1) 実施結果の概要

OTSレンタカーのGPSデータ(11,776台)を活用しインバウンド観光客の市内立ち寄り、滞在時間、周遊状況等の動態を分析した。確認の結果、国籍毎の立ち寄り先や宿泊状況の特性を確認することができた。

2) 今後の方向性

今年度調査ではコロナ禍以前(令和元年度)の訪日外国人観光客の動向確認となっている。次年度以降、訪日外国人の回復された場合、属性や観光動向把握の調査手法として実施することが有効である。

⑤令和2年度夏季期間の観光動態分析(KDDI ロケーションアナライザー)

1) 実施結果の概要

市内の主要10施設を対象として、with コロナの状況である令和2年度夏季期間の観光動態とコロナ禍以前の令和元年度の比較分析を行った。

2) 今後の方向性

本調査分析に用いたKDDI ロケーションアナライザーは、翌月の分析が可能であるため、コロナ禍の情勢を即時的に確認することができるため、継続的に確認し関係者と共有を図ることが重要である。

⑥旅行サイト口コミ分析

1) 実施結果の概要

トリップアドバイザー、じゃらんの口コミ（246件）の内容より市内観光地の評価や観光ニーズ等の分析を行った。

本年度はAIによるテキストマイニングを導入することにより継続的に分析把握を行う体制を構築した。

2) 今後の方向性

トリップアドバイザー、じゃらん等による口コミ評価や内容を分析することで、多角的に本市の強み等を把握することが可能であるため、沖縄市観光物産振興協会を中心に継続的な実施が重要である。

⑦アンケート調査

1) 実施結果の概要

WEBアンケートシステムにより観光客の満足度、ニーズ、消費行動等を取得・分析した。（国内客139件、県外客119件）

本年度は対象施設を宿泊施設だけではなく、観光施設にも対象を広げることにより、より多様な意見を収集・分析することが可能となった。

また、マーケティング分析では、過年度結果とあわせて分析することで、詳細な来訪者像の分析が可能となった。

2) 今後の方向性

継続実施により沖縄市来訪者の実態把握が可能であるため、沖縄市観光物産振興協会を中心に継続的な実施が重要である。また、本調査については市内関係者の協力が必要不可欠であるため、定期的な調査結果の共有を行うことが重要である。

⑧マーケティング分析

1) 実施結果の概要

沖縄市観光のマーケティング分析を実施するため、①から⑦の調査結果を踏まえ、沖縄市における観光施策の効果検証を実施した。また、来訪セグメントを分析したうえで、市内観光関係者との勉強会での意見交換を通して、戦略的かつ効果的に観光客の受入環境整備や情報発信、ターゲティングを絞り込んだ観光地づくり等の検討を行った。

2) 今後の方向性

次年度以降は、回復に向けて具体的な行動等が重要となるため、各種調査の実施により状況把握に努めるとともに、市内関係者と継続して取組状況の確認や対応方針について検討していく必要がある。

⑨市内関係者との勉強会の開催

1) 実施結果の概要

過去2年分の成果を含めた本観光統計調査事業の成果についての関係者への共有、アウトプットを促進するため、市内関係者との勉強会を開催した。

勉強会は3回開催し、調査結果の説明、意見交換等を通じてデータおよび成果の共有を行うことで、ファクトおよび適切な課題認識に基づく関係者の取組に繋げることを図った。その他、沖縄市コザホテル組合関係者に対しても意見交換を実施。

2) 今後の方向性

本勉強会の開催は、データに基づく課題認識や取組の検討、地域関係者間の連携促進等に寄与することが認められたため、継続的に実施することが重要である。また、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を十分にはかかったうえで実施することが重要である。

なお、次年度は、沖縄市観光振興基本計画の改定時期にあたるため、同計画の策定と連携した開催が重要である。